COMANDシステム

補足版

Mercedes-Benz

マーク

この取扱説明書では、以下のマークを使用しています。

> ⚠ **警告**
>
> 警告項目は、お客様ご自身やお車に同乗の方々の健康や生命をおびやかすような危険への注意を喚起するものです。

> **環境に関する注意**
>
> 環境に関する注意は、環境を意識した行動や廃棄についての情報を提供しています。

! 車両の損傷につながる危険を喚起する、機材の損傷に関する注意です。

i これらのマークは、お客様の助けになるような、便利な操作方法や詳細情報を示しています。

▶	このマークは、お客様に従っていただきたい操作を示しています。
▶	連続しているマークは、いくつかのステップがある操作を示しています。
(▷ ページ)	このマークは、項目についての詳細情報がある場所を示しています。
▷▷	このマークは次のページに続く警告または操作を示しています。
画面設定	この表記は、マルチファンクションディスプレイ / COMAND ディスプレイのメッセージを示しています。

メルセデス・ベンツをお買い上げいただきありがとうございます

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、COMANDコントロールパネルについてのご理解を深めてください。

お客様自身と周りの人々を危険から守り、COMANDコントロールパネルを最大限に楽しんでいただくことを可能にします。

COMANDコントロールパネルの機能や装備は、モデルや装備のレベルによって異なる場合があります。

メルセデス・ベンツは、車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、 この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書は車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。また車両をお譲りになる場合は、必ず取扱説明書を次のオーナーにお渡しください。

Daimler AGの技術文献チームは、お客様が安全で楽しい運転ができることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

1725845781

さくいん 4

使用に関する安全 12

各部の名称 15

システムの設定 37

車両機能 45

ナビゲーション 55

電話 147

オンライン/インターネット 179

オーディオ 219

TV/映像 261

リアエンターテインメント 289

あ

明るさの調整(テレビ、ビデオ)......262
アクセスデータのリスト
新しいプロバイダー..................186
アクティブパーティション(USB機器のみ)
選択する.....................................233
アドレス帳
閲覧..170
項目を削除する..........................171
住所をダウンロードする...........175
登録データの詳細......................171
登録データを検索する..............170
登録データを作成する..............171
登録データを変更する..............172
はじめに.....................................169
発信する.....................................173
呼び出す.....................................170
ルート案内を開始する..............174
安全上の注意
電話の使用.................................148
CD/DVDオーディオおよびMP3モード...............................223
DVD ビデオモード...................278
一時停止機能
オーディオモード(CD、DVD、MP3)...227
DVDビデオ...............................281
色合いの調整(テレビ、ビデオ)......262
インターネット
アクセスデータの選択/設定......182
アクセスの必須条件..................180
お気に入りの管理......................215
お気に入りの選択......................210
お気に入りメニュー..................216
お気に入りを作成する..............215
お気に入りを開く......................212
カルーセルビュー(マルチウインドウ)を呼び出す.....................209
メニュー機能..............................212
URLを入力する.........................209
インターネットラジオ
放送局検索.................................208
呼び出す....................................208
インタフェース(USB、iPod®)
参照 メディアインターフェース
ウェブサイト
お気に入りに追加する..............212
迂回検索...85
オーディオ
ラジオモード.............................220
オーディオスイッチ
音楽CD/DVDオーディオまたはMP3モードをオンにする......225
オーディオフォーマットの設定
リアエンターテインメントシステム..315
DVDオーディオ........................232
DVDビデオ...............................283
お気に入り (インターネット).........214
お気に入りスイッチ...........................41
オプションの選択(COMAND Online)
天気表示.....................................203
メニューの呼び出し..................202
ローカル検索.............................203
音楽ファイル
インポート.................................240
音楽CD/DVDオーディオまたはMP3モード
切り替える(リアエンターテインメントシステム)....................301
音質調整
バランスとフェーダー.................27
音声認識機能
設定...40
オンラインおよびインターネットの機能
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定.....................................186
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択..183
接続の確立.................................191
接続の確立および終了..............190
設定のリセット..........................206
ダウンロード用IDの指定..........205
メルセデス・ベンツ・モバイルウェブサイト..........................207
メルセデス・ベンツの追加アプリケーション..........................207
目的地のダウンロードの設定オプション.................................205

音量の設定
電話の通話....................................26
ビデオAUX................................285
音量の調整
ナビの音声案内.............................26
COMANDシステム......................26

か

画像の設定(テレビ、ビデオ)..........262
画像ビューワー
画像の表示..................................286
はじめに.....................................286
カテゴリーリスト(ミュージックサーチ)...236
画面
リモコン操作で選択..................291
機能の制限
DVDビデオモード.....................279
緊急警告システム............................277
クリアスイッチ...................................24
携帯電話
外部認証......................................153
接続する (Bluetooth® インターフェース)............................150
登録する (認証する)..................151
認証...151
認証を解除する..........................154
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータ
項目の作成..................................186
削除...189
選択する......................................183
編集...189
携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト
空欄...182
選択したプロバイダー...............183
呼び出す......................................182
言語の設定
リアエンターテインメントシステム..315
COMANDシステム......................41
高音の調整(サウンド)........................27
工場出荷時の設定(リセット機能).....44
後席用ディスプレイ.........................291
コピープロテクト(CD/DVD)........235
コントラストの調整(テレビ、ビデオ)...262
コンパス機能...................................129

さ

再生オプション
オーディオモード(CD、DVD、MP3)..233
サウンド
オン/オフを切り替える................25
サウンドの設定
サウンドメニューの呼び出し.......26
サラウンドサウンド.....................27
サウンドの設定の調整
高音と低音....................................27
バランス.......................................27
サウンドメニュー...............................26
サウンドモード...................................29
削除
履歴...167
サラウンドサウンド...........................27
サラウンドサウンド(harman/kardon®サウンドシステム)
切り替える....................................28
注意..27
シート
シートの機能(COMAND Online)..48
調整の選択(COMAND Online)..48
調整のリセット.............................52
バランス(シートヒーター)...........50
アクティブマルチコントロールシートバック.............................49
マルチコントロールシートバック..49
ランバーサポートの調整(COMANDシステム)...................49
時刻
形式の設定....................................39
時刻/日付の形式の設定................39
時刻の手動設定.............................39
時刻の設定....................................39
設定..40
システム設定
音声認識機能 (音声認識)..............40
言語..41
時刻..39

日付......39
Bluetooth®......40
自宅住所
入力と登録......62
自動保存......222
車両
データ取得......12
周波数
ラジオ放送局を設定する......221
周波数バンドの切り替え (ラジオ).221
推奨車線......79
スプリットビュー......33
設定
画像(COMANDシステム)......262
メニュー概要......18
専用狭域通信(DSRC)
設定......137
ディスプレイの優先順位......137
表示例......137
役立つ情報......136
DSRCのバージョン......139
全ルート図......70

た

短縮ダイアルリスト
電話帳項目を保存する......168
地図(ナビ)
移動......124
縮尺の調整......123
スクロール......75
地図の設定......60
地図表示の選択......124
注意事項......122
地図外......81
チャンネルの記憶
テレビ......269
チャンネルの選択
テレビ......268
調整
サウンドの設定......26
通過点
入力......71
通話
受信/終了/拒否......155
接続する......156
参照 電話
データキャリア
ミュージックレジスター......239
MP3......233
低音の設定......27
停止機能
DVDオーディオ......227
DVDビデオ......281
ディスク
オーディオDVD......233
CD/DVD......235
ディスプレイ
デザインの設定......38
テレビ
以下のサービス......270
映像の自動非表示......262
オーディオ設定......271
音声言語、字幕およびテロップの選択......276
オンにする......264
画像の設定......262
緊急警告システム......277
現在の番組......271
サウンドの設定(バランス、低音、高音)......26
受信感度......263
その他の機能......274
チャンネル検索......267
チャンネルの記憶(リアエンターテインメント)......307
チャンネルの記憶(COMANDシステム)......269
チャンネルの設定(リアエンターテインメント)......306
チャンネルの設定(COMANDシステム)......268
データの受信......272
ナビゲーションメニューを表示/非表示にする......265
番組情報マーク......266
番組予告......271
放送メール......275
メニューの表示/非表示......266
B-CASカード......264
天気図 (COMAND Online)
天気情報の表示に切り替える....201
凡例......201
メニューの表示/非表示......201

天気表示(COMAND Online)
オフにする.................................197
オンにする.................................197
情報チャート.............................197
情報チャートでの場所の選択....198
天気図での場所の選択...............200
天気図を呼び出す......................200
場所を選択する..........................198
電話
安全上の注意事項......................148
外部認証 (Bluetooth®)............153
機能の概要.................................158
機能の制限.................................148
携帯電話の認証の解除...............154
携帯電話の接続(全般的な情報). 150
受話音量と発話音量..................155
全体的な注意事項......................148
操作オプション..........................148
単一の通話.................................158
短縮ダイアルによる通話...........157
着信...155
通話音量の調整..........................26
通話の受信/終了........................155
通話する(発信)..........................156
電話の使用.................................155
電話番号を入力する..................156
番号の入力.................................156
ハンズフリーのマイクのオン / オフを切り替える......................158
非通知..155
保留している通話を拒否する、または受ける..............................159
参照 Bluetooth®
電話基本メニュー
Bluetooth® 接続.......................154
電話帳
新しい項目を作成する...............164
アドレス帳の項目に番号を追加する...164
項目の検索.................................162
項目の削除.................................163
マークの概要.............................162
呼び出す....................................161
電話番号
入力する....................................156
道路外..81
トラック
選択(CD、DVD、MP3)...........229
テンキーで選択..........................229
トラック情報...................................305
トラックとアルバムを表示する......232

な

ナイトビューアシストプラス
COMANDディスプレイ上での画像表示......................................52
ナビ
アドレス帳から選択する...........111
以前の目的地を検索する...........109
音声案内のオン/オフの切り替え. 81
音声案内の繰り返し......................81
ガソリンスタンド..........................61
観光案内から選択する..............114
基本設定...60
切り替える.....................................59
コンパス機能..............................129
施設の検索.....................................94
自宅住所の入力/登録....................62
住所検索...92
周辺の施設の検索.........................95
推奨車線...79
全体的な注意.................................56
全ルート図.....................................70
立寄地点の選択/選択解除..........112
地図から目的地を検索する.......117
地図から目的地を設定する..........66
注意..58
電話番号を使用して検索する.......98
道路外/地図外 (オフロードの目的地)...81
特別なナビのメッセージのオン/オフの切り替え.......................91
ナビの音声案内の音量を調整する..26
燃料が少なくなったことを示す表示...69
別ルート...86
メニューの表示/非表示................60
メモリ地点..................................117
メモリ地点を検索する..............108
目的地検索.....................................92
目的地のダウンロード..............194

目的地のダウンロードの設定オプション.................................205
目的地を入力する..........................61
文字の入力(文字バー)...................31
郵便番号を使用して検索する....106
ルート案内......................................76
ルート条件の選択..........................75
ルートを選択する.......................111
50音パネルを使用しての検索.....99
ETC..139
GPS受信.......................................56
VICS..130
ナビゲーション
重要な安全上の注意事項..............56
ナビの音声案内
停止...26
燃料
消費量表示.....................................46

は

早送り
DVDビデオ................................281
早戻し
DVDビデオ................................281
バランスの調整...................................27
番号のダイアル(電話)......................156
ハンズフリーのマイクのオン/オフを切り替える................................158
日付の形式の設定................................39
ビデオ
参照 DVDビデオ
ビデオAUX
画像の設定..................................262
ビデオDVD
リアエンターテインメントシステム..310
表示灯
リモコン......................................294
表示例
オーディオCDモード................226
ミュージックレジスター............240
昼画面設定...38
ヘッドホン
電池の交換..................................295
放送局サーチ....................................221
放送局の選択
ラジオ...221
放送局プリセット............................221
放送局を記憶させる
ラジオ...222

ま

マイク、オンオフの切り替え..........158
マルチセッションCD......................234
マルチファンクションステアリング
音量の調整.....................................26
ミュージックサーチ........................236
ミュージックレジスター
オンにする..................................240
個々の音楽ファイルの削除........244
再生オプション..........................244
すべての音楽ファイルの削除....242
全体的な注意事項......................239
メモリー容量..............................243
メディアインターフェース
アルファベット順のトラック選択..257
音楽ファイルの選択..................254
外部オーディオソースへの接続 253
外部ビデオソースの接続...........284
カテゴリーを選択する..............255
起動..253
基本メニュー..............................254
再生オプション..........................258
接続オプション..........................252
フォルダの選択..........................255
プレイリストの選択..................255
モード..252
iPod®...252
MP3プレイヤー........................252
MP3プレイヤーのための注意. .258
USB機器...................................252
メディアリスト...............................228
メモリ地点
アドレス帳へのエクスポート....122
並び替え.....................................121
保存..117
メモリー.....................................118
目的地(ナビ)
自宅住所から選択する..................63
自宅住所の入力/登録....................62
自宅住所を削除する......................64
前回の目的地のリストからの選択..109

地図を使用して目的地を入力する.....66
目的地プリセットから削除する...66
目的地プリセットからの選択.......65
目的地プリセット1-3の入力/登録.....64

文字
削除する.....32
入力(ナビ).....31

文字放送
テレビ(リアエンターテインメントシステム).....308

や

夜画面設定.....38

ら

ラジオ
概要.....220
切り替える.....220
交通情報.....223
サウンドの設定(バランス、低音、高音).....26
周波数バンドの切り替え.....221
放送局のメモリ.....221
放送局を記憶させる.....222

ランバーサポート
調整(COMANDシステム).....49

リアエンターテインメントシステム
明るさの調整.....298
色合いの調整.....298
画質の設定.....297
画面の表示形式を変更する.....298
コードレスヘッドホン.....293
コントラストの調整.....298
サウンド設定の調整.....297
システム設定.....298
データの受信を設定する.....309
テレビモード.....305
電池の交換.....295
ヘッドホンで操作する.....296
マルチユーザー.....297
メインスピーカーの使用.....296
AUXモード.....318
CD/DVDオーディオおよびMP3モード.....299
COMANDシステムのソースの作動.....315
DVDビデオ.....310

リアビューカメラ
画像の表示.....52

リセット(工場出荷時の設定).....44

リセット機能.....44

リターンスイッチ.....24

リダイアル(電話).....157

リモコン
スイッチ照明.....292
リアエンターテインメントシステム.....291

履歴
アドレス帳にデータを保存する 166
詳細を表示する.....166
履歴項目を表示し、選択する....165

ルート(ナビ)
交通統計を使用してのルート検索.....90
削除.....69

ルート案内
継続.....85
全体的な注意事項.....76
追加メッセージ.....77
道路外.....81

ルート情報を表示する.....87

連絡先
削除する.....177

英字

360゜カメラ
映像を表示する.....53
作動/解除.....53

AUDIOスイッチ
ミュージックレジスターへの切り替え.....240

AUX(オーディオ)
切り替える.....259
注意および接続.....259

AUX(ビデオ)
音量とサウンドの設定.....285
外部ビデオソースの接続.....284
切り替える.....285
メニューの表示/非表示.....285

AUX端子
CD/DVDドライブ.....292

B-CASカード
情報..264
情報の表示.................................275
Bluetooth®
インターフェース......................148
オーディオ機器の再接続............248
オーディオ機器の接続...............245
オーディオモードの作動...........249
外部認証......................................153
携帯電話......................................149
携帯電話の検索..........................150
作動/解除.......................................40
条件(電話)...................................149
設定..40
全般的な情報.................................40
デバイスリスト..........................246
電話機能に関する注意...............148
電話基本メニュー......................154
はじめに......................................148
パスコードの入力......................151
他の携帯電話との接続...............153
Bluetooth®オーディオ基本画面...249
CD
安全上の注意..............................223
一時停止機能..............................227
コピープロテクト......................235
コンパクトディスクに関する
注意事項......................................235
サウンドの設定(バランス、低
音、高音).......................................26
全般的な情報..............................235
挿入..224
挿入/読み込み(リアエンターテ
インメントシステム).................300
トラックの選択..........................229
取り出し/排出(リアエンターテ
インメントシステム).................300
早送り/早戻し............................230
マルチセッション......................234
メディアの種類の選択...............228
モード、切り替える..................225
CD/DVD
挿入...224
取り出し......................................224
CDモード
再生オプション..........................233
COMAND画像形式の変更(テレビ、ビデオ)......................................262
COMANDコントローラー................23
COMANDコントローラーのスイッチ..23
COMANDコントロールパネル.........21
COMANDシステム
オーディオとビデオのスイッチ...24
走行状況調整機能を呼び出す
(ABC)..48
メニュー概要................................18
COMANDディスプレイ
オン/オフを切り替える................19
設定...38
手入れの説明................................20
COMAND Online
アクティブマルチコントロー
ルシートバック.............................49
オン/オフの切り替え....................25
基本機能...25
シート機能.....................................48
施設をインポートする...............197
設定..217
操作の例...23
ディスプレイ.................................16
マルチコントロールシートバッ
ク...49
COMAND OnlineおよびインターネットBR
参照 オンラインおよびイン
ターネットの機能
Dolby®Digital..................................27
DVD
コピープロテクト......................235
サウンドの設定(バランス、低
音、高音).......................................26
挿入..224
挿入/読み込み(リアエンターテ
インメントシステム).................300
ディスクに関する注意事項.......235
トラックを選択する..................229
取り出し/排出(リアエンターテ
インメントシステム).................300
早送り/早戻し............................230
メディアの種類の選択...............228
DVDオーディオ
安全上の注意..............................223
一時停止.....................................227
オーディオフォーマットの設定 232
再生オプション..........................233

停止機能......227
モード、切り替える......225

DVDビデオ
安全上の注意......278
一時停止機能......281
インターアクティブコンテンツ 284
映像/タイトルの選択......282
映像の自動非表示......262
オーディオフォーマットの設定 283
画像の設定......262
機能の制限......279
切り替える......279
言語の設定......283
再生条件......279
シーン/チャプターを選択する..281
字幕......284
操作......278
ディスクに関する注意......278
ナビゲーションメニューの表示/非表示......280
早送り/早戻し......281
メニューの表示/非表示......280
DVDメニュー......282

ETC
スマートICゲート......140
設定......139
注意......139
履歴......140

Google™ ローカル検索
キーワード検索......192
検索位置の選択......192
検索履歴......194
通常検索......193
目的地/ルートをインポートする 193
目的地として使用する......193

GPSの受信......56

Gracenote® Media Database. .230

Harman/Kardon® Logic 7® サウンドシステム
参照 サラウンドサウンド (harman/kardon®サウンドシステム)

iPod®
アルファベット順のトラック選択......257
カテゴリー／プレイリストの選択......255
メディアインターフェースに接続する......253

iTunes®......257

MP3
安全上の注意......223
一時停止機能......227
再生オプション......233
サウンドの設定(バランス、低音、高音)......26
注意......233
著作権......235
データキャリア......233
トラックの選択......229
早送り/早戻し......230
ビット/サンプリングレート......235
ファイルシステム......233
フォーマット......234
メディアの種類の選択......228
モード、切り替える......225

SDメモリーカード
挿入......225
排出......225

True Image™......29

USB
参照 メディアインターフェース

USB機器を接続する......225

vCardの受信......176

VICS......130

重要な安全上の注意

⚠ **警告**
走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMANDシステムを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

COMANDシステムは例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 道路の道幅の狭さ
- その他、道路や交通ルール、規則

COMANDシステムは地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

わずか50 km/h の速度でも、車両は1秒あたり 14 m の距離を進むことを念頭においてください。

正しく使用するために

COMANDシステムを使用するときは、以下の情報を遵守してください。

- 本説明書の安全に対する注意点
- 道路交通法
- 自動車に関係する法律と安全基準

ℹ 電子部品や、他のシステム（ラジオ、DVDチェンジャー）とそれらのソフトウェアへの不適切な作業は誤作動や故障の原因となります。電子システムは接続されているため、改造されていないシステムにも影響をあたえるおそれがあります。電子システムの誤作動によって車両の操作安全性が重大な危険にさらされることがあります。

ℹ ルーフキャリアシステムが使用されている場合、ルーフアンテナ（電話、GPS) の機能が損なわれることがあります。

フロントガラスに後付けの金属製フィルムをつけるとラジオの受信に影響を与えたり、車内の他のすべてのアンテナ（例：緊急アンテナ）に悪影響を与えるおそれがあります。

ℹ 電子部品の作業や変更はメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのみ行なってください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場では、整備作業を行なうのに必要な専門知識と専用工具を完備しています。メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。特に、安全装備や安全にかかわるシステムについての作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

車両に記憶されているデータ

車両に装備されている電子部品の番号はデータメモリーに記憶されています。

これらのデータメモリーは、以下に関する技術情報を一時的または恒常的に保存します：

- 車両の作動状態
- イベント
- 故障

この技術情報は、一般的に構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態について記録します。

例えば、以下の通りです：

- システム構成部品の作動条件。 バッテリー液レベルなどを含みます。
- 車両および各車両構成部品からの状況メッセージ。 これには、ホイール回転数 / 速度、減速、横方向の加速度などを含みます。
- 重要なシステム構成部品の故障および異常。 これには、ライト、ブレーキなどを含みます。
- 特殊な走行状況での車両の反応。 これには、エアバッグの作動、スタビリティコントロールシステムの介入などを含みます。
- 環境条件。 これには、外気温度などを含みます。

このデータは以下の技術的なことにのみ使用されます：

- 故障や不具合の検知および改良の支援
- 車両機能の最適化

データを使用して、長距離走行に関する車両の動きをたどることはできません。

お客様の車両が整備を受けたときは、この技術情報がイベントおよび故障メモリーから読み出されます。

メンテナンスには以下が含まれます：

- 修理
- メンテナンス処理
- 保証請求
- 品質保証

この情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場の認定された従業員（メーカーを含む）が特別な診断機を使用して読み出します。 必要に応じて、詳細をそこで確認することができます。

故障が解決されたあと、情報は故障メモリーから消去されるか、絶えず上書きされます。

通常の車両操作で、サービスデータは他の情報と併せて個人情報となる可能性があり、該当機関への提出を求められる場合があります。

以下に例を示します：

- 事故レポート
- 車両の損傷
- 目撃者証言

さらに、お客様と契約により同意し追加した機能は、同様に独自の車両データを車両から取得することができます。 このような追加機能は、非常時の車両位置などを含んでいます。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場

車両の取扱説明書にあるメルセデス・ベンツ指定サービス工場についての情報をお読みください。

著作権の情報

全体的な注意事項

車両やその電子部品で使用されているフリーのオープンソースソフトウェアのライセンスの情報を以下のウェブサイトで見つけることができます：http://www.mercedes-benz.com/opensource

COMANDシステムの特徴

この取扱説明書は、お買い上げいただいた時点で利用可能な、COMANDシステムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。このことは、安全に関する装備や機能についても当てはまります。そのため、記載されている内容やイラストが、お客様の車両の装備と異なる場合があります。装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

機能の制限

安全のために、車両走行中はCOMANDシステムのいくつかの機能が制限されたり、利用できないことがあります。このことは、例えば、いくつかのメニュー項目が選択できなかったり、COMANDシステムにこの結果に対するメッセージが表示されることで、ご確認いただけます。

COMANDシステムの特徴 16
COMANDシステムの操作システム 16
COMANDシステムの操作 24
COMANDシステムの基本機能 25
文字入力 31
スプリットビュー 33

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

COMANDシステムの操作システム

概要

① COMANDディスプレイ (▷ 16 ページ)
② シングル DVD ドライブ付き COMANDコントロールパネル
③ COMANDコントローラー (▷ 23 ページ)

COMANDシステムを使用して以下の基本機能が操作できます。

- ナビゲーションシステム
- オーディオ機能
- 電話機能
- ビデオ機能
- システムの設定
- オンラインとインターネット機能
- デジタル版取扱説明書
  (車両モデルにより使用可能)

以下のようにして基本機能を呼び出すことができます。

- 対応する機能スイッチを使用して
- COMANDディスプレイの基本機能バーを使用して
- リモコンを使用して

COMANDディスプレイ

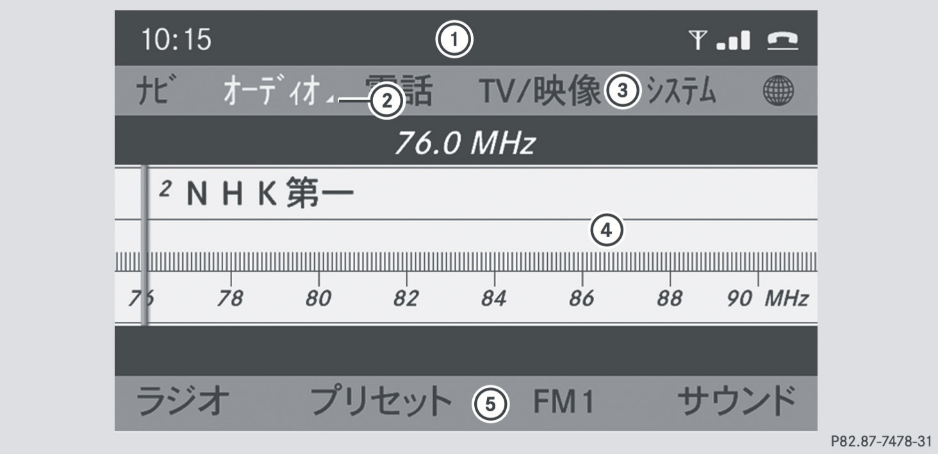
全体的な注意事項

! 収納のためにディスプレイの前のスペースを使用しないでください。 ここに置かれたものにより、ディスプレイを損傷したり、機能が損なわれることがあります。 ディスプレイの表面に直接触れないようにしてください。 ディスプレイの表面にかかる力で、復元できないような損傷をディスプレイに与えるおそれがあります。

偏光サングラスを着用するとディスプレイの視認性が損なわれることがあります。

ディスプレイは温度制御による自動スイッチオフの機能があります。気温が高すぎると、明るさは自動的に低下します。必要であれば、画面は一時的に完全にオフになります。

ディスプレイの概要



ラジオの表示例

① ステータスバー

② オーディオメニューの呼び出し

③ 基本機能バー

④ 表示/選択ウインドウ

⑤ ラジオメニューバー

ステータスバー ① には、時間、作動しているネットワークプロバイダーおよび電波強度が表示されます。

基本機能のナビ、オーディオ、電話、TV/映像には追加メニューがあります。これは三角 ② によって示されます。以下の表には使用可能なメニュー項目が記載されています。

基本機能バー ③ で好みの基本機能を呼び出すことができます。基本機能が作動しているときは、白色の文字によって識別可能です。

例えば、オーディオ基本機能内でラジオモードがオンになると、表示/選択ウインドウ ④ が作動します。

メニューバー ⑤ でラジオ機能を操作することができます。

メニュー概要

ナビ	オーディオ	電話	TV/映像	システム	🌐 マーク
地図表示切替	ラジオ	電話	テレビ	設定メニューを呼び出す	デジタル版取扱説明書を呼び出す（車種により使用可能）
地図表示形式	ディスク	アドレス帳	DVD ビデオ		COMAND Onlineとインターネットを呼び出す
VICS表示	メモリーカード		AUX		
施設マークの表示	ミュージックレジスター				
設定	USBメモリー				
案内の中止/継続	メディアインターフェース				
コンパス	Bluetooth オーディオ				
	AUX				

システムメニュー概要

システム	時計	スプリットビュー	消費	シート	ディスプレイオフ
ディスプレイの設定	☑ 自動時刻設定のオン/オフを切り替え	助手席側からのCOMANDシステム機能の操作	燃料消費量表示を呼び出す	運転席/助手席の設定を変更する	ディスプレイのオフ
音声認識	手動時刻設定				
パーキングアシストリアビューカメラまたは360°カメラ	時刻/日付形式の設定				
言語の設定					
お気に入りスイッチ					
☑Bluetooth®の作動/解除					
自動音量調整					
データのインポート/エクスポート					
COMANDシステムをリセットする					

ℹ メニュー項目の 360° カメラ が表示されている場合は、システムから 画面OFF を呼び出すことができます。

COMANDディスプレイのオン/オフを切り替える

▶ SYS 機能スイッチを押します。

または

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで システム を選択し、押して ◎ 確定します。

いずれの場合も、システムメニューが表示されます。

- **オフにする：** 画面OFF を選択し、押して ⓢ 確定します。
- **オンにする：** SYS⊙、NAVI のような機能スイッチの1つ、または ⮌ スイッチを押します。

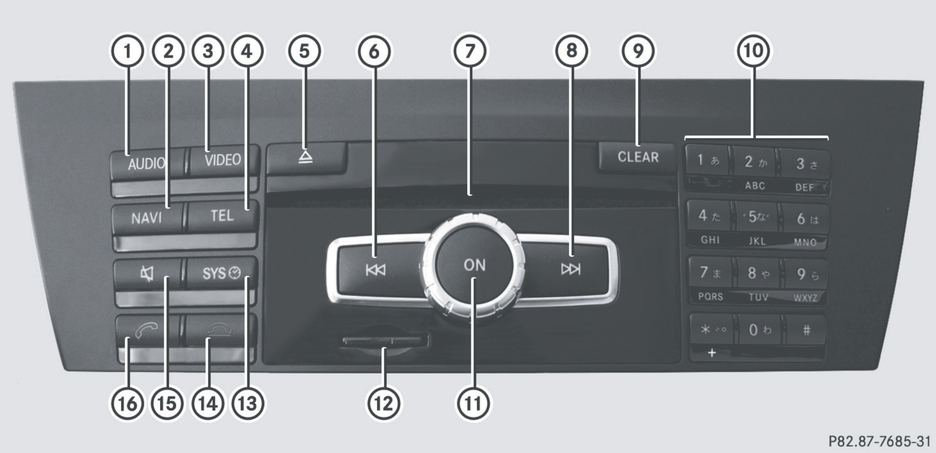
手入れの説明

! COMANDディスプレイには触れないでください。 ディスプレイはとても繊細な高光沢の表面のため、損傷するおそれがあります。 画面をきれいにする場合には、中性洗剤と柔らかく毛羽の立たない布を使用してください。

清掃を始める前に、ディスプレイをオフにして、冷ましてください。必要なときは市販のマイクロファイバークロスとTFT/LCDディスプレイ用の洗剤でディスプレイ画面を清掃してください。復元不可能な損傷の原因になるおそれがあるため、清掃するときはディスプレイ表面に力を加えないでください。そして乾いたマイクロファイバーの布で表面を拭き取ってください。

アルコール性シンナーや、ガソリン、研磨洗浄剤を使用しないでください。ディスプレイの表面を損傷するおそれがあります。

COMANDコントロールパネル



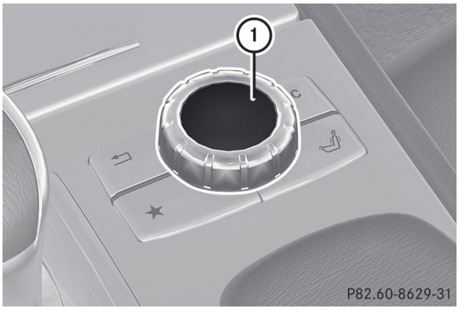
	機能	ページ
①	最後に選択されていたオーディオモード（例：ラジオモード）に切り替える	220
②	ナビゲーションモードに切り替える	59
	設定メニューを表示する	60
③	最後に選択されていたビデオモード（例：テレビモード）に切り替える	264
④	電話基本メニュー（Bluetooth® インターフェースによる電話機能）を呼び出す	154
	アドレス帳を呼び出す	170
⑤	挿入/排出スイッチ	224
⑥	放送局サーチ機能を使用して放送局を設定する	221
	早戻し	230
	前のトラックを選択する	229

	機能	ページ
⑦	ディスクスロット	
	• CD/DVDを挿入する	224
	• CD/DVDを排出する	224
⑧	放送局サーチ機能を使用して放送局を設定する	221
	早送り	230
	次のトラックを選択する	229
⑨	クリアスイッチ	
	• 文字を削除する	32
	• 項目を削除する	32

	機能	ページ
⑩	テンキー	
	• 放送局プリセットによって放送局を選択する	221
	• 手動で放送局を登録する	222
	• 携帯電話を認証する	151
	• 電話番号の入力	156
	• 文字入力	31
	• メモリーから天気予報の場所を選択する	198
	# 再生されている現在のトラックを表示する	232
	# 文字バーのあるリスト：文字の設定（かな/漢字/アルファベット/カタカナ/数字入力）を切り替える	31
	# 選択リストとしてのリスト：文字の設定	31
	（カタカナ/アルファベット）を切り替える	
	* 周波数を手動で入力して放送局を選択する	221
	* トラックを選択する	229
⑪	COMANDシステムのオン/オフの切り替え	25
	音量の調整	26
⑫	SDメモリーカードスロット	225
⑬	設定メニューを呼び出す	38
⑭	通話を拒否する	155
	通話を終える	155
	保留中の通話を拒否する	159
⑮	ミュート	25
	ハンズフリーマイクのオン/オフを切り替える	158
	ナビゲーションの音声案内を停止する	26
⑯	通話を受ける	155
	番号をダイアルする	156
	リダイアル	157
	保留中の通話を受ける	159

COMANDコントローラー

概要



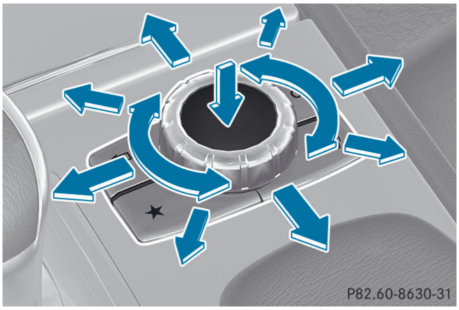
① COMANDコントローラー

COMANDコントローラーを使用してCOMANDディスプレイのメニュー項目を選択できます。

以下のことができます。

- メニューまたはリストの呼び出し
- メニューまたはリスト内のスクロール、そして
- メニューまたはリストの終了

操作



例：COMANDコントローラーを操作する

COMANDコントローラーは以下のようなことができます。

- 軽く押す、または押して保持する
- 時計回り、または反時計回りにまわす
- 左右にスライドする
- 前後にスライドする
- 斜めにスライドする

操作の例

説明では、操作の順番は以下に記載されているようになります。

▶ AUDIO スイッチを押します。

最後に選択されていたオーディオソースがオンになります。

▶ COMANDコントローラーをスライドして、オーディオ を選択し、押して 確定します。

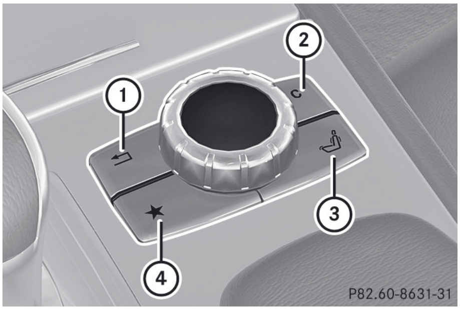
オーディオメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして、ミュージックレジスター のように異なるオーディオソースを選択し、押して 確定します。

ミュージックレジスターがオンになります。

COMANDコントローラーのスイッチ

概要



① リターンスイッチ (▷ 24 ページ)
② クリアスイッチ (▷ 24 ページ)
③ シート機能のスイッチ (▷ 48 ページ)
④ お気に入りスイッチ (▷ 41 ページ)

ℹ 車両にシート機能スイッチがない場合は、2つのお気に入りスイッチがあります。

ℹ AMG車両：COMANDコントローラーはスイッチ ① および ② で構成されます。

リターンスイッチ

[↩] スイッチを使用してメニューを終了したり、現在の操作モードの基本画面を呼び出すことができます。

- ▶ **メニューを終了する：** [↩] スイッチを軽く押します。
  COMANDシステムは現在の操作モードのなかで、一つ上のメニュー階層に切り替わります。
- ▶ **基本画面を呼び出す：** [↩]スイッチを押して保持します。
  COMANDシステムは現在の操作モードの基本表示に切り替わります。

クリアスイッチ

- ▶ **個々の文字を削除する：** [c] スイッチを軽く押します。
- ▶ **入力全体を削除する：** [c]スイッチを押して保持します。

シート機能のスイッチ

[シート] スイッチを使用して、以下のシート機能を呼び出すことができます。

- マルチコントロールシートバック（電動ランバーサポート付）
- アクティブマルチコントロールシートバック（ダイナミックシートとマッサージ機能）
- バランス（シートヒーターの配分）

シート機能の詳細 (▷ 48 ページ)。

お気に入りスイッチ

[＊] スイッチにあらかじめ機能を設定し、スイッチ (▷ 41 ページ) を押して呼び出すことができます。

オーディオおよびビデオのスイッチ

[AUDIO] スイッチで、最後に選択していたオーディオソースを呼び出します。

[VIDEO] スイッチで、最後に選択していたビデオソースを呼び出します。

COMANDシステムの操作

基本機能を選択する

P82.87-7496-31

P82.87-9225-31

状況：ナビゲーションモードからシステム設定に切り替える。

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** [NAVI] 機能スイッチを押します。

- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- COMANDコントローラーをスライドして 、基本機能バーに切り替えます。
- COMANDコントローラーをまわして 、基本機能バーで 設定 を選択し、押して 確定します。
  システムメニューが表示されます。

基本機能のメニューの選択

P82.87-7498-31

P82.87-7499-31

音楽CDモードとオーディオメニューの表示例（下記）

ナビゲーション、オーディオ、電話またはビデオの基本機能の1つがオンになると、三角 が基本機能バーの項目の隣に表示されます。そして関連のメニューを選択できます。

例として、音楽CDモード（音楽CDが再生されている）からオーディオメニューを呼び出す方法を示します。

- COMANDコントローラーをスライドしてから 、まわして 、基本機能バーの オーディオ を選択し、押して 確定します。
  オーディオメニューが表示されます。
  ドット • は現在選択されているオーディオモードを示しています。
- COMANDコントローラーをまわして 、ラジオ のような他のオーディオモードを選択し、押して 確定します。
  ラジオモードがオンになります。

COMANDシステムの基本機能

COMANDシステムのオン/オフの切り替え

- コントロールノブ ON を押します。
  COMANDシステムをオンにしたときは、警告メッセージが表示されます。COMANDシステムは以前選択したメニューを呼び出します。
  COMANDシステムをオフにすると、現在のオーディオまたはビデオソースの再生もオフになります。

ミュート

オーディオ/ビデオソースからのサウンド

- COMANDコントローラーまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
  それぞれのオーディオまたはビデオソースからのサウンドがオンになるか、消音されます。

ℹ 音がオフになっているときは、ステータスバーに マークが表示されます。

オーディオまたはビデオソースを変更し

た、または音量を変更した場合は、音は自動的にオンになります。

ℹ 消音されていても、ナビシステムの音声案内は行なわれます。

ナビの音声案内のオフ

▶ **ナビの音声案内：** 音声案内中に [🔇] スイッチを押します。

ナビの音声案内を元に戻す

▶ [🔇] スイッチを再度押します。

ナビの音声案内は以下のとき再びオンになります。

- コントロールノブ (ON) でCOMANDシステムのオン/オフを切り替える場合
- または新しいルート案内を開始する場合

音量の調整

オーディオまたはビデオソースの音量を調整する

▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。
現在選択されているオーディオやビデオのソースの音量が変わります。

以下の場合に音量を調整することができます。

- ナビの音声案内
- 電話の通話
- 音声認識システムの音声出力（別冊取扱説明書をご覧ください）

ナビの音声案内の音量を調整する

ナビの音声案内が行なわれているとき

▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

電話の通話音量を調整する

通話中にハンズフリーモードの音量を調整することができます。

▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

サウンド設定を調整する

サウンドメニューを呼び出す

P82.87-7498-31

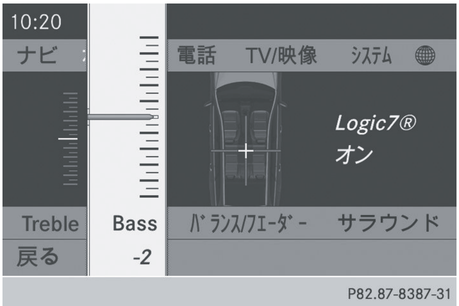
異なるオーディオやビデオソースのサウンドのさまざまな設定ができます。例えば、音楽CDモードよりもラジオモードに、より低音を設定できます。好みのモードのメニューからそれぞれのサウンドメニューを呼び出すことができます。

音楽CDモードでサウンドメニューをどのように呼び出すかの例を示します。

▶ AUDIO スイッチを押します。
音楽CDモードが最後に選択されたモードの場合、音楽CDモードが作動します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、サウンド を選択し、押して ◎ 確定します。
音楽CDモードで高音、低音およびバランスを設定できます。

高温と低音の設定

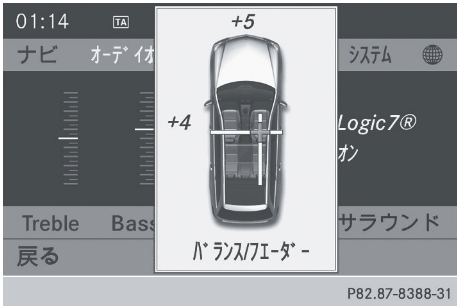


低音の設定

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、サウンドメニューの Treble または Bass を選択し、押して ◎ 確定します。
調整スケールが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、設定を選択し、押して ◎ 確定します。
設定が保存されます。

バランスとフェーダーの設定



バランスを設定する

バランス機能は運転席側または助手席側のいずれかのサウンドを大きくするかを制御するために使用します。

フェーダー機能は車両のフロントまたはリアのいずれかのサウンドを大きくするかを制御するために使用します。

車両モデルによってフェーダーを調整することができます。

Bang & Olufsen サウンドシステムの装備： 最良のサウンドを集中させるためには、0の設定を選択します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、サウンドメニューの バランス/フェーダー を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、バランスの設定を選択し、押して ◎ 確定します。

サラウンドサウンド

全体的な注意事項

車両にサラウンドサウンドが装備されている場合は、以下の2つのサウンドシステムの1つを使用することができます。

- harman/kardon®Logic 7® サラウンドシステム

  harman/kardon®Logic 7® サラウンドシステムは車内の最適なサラウンド

サウンドを設定します(▷ 28 ページ)。

- Bang & Olufsen サウンドシステム(▷ 29 ページ)

いずれのサウンドシステムも以下の操作モードで使用可能です。

- ラジオ (FMのみ)
- 音楽CD
- DVDオーディオ (MLP、dts、PCMとDolby Digitalのオーディオフォーマット)
- MP3 (SDメモリーカードとUSB記憶機器を含む)
- メディアインターフェース
- Bluetooth® オーディオでの操作
- テレビ
- DVD ビデオ (PCM、dts と Dolby Digitalのオーディオフォーマット)
- 外部入力

多くのDVDにはステレオとマルチチャンネルオーディオの両方のフォーマットが含まれているため、オーディオフォーマットを設定する必要があることがあります(▷ 283 ページ)。

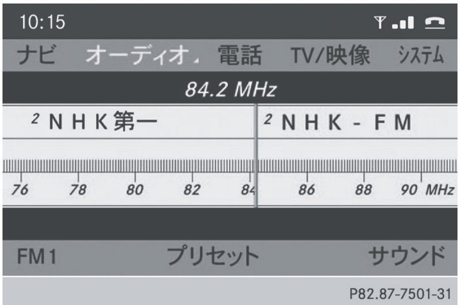
記述したオーディオフォーマットをサポートしているディスクには以下のようなロゴがあります。

P82.87-2986-31

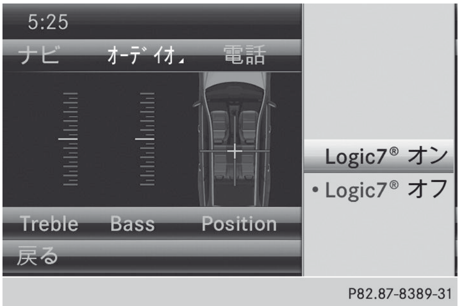
P82.86-9782-31

P82.86-9780-31

harman/kardon®Logic 7® サラウンドシステム



P82.87-7501-31



P82.87-8389-31

ラジオモードでサラウンドサウンドをどのように設定するかの例を示します。

▶ **サラウンドサウンドのオン/オフを切り替える：** AUDIO スイッチを押します。

最後に選択されていたモードがラジオモードの場合、ラジオ画面が表示されます。最後に選択した周波数バンドで再生していた最後の放送局が聞こえます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、サウ

ンド を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ サラウンド を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、Logic7® ON または Logic7® OFF を選択し、押して ◎ 確定します。
選択によって、サラウンドがオンまたはオフになり、メニューが終了します。

ℹ 以下のことに注意してください。Logic7® が作動しているときにすべての乗員が最適なオーディオ体験をするには、バランスを車内の中央に設定しなければなりません。

高品質の音楽やDVDビデオを再生することにより、最良のサウンドが得られます。

MP3のトラックのビットレートは少なくとも 128 kbit/s でなくてはなりません。

サラウンド再生はAMラジオモードのようなモノラル信号のソースでは機能しません。

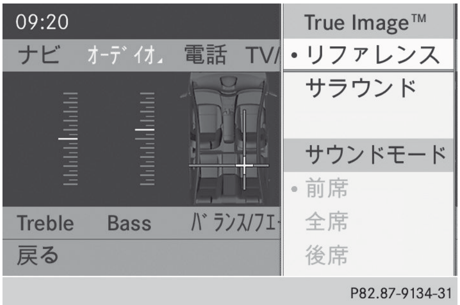
トンネル内などのラジオの受信が弱い場合は、ステレオとモノラルで切り替わったり、一時的な音の歪みの原因になることがあるため、 Logic 7®をオフにしてください。

ステレオ録音されたもののなかには、通常のステレオ再生とは音の特性が異なることがあります。

ℹ Logic7®ON 機能は、例えば、ステレオ録音されたものを再生するときに、どの乗員もサラウンドサウンドの体験ができます。MLP、dtsまたはDolby DigitalのようなマルチチャンネルのオーディオフォーマットのフォーマットのCD、DVDオーディオまたはDVDビデオで音楽や映画を最適に再生することができます。このようにして、オリジナルの録音時にサウンドエンジニアが意図したようなサウンド特性になります。

ℹ Logic7® OFF を選択した場合は、サウンドシステムはメディアに保存されたようにトラックを再生します。室内空間のデザインのため、乗員すべてに最適なオーディオ体験が保証されているわけではありません。

Bang & Olufsen サウンドシステム



Bang & Olufsen サウンドシステムおよびTrue Image™ サウンド技術で車両のサウンドを最適にすることができます。サウンドモード 機能は、車内で選択したサウンドの設定を集中させることができます。

ラジオモードで最適なサウンドをどのように設定するかの例を示します。

True Image™のサウンドの設定の選択

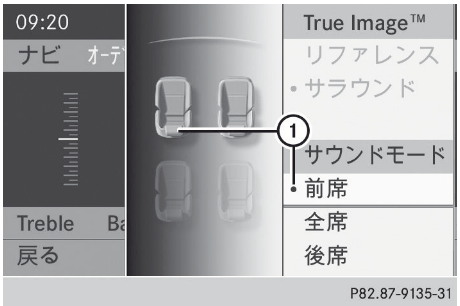
▶ AUDIO のようなテンキーを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、サウンド を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ Bang&Olufsen を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。ドット • は True Image™の現在の設定を示します。

▶ リファレンス または サラウンド を選択し、押して ⊛ 確定します。

• リファレンス
この設定は車内をスタジオの雰囲気のような、心地よくクリアで、贅沢かつ良質なサウンドの設定を提供します。
• Surround
この設定によって音楽やビデオの再生で幅広い音の体験を可能にします。



① サウンド設定の現在位置

音楽を最適に楽しむために、1つのシートに正確にサウンドイメージを集中することができます。これは、全システムのパラメーターが選択された位置で正確に計算されることにより、お客様が音楽の中心にいることを意味しています。結果として車内で本来の音楽を再現することになります。

サウンドの設定に焦点をあてる

▶ AUDIO スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎ 、サウンド を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ Bang&Olufsen を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。ドット ● はサウンドモードの現在の設定を示します。

車両のモデルシリーズにより

▶ 左、全席 または 後席 を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ 左、全席 または 右 を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 以下のことに注意してください。高品質の音楽DVDおよびCDを再生することによって、Bang & Olufsenサウンドシステムで最高のサウンドの結果を得ることができます。

MP3のトラックのビットレートは少なくとも 224 kbit/s でなくてはなりません。

iPod®で音楽を再生するときも、ビットレートを少なくとも224 kbit/sにしなければなりません。

最適な再生品質のために：

▶ iPod®の"EQ" 設定を解除します。

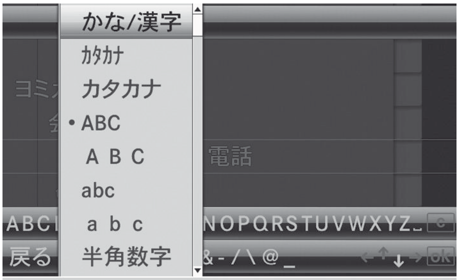
サラウンド再生はラジオモードでの中波域のようなモノラル信号ソースでは機能しません。

ステレオ録音されたもののなかには、通常のステレオ再生とは音の特性が異なることがあります。

文字入力

COMANDコントローラーを使用して

文字種類を選択する



P82.87-9392-31

例えば、電話やアドレス帳項目を検索するときに、文字種類を選択することができます。

▶ 例えば、アドレス帳を呼び出します (▷ 170 ページ)。

▶ アドレス帳でCOMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
項目が 8 つ以上ある場合は、検索メニューと文字バーが表示されます。

▶ 文字 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 文字種類を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 項目の種類によって、使用できる文字の種類が異なります。電話番号と郵便番号を入力するときは、文字の種類は自動的に数字の入力に切り替わります。

文字種類	説明
かな/漢字	ひらがな/漢字
ｶﾀｶﾅ	カタカナ（半角）
カタカナ	カタカナ（全角）
ABC	大文字のアルファベット（半角）(単語の最初の1文字だけが大文字になります)
Ａ Ｂ Ｃ	大文字のアルファベット（全角）(単語の最初の1文字だけが大文字になります)
abc	小文字のアルファベット（半角）
ａ ｂ ｃ	小文字のアルファベット（全角）
半角数字	数字と主要記号（半角）
全角数字	数字と主要記号（全角）
特別文字	追加文字
特別数字	丸数字やローマ数字
マーク	マーク

文字の入力

▶ ↑↓←→ を使用して入力する行の位置を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、文字を選択します。

または

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、文字を選択します。

または

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、文字を選択し、押して ◎ 確定します。

ひらがなとカタカナを入力する

P82.87-9393-31

- **ひらがなまたはカタカナを選択する：** COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓。
- **文字を選択する：** COMANDコントローラーをまわします ↺◎↻。
- **文字を確定する：** COMANDコントローラーを押します ◎。

文字を削除する

- **個々の文字を削除する：** COMANDコントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ↺◎↻ 、アイコン c を選択し、押して ◎ 確定します。

または

- COMANDコントローラー脇の、またはCOMANDコントロールパネルの c スイッチを押します。
  カーソルの左側の1文字が削除されます。
- **入力を削除する：** c アイコンを選択し、入力が完全に削除されるまでCOMANDコントローラーを押して保持します ◎。

または

- 入力が完全に削除されるまで、COMANDコントローラー隣またはCOMANDコントロールパネルの c スイッチを押して保持します。

COMANDコントロールパネルのテンキーを使用する（直接入力）

文字種類を選択する

- COMANDコントロールパネルの # スイッチを押します。
  文字バーのあるリストが表示される場合は、 # スイッチを押して、この順番で文字の設定を変更することができます：かな/漢字 → ｶﾀｶﾅ → カタカナ → ABC → ＡＢＣ → abc → ａｂｃ → 半角数字 → 全角数字 → かな/漢字 → …
  リストが選択リストとして表示される場合は、 # スイッチを押して、文字の設定をカタカナからアルファベットに切り替えることができます。

ℹ 項目の種類によって、使用できる文字の種類が異なります。

ℹ 特別文字、特別数字、特別記号 の文字の種類はCOMANDコントローラーで選択できます。

数字を入力する

- 対応するテンキーを1つずつ押します。

ひらがなやカタカナ、句読点などを入力する

- 希望の文字が書かれたテンキーを押します。
  キーを押すと画面下部に文字が表示されます。最初に使用できる文字が強調されます。
- スイッチを押すごとに、文字バーで次の文字が選択されます。
  選択された文字は約2秒後に挿入されます。

ℹ 入力する文字が選択された後に、いずれかのテンキーを押しても文字が挿入されます。

ひらがなを漢字に変換する

P82.87-9394-31

▶ 漢字の読みをひらがなで入力します。
変換するひらがながアミかけで表示されます。

ℹ 変換するひらがな文字の範囲を変更する： ← → でカーソルを動かします。

P82.87-9395-31

▶ 変換 を選択します。
使用可能な漢字が表示されます。

▶ **項目の文字を選択する：** COMANDコントローラーをまわします ◎。

または

▶ COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓ 。

▶ 変換するひらがなの範囲が長いときは、← → を使用してカーソルを動かして範囲を変更します。

スプリットビュー

操作方法

スプリットビューにより、異なるCOMANDシステムの機能を助手席側および運転席側で同時に使用することができます。ディスプレイを見るときの視点に応じて異なる内容を見られます。

例えば助手席側でビデオを見ている間に、"ナビ" 機能を運転席側から使用することができます。

スプリットビューは助手席側からリモコンで操作されます。

そのためには、特別なラジオヘッドフォンを使用してください。正しい側でヘッドフォンを使用することにより、最適なサウンドが確保されます。

ご自分のヘッドフォンを特別なヘッドフォンジャックに接続できます。リモコンを使用してそれを操作できます。

留意点

- ヘッドフォンの音量の調整は、直接ヘッドフォンでのみ行えます。
- オーディオ、テレビ、ビデオおよびインターネットなどのエンターテインメント機能のみをスプリットビューで別々に使用することができます。
- メディアが異なるソースからの場合にのみ、運転席および助手席側から別々にメディアを操作することができます。例：運転席側でDVDチェンジャーからメディアが再生されている。その場合は、DVDチェンジャーから再生される他のメディアは、助手席側で別々に使用することはできません。ただし、助手席側ではラジオ、メモリーカード、ミュージックレジスター、メディアインターフェース、USBまたは外部入力を含む他のメディアを同時に使用することができます。

- 両側で同じメディアを使用する場合は、それぞれの設定を両方で行うことことができます。
- インターネットは、つねに運転席または助手席のいずれかでのみ使用できます。マルチファンクションディスプレイに対応するメッセージが表示されます。
- インターネットは、運転席側の自動車電話から設定および接続されている場合のみ使用できます。
- マルチファンクションステアリングは、運転席側に関連した機能のためにのみ使用することができます。

スプリットビューのオン/オフの切り替え

P82.87-9116-31

スプリットビューをオンにする

▶ 基本機能バーの設定を、COMANDコントローラーをまわして 選択し、を押して確定します。

▶ メニューバーで② を選択して確定します。
スプリットビューマーク ① がディスプレイに表示され、ディスプレイ ② がOFFに切り替わります。
助手席では最後に使用していた機能がディスプレイに表示されます。その前に使用時間が30分以上だった場合は、運転席側からのディスプレイが表示されます。

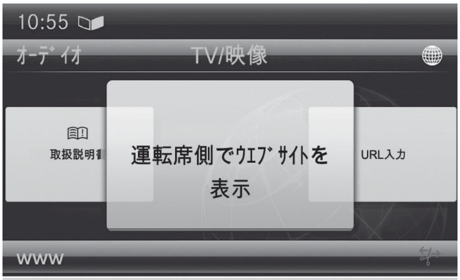
スプリットビューをオフにする

▶ メニューバーの ② をCOMANDコントローラーをまわして 選択し、を押して確定します。
スプリットビューマーク ① がディスプレイから消えます。ディスプレイ ② が ｵﾝに切り替わります。

ℹ COMANDシステムがすでにオンになっている場合は、リモコンを使用してスプリットビューのオンおよびオフを切り替えることもできます。スプリットビューマークがリモコンサムホイールで設定されていることを確認してください(▷ 291 ページ)。

エンジンスイッチのキーが0 の位置にまわされた後に、スプリットビューの画面は約30分間そのままになります。その後、またはキーが取り外された後に、助手席側の設定は約30分以上保存されます。この期間の後は、助手席側の再作動は運転席側からの設定が使用されていることを意味します。

運転席側のウェブサイトを転送する



P82.87-9123-31

▶ スプリットビューをオンにする：基本機能バーの設定をCOMANDコント

ローラーをまわして 選択し、 を押して確定します。

▶ メニューバーで② を選択して確定します。
スプリットビューマーク ① がディスプレイに表示され、ディスプレイ② が OFFに切り替わります。

▶ リモコンで基本機能バーの を選択します。
以下のオプションのカルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

- 取扱説明書
- URLを入力する
- Internet favourites（インターネットのお気に入り）
- Mercedes-Benz Apps
- ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾗｼﾞｵ
- ﾒﾙｾﾃﾞｽﾓﾊﾞｲﾙ ｳｪﾌﾞｻｲﾄ
- Transfer driver's website（運転席側のウェブサイトを転送する）

▶ リモコンで Transfer driver's website（運転席側のウェブサイトを転送する）を選択します。
運転者が最後に呼び出したウェブサイトが表示されます。

運転者に目的地を転送する

スプリットビューを使用すると、助手席側から目的地を選択して、それを運転席側に転送することができます。

▶ スプリットビューをオンにする：基本機能バーの設定を、COMANDコントローラーをまわして 選択し、 を押して確定します。

▶ メニューバーで② を選択して確定します。
スプリットビューマーク① がディスプレイに表示され、ディスプレイ② が OFFに切り替わります。

▶ リモコンで基本機能バーの を選択します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ リモコンでMercedes-Benz Appsを選択します。
メルセデス・ベンツアプリケーションの選択肢が表示されます。

▶ リモコンでGoogle Local Search（Googleローカルサーチ）を選択します。
メニューを使用して、目的地のカテゴリーを選択できます。

▶ たとえばAt current location（現在地）を選択します。
メニューを使用して、検索の種類を決めることができます。

▶ たとえば検索する語句:を選択します。
入力フィールドが表示されます。

▶ リモコンで目的地を入力して、OK で入力内容を確定します。
Googleの結果リストを見ることができます。

▶ リモコンで正確な目的地を選択します。
追加メニューが表示されます。

▶ ルート案内を選択します。

▶ 運転席側に以下のメッセージとともにポップアップウィンドウが表示されます: Should the navigation data from Mercedes-Benz Apps be accepted?（メルセデス・ベンツアプリケーションからのナビゲーションデータを取り込みますか？）

COMANDシステムの特徴 38
ディスプレイの設定 38
時刻の設定 39
音声認識機能の設定 40
Bluetooth® の設定 40
システム言語の設定 41
お気に入りスイッチの指定 41
データのインポート/エクスポート 42
リセット機能 44

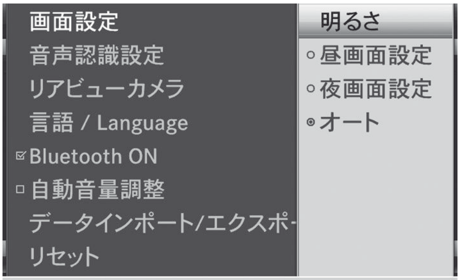
COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

ディスプレイの設定

照度設定アイコン

ディスプレイライトセンサーによって検知された明るさは本機能の設定オプションに影響をあたえます。



P82.87-9247-31

- 押します SYS。
- COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して ◎ 確定します。
- 画面設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 明るさ を選択し、押して ◎ 確定します。
- COMANDコントローラーをまわして ◎ 明るさを調整し、押して ◎ 確定します。

ディスプレイデザイン

COMANDディスプレイは昼間や夜間の操作のために最適なデザインになるという機能があります。手動で昼または夜のデザインを選択したり、自動設定を選択したりして、デザインをカスタマイズすることができます。

- 押します SYS。
- COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して ◎ 確定します。
- 画面設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- COMANDコントローラーをまわして ◎、昼画面設定、夜画面設定 または オート を選択し、押して ◎ 確定します。
  ドットは現在の設定を示しています。

デザイン	説明
昼画面設定	ディスプレイは常に昼デザインに設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜デザインに設定されます。
オート	オート の設定が選択されている場合は、COMANDシステムは車両の自動ライトセンサーからの測定値を評価し、自動的にディスプレイデザインを切り替えます。

時刻の設定

全体的な注意事項

COMANDシステムにナビゲーションシステムが装備されている場合、GPSを受信すると、COMANDシステムは自動的に時刻と日付を設定します。時刻を分単位で変更できます。日付を変更することもできます。

ℹ 正しい時刻、タイムゾーン、サマータイム / 標準時間の設定は、以下のナビゲーションシステムの機能が正しく作動するために必要です。

- 時刻に依存した交通案内のルートでのルート案内
- 到着予想時刻の計算

ℹ この機能を使用して、車両の全てのディスプレイの時刻を設定します。

時刻/日付の形式の設定

▶ [SYS] スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、時間 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 表示形式 を選択し、押して ⊛ 確定します。
現在の設定に ● マークが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕 表示形式を設定し、押して ⊛ 確定します。

省略形	意味
DD. MM. YY	日 月 年 （日付の形式、2桁）
MM/DD/YYYY	月/日/年 日付の形式、年（全4桁）
YY/MM/DD	年/月/日 日付の形式、年（2桁）
時間表示形式（24 H）	時：分 (24時間形式)
時間表示形式（AM/PM）	時：分 (午前/午後形式)

自動時刻設定

工場出荷時は、自動時刻設定が作動しています。

▶ **自動時刻設定のオン/オフを切り替える：**[SYS] スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、時間 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、時間設定 自動 を確定します。
自動時刻設定を再度オフ ☐ またはオン ☑ にします。

時刻の手動設定

P82.87-9180-31

- ▶ SYS スイッチを押します。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、時間 を選択し、押して 確定します。
- ▶ 時間設定 手動 を選択し、押して 確定します。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、時刻を設定し、押して 確定します。
  時刻が決定されます。

音声認識機能の設定

ヘルプ表示を開く/閉じる

ヘルプ表示は、音声認識学習中、および次の音声認識をしているときに、音声指示に加えて情報を提供します。

- ▶ 押します SYS
- ▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して 確定します。
- ▶ 音声認識設定 を選択し、押して 確定します。
- ▶ ヘルプ表示 を選択し、押して 確定します。
  ヘルプ表示をオン ☑ またはオフ ☐ にします。

音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様自身の声に細かく合わせ、音声認識を向上させることができます。別冊取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® に関する全般的な情報

Bluetooth® テクノロジーは、約10mまでの短距離でのワイヤレスデータ通信の規格です。例えば、Bluetooth® を使用して vCard の交換もできます。

Bluetooth®

P82.86-9790-31

Bluetooth® は Bluetooth Special Interest Group (SIG) Inc.の登録商標です。

Bluetooth® の作動 / 解除

- ▶ SYS スイッチを押します。
  システムメニューが表示されます。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して 確定します。
- ▶ Bluetooth ON を選択し、 を押して確定します。
  この操作により、Bluetooth® をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

システム言語の設定

本機能はメニュー表示とナビ音声案内の言語を決定できます。選択した言語は入力の文字にも適用されます。

システム言語を変更すると、音声認識設定の言語もまた変更されます。選択した言語が音声認識機能でサポートされていない場合は、英語が選択されます。

▶ SYS スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して 確定します。

▶ 言語/Language を選択し、押して 確定します。
言語の一覧が表示されます。ドット ● は現在の設定を示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、言語を選択し、押して 確定します。
COMANDシステムは選択した言語を読み込み、それを設定します。

ℹ 言語を切り替えると、ナビの地図の文字情報がそれぞれの言語（英語/日本語の地図）で表示されます。

お気に入りスイッチの指定

▶ **お気に入りスイッチを指定する：** SYS スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して 確定します。

▶ フェイバリット ボタン を選択し、押して 確定します。
あらかじめ設定した機能のリストが表示されます。
ドット ● は現在選択されている機能を示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、機能を選択し、押して 確定します。
お気に入りスイッチには選択されている機能が指定されています。

▶ **例：お気に入りを呼び出す：** ★ スイッチを押します。
これによりあらかじめ設定された機能を呼び出します。

メニューであらかじめ設定された以下の機能を選択できます。

- スプリットビューのオン/オフ：助手席の画面表示のオン/オフを切り替えることができます。
- 画面 オフ/オン：画面をオフまたはオフに切り替えることができます。
- 全画面： '時計表示'：時計のある全画面を呼び出すことができます。
- 🌐メニュー：COMANDシステムおよびインターネット機能を呼び出すことができます。
- 全画面： '地図表示'： 地図のある全画面を呼び出すことができます。
- 音声案内：現在の走行の推奨を呼び出すことができます。
- 渋滞情報表示：交通レポートを呼び出すことができます。
- 自宅に案内する：住所をすでに入力し登録している場合は、自宅住所までルート案内を開始できます(▷ 62 ページ)。
- 迂回設定：迂回メニューを呼び出し、ルートの区間をブロックし、ルートを再検索することができます (▷ 85 ページ)。

- コンパス：コンパスを呼び出すことができます。
- マッサージ機能 運転席、マッサージ機能 助手席 または マッサージ機能 運転席：助手席：どのシートが選択されているかによって、マッサージ機能を開始することができます(▷ 48 ページ)。

データのインポート/エクスポート

全体的な注意事項

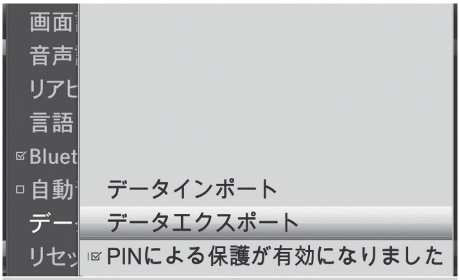
❗ USBスティックまたはメモリーカードにデータを書き込んでいるときは、スティックまたはカードを取り外さないでください。データを失うおそれがあります。

この機能を使用して以下のことができます。

- システム/車両から他へ、COMANDシステムの個人データを転送する
- 個人データのバックアップコピーを作成したり（データのエクスポート）、それを再度読み込む（データのインポート）
- PINプロンプトを作動させることにより、不要なエクスポートからデータを保護する（プリセット：解除されています ☐）。

一時記憶領域としてSDメモリーカードまたはUSB機器（USBスティック）のどちらかを使用することができます。

PINプロテクションの作動/解除



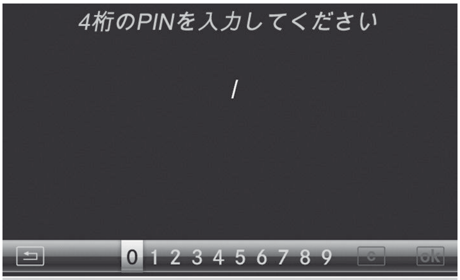
P82.87-9111-31

▶ SYS スイッチを押します。
システムメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、システムを選択し、押して 確定します。

▶ データインポート/エクスポート を選択し、押して 確定します。

▶ PINﾌﾟﾛﾃｸｼｮﾝ ｵﾝ を選択し、押して 確定します。
PINプロテクションを作動 ☑ または解除 ☐ します。PINプロテクションを作動させたときは、PINを入力するように促されます。



P82.87-9112-31

▶ 4桁のPINを入力して、 ok を選択し、押して 確定します。

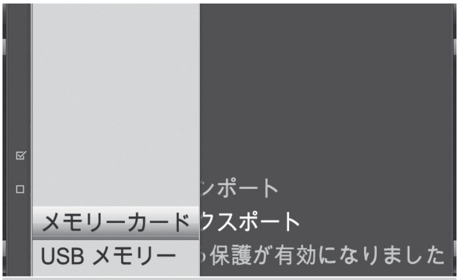
PINを再度入力するように促されます。

▶ PINを再入力し、 ok を選択し、押して 確定します。

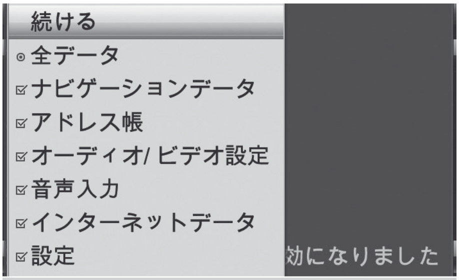
これで、PINプロンプトによって個人データを不要なエクスポートから保護されます。

ℹ PINプロテクションを解除する場合は、まずPINを入力するように促されます。PINを忘れてしまった場合は、メルセデス・ベンツサービスステーションでお客様のPINプロテクションを解除することができます。あるいは、COMANDシステムの個人データをリセットすることによりPINプロテクションを解除することができます (▷ 44 ページ)。

データのインポート / エクスポート



P82.87-9109-31



P82.87-9106-31

▶ SD メモリーカードを挿入します (▷ 225 ページ)。

または

▶ USB 機器 (例：USBメモリースティック）を接続します(▷ 225 ページ)。

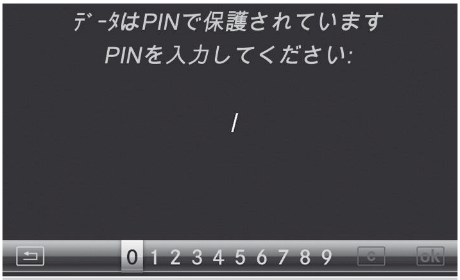
▶ SYS スイッチを押します。

システムメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 、システムを選択し、押して 確定します。

▶ データインポート/エクスポート を選択し、押して 確定します。

▶ データインポート または データエクスポート を選択し、押して 確定します。



P82.87-9113-31

PINプロテクションが作動している場合は、データエクスポート を選択したときにPINプロンプトが表示されます。

▶ PINを入力して、 ok を選択し、押して 確定します。

これにより、PINプロテクションが解除された場合と同じ方法で進めることができます。

▶ **プリセットを選択する：**メモリーカード または USBメモリー を選択し、押して 確定します。

- 全データ を選択し、押して ⊛ 確定します。
  この機能はすべてのデータを選択したディスクにエクスポートします。

または

- データの種類を選択し、押して ⊛ 確定します。
  前回の入力によって、データの種類をエクスポートするか ☑ またはしないか ☐ を選択します。
- Continue を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ ミュージックレジスターにある個人の音楽ファイルはこの機能を使用して保存して再度インポートすることはできません。

ℹ インターネットデータ を選択すると、インターネットアクセスデータを設定するためのパスワードは保存されません。そのためインポートの後、手動でパスワードを入力しなくてはなりません。携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定(▷ 186 ページ)

リセット機能

COMANDシステムを工場出荷時の設定に完全にリセットすることができます。他のものと同様に、これによりCOMANDシステムのすべての個人データを削除します。これには、放送局プリセット、ナビシステムの目的地メモリーと以前の目的地のリストにある項目およびアドレス帳項目が含まれます。加えて、データの認証されていないエクスポートを避けるために使用していたPINプロテクションの作動は解除されます。リセットは、例えば車両を譲渡または売却する前にお勧めします。

ミュージックレジスターの音楽ファイルのような内部ハードディスクドライブにあるデータは消去されます。"すべての音楽ファイルを削除" 機能を使用してミュージックレジスターから音楽ファイルを消去することもできます(▷ 242 ページ)。

- SYS 機能スイッチを押します。
- COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、システムを選択し、押して ⊛ 確定します。
- リセット を選択し、押して ⊛ 確定します。
  リセットしたいかどうかをたずねる警告メッセージと確認が表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
  はい を選択した場合は、工場出荷時の設定を本当にリセットしたいかどうかをたずねる確認が再度表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
  はい を選択すると、メッセージが表示されます。COMANDシステムはリセットされ、再起動します。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

COMANDシステムの特徴 46
エアコンディショナーの作動表示 . 46
燃料消費量表示 46
オン&オフロード表示 47
走行状況メニュー（アクティブボディコントロール） 47
シートの機能 48
パーキングアシストリアビューカメラ 52
ナイトビューアシストプラス 52
360°　カメラ 53

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

エアコンディショナーの作動表示

例：COMANDディスプレイのエアコンディショナー作動状況表示

エアコンディショナーシステムの設定を変更すると、エアコンディショナーの状況表示がCOMANDディスプレイの画面の下に3秒間表示されます。エアコンディショナーのさまざまな利用機能の現在の設定が表示されます。

エアコンディショナーシステムの概要は別冊の車両取扱説明書をご覧ください。

エアコンディショナーの作動状況表示は以下のときに表示されます。

▶ 温度コントローラーをまわして温度を設定するとき

または

▶ コントローラーをまわして、送風を設定するとき

または

▶ 以下のスイッチの1つを押します。

[送風] 送風を強くする

[送風] 送風を弱くする

[A/C] エアコンディショナーのオン / オフを切り替える

[ZONE] ZONE機能のオン ／ オフを切り替える

[AUTO] エアコンディショナーを自動的にコントロールする

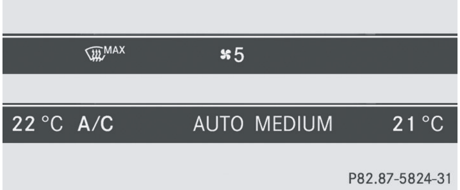
[AIR FLOW] オートモードでの送風スタイルを設定する (FOCUS/MEDIUM/DIFFUSE)

[送風配分] 送風配分を設定する

[送風配分]、[送風配分] または [送風配分] 送風配分を設定する

[MAX] デフロスター機能をオンにする

ℹ エアコンディショナーの作動表示の呼び出し方は車両のエアコンディショナーシステムによって異なります。



デフロスター機能（上部）とオートモードでのエアコンディショナーモードの設定例

▶ **非表示にする：** COMANDコントローラーをまわす、または押します。

または

▶ COMANDシステムのスイッチの1つを押します。

燃料消費量表示

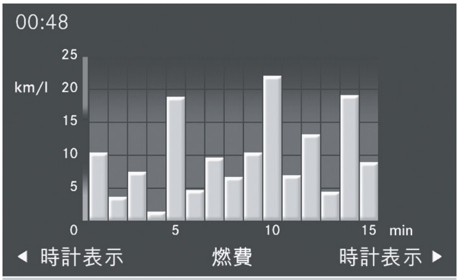
概要

車両装備および搭載エンジンの種類によって、燃料消費をCOMANDディスプレイに表示させることができます。

車両がハイブリッド車両で搭載エンジンの種類がそれをサポートしている場合

は、他の表示を呼び出すことができます (別冊取扱説明書をご覧ください)。

ディスプレイの呼び出し/終了



P82.87-7506-31

- **全画面表示を呼び出す：** SYS スイッチを押します。
- システムメニューで、オプションの 全画面表示 が選択されるまで、COMANDコントローラーをスライドします ↑◎。
- COMANDコントローラーを押します ◎。
  システム表示が全画面で表示されます (システムメニューなし)。
- 燃料消費量インジケーターが表示されるまでCOMANDコントローラーを繰り返しスライドします ←◎→。
  COMANDディスプレイには過去15分間に走行した燃料消費量が表示されます。
- **全画面表示を終了する：** COMANDコントローラーを押します ◎。
  システムメニューが表示されます。

グラフのそれぞれのバーは1分間の平均値を示します。

燃料消費量表示は トリップ メニューにあるトリップメーターの スタート後 の表示と異なることがあります。車両の取扱説明書をご覧ください。

オン&オフロード表示

概要

車両のモデルシリーズによっては、以下のようなオン& オフロード機能の設定および状況をCOMANDディスプレイに表示することができます。

- 車両の傾斜角
- 上り坂または下り坂の勾配（%）
- ステアリング角度

オン&オフロード機能に関するさらなる情報は、車両の取扱説明書にあります。

表示を呼び出す

- 押します SYS
- システムメニューで、表示/選択ウインドウが選択されるまで、COMANDコントローラーを上へスライドします ↑◎。
- オン&オフロード表示が表示されるまで、COMANDコントローラーをスライドします ←◎→。
  COMANDシステムはオン&オフロード機能の設定と状態を表示します。

表示を終了する

- 希望の表示（時計または燃料消費量）が表示されるまで、COMANDコントローラーをスライドします ←◎→。

走行状況メニュー（アクティブボディコントロール）

全体的な注意事項

アクティブボディコントロール (ABC)を装備した車両では、COMANDディスプレイにいくつかの走行装備と追加情報を表示することができます。

走行状況調整機能（ABC）

▶ 押します SYS。

▶ システムメニューで、表示/選択ウインドウが選択されるまで、COMANDコントローラーを上へスライドします ↑◎。

▶ 走行状況調整機能（ABC）が表示されるまでCOMANDコントローラーを繰りかえしスライドします ←◎→。

対応する表示がCOMANDディスプレイに表示されます。

表示の詳細

- AMG車両を除く車両：別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。
- AMG車両：別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

表示を終了する

▶ 希望の表示（時計または燃料消費量）が表示されるまで、COMANDコントローラーをスライドします ←◎→。

シートの機能

概要

COMANDコントローラー脇の [シート] スイッチまたはシステムメニューのシートメニュー項目を使用して、他の設定機能を呼び出すことができます。以下の設定はシートの種類と車両のモデルシリーズによって異なります。

- シートクッションの長さ
- バックレストのサイドサポート
- ランバー
- バランス
- クッションのサイドサポート
- ドライビングダイナミクス
- マッサージ

ⓘ メモリースイッチと対応するメモリーポジションスイッチを使用して、シート機能の現在の設定を保存したり、再度呼び出すこともできます。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

メモリースイッチを使用して、マッサージ機能を開始または停止することはできません。

シートの選択

P82.87-8393-31

最初に、調整したいシートを選択します。

この機能はすべての車両で使用できるわけではありません。

▶ [シート] または SYS スイッチを押します。

▶ シート を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ より低いラインに切り替えるためには、両方のオプションでCOMANDコントローラーをスライドします ◎↓。

▶ COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、運転席シート または 助手席シート を選択し、押して ◎ 確定します。

調節機能

シートクッションの長さを調整する

この機能が使用できるかは、シートの種類および車両のモデルシリーズによって異なります。

P82.87-8395-31

この機能によって、シートクッションの高さを調整できます。

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

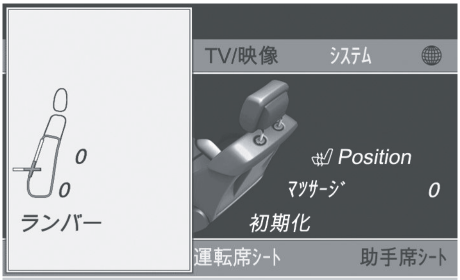
▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、座面調整 を選択し、押して ◎ 確定します。
スケールが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ⟲◎⟳、まわして ↑◎↓、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

シートバックレストの腰部でシートの周囲を調整する

この機能が使用できるかは、シートの種類および車両のモデルシリーズによって異なります。



P82.87-8394-31

この機能によってバックレストの腰部(電動ランバーサポート)のエアクッションを調整することができます。

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、ランバー を選択し、押して ◎ 確定します。
クロスカーソルが表示されます。2つの設定をすることができます。
- **垂直：** 最も腰部をサポートする部分を上または下に動かす
- **水平：** サポートの量を調整する

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓ または ←◎→、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

シートバックレストの側面を調整する（バックレストのサイドサポート）

この機能が使用できるかは、シートの種類および車両のモデルシリーズによって異なります。

P82.87-8396-31

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、バックレスト サイド を選択し、押して ⊛ 確定します。
スケールが表示されます。

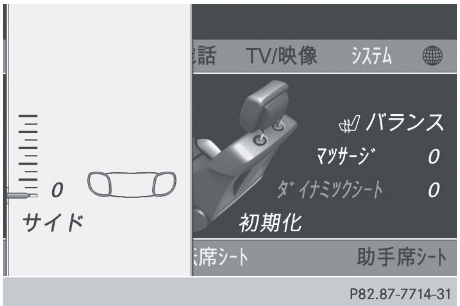
▶ COMANDコントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ↑◎↓、押して ⊛ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ ⮌ を押します。

ℹ ドライビングダイナミックシート装備の車両モデルシリーズ：ドライビングダイナミクスが作動していて、進路変更（コーナリング時など）に反応している場合は、バックレストのサイドサポートを一時的に調整することはできません。

シートのサイドサポートの調整

この機能が使用できるかは、シートの種類および車両のモデルシリーズによって異なります。



P82.87-7714-31

この機能によって、シートのサイドサポートのエアクッションを調整することができます。

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、シート サイド を選択し、押して ⊛ 確定します。
スケールが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ⟲◎⟳、まわして ↑◎↓、押して ⊛ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ ⮌ を押します。

バランス

この機能が使用できるかは、車両のモデルシリーズによって異なります。

P82.87-8043-31

バランス機能はバックレストとクッションのヒーターの配分をコントロールします。

バランス機能は現在設定しているシートヒーターのヒーターレベルに影響を与えます。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、バランス を選択し、押して 確定します。
スケールが表示され、現在の設定が表示されます。プラスの値がシートバックレストのヒーターの出力を示し、マイナスの値がシートクッションのヒーターの出力を示します。強度はスケールの上のシートを模したものにあるオレンジ色のバーによって示されます。
値は以下のことを表します。

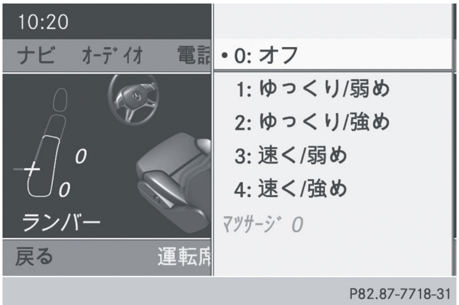
- 0 - バックレストとシートクッションは最大レベルで等しく温められます。
- 1 ～ 3 - シートクッションのヒーターの出力は1/3単位で減らされます。
- -1 ～ -3 - バックレストのヒーターは1/3単位で減らされます

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ◎ 、まわして ◎、押して 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ を押します。

マッサージ機能

この機能が使用できるかは、シートの種類および車両のモデルシリーズによって異なります。



表示例（M クラスまたはGL クラス）

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、マッサージ を選択し、押して 確定します。
リストが表示されます。
マッサージ機能の異なる種類を選択できます。

- 0：オフ
- 1：ゆっくり/弱め
- 2：ゆっくり/強め
- 3：速く/弱め
- 4：速く/強め

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ◎、まわして ◎、押して 確定します。
マッサージ機能は設定によって約15～25分間作動します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ を押します。

ドライビングダイナミクスの設定

この機能は、ドライビングダイナミックシート装備の車両のモデルシリーズで使用できます。

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ ﾏﾙﾁｺﾝﾄﾛｰﾙ ｼｰﾄ を選択し、押して 確定します。
スケールが表示されます。

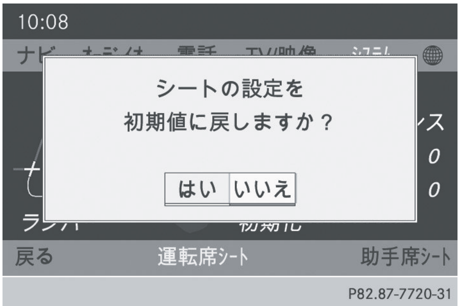
以下の選択ができます。

- 0：オフ
- 1：レベル 1（中の設定）
- 2：レベル 2 （強の設定）

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ◀◎▶、まわして ↑◎↓、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ ⮌ を押します。

すべての調整のリセット



P82.87-7720-31

▶ シートを選択します(▷ 48 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◀◎▶、初期化 を選択し、押して ◎ 確定します。
確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はいを選択した後に、すべてのシート調整が初期設定の値（工場出荷時の設定）にリセットされます。

パーキングアシストリアビューカメラ

パーキングアシストリアビューカメラは単なる補助にすぎません。近辺への運転者の注意の代わりになるものではありません。安全に操作し、駐車する責任は運転者にあります。操作や駐車を行なう間は、範囲内に人、動物または障害物がないことを確認してください。

以下のときにリバースギアに入れると、パーキングアシストリアビューカメラの映像がCOMANDディスプレイに表示されます。

- 車両にパーキングアシストリアビューカメラが装備されている
- COMANDシステムがオンである
- リバース連動 機能が作動している

機能が作動している場合は、リバースギアからにシフトするとすぐに、COMANDディスプレイは前回選択していた表示に自動的に戻ります。

ⓘ パーキングアシストリアビューカメラに関するさらなる情報は、別冊の車両取扱説明書をご覧ください。

▶ SYS 機能スイッチを押します。
システムメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◀◎▶、システム を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ リアビューカメラ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ リバース連動 を選択し、押して ◎ 確定します。
前回の状況に応じて、機能がオン ☑ またはオフ ☐ になります。

ナイトビューアシストプラス

ナイトビューアシストプラス装備車では、ナイトビューアシストプラスからの画像をCOMANDディスプレイ上で表示させることができます。

▶ COMANDシステムをオンにします。
(▷ 25 ページ)

▶ ナイトビューアシストプラスの作動については、別冊の取扱説明書をご覧ください。
ナイトビューアシストプラスからの画像はCOMANDディスプレイに表示されます。

▶ **明るさを設定する：** COMANDコントローラーをまわして⦅◎⦆、明るさ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして⦅◎⦆、押して ⊛ 確定します。

▶ **ディスプレイをオフにする：**戻るを選択し、押して ⊛ 確定するか、⮌ スイッチを押します。

360°　カメラ

重要な注意事項

360°カメラはあくまでも運転を支援するシステムです。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なう間は、進行方向に人や動物、障害物が存在しないことを確認してください。

概要

360°カメラは、例えば駐車するときや視界の悪い出口で、車両のすぐ周辺の監視を行ない、運転者を支援します。

360°　カメラの映像は、COMANDディスプレイに全画面表示モードまたは7 種類の分割画面表示で表示することができます。分割画面表示には車両の上面表示も含まれます。この表示は、車載カメラにより提供されたデータから生成されます（バーチャルカメラ）。

360°カメラからの画像の表示

360°　カメラの映像は、以下のときに表示できます。

- 車両に360°カメラが装備されている
- COMANDシステムがオンである (▷ 25 ページ)
- 360°　カメラ の機能が作動している

以下のようにして360°表示を作動させることができます。

- リバースギアに入れる（ リバース連動 オプションが作動している場合のみ）
- 設定 メニューの 360°　カメラ メニュー項目を選択する
- SYS⊙ 機能スイッチを押して保持する

機能を作動させていて、車両が30 km/h の速度を超えるとすぐに、機能はオフになります。COMANDディスプレイに前回の画面が表示されます。

ディスプレイの ⮌ マークを選択し、COMAND コントローラーを押して ⊛ 選択することでもディスプレイを切り替えることもできます。

▶ **リバースギアを使用して作動/解除する：** SYS⊙ 機能キーを押します。
システムメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして⦅◎⦆、システム を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 360°　カメラを選択し、⊛ を押して確定します。

▶ リバース連動 を選択し、押して ◉ 確定します。
前回の状態に応じて、この機能はオン ☑ またはオフ ☐ になります。

ℹ リバースギアに入れたときに360° カメラからの画像を表示させたい場合にのみ、この機能をオンにしなければなりません。他の作動オプションは常に使用することができます。

▶ **360° カメラからの画像を表示する：**
SYS 機能キーを2秒以上押します。
全画像が表示されます。

または

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、システム を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 360° カメラを選択し、◉ を押して確定します。
360° カメラのスプリット画面が表示されます。

または

▶ リバースギアに入れます（ リバース連動 オプションが作動している場合にのみ可能）
スプリット画面の360° カメラおよび後退走行画像が表示されます。

360° カメラの詳しい記載は、別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

COMANDシステムの特徴 56
概要 56
基本設定 60
目的地の入力 61
全ルート図 70
ルート案内 76
目的地の検索 92
メモリ地点 117
地図操作と地図設定 122
VICS（道路交通情報通信システム） 130
DSRC - 専用狭域通信 136
ETC 139
ナビゲーションシステムのトラブル 141
VICSおよびナビゲーション地図のマーク 142

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

概要

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMANDシステムを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

COMANDシステムは例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 道路の道幅の狭さ
- その他、道路や交通ルール、規則

COMANDシステムは地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

全体的な注意事項

ナビゲーションシステムの操作準備

ナビゲーションシステムは、初めてご使用になる前、または操作状況が復帰したときはいつでも、車両の位置を決定しなくてはなりません。したがって、正確なルート案内が可能になるまではしばらく運転する必要があります。

GPSの受信

GPSを受信することにより、ナビゲーションシステムは正しく機能します。トンネル内や立体駐車場にいるときなど、いくつかの状況では、GPSの受信に障害が生じたり、干渉があったり、またはまったく受信できないことがあります。

入力の制限

いくつかの国の車両では、データ入力に制限があります。

車両の速度が約 5 km/h になると制限がかかります。車両の速度が約 3 km/h 以下になると制限が解除されます。

制限がかかっているときは、入力できない項目があります。実際には、いくつかのメニュー項目が灰色になり、選択できません。

例えば、以下のような入力はできません。

- 目的地の町と道路の入力
- 地図からの目的地の入力
- 街周辺または名前検索による施設入力
- 項目の編集
- テンキーを使用しての直接入力

しかし、目的地、または現在地周辺の施設入力のような他の入力は可能です。

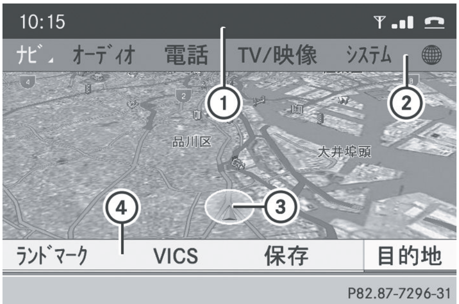
ナビに関する注意

ルート案内中に、COMANDシステムによる目的地への案内が不明確になったり不正確になることがあります。

原因	例
車両の現在位置の特徴 （互いに非常に接近した道路、大きなビルや大型車両の近くなど）	現在の車両位置は以下のときは正しく表示されません。 • 主要道路を走行していて、現在のルート区間と並行する、またはその下に別の道路があるとき • 車両が駐車場のターンテーブルで回転させられたり、らせん状の道路を走行しているとき • 車両が駐車場から出るとき • 車両が、砂利道、雪道または凍結路などの滑りやすい路面を長時間走行しているとき • まっすぐな道路で頻繁に車線変更するとき • 車両が大きなビル、大型車両または山間地周辺を走行しているとき
地図情報がない、または古い （地図が古い、または通行ルートが一時的に変更されている）	COMANDシステムは以下のように案内します。 • 一方通行で誤った方向に案内される。 • 一時的な道路の閉鎖のために曲がることができない交差点で道路に案内される • 目的地の向こう側にある道路に案内される。 • 道路が目的地まで続いていない、または幅が狭すぎる場合に、検索した目的地の手前の地点に案内される。

原因	例
検索ルートからの逸脱（現在の交通状況などによる）	以下の場合、COMANDシステムは異なる、または適切でない案内を行なったり、ナビの案内がまったく行なわないことがあります。 • 検索されたルート地点の前で交差点を曲がったり、道を外れた場合 • 別のルートを選択してルート検索をやり直した場合 次の交差点ではまだ、新しいルート案内が使用できないことがあります。 • 検索された通過点を通らずに、目的地の方向に走行している場合 COMANDシステムは、その通過点に引き続き案内しようとすることがあります。 • ルートを外れた場合 検索されたルートにより、向きを変えるように案内されることがあります。 ℹ 別のルートを選択してルートを再検索すると、ルートが長くなることがあります。
目的地が近すぎる、または遠すぎる	例えばCOMANDシステムは適切なルートを検索できません。

ナビゲーションモードへの切り替え



表示されるメニュー（ルート案内オフ）

① ステータスバー

② 基本機能バー

③ 現在の車両位置

④ ナビゲーションメニューバー

オプション 1

▶ NAVI 機能スイッチを押します。

メニュー付きまたはメニューなし（全画面モード）の地図が表示されます。

オプション 2

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

地図がメニュー付きで表示されます。

ℹ **ルート案内中** は、目的地を入力して、COMANDシステムがルートを検索していることを意味しています。ディスプレイには、ルートや進行方向の変更、および推奨車線が表示されます。ナビゲーションの案内は目的地まで案内します。

ルート案内オフ は目的地が入力されておらず、ルートがまだ検索されていないことを意味します。

メニューの表示/非表示

P82.87-7297-31

- **メニューを非表示にする：** COMANDコントローラーをスライドします ↑◎。
  メニュー項目の 全画面表示 が表示されます。
- 押して ◎、全画面表示 を確定します。
  地図が全画面表示で表示されます。

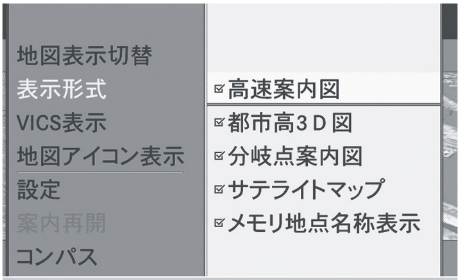
P82.87-7298-31

例：全画面表示モードの地図

- **メニューを表示する：** 地図が全画面で表示されているときに、COMANDコントローラーを押します ◎。

基本設定

地図の種類の設定



P82.87-7304-31

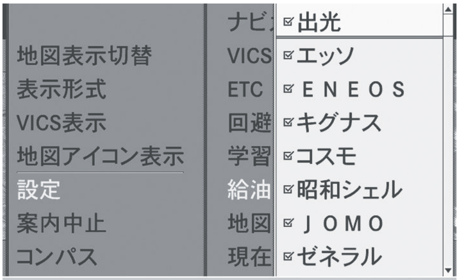
- NAVI 機能スイッチを押します。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。
- 表示形式 を選択し、押して ◎ 確定します。
  地図の設定リストが表示されます。
- 設定を選択し、押して ◎ 確定します。
  前回の状況によって、設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

地図の種類	説明
高速案内図	高速道路施設（ガソリンスタンド、サービスエリアなど）がルート案内中に表示されます。
都市高3D図	都市高速道路施設（例：ガソリンスタンド、サービスエリア）がルート案内中に表示されます。
分岐点案内図	ルート案内中に次の分岐点の名称が表示されます。

地図の種類	説明
サテライトマップ	地図の縮尺が1 km以上に設定されている場合は、サテライトマップが表示されます。
メモリ地点名称表示	メモリ地点の名称が地図に表示されます。 地図の縮尺が500 mまたはより詳細な表示の場合、メモリ地点の名称が表示されます。 ℹ これは編集されたメモリ地点にのみ適用されます。

燃料が少ないときにガソリンスタンドを選択する

P82.87-7305-31



P82.87-7306-31

燃料が少ないときにどのガソリンスタンドまで走行したいかを決定できます。

ガソリンスタンドを選択し、予備燃料を表示すると、地図は自動的にガソリンスタンド検索に切り替わります（▷ 69 ページ)。

▶ NAVI 機能スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◀◎▶ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 給油警告 を選択し、押して ◎ 確定します。
ガソリンスタンドの会社リストが表示されます。

▶ ガソリンスタンドの会社を選択し、押して ◎ 確定します。

前回の状態に応じて、検索するガソリンスタンドの会社名を選択 ☑ または非選択 ☐ にします。

目的地の入力

目的地の入力の前に

ℹ 安全上の理由のため、車両が動いている間は、目的地（ルート案内非作動）または 目的地設定（ルート案内作動）を選択できません。

以下の場合は、COMANDシステム はルートを検索できません。

- 出発地点と目的地周辺で、地図に利用できる道路がない場合
- 島のように検索できる適切なルートがない場合

自宅

自宅住所を入力して登録する

P82.87-7327-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 自宅 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ ルート案内が作動していないときは 目的地 が表示され、ルート案内が作動しているときは 目的地設定 が表示されます。

P82.87-7328-31

メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所	住所の検索
施設	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
名前検索	50音パネルを使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの検索
地図から設定	地図上の検索

P82.87-7329-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ↻◎↺、目的地検索を選択し、押して ⊛ 確定します。

目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 92 ページ)。

▶ 引き続き目的地を入力します。
自宅住所をすべて入力すると、地図が表示されます。COMANDシステムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

▶ **地図上で目的地を移動する：** スクロール を選択し、 で確定します。

P82.87-7330-31

▶ COMANDコントローラーをいずれかの方向にスライドします。
クロスカーソルが地図上で移動します。

▶ クロスカーソルを自宅住所の地点に動かして、押して 確定します。
メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択し、押して 確定します。
自宅を登録しました というメッセージが表示されます。自宅住所が目的地として登録されます。

自宅住所を選択する

P82.87-7332-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから 、まわして 、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して 確定します。

▶ 自宅 を選択し、押して 確定します。

ⓘ 自宅住所をまだ決定していない場合は、まず 設定 を使用して、自宅住所を入力して保存しなければなりません (▷ 62 ページ)。

▶ ガイド を選択し、押して 確定します。

P82.87-5868-31

全ルート図が表示されます。

▶ 押して 、開始 を確定します。
自宅住所へのルート案内が開始されます。

ℹ さらなる情報

- 全ルート図 (▷ 70 ページ)
- ルート案内 (▷ 76 ページ)

自宅住所を削除する

P82.87-7331-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して 確定します。

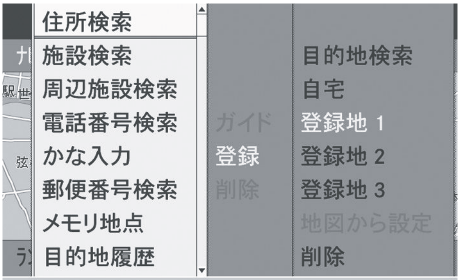
▶ 自宅 を選択し、押して 確定します。

▶ 削除 を選択し、 を押して確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して 確定します。
はい を選択すると、自宅住所が削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

目的地プリセット 1–3

目的地プリセットを入力し登録する



P82.87-7508-31

COMANDシステムは、頻繁に訪れる目的地に使用できる3つの目的地プリセットを提供します。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して 確定します。

▶ 登録地1、登録地2 または 登録地3 を選択し、 で確定します。

▶ 設定 を選択し、押して 確定します。
メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所	住所の検索
施設	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺

目的地検索	説明
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
名前検索	50音パネルを使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの検索
地図から設定	地図上の検索

P82.87-7329-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、目的地検索を選択し、押して ⊚ 確定します。

目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 92 ページ)。

▶ 目的地入力を続けます (▷ 92 ページ)。
選択した目的地プリセットの目的地住所をすべて入力すると、地図が表示されます。COMANDシステムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

▶ **地図上で目的地を移動する：**スクロール を選択し、⊚ で確定します。

P82.87-7330-31

▶ COMANDコントローラーをいずれかの方向にスライドします。
クロスカーソルが地図上で移動します。

▶ **地図の縮尺を変更する：** COMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。

▶ クロスカーソルを目的地住所の地点に動かし、押して ⊚ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択し、押して ⊚ 確定します。
登録地 <x> を登録しました というメッセージが表示されます。目的地住所は選択した目的地プリセットに保存されます。

目的地プリセットからの目的地の選択

P82.87-5868-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊚ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ⊚ 確定します。

▶ 登録地1、登録地2 または 登録地3 を選択し、⊚ で確定します。

ℹ 登録地 <x> をまだ設定していない場合は、まず 設定 を使用して目的地を入力し、選択したメモリ位置に登録します。

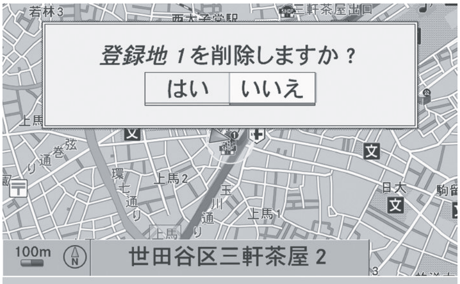
▶ ガイド を選択し、押して ⊚ 確定します。
全ルート図が表示されます。

▶ 押して ⊚、開始 を確定します。
選択した目的地プリセットの目的地住所へのルート案内が開始されます。

ℹ さらなる情報

- 全ルート図 (▷ 70 ページ)
- ルート案内 (▷ 76 ページ)

目的地プリセットから目的地を削除する



P82.87-7030-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊚ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ⊚ 確定します。

▶ 登録地1、登録地2 または 登録地3 を選択し、⊚ で確定します。

▶ 削除 を選択し、⊚ を押して確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊚ 確定します。
はい を選択すると、目的地住所が選択した目的地プリセットから削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

地図を使用して目的地を選択する

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊚ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ⊚ 確定します。

▶ 地図から設定 を選択し、押して ⊚ 確定します。
地図がクロスカーソルとともに表示されます。

▶ 地図をスクロールします (▷ 124 ページ)。

▶ クロスカーソルを目的地の地点に動かして、押して ⊚ 確定します。

- 前進 を選択し、押して ◉ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
  目的地が設定されます。全ルート図 が表示されます (▷ 70 ページ)。

目的地の検索

目的地検索をオンにする

P82.87-7328-31

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ◉ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
  メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所	住所の検索
施設	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
名前検索	50音パネルを使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの検索
ドライブコース	ルートの選択
観光案内	観光案内から選択する

- COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、目的地検索を選択し、押して ◉ 確定します。
  目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 92 ページ)。
- 引き続き目的地を入力します。
  目的地住所がすべて入力されると地図が表示されます。COMANDシステムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

目的地の保存とルートの検索

P82.87-5862-31

目的地をメモリ地点として保存する

- 保存 を選択し、押して 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して 確定します。

目的地をアドレス帳に保存する

- 保存 を選択し、押して 確定します。
- アドレス帳検索 を選択し、押して 確定します。

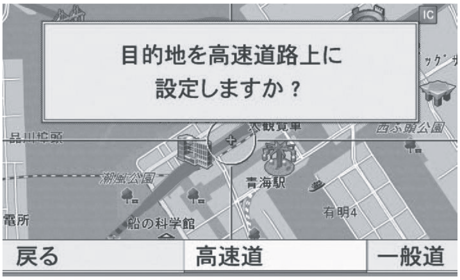
P82.87-5863-31

全ルート図

目的地の設定とルートの検索

- 設定 を選択して、押して 確定します。
- 目的地 を選択し、押して 確定します。
  全ルート図 が表示されます（▷ 70 ページ)。

目的地周辺の高速、橋、トンネル



P82.87-5864-31

目的地をどこに設定しますか？ という確認が表示されます。

- 目的地を高速道路または一般道路に設定する：COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、高速道 または 一般道 を選択し、押して 確定します。
  <xxx> を目的地に設定しました というメッセージが表示されます。目的地が設定されます。
- この機能を使用したくない場合は、戻る を選択し、 で確定します。

表は定義されている選択のオプションを示しています。

選択	説明
高速道路	目的地を最寄りの高速道路に設定します。
一般道	目的地を最寄りの一般道に設定します。
有料道路	目的地を最寄りの有料道路に設定します。
トンネル	目的地を最寄りのトンネルに設定します。
橋	目的地を最寄りの橋に設定します。

目的地が水域にある

選択した目的地が水域にある場合、水面上は目的地に設定できません というメッセージが表示されます。

▶ 他の目的地を選択します。

ルート/目的地の削除

P82.87-7914-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 削除 を選択し、 ◎ を押して確定します。

▶ ルート を選択し、押して ◎ 確定します。
確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択すると、ルート/目的地が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

燃料が少なくなったことを示す表示

P82.87-5866-31

燃料が少なくなったときは、ガソリンスタンド検索メニューが自動的に表示されます。最寄りのガソリンスタンドが地図で強調されます。

地図にガソリンスタンドを表示する

▶ 次候補 または 前候補 を選択し、押して ◎ 確定します。
次または前のガソリンスタンドが地図に表示されます。

選択したガソリンスタンドに発信する

▶ 電話 を選択し、押して ◎ 確定します。
ガソリンスタンドに電話が発信されます。ディスプレイが電話機能に切り替わります。

ℹ 携帯電話がCOMANDシステムに接続されていて、電話番号が使用可能な場合は、この機能を使用することができます (▷ 150 ページ)。

選択したガソリンスタンドにルート案内を開始する

▶ 案内 を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ COMANDシステムは、音楽CDモードなどの他の機能でもこのメニューを表示します。取消し を確定すると、このメニューは以降は表示されません。

ナビゲーション

ℹ メニューが表示されているときは、リターンスイッチ [↩] とCOMANDコントロールパネルの [NAVI] スイッチは機能しません。

全ルート図

概要

P82.87-7308-31

目的地が選択されてルート検索が終わると、全ルート図が表示されます。

以下のことができます。

- ルート案内の設定の変更
- ルートの詳細の表示
- ルート条件の選択

メニュー項目	説明
IC	高速道路の入口や出口を変更することができます。
通過	通過点を設定できます。
ルート情報	ルート情報を表示できます。
スクロール	運転を始める前に、地図上でルートを辿ることができます。
5ルート	ルート条件を選択できます。

高速道路の入口や出口を変更する

P82.87-7309-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、全ルート図で IC を選択し、押して ◎ 確定します(▷ 70 ページ)。

▶ 次候補 または 前候補 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 設定 を選択して、押して ◎ 確定します。
高速道路の入口や出口が変更されます。

ルート案内中に全ルート図を表示する

ルート案内を開始した後も全ルート図を表示できます。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわして ◎ 、ルート を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 全ルート を選択し、押して ◎ 確定します。
全ルート図が表示されます。

案内開始

- 全ルート図で 開始 を選択し、押して 確定します。
  メッセージが表示され、ルート案内が開始します。

ℹ 発進するとルート案内は自動的に開始します。現在の車両位置の地図を表示します。

通過点

概要

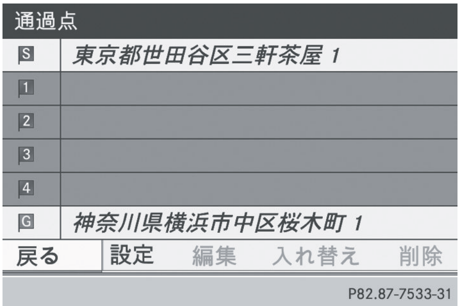
目的地を入力すると、4箇所までの通過点を入力することによりルートを決定することができます。

通過点の順序はいつでも変更できます。

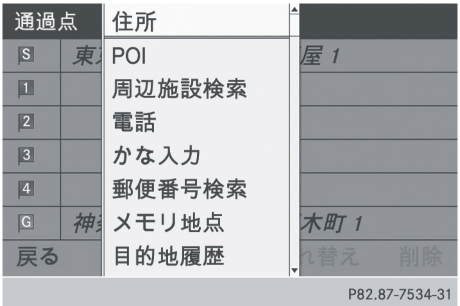
ルート案内中に通過点を入力する

- メニューを表示する： COMANDコントローラーを押します 。
- 前進 を選択し、押して 確定します。
- 通過 1 を選択し、押して 確定します。
- 設定 を選択し、押して 確定します。
  通過点のメニューが表示されます (▷ 71 ページ)。

通過点を入力する



通過点メニュー



- 全ルート図で 通過 を選択し、押して (▷ 70 ページ) 確定します。
- 設定 を選択し、押して 確定します。
  メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所	住所の検索
施設	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
名前検索	50音パネルを使用しての検索

目的地検索	説明
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの検索
地図から設定	地図上の検索

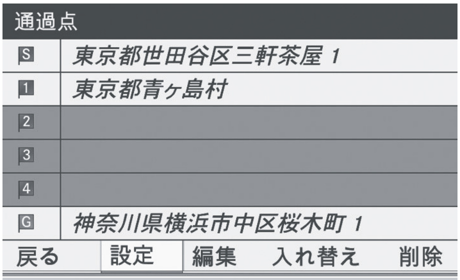
P82.87-7535-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟪◎⟫、目的地検索を選択し、押して ⊛ 確定します。
目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 92 ページ)。

▶ 引き続き目的地を入力します。

▶ 目的地検索の後、通過点 通過点1 を選択し確定します。

▶ 押して ⊛、設定 を確定します。



P82.87-7536-31

通過点1が通過点メニューに表示されます。
通過点1を入力した後に、さらに通過点を入力することができます。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
全ルート図が表示され、設定した通過点1が地図上にフラッグマークで表示されます。

通過点の順番を入れ替える

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して ⊛ 確定します(▷ 71 ページ)。

▶ 入れ替え を選択し、押して ⊛ 確定します。
通過点の順番が変更され、対応するメッセージが表示されます。

通過点の位置を変更する

P82.87-5914-31

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して ⊛ 確定します(▷ 71 ページ)。

▶ 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。
地図が表示され、選択した通過点が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、↑◎↓、↗◎↙、通過点の位置を変更します。

▶ 押して ⊛ 位置を確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
通過点の位置が変更されます。

以下の機能も選択できます。

- 保存
通過点をメモリ地点として、またはアドレス帳に登録できます。
- 電話
通過点の情報に電話番号が含まれていて、携帯電話がCOMANDシステム に接続されている場合に、通話を開始します(▷ 156 ページ)。

通過点を削除する

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して ⊛ 確定します(▷ 71 ページ)。

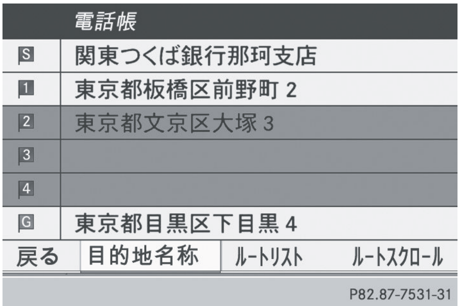
▶ 削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、通過点が削除されます。

ℹ 通過点はルート案内中でも削除することができます。

ルート情報を表示する

全ルート図での表示



ルート情報 (名称)

▶ 全ルート図で ルート情報 を選択し、押して ⊛ 確定します (▷ 70 ページ)。
ルート情報が表示されます。

以下の情報が表示されます。

- 出発地点の名称
- 通過点の名称 (4箇所まで)
- 目的地の名称

目的地情報に切り替える

▶ 地点情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。

ルート地点までの距離と予想到着時間が表示されます。

全ルート図に戻る

▶ 戻る を選択し、押して 確定します。

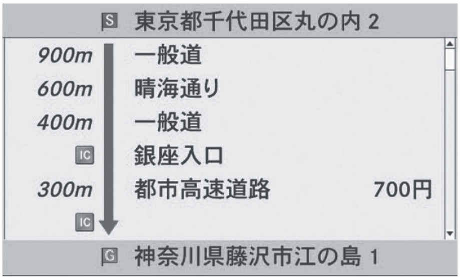
または

▶ COMANDコントローラーの左側のリターンスイッチ を押します。

ルート案内中の表示

ルート案内が行なわれているときにもルート情報を表示することができます (▷ 87 ページ)。

ルートリストを表示する



P82.87-5917-31

目的地までの道路名称とおよその距離を表示します。

ルートリストに以下が表示されます。

- 走行する道路
- 道路区間の長さ
- 支払う料金
- 高速道路の入り口/出口の名称

▶ 全ルート図で ルート情報 を選択し、押して 確定します (▷ 70 ページ)。

▶ ルートリスト を選択し、押して 確定します。
ルートリストが表示されます。

ルートリストをスクロールする

▶ COMANDコントローラーをまわすか 、スライドします 。

ルート情報に戻る

▶ COMANDコントローラー またはリターンスイッチ を押します。

ルートのプレビュー

P82.87-5916-31

▶ 全ルート図で ルート情報 を選択し、押して 確定します (▷ 70 ページ)。

▶ ルートスクロール を選択し、押して 確定します。
クロスカーソルのある地図が表示されます。

目的地位置を表示する

▶ ▶▶| を選択し、押して 確定します。

目的地を表示する

▶ ▶ を選択し、押して 確定します。

スクロールを中止する

▶ II を選択し、押して 確定します。

ℹ プレビューは通過点と目的地で停止します。この場合、プレビューは選択した方向で再開しなければなりません。

出発地点に戻る

▶ ◀ を選択し、押して 確定します。

ナビゲーション

出発地点の位置を表示する

▶ ⏮ を選択し、押して ◉ 確定します。

地図の縮尺を設定する

▶ 縮尺 を選択し、押して ◉ 確定します。(▷ 123 ページ)

ⓘ 安全上の理由から、現在の車両位置は発進すると表示されます。

地図をスクロールする

P82.87-5920-31

▶ 全ルート図で スクロール を選択し、押して ◉ 確定します。(▷ 70 ページ)
表示が全画面モードになり、地図上にクロスカーソルが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、または ↗◎↙。

▶ COMANDコントローラーをまわします ↺◎↻。

ⓘ 全ルート図では 500 km と 1,000 km の縮尺も選択できます。

ルート条件を選択する

全ルート図での選択

P82.87-7308-31

全ルート図

すべてのルート条件が検索されると、全ルートを表示することができます。

▶ 全ルート図で 5ルート を選択し、押して ◉ 確定します。

P82.87-5922-31

例：有料道路のあるルート

① ルート条件（この場合、ルート上で料金が必要になります）

② 道路名

③ 入口IC名

④ 出口IC名

⑤ 目的地までの距離

⑥ 推定到着時間

⑦ 料金（円）

ルート条件メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、ルート条件を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 表示される料金は支払うべき実際の料金と異なることがあります。

ルート案内中の選択

P82.87-7510-31

ルート条件はルート案内中でも変更できます。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 探索方法 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ルート条件を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 場合により、異なるルート条件を選択しても同じルートが表示されることがあります。

ルート案内

重要な注意事項

COMANDシステムは例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 車線変更
- 駐車または停車規制での駐車または停車
- その他、道路や交通ルール、規則
- 狭い橋

実際の道路/交通状況が地図のデータと一致しない場合は、COMANDシステムは適切でないナビの音声コマンドを発することがあります。デジタル地図はすべてのエリアやエリアのすべてのルートを網羅しているわけではありません。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

全体的な注意事項

ℹ 車両が検索されたルートから外れると、COMANDシステムは自動的に新しいルートを検索します。

ℹ 道路によっては、ルート案内できないことがあります。

COMANDシステムは交通規制のある道路を回避しようとします。これらには、通り抜けを禁止している、または居住者しか通行できない道路が含まれます。このための前提条件として、地図に該当する情報が含まれていなければなりません。

5.5m よりも幅の狭い道路は、ルート案内から除外されます。例外：道路がルート案内の目的地、通過点、または出発地点にある場合。

ℹ 出発地点が地図に表示されない道路にある場合はルート案内は利用できません。車両が表示された一般道に戻るとすぐに、ルート案内が開始します。

ℹ 地図表示は実際の状況と異なることを念頭に置いてください。地図データは、地図が作成された時点で使用可能な一般的にアクセスできる情報に基づいています。地図上で目印として使用されている交差点や公共施設、ガソリンスタンド、企業、レストラン、他の施設などがそれに当たります。

立体交差、地下道または複雑な分岐点を通過するときに、現在の車両位置を一時的に見失うことがあります。

そのような場合、COMANDシステムはルートを再検索し、現在の車両位置からルート案内を開始します。

ℹ マルチファンクションディスプレイのメインメニューで"ﾅﾋﾞ"を選択すると、以下のようになります。

- 方向
- 分岐点までの距離
- 推奨車線が表示されます。別冊の車両取扱説明書をご覧ください。

ルート案内作動中の追加メッセージ

概要

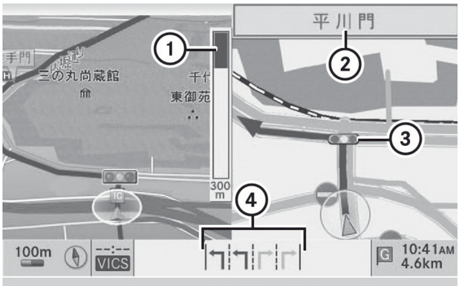
ルート案内が作動しているとき、以下の追加画面が表示されます。

- 交差点拡大図
- 高速道路分岐案内図

ルート案内画面のオンおよびオフを切り替えることができます(▷ 60 ページ)。

- 高速案内図
- 都市高3D図
- 分岐点案内図

交差点拡大図



P82.87-6050-31

① 分岐点（出口）からの距離の図形表示（青）
② 交差点名称 (出口名称)
③ 交差点 (出口地点)
④ 推奨車線 (▷ 79 ページ)

ルート案内が作動しているときに、一般道の交差点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

COMANDシステムは分岐点までの距離と走行を続けるべき方向を表示します。この情報は、分岐点までの距離によって数回表示されます。

分岐点を通過すると、通常の地図表示が表示されます。

ℹ 地図に対応するデータが含まれる場合は、分岐点情報が表示されます。

車両が分岐点に近づくにつれて、距離表示の青い部分 ① は下から上に大きさが減っていきます。

推奨車線と分岐点情報の表示は実際と異なることがあります。

分岐点地図を消す

▶ COMANDコントローラーの左側のリターンスイッチ [↩] を押します。

分岐点地図を表示する

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ←◎→、まわして ⟲◎⟳、メニュー

バーで 音声 を選択し、押して ⊛ 確定します。

高速道路分岐案内図

P82.87-6051-31

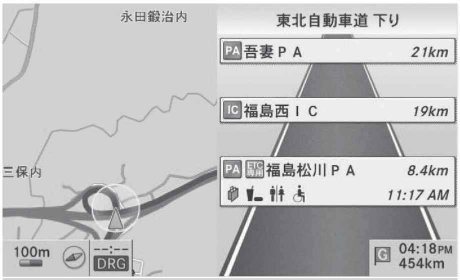
① 高速道路の方向と出口の名称

ルート案内が作動していて、高速道路を走行しているときに、高速道路分岐案内図が表示されます。

地図を非表示にする

▶ COMANDコントローラーの左側のリターンスイッチ [↩] を押します。

高速案内図



P82.87-6052-31

以下の条件のときに高速道路サービス施設が表示されます。

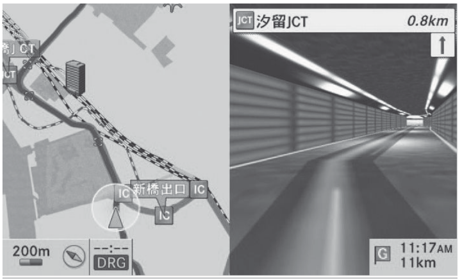
- **都市高速ではなく高速道路を走行している場合**

  高速案内図 が地図の種類としてオンになります (▷ 60 ページ)
- **都市高速を走行している場合**

  高速案内図 がオンになります

  都市高3D図 がオフになります (▷ 60 ページ)

都市高3D図



P82.87-6053-31

以下の場合、都市高3D図が右側に表示されます。

- 都市高3D図 が地図の種類としてオンになっている場合 (▷ 60 ページ)
- 都市高速を走行している場合

ℹ 左には簡略化された形式で地図を表示することができます。
サテライトマップがオンで、地図の縮尺が2 km以上に設定されている場合は、サテライトマップが左側に表示されます。

次の交差点の表示

P82.87-6054-31

ルート案内が作動していて、分岐点案内図 が地図の種類として設定されていると

きに、次の分岐点が表示されます(▷ 60ページ)。

COMANDシステムは、次の分岐点までの方向や距離とともに、その名称を表示します。

推奨車線

P82.87-6055-31

① 推奨車線

② 走行可能車線

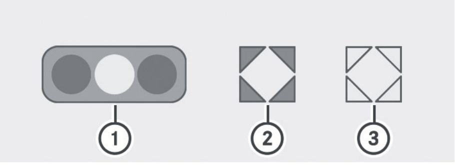
③ 推奨されない車線

車線が複数ある道路では、COMANDシステムは次の分岐点（交差点）までの推奨車線を表示します。

車線	説明
推奨車線	この車線では、次の分岐点またはその次の分岐点まで車線変更の必要がありません。 推奨車線は、昼間は暗い青色で、夜間は明るい青色で表示されます。
走行可能車線	この車線では、次の分岐点まで車線変更の必要がありません。 推奨車線は、昼間は明るい青色で、夜間は暗い青色で表示されます。
推奨されない車線	この車線では、次の分岐点までに車線変更の必要があります。推奨されない車線は灰色で表示されます。

マークのある分岐点表示

P82.87-6056-31



P82.87-6182-31

① 曲がる必要のある、信号機のある分岐点を表示します。
② 曲がる必要のある、信号機のない分岐点を表示します。
③ 曲がる必要のない、推奨車線が表示されている分岐点を表示します。

ℹ 地図の縮尺によっては、分岐点のマークは表示されません。

特別なナビのメッセージの表示

P82.87-6057-31

① 合流地点（例）

特別なナビのメッセージがオンになると、以下の画面が表示されます。

この画面は通過する前に表示されます。

- 合流地点
- 踏み切り
- カーブ
- 県境

目的地または目的地周辺

P82.87-6060-31

ゴールマーク ① は目的地に表示されます。

以下の場合、マルチファンクションディスプレイにゴールマークが表示されます。

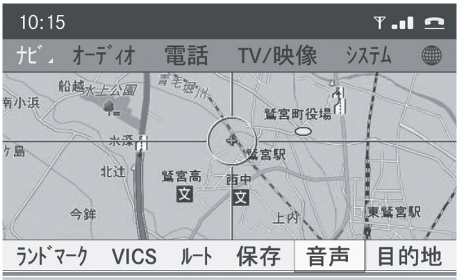
- "ナビ" がマルチファンクションディスプレイで選択されている場合。別冊の車両取扱説明書をご覧ください。
- 車両が目的地周辺に到着した場合

マルチファンクションディスプレイの情報

ルート案内の情報がマルチファンクションディスプレイに表示されます。別冊の車両取扱説明書をご覧ください。

ナビの音声案内

ナビの音声案内を繰り返す



P82.87-7303-31

車両がルートを走行しているときにのみ、最後の音声案内を繰り返すことができます。

▶ メニューバーでCOMANDコントローラーをスライドする ◎➡ か、まわして ⟲◎⟳ 、音声 を選択し、押して ◎ 確定します。

ナビ音声案内のオン/オフの切り替え

▶ 音声案内中に、COMANDコントロールパネルまたはマルチファンクションステアリングの [🔇] スイッチを押します。

▶ **オンにする：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、ナビシステムのメニューバーで 音声 を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 電話の通話中は、聞こえているナビの音声案内は消音されます。

ナビのメッセージの音量を調整する

▶ **オプション 1：**音声案内中に、COMANDコントロールパネルの音声コントロール ⓞⓝ をまわします。

▶ **オプション 2：**音声案内中に、マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

特別な機能

道路外および地図外の場所

地図に登録されない道路上にない目的地へのルート案内

COMANDシステムは地図に登録された道路から離れたところにある目的地へも案内することができます。これらは道路外の目的地です。

このような場合は、ナビの音声案内や地図に表示されるルート案内を使用してできるだけ長く案内します。

地図に登録された道路から離れると間もなくして、進行方向を示す矢印が表示されます。

地図にない出発地点からのルート案内

P82.87-6061-31

① ルートの強調（青色）

② 矢印のアイコン

システムが車両の位置を道路で特定できないときは、車両は道路外の場所に位置しています。COMANDシステムは、そ

のような位置からでも目的地まで案内することができます。

ルート案内が開始するとき、矢印 ② と目的地までの距離が表示されます。矢印は直線距離での目的地までの方向を示します。

ルートとして青色で強調された ① はシステムにある最も近い道路から始まります。

車両がシステムにある道路に戻ろうとするとすぐに、COMANDシステムが通常の方法でルート案内を続けます。

特定のエリアの回避

通過したくない地域を指定できます。

以下の場合には、検索されたルートに回避エリアが含まれることがあります。

- 目的地が回避エリアにある。
- ルートが回避エリアを通る道路を使用している。

ℹ 回避エリア内の高速道路はルート検索に常に含まれます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して確定します。

▶ 設定 を選択し、押して確定します。

▶ 回避エリア を選択し、押して確定します。
回避エリアをまだ設定してない場合は、地図が表示されます（オプション 1)。
1つ以上の回避エリアを設定している場合は、リストが表示されます（オプション2)。

P82.87-6064-31

オプション 1：地図

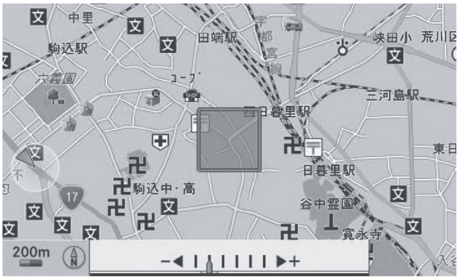
▶ 新規 を選択し、押して確定します。
地図が表示されます。
クロスカーソルは回避エリアの中心を示します。

▶ **地図をスクロールする：** COMANDコントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、◎ 。

▶ **地図の縮尺を設定する：** COMANDコントローラーをまわすと ◎、すみやかに縮尺バーが表示されます。時計回りにまわすと地図がズームアウトされ、反時計回りにまわすとズームインします。

▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします ◎ 。

▶ **回避エリアを適用する：** COMANDコントローラーを押します。



P82.87-6065-31

COMANDシステムは地図の縮尺を200mに変更し、回避エリアが地図に赤色の四角で表示されます。

回避エリアの設定

▶ COMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。

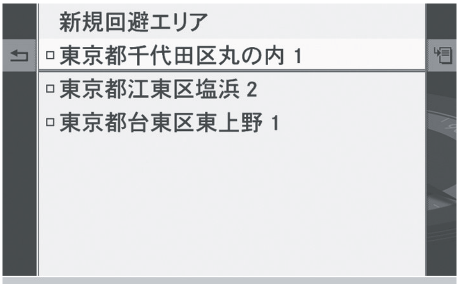
四角が拡大または縮小されます。

ⓘ 回避エリア（四角の1辺の長さ）を50 m から10 kmの大きさで設定できます。

▶ **設定を確定する：** 押します ⊛。

リストが表示されます。以前に選択された回避エリアが追加され、有効になります。

▶ "オプション 2：リストの表示"に記載されている説明に従ってください。



P82.87-7035-31

例："回避エリア" リスト

オプション2：リストの表示

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、新規回避エリア を選択し、押して ⊛ 確定します。

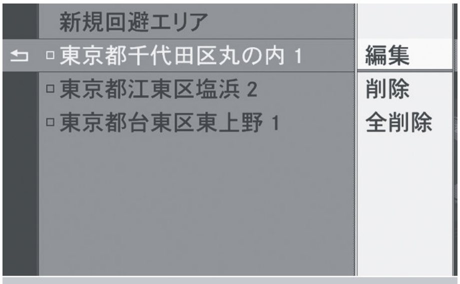
地図が表示されます。

▶ 地図上に新しい回避エリアを設定したい場合は、"オプション1：メニューの表示" の指示に従って進めます。

回避エリアのオン/オフを切り替える

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、リストで項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

前回の状態によって、回避エリアがオン ☑ またはオフ □ に切り替わります。



P82.87-7036-31

回避エリアを変更する

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、リストで項目を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドします ◎➡。

メニューが表示されます。

▶ 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。

P82.87-6069-31

回避エリアが地図上に表示されます。

エリアの位置を変更する

▶ COMANDコントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、↙◎↗。
エリアが地図上で移動します。

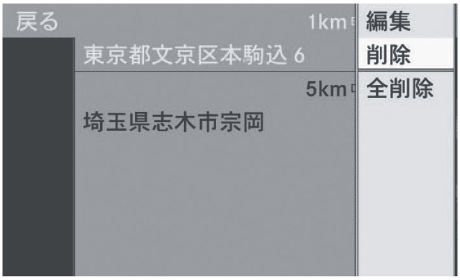
エリアのサイズを調整する

▶ COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、押して ◎↓ 確定します。
エリアが拡大または縮小されます。

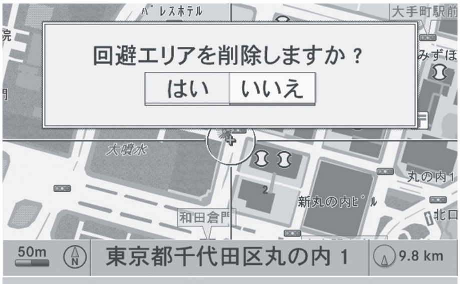
ℹ 回避エリア（四角の一辺の長さ）を 50 m から10 km の大きさで設定できます。

変更を確定する

▶ COMANDコントローラーを押します ◎↓。
リストが表示され、変更が入力されます。



P82.87-6071-31



P82.87-7210-31

回避エリアを削除する

▶ COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、リストで項目を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドします ◎→。
メニューが表示されます。

▶ 削除 を選択し、◎↓ を押して確定します。
地図が表示され、そのエリアを削除すべきかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、◎↓ で確定します。
はい を選択すると、エリアが削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

すべての回避エリアを削除する

▶ メニューで、全削除 を選択し、押して 確定します。

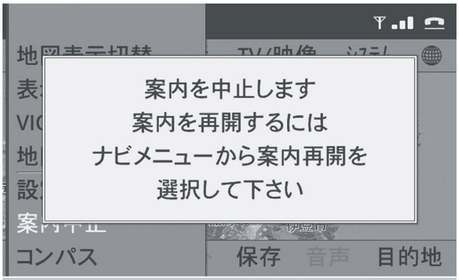
地図が表示され、すべてのエリアを削除すべきかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、 で確定します。

はい を選択すると、すべてのエリアが削除されます。

いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

ルート案内を中止する



P82.87-7124-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

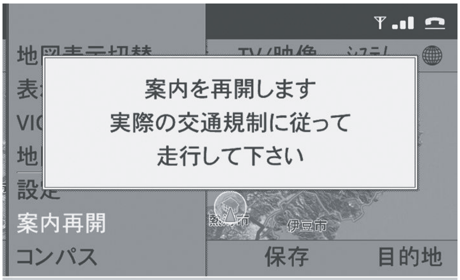
▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 《◎》、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。

▶ 案内中止 を選択し、押して 確定します。

メッセージが表示されます。ルート案内を一時停止すると、ルート表示（青色の線）が地図から削除されます。

ルート案内を継続する



P82.87-7125-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 《◎》、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。

▶ 案内再開 を選択し、押して 確定します。

メッセージが表示されます。COMANDシステムは現在の位置から目的地までのルートを検索します。

検索後、地図がルート表示（青色の線）とともに表示されます。

ルート案内への影響

迂回検索する

この機能は前方にあるルートの区間を回避します。回避するルート区間の長さを設定できます。可能であれば、COMANDシステムは回避するルート区間周辺の迂回路を検索します。

ⓘ 自動車道路では、迂回は次の出口で開始します。

ⓘ 回避する区間の長さによっては、迂回検索が利用できないことがあります。

ナビゲーション

P82.87-7049-31

迂回検索の開始

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわし〔◎〕、ルート を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 迂回 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 回避する区間の長さを選択し、◉ で確定します。
COMANDシステムは、回避するルート区間を考慮に入れてルートの再検索を行ないます。

迂回路を削除する

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわし〔◎〕、ルート を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 再検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
以前に回避したルートの区間は再びフリーになり、COMANDシステムはルートを再検索します。

ルートの再検索

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわし〔◎〕、ルート を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 再検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
COMANDシステムが新しいルートを検索したときは、地図に表示されます。

別ルートの検索

P82.87-7510-31

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわして〔◎〕、ルート を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 探索方法 を選択し、押して ◉ 確定します。
以下のオプションの1つを選択できます。項目の左側にあるドット • が現在使用しているルートを示します。

代替ルート	説明
推奨（エコ）	COMANDシステムによって推奨されるルート
有料優先	可能な限り有料道路を使用したルート
一般優先	可能な限り一般道を使用したルート

代替ルート	説明
距離優先	目的地から可能な限り最短距離のルート
その他	他に利用可能な別ルート

ℹ COMANDシステムが新しいルートを検索したときは、地図に表示されます。

一般道路が自動車道路の下を、または並行して走っている場合には、車両位置が一時的に他の道路に表示されることがあります。

実際は高速道路を走行していても、現在の車両位置が一時的に一般道に表示されることもあります。

ルートの再検索

全ルート地図を表示する

P82.87-6077-31

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、ルート を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 全ルート を選択し、押して ◎ 確定します。

全ルート図が表示されている場合は、以下の機能を使用できます。

- 通過地点の表示、指定(▷ 71 ページ)、編集および変更
- 地図のスクロール (▷ 75 ページ)

ℹ 安全のため、車両が走行しているときは、設定された間隔でのみ地図がスクロールします。

ルート情報を表示する

P82.87-7531-31

ルート情報の名称の表示

▶ ナビゲーションシステムメニューバーでCOMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、ルート を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ルート情報 を選択し、押して ◎ 確定します。
COMANDシステムはルート情報を表示します。

以下の情報が表示されます。

- 出発地点の名称
- 通過点の名称 (4箇所まで)
- 目的地の名称

ルート情報の距離の表示

▶ **目的地情報に切り替える：**メニューで 地点情報 を選択し、押して 確定します。
ルート地点までの距離と予想到着時間が表示されます。

▶ **ルートリストを表示する：**ルートリスト を選択し、 で確定します。
走行するルート区間が、長さと名称、アイコンとともに表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、ルートリストをスクロールします。

ルートの出発点にクロスカーソルのある地図

次のルート地点（通過点1）にクロスカーソルのある地図

▶ **ルートをスクロールする：**メニューで スクロール を選択し、押して 確定します。
クロスカーソルのある地図が表示されます。

目的地位置を表示する

▶ ⏭ を選択し、押して 確定します。

目的地を表示する

▶ ▶ を選択し、押して 確定します。

スクロールを中止する

▶ ⏸ を選択し、押して 確定します。

ℹ プレビューは通過点と目的地で停止します。この場合、プレビューは選択した方向で再開しなければなりません。

出発地点に戻る

▶ ◀ を選択し、押して ⊛ 確定します。

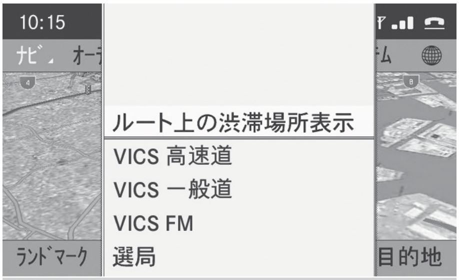
出発地点の位置を表示する

▶ ⏮ を選択し、押して ⊛ 確定します。

地図の縮尺を設定する

▶ 縮尺 を選択し、押して ⊛ 確定します。さらなる情報 (▷ 123 ページ)

交通状況を地図に表示する



P82.87-8658-31

P82.87-7312-31

現在選択している交通渋滞の開始までの距離は、右下に表示されます。

COMANDシステムが効果的な迂回路を提供できないような交通渋滞は地図に詳細情報として表示されます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、ナビゲーションシステムメニューバーで VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ルート上の渋滞場所表示 を選択し、押して ⊛ 確定します。

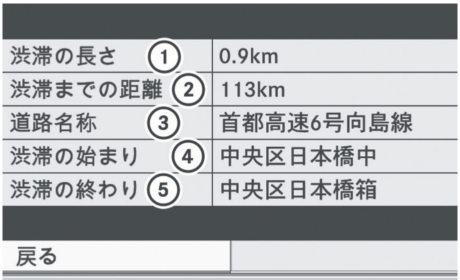
地図が表示され、交通渋滞があれば表示します。

P82.87-7313-31

▶ **交通渋滞を表示する：** ズームイン を選択し、押して ⊛ 確定します。

地図の縮尺が拡大されます。

▶ ズームオフ で地図に戻ります。



P82.87-7314-31

① 交通渋滞の長さ

② 交通渋滞から現在地点までの距離

③ 交通渋滞により影響を受ける道路名

④ 交通渋滞が始まる道路名

⑤ 交通渋滞が終わる道路名

- ▶ **詳細情報を表示する：**詳細 を選択し、で確定します。
- ▶ **地図に戻る：** で 戻る を確定するか、リターンスイッチ を押します。

渋滞回避探索

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報システム）をサポートしている道路および交通情報を受信して使用するには、車両に追加装備が必要です。

渋滞回避探索の補助で、ナビゲーションシステムによって以下の場合に交通渋滞を避ける補助を行ないます。

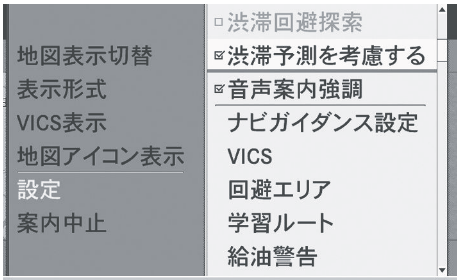
- 車両に適切なVICS装備が装備されている場合
- 渋滞回避検索 機能がオンの場合

ℹ VICS についてのさらなる情報 (▷ 130 ページ)

VICS装備についての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◀◎▶ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。
- ▶ 設定 を選択し、押して 確定します。
- ▶ 渋滞回避探索 を選択し、押して 確定します。
  以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ □ のいずれかに切り替わります。

ルート検索に交通統計を考慮する



P82.87-7315-31

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◀◎▶ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。
- ▶ 設定 を選択し、押して 確定します。
- ▶ 渋滞予測を考慮する を選択し、押して 確定します。
  以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ □ のいずれかに切り替わります。

ナビ音声案内中に音量を小さくする

ナビの音声案内中に、現在のオーディオソースが静かになります。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 音声案内優先 を選択し、押して ◉ 確定します。
以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

特別なナビのメッセージのオン/オフの切り替え

特別なナビのメッセージのオン/オフを切り替えることができます。これらは、例えば踏み切りを通過する前に聞くことができます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ ナビガイダンス設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 項目を選択し、押して ◉ 確定します。
以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

設定	ナビの音声案内が聞こえるとき
合流警告	分岐点の前
踏切警告	踏み切りの前
カーブ警告	カーブの前
県境お知らせ	県境通過の前

ルートの最適化

この機能がオンのときは、COMANDシステムがルートを"学習する"ので、数回運転することによりルートが最適化されます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 学習ルート を選択し、押して ◉ 確定します。
以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

その後に"学習した"ルートのリストを開き、ルート案内のルートを選択することができます。

目的地の検索

目的地検索オプション

P82.87-7024-31

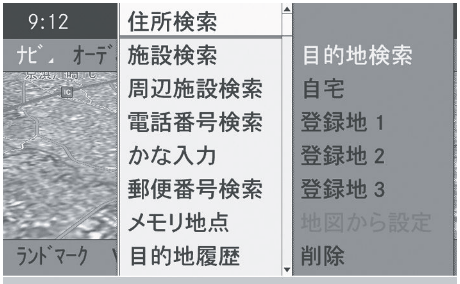
メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
  目的地検索オプションが表示されます。
- オプションのすべてを表示するには、COMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。

目的地検索	説明
住所	住所の検索
施設	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
名前検索	50音パネルを使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの検索
ドライブコース	ルートの選択
観光案内	観光案内から選択する

ℹ ルート案内が作動していないときは 目的地 が表示され、ルート案内が作動しているときは 目的地設定 が表示されます。

住所検索



P82.87-7927-31

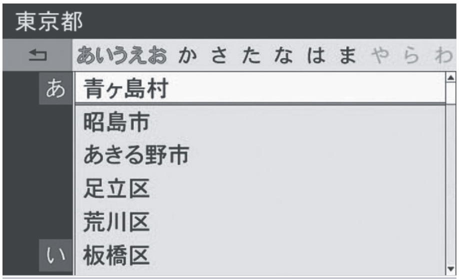
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ⊛ で 住所検索 を確定します。



P82.87-7556-31

現在選択されている地域の都道府県がリストに表示されます。

地域の選択

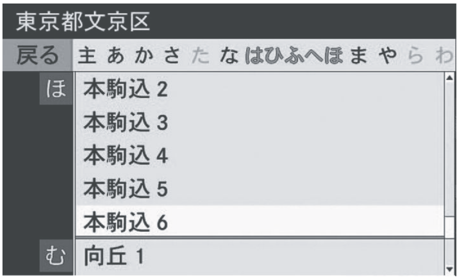
▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、地域を選択します。

地域（最上行）が北海道、東北、関東のように変わります。

選択した地域の都道府県のリストが表示されます。

都道府県の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、選択し、押して ⊛ 確定します。



P82.87-6148-31

リストに現在選択されている50音に一致する場所（市、区、市街地）が表示されます。

場所を選択する

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ⊛ 確定します。

場所のリストが50音順にしたがって変わります。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、押して ⊛ 確定します。

選択した都道府県の詳細なアドレスリスト (丁目) が表示されます。

住所（丁目）の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ⊛ 確定します。

住所のリストが50音順にしたがって変わります。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、押して ⊛ 確定します。

住所リスト（番地) が表示されます。

ⓘ ～主要部を選択すると、選択した場所、または詳細な住所 (丁目) の地図が表示されます。

住所（番地）の選択

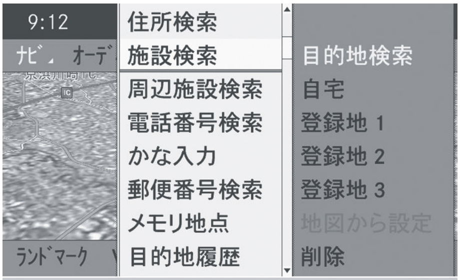
▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、押して ⊛ 確定します。
住所リスト（号）が表示されます。

住所（号）の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、押して ⊛ 確定します。
選択した住所付近の地図が表示されます。

選択の追加オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
目的地住所への電話発信 (▷ 156 ページ)

施設を検索する



P82.87-7928-31

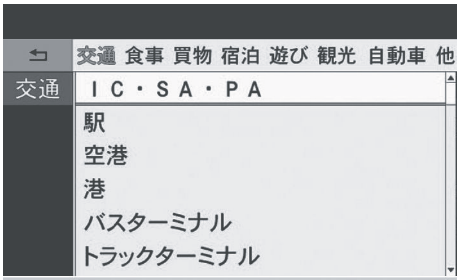
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 施設 を選択し、押して ⊛ 確定します。



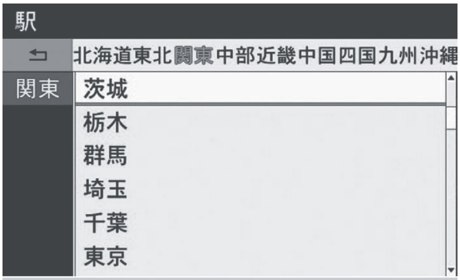
P82.87-7552-31

カテゴリーリストが表示されます。

カテゴリーとカテゴリー項目の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドします ←◎→ 。
カテゴリーが、交通、食事、買物のように変わります。
選択したカテゴリーで利用可能な項目のリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、 IC・SA・PA、駅、空港 などを選択し、押して ⊛ 確定します。



P82.87-7553-31

現在選択されている地域の都道府県がリストに表示されます。

地域と都道府県の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドします ←◎→ 。

地域が、北海道、東北、関東のように変わります。

選択した地域の都道府県のリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、都道府県を選択し、押して ◉ 確定します。

P82.87-7554-31

P82.87-7929-31

都道府県にある選択したカテゴリーで利用可能な施設のリストが表示されます。

施設の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ◉ 確定します。

施設のリストが50音順にしたがって変わります。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、施設を選択し、押して ◉ 確定します。

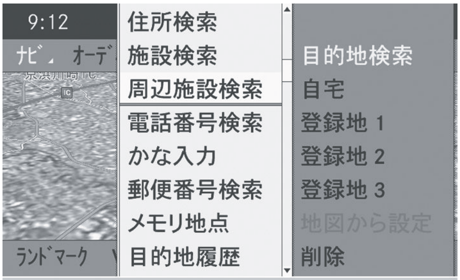
クロスカーソルのある地図が表示されます。ウインドウに選択した施設と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設への電話発信 (▷ 156 ページ)

ⓘ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

周辺の施設を検索する

カテゴリーリストを使用しての検索



P82.87-7930-31

ステップ1：施設メニューを呼び出す。

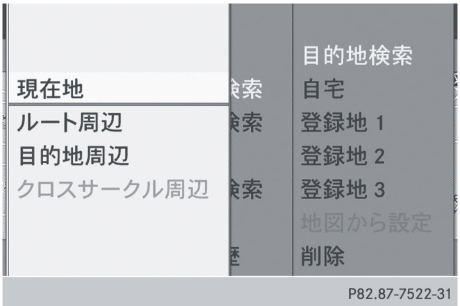
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 周辺施設検索 を選択し、押して ◎ 確定します。

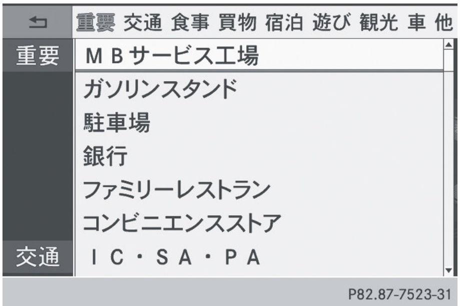


メニューが表示されます。

ステップ2：施設検索の位置を決定する。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、メニューで位置を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

選択	特徴
現在地	システムが現在の車両位置周辺の施設を検索します。
ルート周辺	ルート案内が作動しているときにのみ入力できます。システムがルート沿いの施設を検索します。
目的地周辺	システムが目的地周辺の施設を検索します。
クロスカーソル周辺	この施設検索オプションは、クロスカーソルが地図に表示されているとき、例えば"地図を動かす"機能を使用しているときに利用できます (▷ 124 ページ)。



ステップ3：カテゴリーと施設を選択する。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ カテゴリーを選択します。
カテゴリーが、交通、食事、買物のように変わります。
リストに使用可能な項目が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、リストから項目を選択し、押して ◎ 確定します。

P82.87-7931-31

見つかった施設が地図の右に表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ◎、まわして ◎ 項目を選択し、押して 確定します。

項目には以下の情報が含まれます。

- 施設への直線方向を示す矢印
- 施設までの直線距離（m または km）
- 施設の名称

P82.87-7525-31

クロスカーソルのある地図が表示されます。ウインドウに選択した施設と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設への電話発信(▷ 156 ページ)

ⓘ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

施設ガイドを使用しての検索

P82.87-7526-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、ランドマーク を選択し、押して 確定します。

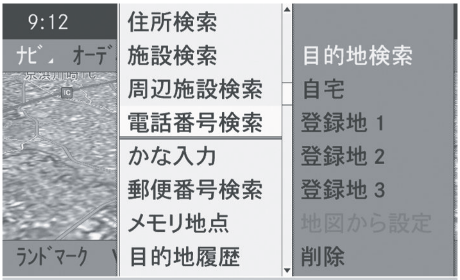
P82.87-7527-31

地図が表示され、次に利用可能な施設が強調されます。

▶ **地図上の次/前の施設を強調する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、次候補 または 前候補 を選択し、押して 確定します。

- **施設に関する情報を表示する：** 情報 を選択し、押して 確定します。
- **目的地を設定する：** 設定 を選択し、押して 確定します。
- 押して 、目的地 を確定します。
  全ルート図が表示されます (▷ 70 ページ)。

電話番号を使用して検索する



P82.87-7932-31

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから 、まわして 、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して 確定します。
- 電話番号検索 を選択し、押して 確定します。

P82.87-6139-31

電話番号の入力メニューが表示されます。

オプション 1

- COMANDコントローラーをまわし 、数字バーで数字を1つずつ選択し、押して 確定します。

オプション 2

- COMANDコントロールパネルのテンキーを使用して、数字を入力します。

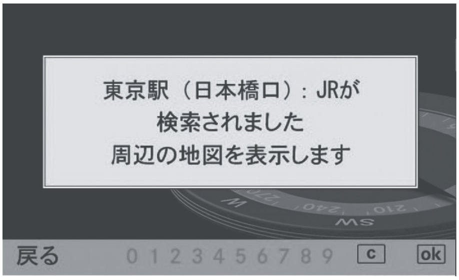
入力の削除

- 数字バーでCOMANDコントローラーをスライドして 、 c を選択し、押して 確定します。

または

- COMANDコントローラー右側の c スイッチまたはCOMANDコントロールパネルの CLEAR スイッチを押します。
  どちらの場合も、カーソルの左側の数字が削除されます。

ℹ 削除時に、COMANDコントローラー、または c または CLEAR スイッチを押して保持すると、入力した数字が **すべて** 削除されます。



P82.87-6140-31

電話番号をすべて入力すると、メッセージが表示されます。

該当する住所付近の地図が表示されます。

以下の場合は、適切な縮尺で地図が表示されます。

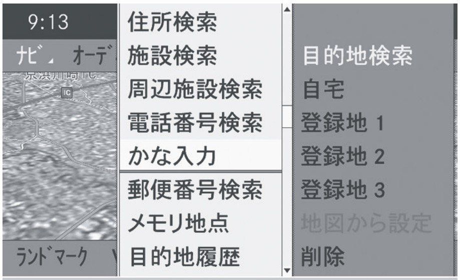
- 電話番号に住所の情報（丁目、番地、号、ピンポイント情報）が含まれていない。
- 市外局番または市内局番のみが入力されている。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設の呼び出し(▷ 156 ページ)

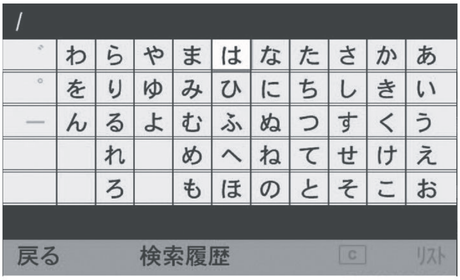
ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

50音パネルを使用して検索する

50音パネルの呼び出し



P82.87-7933-31



P82.87-6111-31

50音パネル（ひらがな）

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ かな入力 を選択し、押して ⊛ 確定します。
50音パネル（ひらがな）が表示されます。

ℹ 文字が何も選択されていない場合は、c と リスト はメニューバーで選択できません。

ℹ リスト は項目の数が10,000件未満の場合に選択できます。

COMANDコントローラーを使用して入力する

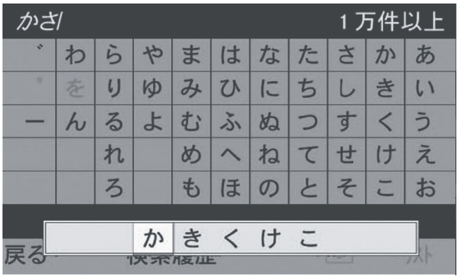
▶ **行を変更する：**COMANDコントローラーをスライドするか ←◎→、まわします ↺◎↻。

▶ **段を変更する：** COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓ または ↘◎↖。

ℹ 灰色で表示されている文字は選択できません。

▶ **選択した文字を確定する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。
選択に該当する項目のリストが表示されます。

COMANDコントロールパネルのテンキーを使用して入力する



P82.87-6112-31

▶ **行を選択する：**行に対応するテンキー（右から数えて）を押します。
選択した行の文字が画面の下に表示されます。

例：文字 "く" の選択

▶ 行でテンキー2を3回軽く押します。
最初に押した後、か行で使用可能な文字が画面の下部に表示されます。最初に使用可能な文字が強調されます。キーが押されるたびに、次の文字が選択されます。
例：キー2

- 1度押し = か
- 2度押し = き
- 3度押し = く
- 4度押し = け
- 5度押し = こ

入力した文字を削除する

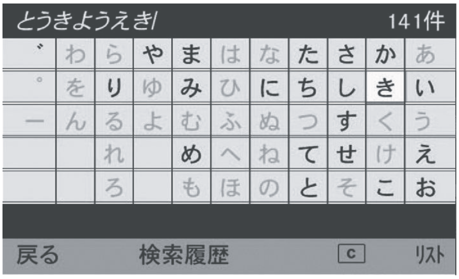
▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、最下行で c を選択し、押して ◎ 確定します。

または

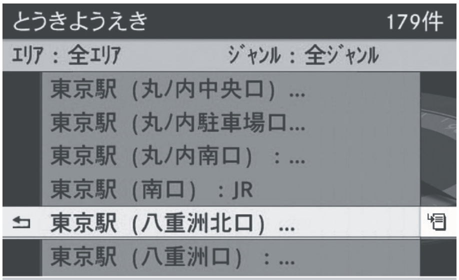
▶ COMANDコントローラー右側の c スイッチまたはCOMANDコントロールパネルの CLEAR スイッチを押します。
いずれの場合も、以前に入力した文字が削除されます。

ℹ 削除時に、COMANDコントローラー、または c または CLEAR スイッチの1つを押して保持すると、入力した文字が**すべて** 削除されます。

リストを表示する



P82.87-6113-31



P82.87-7542-31

リスト

リスト は検索された項目が10,000件未満の場合に選択できます。文字を入力すると、検索された項目の件数が右上に表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、リスト を選択し、押して ◎ 確定します。

入力した文字に合致する項目のリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、リスト項目を選択し、押して ◎ 確定します。

P82.87-7934-31

選択した項目の周辺が地図に表示されます。加えて、項目名と電話番号のウインドウが表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設の呼び出し(▷ 156 ページ)

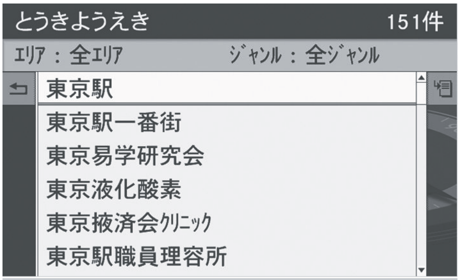
ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

検索結果をさらに絞り込む

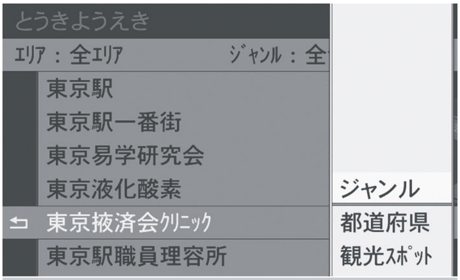
結果の数を減らすために以下のように検索を絞り込むことができます。

- カテゴリー
- 都道府県
- 名所

ℹ 異なる絞り込みを組み合わせても使用できます。リストごとに異なる絞り込みを選択できます。



P82.87-7935-31



P82.87-7936-31

検索結果の選択

▶ リストでCOMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
検索結果を絞り込むことができます。

カテゴリーで絞り込む

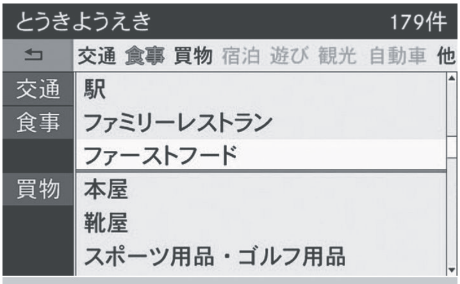
オプション 1

▶ COMANDコントローラーをまわして ◀◎▶、ジャンル を選択し、押して ◎ 確定します。

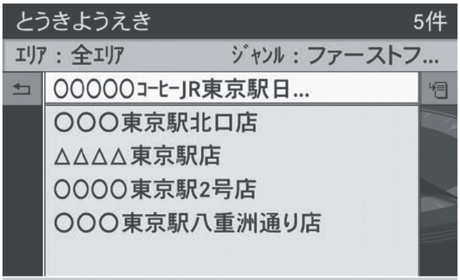
▶ 設定 を選択して、押して ◎ 確定します。

▶ 現在の絞り込みを削除するには、削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **カテゴリーを選択する：** COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ◎ 確定します。
カテゴリーが、交通、食事、買物のように変わります。



P82.87-7544-31



P82.87-7545-31

P82.87-7937-31

オプション 2

▶ **施設の種類を選択する：**COMANDコントローラーをスライドする ↓◎↑ か、まわします ◀◎▶ 。
施設の種類が、ファミリーレストラン、ファーストフードのように変わります。

▶ 押して ◎ 施設の種類を確定します。
選択した施設の種類のある項目のリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
検索結果の周辺エリアの地図が表示されます。ウインドウに名称と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設の呼び出し(▷ 156 ページ)

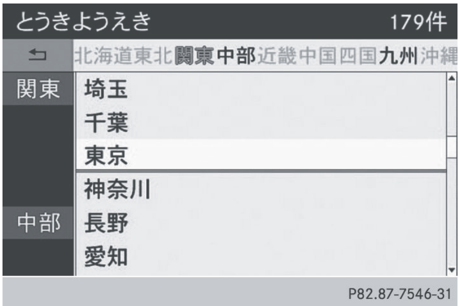
ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

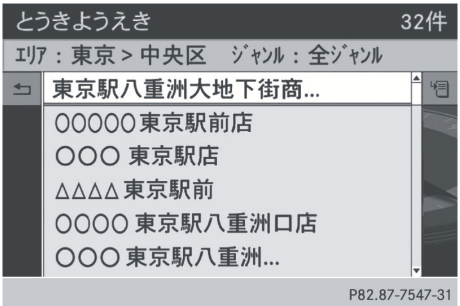
都道府県で絞り込む

オプション 1

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、都道府県 を選択し、押して ⊛ 確定します。
▶ 設定 を選択して、押して ⊛ 確定します。
▶ 現在の絞り込みを削除するには、削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **地域を選択する：** COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ⊛ 確定します。
地域が、北海道、東北、関東のように変わります。





オプション 2

▶ **都道府県を選択する：**COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわします ⟲◎⟳。
都道府県が変わります。
▶ 選択した都道府県を確定します ⊛ 。
市、区、市街地または町村内の使用可能な項目を含むリストが表示されます。
▶ **市、区、市街地または町村を選択する：** COMANDコントローラーをスラ

イドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、押して ☝ 確定します。

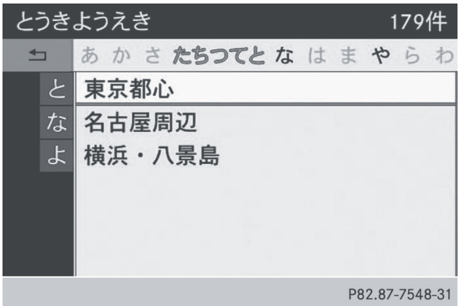
選択した場所（市、区、市街地または町村）で検索した結果を含むリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、検索結果を選択し、押して ☝ 確定します。

検索結果の周辺エリアの地図が表示されます。名称と電話番号がウインドウに表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ☝ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設の呼び出し(▷ 156 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。



名所で絞り込む

▶ COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、観光スポット を選択し、押して ☝ 確定します。

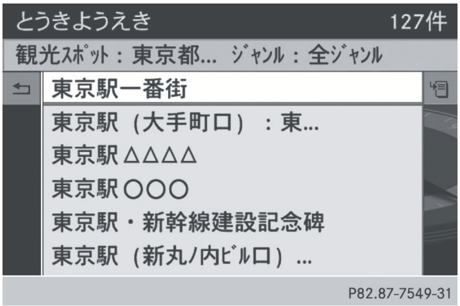
▶ 設定 を選択して、押して ☝ 確定します。

▶ 現在の絞り込みを削除するには、削除 を選択し、押して ☝ 確定します。

オプション 1

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ☝ 確定します。

名所のリストが50音順に従って変わります。



オプション 2

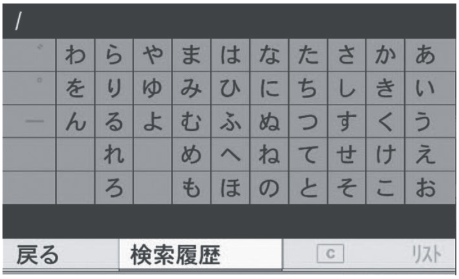
▶ **名所を選択する：** COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、押して ☝ 確定します。
使用可能な名所のリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ↶◎↷、名所を選択し、押して ⊚ 確定します。
名所の周辺エリアの地図が表示されます。ウインドウに名称と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊚ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設の呼び出し(▷ 156 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

既に入力した文字列から検索する



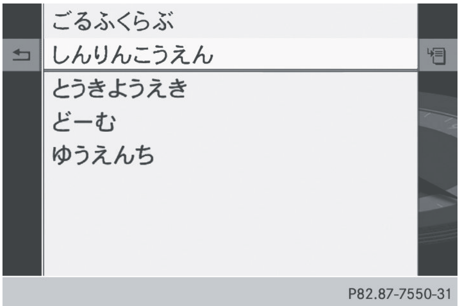
P82.87-6127-31

COMANDシステムは、50音パネルを使用して入力した文字列を保存します。

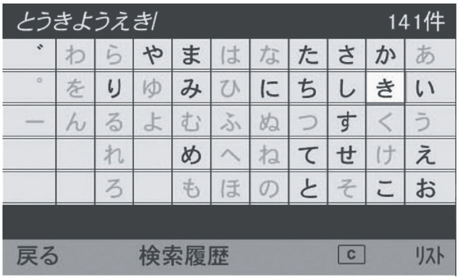
このようにして、既に入力した文字列を使用して検索を開始できます。

以前に入力した文字列の選択

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↶◎↷、検索履歴 を選択します。



P82.87-7550-31

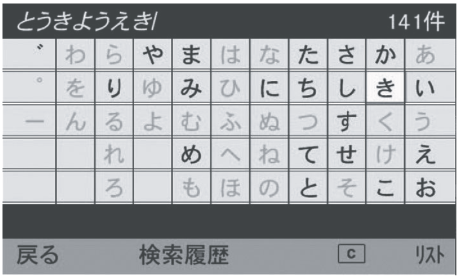


P82.87-6129-31

以前入力した文字列のリストが表示されます。

▶ **文字列を選択する：** COMANDコントローラーをまわして ↶◎↷、押して ⊚ 確定します。
選択した文字列は50音パネルの左上に表示されます。

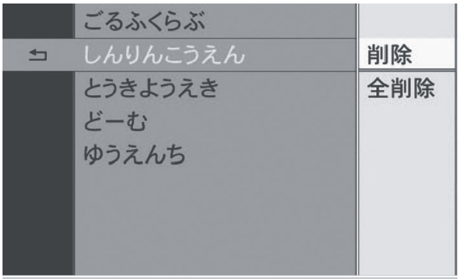
▶ 50音パネルを使用してさらに文字を追加することができます。



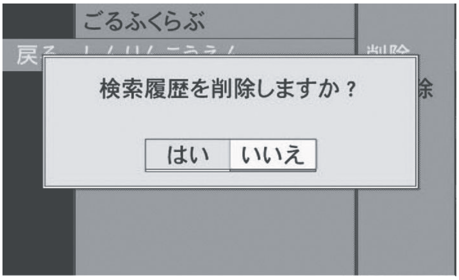
P82.87-6129-31

以前入力した文字列/すべての文字列の削除

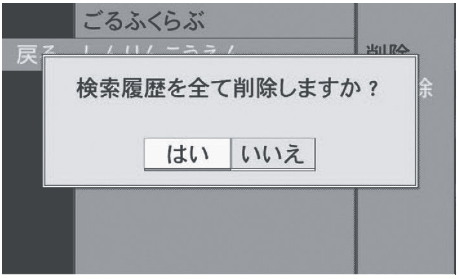
▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、検索履歴 を選択します。
以前入力した文字列のリストが表示されます。



P82.87-7551-31



P82.87-6131-31



P82.87-6132-31

▶ **文字列を選択する：** COMANDコントローラーをまわします ↺◎↻。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、文字列の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

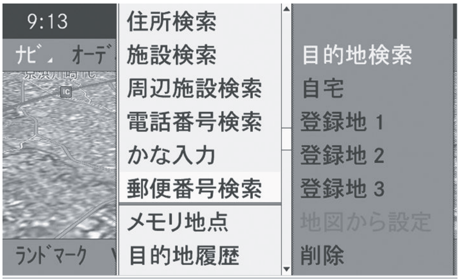
▶ **特定の文字列を削除する：**削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、文字列が削除されます。

▶ **すべての文字列を削除する：** COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、全削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、以前の文字列すべてが削除されます。

郵便番号を使用して検索する



P82.87-7940-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 郵便番号検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

P82.87-6142-31

P82.87-6144-31

郵便番号入力のメッセージが表示されます。

オプション 1

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、数字バーで希望の数字を選択し、その都度押して ⊛ 確定します。

オプション 2

▶ COMANDコントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。

▶ 両方のオプションで、COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、数字バーで ok を選択し、押して ⊛ 確定します。

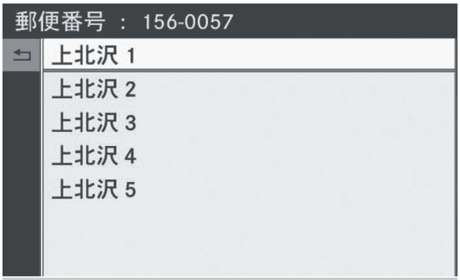
入力の削除

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、最下行で c スイッチを選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ COMANDコントローラー右側の c スイッチまたはCOMANDコントロールパネルの CLEAR スイッチを押します。
いずれの場合も、最後に入力した数字が削除されます。

ℹ 削除時に、COMANDコントローラー、または c または CLEAR スイッチの1つを押して保持すると、入力した数字が**すべて** 削除されます。



P82.87-7941-31

P82.87-7942-31

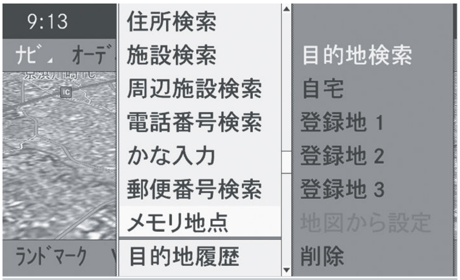
地域によっては、7桁を入力すると、地域の詳細なリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ◉ 確定します。
郵便番号が明確な場合は、地図に該当のエリアが表示されます。

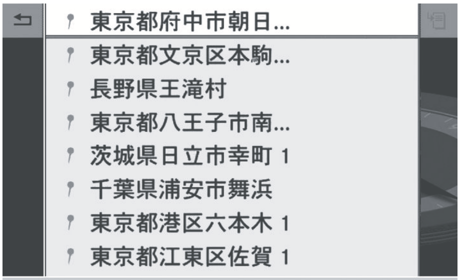
地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
施設の呼び出し(▷ 156 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

メモリ地点を検索する



P82.87-7943-31



P82.87-7537-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ メモリ地点 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点リストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メモリ地点を選択し、押して ◉ 確定します。
地図にメモリ地点周辺が表示されます。

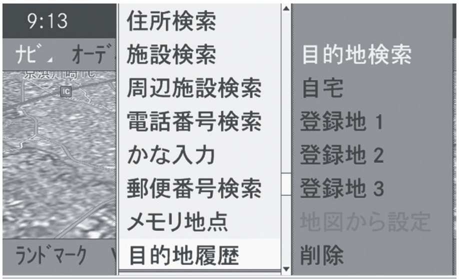
地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
メモリ地点の呼び出し(▷ 156 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

ℹ メモリ地点メモリーのさらなる情報 (▷ 118 ページ)

以前の目的地を検索する

以前の目的地メモリー



P82.87-7944-31

このメモリーには以前入力した目的地が50件まで含まれています。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地履歴 を選択し、押して ⊛ 確定します。

P82.87-7945-31

P82.87-7946-31

以前の目的地のリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、前回の目的地を選択し、押して ⊛ 確定します。

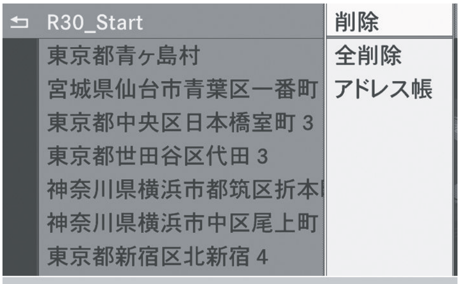
選択した前回の目的地の周辺が地図に表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)

地図選択オプション
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
前回の目的地への電話発信 (▷ 156 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

以前の項目の削除



P82.87-7521-31

以前の目的地を削除する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メモリーで前回の目的地を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、削除 を確定します。

確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、選択した目的地が削除されます。

すべての以前の目的地を削除する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メモリーで前回の目的地を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ メニューで、全削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。

確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、すべての以前の目的地が削除されます。

最後の目的地をアドレス帳にエクスポートする

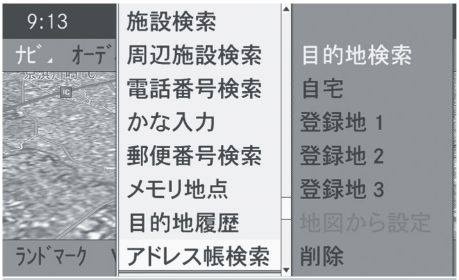
▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メモリーで前回の目的地を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

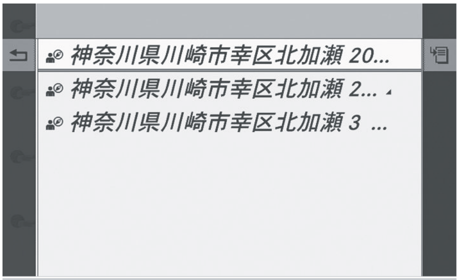
▶ メニューから アドレス帳 を選択し、押して ⊛ 確定します。

アドレス帳についての情報 (▷ 171 ページ)。

アドレス帳からの検索



P82.87-7947-31



P82.87-7948-31

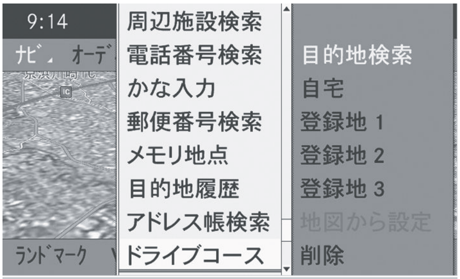
- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- アドレス帳 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- リストからアイコン ⊕ のあるアドレス帳項目を選択します。
  選択したアドレス帳項目周辺の地図が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳項目の呼び出し (▷ 156 ページ)

ℹ 電話番号が使用可能で、携帯電話がCOMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます (▷ 150 ページ)。

ルートを選択する

保存したルートを呼び出す

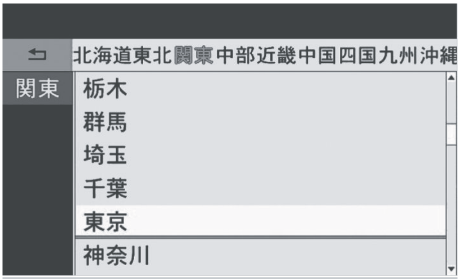


P82.87-7949-31

ルート案内のために設定したルートから、ルートを編集することができます。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ドライブコース を選択し、押して ⊚ 確定します。



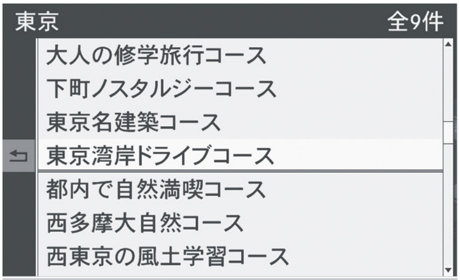
P82.87-7560-31

都道府県リストが表示されます。

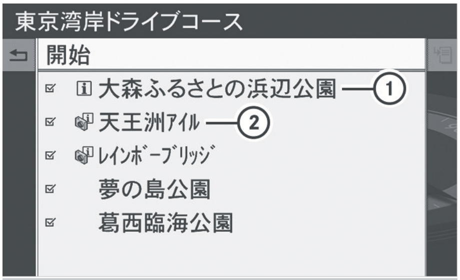
▶ **地域を選択する：** COMANDコントローラーをスライドします ←◎→。
北海道、東北、関東のように地域を切り替えます。
選択した地域の使用可能な都道府県のリストが表示されます。

または

▶ **都道府県を選択する：** COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、押して ⊚ 確定します。



P82.87-7950-31



P82.87-7951-31

① 文字情報のある立寄地点

② 文字と写真情報のある立寄地点

使用可能なルートのリストが表示されます。

▶ ルートを選択し、押して ⊚ 確定します。
ルート上の個々の立寄地点が表示されます。

立寄地点の選択/選択解除

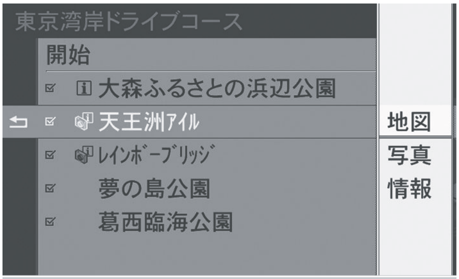
▶ 立寄地点を選択し、押して ⊚ 確定します。
ルート検索のための立寄地点を選択 ☑ または選択解除 ☐ できます。

▶ OK を選択し、押して ⊚ 確定します。
選択した立寄地点がルート検索に含まれます。ルート検索が終了すると、ルート案内が開始されます。

ℹ 一度ルート案内が開始されると、立寄地点は追加できなくなります。

ℹ ただし、ルート案内が開始された後でも、立寄地点を選択解除できます。そのためには、OK を選択し、ルートを再検索します。

立寄地点に関する情報



P82.87-7952-31

P82.87-7953-31

立寄地点の周辺地域の地図の呼び出し

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、立寄地点を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、立寄地点の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 地図から指定 を選択し、押して ◎ 確定します。
立寄地点周辺が地図に表示されます。

以下のことができます。

- 地図のスクロール(▷ 124 ページ)
- 地図の縮尺の設定(▷ 123 ページ)

▶ **前回の画面に戻る**：COMANDコントローラーまたはリターンスイッチ ⮌ を押します。

P82.87-7954-31

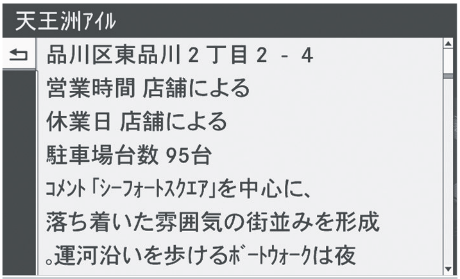
立寄地点の写真を表示する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、立寄地点を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、立寄地点の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 写真 を選択し、押して ◎ 確定します。
立寄地点の画像が表示されます。

▶ **前回の画面に戻る**：COMANDコントローラーまたはリターンスイッチ ⮌ を押します。



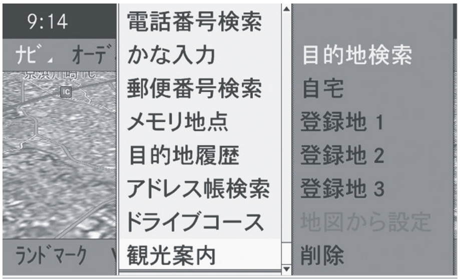
P82.87-7955-31

立寄地点の文字情報を表示する

- ▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、立寄地点を選択します。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、立寄地点の右側のリストマークを選択し、押して 確定します。
- ▶ 情報 を選択し、押して 確定します。
  入場料や営業時間などの文字情報が表示されます。
- ▶ **前回の画面に戻る：**COMANDコントローラーまたはリターンスイッチ を押します。

観光案内から選択する

観光案内を呼び出す



P82.87-7956-31

観光案内から目的地を選択できます。

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して 確定します。
- ▶ 目的地検索 を選択し、押して 確定します。
- ▶ 観光案内 を選択し、押して 確定します。

P82.87-7363-31

P82.87-7364-31

日本の地図が表示されます。例では、関東地域が強調されています。

- ▶ **地域を選択する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、押して 確定します。
  選択した地域内で都道府県を選択できます。
- ▶ **都道府県を選択する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、押して 確定します。

P82.87-7365-31

P82.87-7957-31

P82.87-7366-31

P82.87-7368-31

選択した都道府県内で地図項目を選択できます。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、地図項目を選択します。現在強調されている地図項目に赤い枠がつきます。

▶ COMANDコントローラーを押します⊛。
グルメ、レジャー、観光など、使用可能なカテゴリーの1つを選択できます。

▶ グルメ、レジャー または 観光 を選択し、押して ⊛ 確定します。

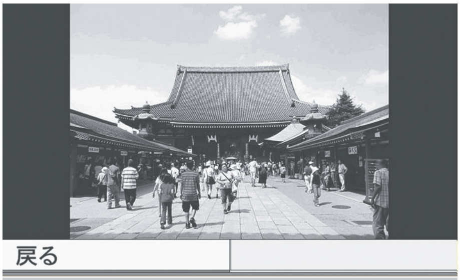
選択したカテゴリーの利用可能な地図項目の地図が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、地図項目を選択します。現在強調されている地図項目に赤い枠がつきます。

▶ COMANDコントローラーを押します⊛。
メニューが表示されます。目的地に関する情報（写真、文字）を閲覧し、ルート検索前に地図に切り替えることができます。

写真情報の閲覧

P82.87-7368-31

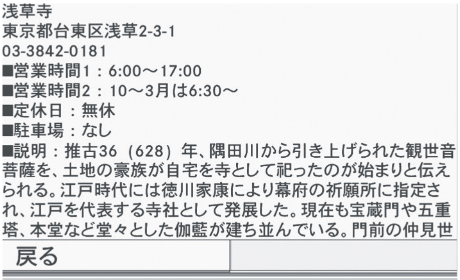


P82.87-7958-31

▶ 写真 を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択した地図項目の写真が表示されます。

▶ **メニューに戻る：** 押して ⊛、戻る を確定するか、リターンスイッチ ↩ を押します。

文字情報を表示する



P82.87-7959-31

▶ 情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。
使用可能な文字情報が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、スクロールします。

▶ **メニューに戻る：** 押して ⊛、戻る を確定するか、リターンスイッチ ↩ を押します。

地図を表示する

P82.87-7960-31

▶ メニューから 地図 を選択し、押して ⊛ 確定します。
名所の地図、名称および電話番号（使用可能なとき）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 117 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 171 ページ)
観光案内の目的地への電話発信 (▷ 156 ページ)

ℹ 観光案内の目的地が施設に登録されていて、携帯電話が COMANDシステムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

地図から検索する

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- 地図にクロスカーソルを表示します(▷ 124 ページ)。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから 、まわして 、目的地設定 または 目的地 を選択し、押して 確定します。
- 地図から設定 を選択し、押して 確定します。
- 目的地 を選択し、押して 確定します。
  全ルート図が表示されます(▷ 70 ページ)。

メモリ地点

メモリ地点の保存

全体的な注意事項

100件までのメモリ地点を保存できます。

地図で選択し、保存する

P82.87-6081-31

これらの地図の機能を使用します。

- 地図の縮尺を設定します (▷ 123 ページ)。
- 地図をスクロールします (▷ 124 ページ)。
- 地図の希望のメモリ地点にクロスカーソルを合わせます。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから 、まわして 、保存 を選択し、押して 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して 確定します。

P82.87-6183-31

メッセージは選択した地図の位置がメモリ地点として保存されたことを示します。

ℹ 選択した地図の位置は、アドレス帳に保存することもできます(▷ 170 ページ)。

現在の車両位置の保存

▶ ルート案内中で地図が表示されている間に、COMANDコントローラーを押します ◉。
メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、保存 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ メモリ地点 を選択し、押して ◉ 確定します。
メッセージは、現在の車両位置がメモリ地点として保存されたことを示しています。

目的地入力後に保存する

▶ 目的地の検索を開始します(▷ 92 ページ)。
目的地住所がすべて入力されると地図が表示されます。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

▶ 保存 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ メモリ地点 を選択し、押して ◉ 確定します。
メッセージは、目的地がメモリ地点として保存されたことを示します。

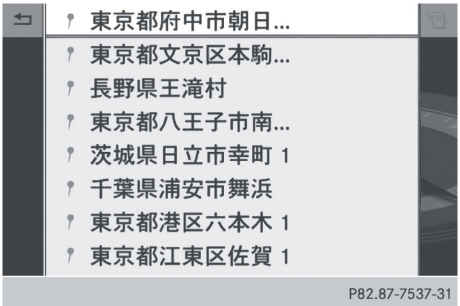
メモリ地点メモリー

使用できる機能

以下の機能はメモリ地点メモリーで使用可能です。

- 詳細情報の表示と編集
- マークまたは保存日時によるメモリ地点の並び替え
- メモリ地点の削除
- すべてのメモリ地点の削除
- メモリ地点のアドレス帳への登録

メモリ地点メモリーの管理



メモリ地点メモリー

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

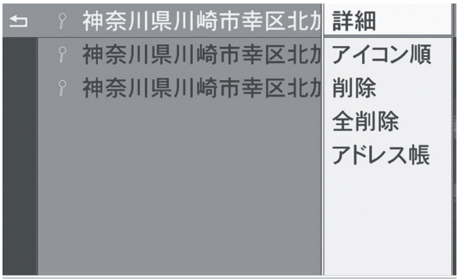
▶ 目的地検索 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ メモリ地点 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点メモリーを表示できます。

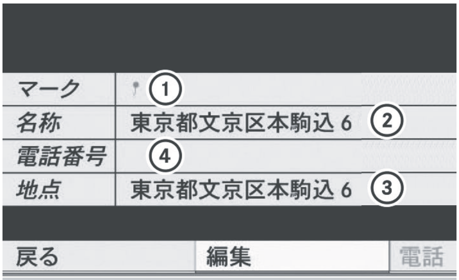
ℹ ルート検索のメモリ地点の選択(▷ 108 ページ)。

リストからメモリ地点を選択し、COMANDコントローラーを押すと、目的地周辺のエリアの地図が表示されます。

詳細情報を表示する



P82.87-7961-31



P82.87-7962-31

メモリ地点の詳細画面

① 現在のマーク

② メモリ地点の名称

③ メモリ地点の住所

④ 電話番号 (使用可能な場合)

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メモリ地点を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューで、押して ◎、詳細 を確定します。
メモリ地点の詳細表示が表示されます。

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

マークを変更する

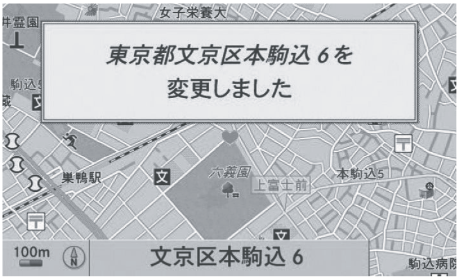
地図に表示されるアイコンを変更できます。

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して ◎、編集 を確定します。
メニューが表示されます。

P82.87-6094-31

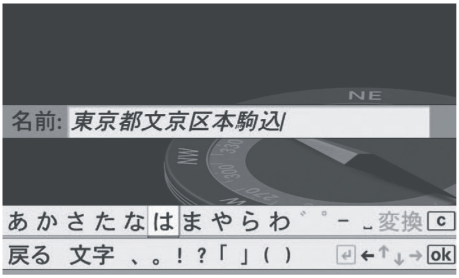
▶ 押して ◎、マーク を確定します。
アイコンのリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、マークを選択し、押して ◎ 確定します。
マークが変更され、メッセージが表示されます (例)。



P82.87-6095-31

名称を変更する



P82.87-6096-31

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して 、編集 を確定します。

▶ メニューから 名称 を選択し、押して 確定します。
入力メニューが表示され、現在の名称を表示します。

▶ ok で入力を確定します。
名称が変更され、地図に表示されます。

文字入力に関する情報(▷ 31 ページ)

メモリ地点の電話番号を変更する

P82.87-6097-31

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して 、編集 を確定します。

▶ メニューから 電話番号 を選択し、押して 確定します。
入力メニューが表示されます。

オプション 1

▶ COMANDコントローラーをまわして 、数字バーで希望の数字を選択し、その都度押して 確定します。

オプション 2

▶ COMANDコントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。

▶ いずれの場合も、 ok を選択し、押して 確定します。
電話番号が変更されます。

メモリ地点の場所の変更

P82.87-6098-31

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して 、編集 を確定します。

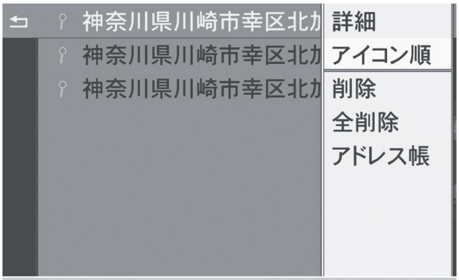
▶ メニューから 地点 を選択し、押して 確定します。
地図がクロスカーソルとともに表示され、メモリ地点の位置を表示します。

▶ 地図の縮尺を設定します (▷ 123 ページ)。

▶ 地図をスクロールします (▷ 124 ページ)。
そのようにしてクロスカーソルを希望の位置に設定します。

▶ COMANDコントローラーを押します 。
メモリ地点の位置が変更されます。

メモリ地点の並び替え



P82.87-7963-31

メモリ地点をマークの種類または登録日時によって並び替えることができます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーでメモリ地点を選択します。

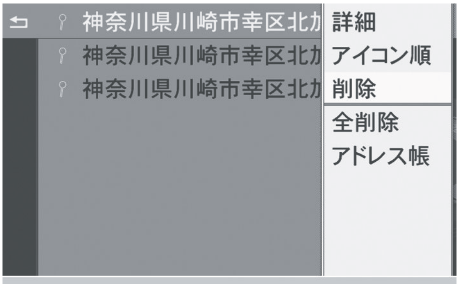
▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ マーク順 または 登録順 を選択し、押して ◎ 確定します。

メモリ地点がそれに応じて並び替わります。

ℹ マーク順 が選択された後に、登録順 が使用可能になり、その逆も同様です。

メモリ地点の削除

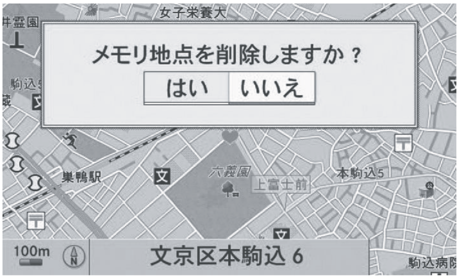


P82.87-7964-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーでメモリ地点を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 削除 を選択し、◎ を押して確定します。



P82.87-6102-31

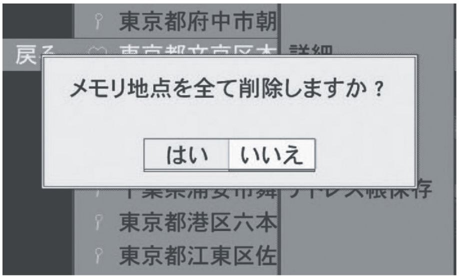
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、メモリ地点が削除されます。

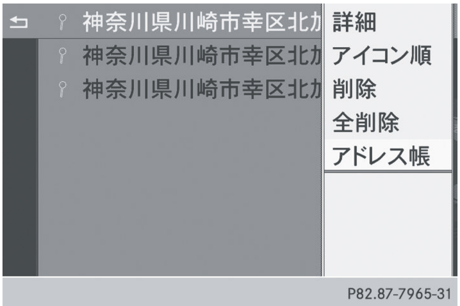
すべてのメモリ地点の削除



P82.87-6103-31

- COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、メモリーでメモリ地点を選択します。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- 全削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
確定のメッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、すべてのメモリ地点が削除されます。

メモリ地点のアドレス帳への登録



- COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、メモリーでメモリ地点を選択します。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- アドレス帳検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
メモリ地点はアドレス帳に保存されます。
- 新規 または 追加 を選択し、押して ◎ 確定します。
新規 は、メモリ地点を新しいアドレス帳項目として保存します。
追加 は、メモリ地点を既存のアドレス帳項目に追加します。
- カテゴリーの 指定なし、プライベート または 仕事関連 を選択し、押して ◎ 確定します。

新しいアドレス帳項目として保存する

- よみがなを入力します。メモリー地点をすばやく選択することができます。
- ok を選択し、押して ◎ 確定します。
保存しました というメッセージが表示されます。

アドレス帳項目に追加

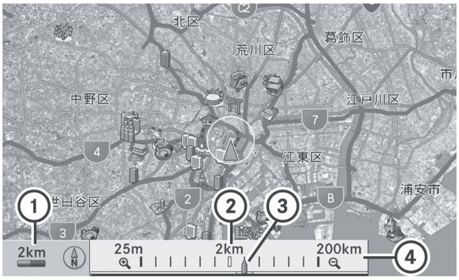
- メモリ地点が保存されるアドレス帳項目を検索します (▷ 170 ページ)。

地図操作と地図設定

注意点

地図に表示されている会社のロゴは、それぞれの会社の商標です。それらの会社の位置を示す目的でのみ使用されます。ナビゲーションシステムでのそのようなロゴの使用は、企業の承認やサポートを受けたものではなく、また宣伝を行なっているものでもありません。

地図の縮尺を設定する



P82.87-5904-31

① ユニット上の距離を数値で表した、現在設定されている地図の縮尺（この場合は 2 km）
② 現在設定されている地図の縮尺
③ 新しい選択を示す針
④ 地図の縮尺

▶ **メニューを非表示にする：** メニュー項目の 全画面表示 が表示されているときに、COMANDコントローラーをスライドして ↑◎ 、押します ◎ 。

▶ **縮尺バーを呼び出す：** COMANDコントローラーをまわす ◎ とすみやかに、縮尺バー ④ が表示されます。

▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします ◎ 。

ℹ 地図のデータが使用可能でないときは、地図の縮尺は灰色になり、選択できません。

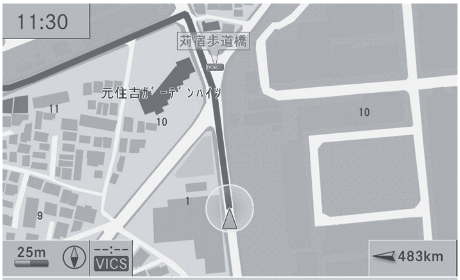
市街図が使用可能なときは、25 mの縮尺が選択できます。

市街図は 25 m および 50 m の地図縮尺で使用可能です。ほとんどの市街地で表示することができますが、通常郊外では表示できません。

25 m の縮尺が使用できないときは、50 m の縮尺が表示されます。

車両が高速道路を 5 km/h 以上の速度で走行していて、市街図が表示されている場合は、画面は自動的に100 m の地図縮尺に切り替わります。25 m と 50 m の縮尺は車両が停止しているときに再び使用することができます。

さまざまな地図の縮尺例

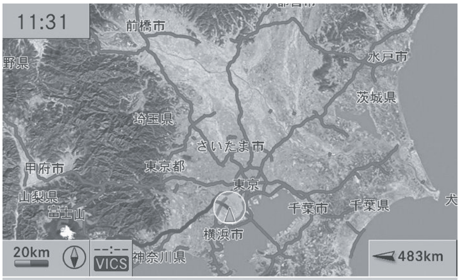


P82.87-7966-31

25m縮尺の市街図（2D表示）

P82.87-7967-31

200m縮尺の市街図（2D表示）



P82.87-7968-31

20km縮尺のサテライトマップ（2D表示）

ナビゲーション

地図の種類と地図の縮尺

地図の種類	地図の縮尺
市街地地図	25 m、 50 m
一般地図	50 m - 200 km
サテライトマップ ⓘ 地図の種類 サテライトマップ がオンのときに使用できます。	1 km - 200 km
全ルート図	50 m - 1000 km

地図を動かす

クロスカーソルを表示する

P82.87-5905-31

① クロスカーソル

② 現在の車両位置

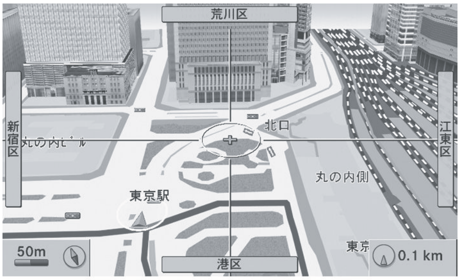
③ 位置の名称

④ 現在の車両位置からクロスカーソル位置までの距離

▶ **メニューを非表示にする：** メニュー項目の 全画面表示 が表示されているときに、COMANDコントローラーをスライドして ↑◎ 、押します ◎ 。

▶ **地図をスクロールする：** COMANDコントローラーをスライドします ←◎→ 、↑◎↓ 、 ⤡◎⤢ 。
クロスカーソルが地図に表示されます。再びスライドすると、地図はクロスカーソルに対応した方向に動きます。

ⓘ 現在選択されている地図の縮尺が使用できないときは、使用できる最も大きな縮尺に自動的に切り替わります。



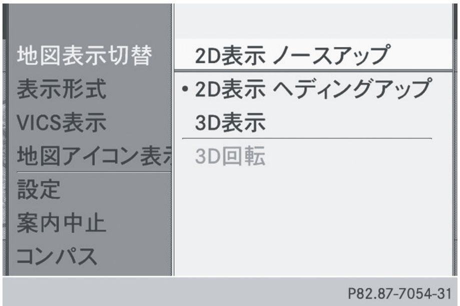
P82.87-5897-31

例：隣接市街地区を表示して地図を動かす

地図の縮尺によっては、地図を動かすと、隣接地域、区、または都道府県が表示されます。

地図の設定

地図表示を選択する



P82.87-7054-31

2D地図の向きをノースアップまたはヘディングアップ表示に設定できます。

ノースアップ表示：地図表示は北が常に上で表示されます。

ヘディングアップ表示：地図は進行方向で表示され、現在の車両方向を示す矢印が上を指します。

- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。
- 地図表示切替 を選択し、押して 確定します。
- COMANDコントローラーをまわして ◎、2D表示 ノースアップ、2D表示 ヘディングアップ または 3D表示 を選択し、押して 確定します。
  ドット ● は現在の設定を示します。

P82.87-6039-31

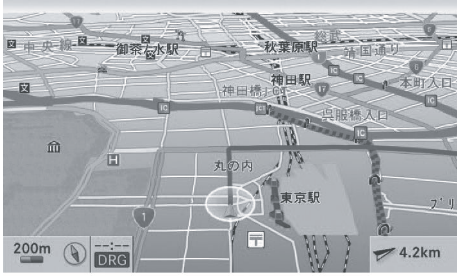
例：ノースアップ表示の2D表示

Ⓝ が画面下の地図縮尺のとなりに表示されます。

P82.87-6046-31

例：ヘディングアップ表示の地図

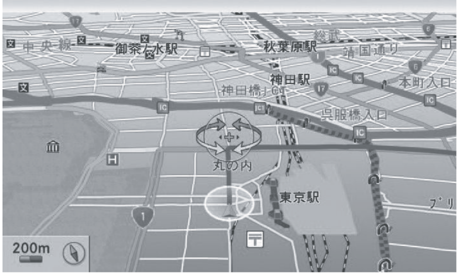
⊘ が画面下の地図縮尺のとなりに表示されます。運転中は、車両の進行方向によってマークが回転します。



P82.87-6040-31

例：3D表示

3D 回転



P82.87-6048-31

３D表示または"ビル表示" 機能を選択しているときは(▷ 124 ページ)、地図を回転することができます。

- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。
- 地図表示切替 を選択し、押して 確定します。
- 3D回転 を選択し、押して 確定します。
  3D表示を回転できます。

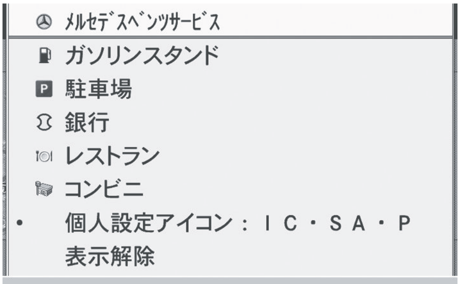
▶ **3D表示を時計回りに回転させる：** COMANDコントローラーを左にスライドします。

▶ **3D表示を反時計回りに回転させる：** COMANDコントローラーを右にスライドします。

ℹ 運転しているとき、地図は現在地を表示します。

"3D 回転" 機能と"地図の移動" 機能を一緒に使用している場合は、COMANDコントローラーを押した後に、新たに整列した地図が表示されます。

地図に施設を表示する



P82.87-7050-31

あらかじめ設定された施設のマークを選択する

25 m から 500 m の地図の縮尺で、地図に表示する、あらかじめ設定された6つの施設のマークを選択できます。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから、まわして、基本機能バーで ナビ を選択し、押して確定します。

▶ 地図アイコン表示 を選択して、押して確定します。

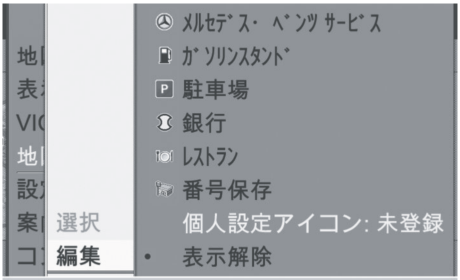
ドット ● は現在の設定を示します。

▶ カテゴリーを選択し、押して確定します。

▶ **地図の施設のマークを非表示にする：** 表示解除 を選択し、押して確定します。

ℹ 同時に複数のカテゴリーを選択することはできません。

表示解除を選択するときの特徴：メルセデス・ベンツサービス カテゴリーのアイコンは 25 m から 1 km の地図の縮尺で表示されます。



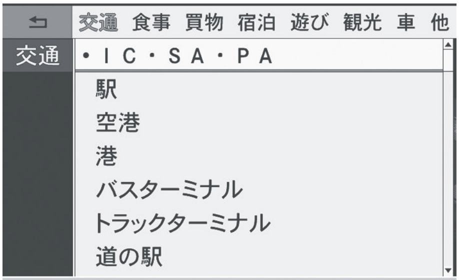
P82.87-7051-31

個人設定の施設を選択する

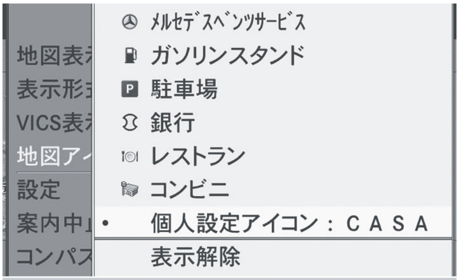
▶ COMANDコントローラーをスライドしてから、まわして、メニューから 個人設定アイコン： を選択し、押して確定します。

個人設定の施設がまだ選択されていない場合は、個人設定アイコン： の後に 未登録 が表示されます。

▶ 編集 を選択し、押して確定します。



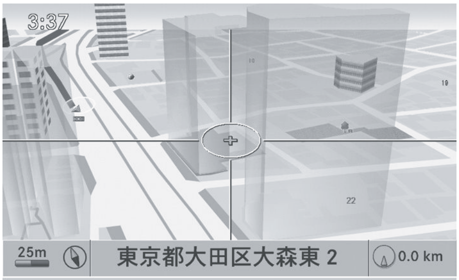
P82.87-7052-31



P82.87-7053-31

- ▶ **カテゴリーを変更する：** COMANDコントローラーをスライドします ←◎→。
  選択したカテゴリーが最上行で強調され、利用可能な項目を表示します。
- ▶ **施設を選択する：** COMANDコントローラーをまわして ◎ 選択し、押して ◎ 施設を確定します。
  選択した施設がメニューの 個人設定アイコン： の後に表示されます。

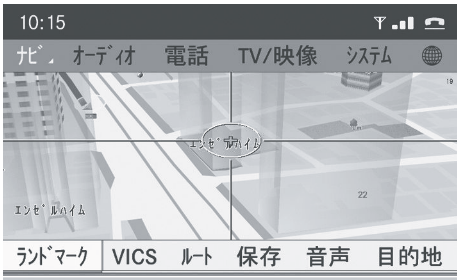
ビル情報を表示する



P82.87-7336-31

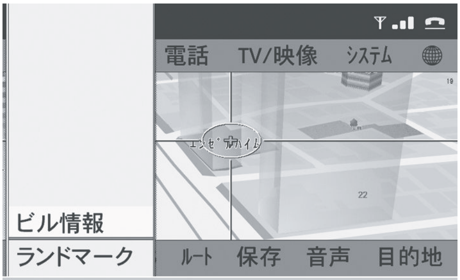
それぞれの情報が個々の施設で利用可能な場合は、COMANDシステム はビル情報を表示することができます。

- ▶ 縮尺を 25 m または 50 m(▷ 123 ページ) に設定します。
- ▶ ビル情報を含んでいるビルに地図上のクロスカーソルを動かします (▷ 124 ページ)。
  ビルの地面部分が茶色になります。
  色が変わらない場合は、ビルに表示できる情報はありません。
- ▶ COMANDコントローラーを押します ◎。
  メニューが表示されます。



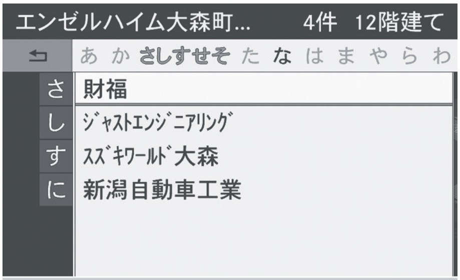
P82.87-7337-31

- ▶ ガイド を選択し、押して ◎ 確定します。



P82.87-7338-31

- ▶ ビル情報 を選択し、押して ◎ 確定します。
  例：ビルにいくつかの施設がある場合は、利用可能な施設がリストに表示されます。

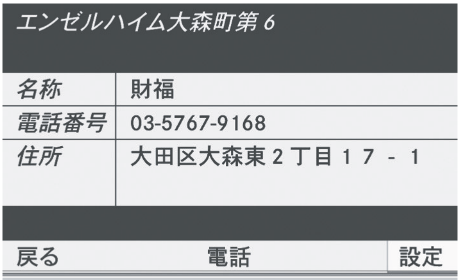


P82.87-7339-31

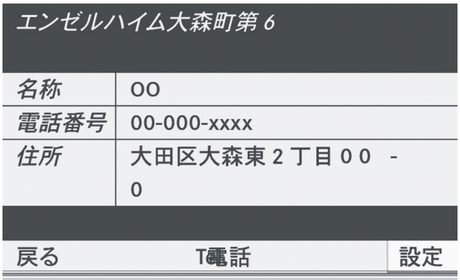
▶ COMANDコントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ↑◎↓ 、施設を選択します。

または

▶ COMANDコントローラーをスライドします ←◎→ 。
リストはあ行、か行、さ行、た行などに応じて利用可能な施設を並び替えます。



P82.87-7340-31



P82.87-7970-31

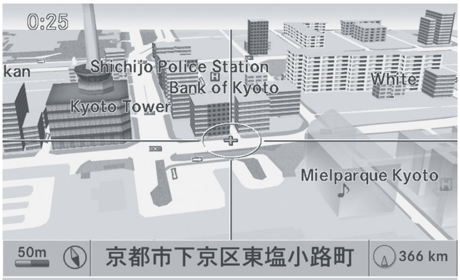
▶ COMANDコントローラーを押します ◉。
選択した項目についての詳しい情報が表示されます（例)。

▶ **施設に電話する：** COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、電話 を選択し、押して ◉ 確定します。

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMANDシステム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 150 ページ)。

▶ **目的地として施設を設定する：** COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、目的地 を選択し、押して ◉ 確定します。

日本語と英語の地図を切り替える



P82.87-7345-31

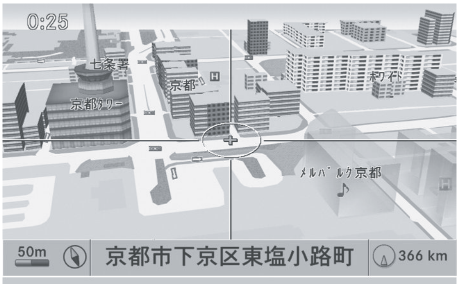
例：英語の地図

日本語の地図項目と英語の地図項目で地図を表示することができます。

▶ SYS スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、システム を選択し、押して ◉ 確定します。

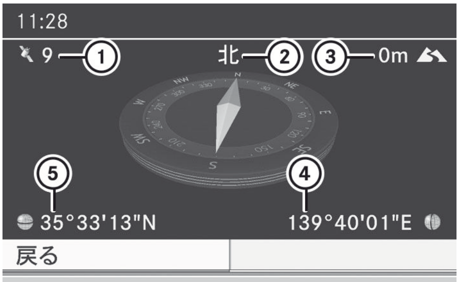
▶ 言語/Language を選択し、押して ◉ 確定します。
これにより言語とそれに応じた地図に切り替わります。



P82.87-7346-31

例：日本語の地図

コンパス機能



P82.87-7971-31

例：コンパス

① 現在使用しているGPS衛星の数

② 進行方向表示

③ 現在の海抜（四捨五入）

④ 現在の車両位置（緯度）

⑤ 現在の車両位置（経度）

コンパス表示では、例えば、現在の進行方向や、現在の海抜および車両位置の緯度と経度を表示できます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。

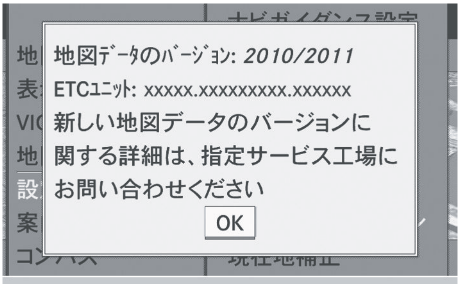
▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 〔◎〕、ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、コンパス を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 現在の高度 ③ を表示するには、システムは少なくとも4つの衛星を受信していなければなりません。

▶ **表示を終了する：** 押して ◎戻る を確定するか、リターンスイッチを押します ⮌。

地図の基準とETCのバージョンの表示



P82.87-7347-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 〔◎〕、ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 地図/ETC バージョン を選択し、押して ◎ 確定します。

地図データのバージョンが表示されます。

次のときETCのバージョンが表示されます。

- ETC 機器が装着され、 ETCカードが挿入されているとき (▷ 139 ページ)
- イグニッションをオンにした

▶ **メッセージを確定する：**OK を押して確定します ⊙ 。

VICS（道路交通情報通信システム）

VICSに関する役立つ情報

略字である VICS は、**V**ehicle **I**nformation and **C**ommunication **S**ystem（道路交通情報通信システム）を表しています。

COMANDシステム はVICS データを受信できます。

VICSは以下を経由して道路および交通情報を提供します。

- FM 多重放送
- 赤外線信号
- 電波

ℹ 電波と赤外線信号を経由して道路および交通情報を受信して評価するには、車両に追加装備が必要です。車両にこの装備がある場合は、ナビゲーションシステムは交通渋滞を避ける補助を行ないます（渋滞回避探索)。

さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

道路および交通情報は以下の内容からなります。

- 混雑の案内
- 所要時間
- 事故や工事の場所
- 速度規制および車線規制
- 駐車場と利用状況

ℹ VICS データは、以下の機関により編集、処理され、使用可能になります。

- 国家公安委員会
- 国土交通省
- (財)日本道路交通情報センター
- (財)VICSセンター

VICS情報に関する問い合わせ

VICSの概念や表示された情報の内容については、（財）VICSセンターに直接お問い合わせください。

（財）VICSセンター

電話：0570-00-8831 (祝日を除く月曜日 ～ 金曜日　9:30 ～ 17:45)

(PHSからは利用できません)

FAX： 03-3562-1719

HPアドレス：**http://www.vics.or.jp**

この情報は本取扱説明書作成時点で使用可能なデータに基づいたものです。予告なしに変更されることがあります。

VICS情報の表示形式

VICS情報は3つの方法で表示されます。

1. 文字情報

VICS情報はCOMANDディスプレイに文字形式で表示されます。

現在の道路および交通情報が文字形式で提供されます。

2. 図形情報

VICS情報はCOMANDディスプレイに図形形式で表示されます。

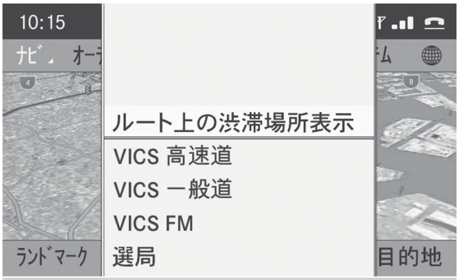
この表示形式は選択された道路の混雑しているルートや所要時間を図形や文字形式で表示します。

3. 地図情報

VICS情報は地図に表示されます。受信した情報は車両の位置によって変わりま

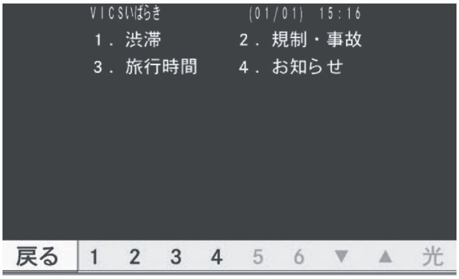
す。情報の種類やその表示のオン/オフを切り替えることができます。

文字情報を表示する



P82.87-8658-31

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、メニューから VICS を選択し、押して確定します。
  VICSメニューが表示されます。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎、VICS 一般道 を選択し、押して確定します。



P82.87-5982-31

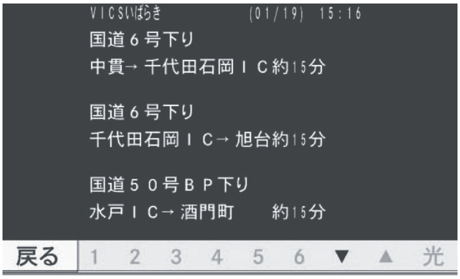
文字情報画面が表示されます。

- 番号を選択し、で確定し、希望の情報を表示します。

または

- COMANDシステムのテンキーを押します。
  該当するVICS文字情報が表示されます。

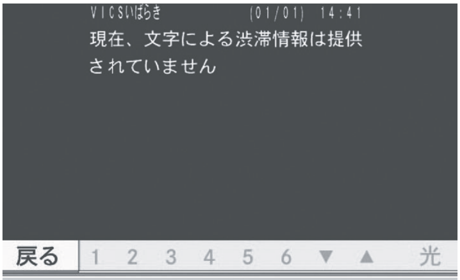
ℹ 使用できる情報の番号が黒色で表示されます。



P82.87-5983-31

スクロールする

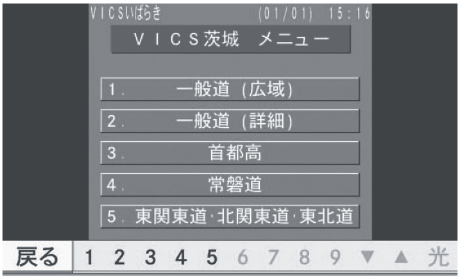
- COMANDコントローラーをまわして ◎、▲ または ▼ スイッチを選択し、押して確定します。



P82.87-5984-31

使用できる情報がない場合、次のような画面が表示されます。

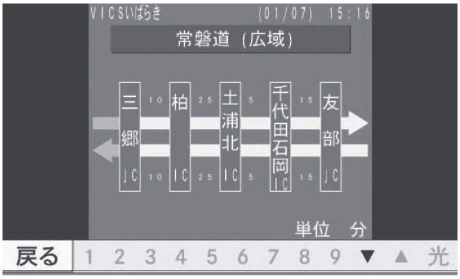
図形情報を表示する



P82.87-5985-31

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。
- ▶ メニューから VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。
  VICSメニューが表示されます。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドして《◎》、VICS 高速道 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  図形情報画面が表示されます。

ℹ 使用できる情報の番号が黒色で表示されます。



P82.87-5986-31

- ▶ 番号を選択し、⊛ で確定し、希望の情報を表示します。

または

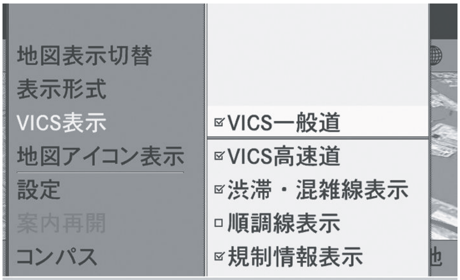
- ▶ COMANDシステムのテンキーを押します。
  該当するVICS図形情報が表示されます。

スクロールする

- ▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、▲ または ▼ スイッチを選択し、押して ⊛ 確定します。

地図にVICS情報を表示する

表示するVICS情報を選択する



P82.87-7300-31

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして《◎》、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。
- ▶ VICS 表示 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 希望の表示を選択し、押して 確定します。
表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

VICS表示	説明
VICS 一般道	一般道用のVICS情報が表示されます。
VICS 高速道	高速道路用のVICS情報が表示されます。
渋滞・混雑線表示	交通混雑は赤色の矢印で表示されます。低速で移動している道路はオレンジ色の矢印で表示されます。
順調線表示	交通障害のない道路は緑色の矢印で表示されます。
規制情報表示	交通規制が表示されます。

一般道の表示例

P82.87-5988-31

▶ メニューからVICS 一般道 を選択し、押して 確定します。
表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。
機能がオンのとき、一般道用のVICS情報が表示されます。

高速道路の表示例

P82.87-5989-31

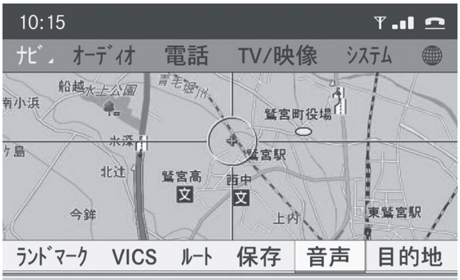
▶ メニューから VICS 高速道 を選択し、押して 確定します。
表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。
機能がオンのとき、高速道路用のVICS情報が表示されます。

アイコンの詳細表示を呼び出す

P82.87-5990-31

① VICS情報マーク
② VICS情報マーク

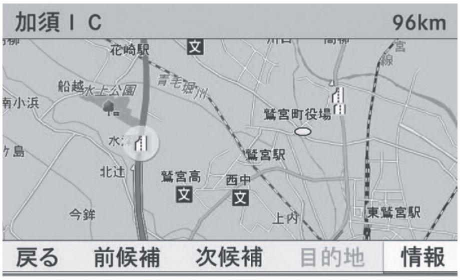
地図はVICS情報アイコンとともに表示されます。



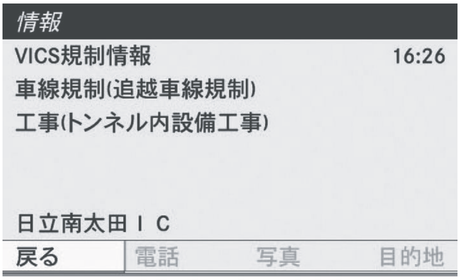
P82.87-7303-31

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、ランドマーク を選択し、押して 確定します。



P82.87-5992-31



P82.87-5993-31

▶ 情報 を選択し、押して 確定します。
詳細情報が表示されます。

▶ **複数のVICSアイコンが使用可能なとき：** 前候補 または 次候補 を選択し、 で確定します。

FM VICS 放送局を切り替える

VICSメニューを呼び出す

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、メニューから VICS を選択し、押して 確定します。
VICSメニューが表示されます。

▶ 選局 を選択し、押して 確定します。

以下の方法で放送局を選択できます。

- 自動放送局検索
- 手動放送局検索
- 受信範囲を選択して検索する

自動放送局検索

P82.87-7301-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、自動選局 を選択し、押して 確定します。
自動選局 が 手動選局 に変わります。
COMANDシステムは最も受信状態の良い放送局に自動的に切り替えます。

手動放送局検索

P82.87-5995-31

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、手動選局 を選択し、押して ◎ 確定します。
手動選局 が 自動選局 に変わります。

▶ ⏮ または ⏭ を選択し、押して ◎ 確定します。
0.1 MHz 単位で周波数が上がるか、下がります。

または

▶ ⏮ または ⏭ を選択します。

▶ 希望の周波数に設定されるまで、COMANDコントローラーを押して ◎ 保持します。

ℹ FM 多重放送局は 76.0 ～ 90.0 MHz の周波数範囲にあります。

受信範囲を選択して検索する

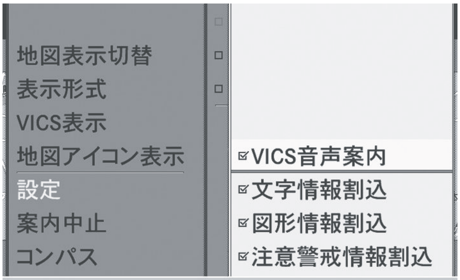
P82.87-7302-31

選択した都道府県の放送局を受信するように、受信範囲を選択できます。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、リスト を選択し、押して ◎ 確定します。
都道府県リストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、都道府県を選択し、押して ◎ 確定します。
COMANDシステムは選択した都道府県で最も受信状態の良い放送局を自動的に選択します。
受信できる放送局がないときは、選局なし というメッセージが受信欄に表示されます。

基本VICS設定



P82.87-7014-31

VICS情報は音声出力で聞いたり、COMANDディスプレイに表示したりできます。

VICS遠隔信号を通過し、電波または赤外線信号を受信すると、ただちにVICS情報がCOMANDディスプレイに表示されます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◎ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして《◎》、基本

機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。
VICSの基本設定メニューが表示されます。

▶ 希望のVICS基本設定を選択し、⊛ で確定します。
VICS基本設定のオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。

基本VICS設定	説明
VICS 音声案内	COMANDシステムが音声出力でVICS情報を再生します。
文字情報割込	VICS情報が文字情報として表示されます。
図形情報割込	VICS情報が図形情報として表示されます。
注意警戒情報割込	VICS情報が警告情報として表示されます。

DSRC - 専用狭域通信

DSRCに関する役立つ情報

DSRC（Dedicated Short Range Communication：専用狭域通信）は周波数5.8 GHｚで車両と離れた信号機との双方向通信を可能にします。これは交通メッセージと交通渋滞メッセージを送信できることを意味しています。

DSRCはこの情報を以下のように表示または知らせることができます。

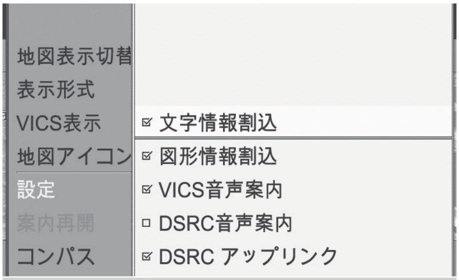
- 文字情報として
- マルチページ情報として（ほとんどが常に使用可能）
- 簡略化された図として（使用可能な場合）
- ビデオカメラからの静止画像として（使用可能な場合）
- 交通安全情報として（使用可能な場合）
- より広域の地図上でのVICS DSRCマークと一緒に（常に使用可能）
- 警告メッセージを受信したらすぐに（使用可能な場合）
- 例えば駐車施設に関する情報のように、必要なときにまず受信して表示のみされる情報として（使用可能な場所）
- DSRC事故が受信された場合は、音による通知として

音声出力を使用して、交通メッセージと交通渋滞メッセージを知らせることができます。そうするためには、この機能が作動していなければなりません(▷ 137 ページ)。

ℹ VICS DSRC 情報に関する質問(▷ 130 ページ)。

ℹ 詳細情報はこのサイト **http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dscrc/** で入手できます。

DSRC 設定の作動/解除



P82.87-8357-31

音声出力を使用して、交通メッセージおよび交通渋滞メッセージを知らせるかどうかを設定できます。さらなるDSRC設定により、交通データをより正確に記録できるVICSセンターに車両データを自動的に送ることができます。両方の機能を作動/解除できます。

ℹ DSRC機能が解除されているときも警告メッセージは受信されます。しかし、サービスエリア（SA）またはパーキングエリア（PA）に関する情報は知らされません。

DSRC機能が解除されている場合でも、情報は一定時間保存され、使用可能です。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。

作動/停止

▶ **交通および交通渋滞メッセージを知らせる：** DSRC 音声案内 を選択し、押して ⊛ 確定します。

車両データを送信する： DSRC アップリンク を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択した設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

DSRC 交通メッセージ表示の例

P82.87-8349-31

簡略化された図のあるDSRC交通メッセージ

ナビゲーションシステム： 交通メッセージが使用可能な場合は、それが表示されます。

他の主要機能の一つからアクセスする

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎↓、サブメニューバーを選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、希望の情報を選択し、押して ⊛ 確定します。

P82.87-8350-31

DSRC 交通メッセージの拡大

▶ **交通メッセージを拡大する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、ズームイン を選択し、押して 確定します。

▶ **交通メッセージをスクロールする：** または を選択し、押して 確定します。

▶ **次または前の交通メッセージを表示する：** 次 または 前 を選択し、押して 確定します。

ℹ **自動ページ切替：** 交通メッセージの個々のページは一定時間後にも自動的に表示されます。

P82.87-8351-31

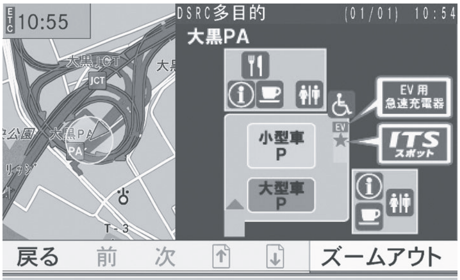
文字メッセージとしてのDSRC交通メッセージ

P82.87-8353-31

ビデオカメラからの静止画像としてのDSRC交通メッセージ

P82.87-8349-31

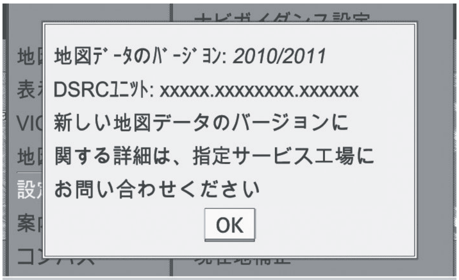
簡略化された図のあるDSRC交通メッセージ



P82.87-8355-31

サービスエリア/パーキングエリアの追加表示

DSRCのバージョン表示



P82.87-8358-31

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◖◎◗ 、ナビを選択し、押して ⊛ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- Map/DSRC Version（地図/DSRCバージョン） を選択し、押して ⊛ 確定します。
  地図データのバージョンが表示されます。
  以下のときにDSRCバージョンは表示されます。
  - DSRC機器が装着されている
  - イグニッションをオンにした

ETC

注意

ETCを利用するには、追加装備が必要です。さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

これらの機能はETCカードが挿入されているときのみ利用できます。

ETCの設定

- **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◖◎◗ 、ナビを選択し、押して ⊛ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- ETC を選択し、押して ⊛ 確定します。
  現在のETCの設定が表示されます。

P82.87-7334-31

- ETC設定を選択し、押して ⊛ 確定します。
  ETC設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

ETC の設定	説明
ETC割込表示	料金所に近づくと、ETC情報がCOMANDディスプレイに表示されます。
ETC音声案内	音声出力によってETC情報が聞けます。

ETC の設定	説明
警告表示	利用可能な警告メッセージがCOMANDディスプレイに表示されます。
警告音声案内	音声出力によって利用可能な警告メッセージが聞こえます。

ℹ ETCの設定の 警告表示 と 警告音声案内 がオンになります。

ETCカードの期限がもう少しで切れる、または切れている場合は、COMANDディスプレイにこの結果に対するメッセージが表示されます。

ETC割込表示

P82.87-9396-31

ETC 割込表示 が設定されている ☑ ときは、例えば料金所に接近すると、以下のようなメッセージが表示されます。

料金所名、料金（円）、料金所への入口（青色の矢印）が表示されます。

ℹ ETC音声案内 が設定されていると、利用可能なETC情報の音声案内が表示と同時に行なわれます。

ETCの履歴

▶ **メニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ETC を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ETC履歴 を選択し、押して ⊛ 確定します。
これまでに通過した料金所のリストが表示されます。

項目を選択すると、料金所の名前が表示されます。

ℹ ETC 履歴 が表示されているときにETCカードを取り出すと、ディスプレイは現在の地図表示に切り替わります。

スマートICゲート

全体的な注意事項

サービスエリア（SA)やパーキングエリア（PA)にあるスマートIC ゲートで高速道路に入ったり、出たりできます。走行中にETCカードが挿入されていて、COMANDシステムがスマートICゲートを認識すると、自動的にルートが再探索されます。

スマートICゲートを表示する

車両がルート上のスマートICゲートに接近すると、"x km でスマートICゲートに到着します"というような対応するメッセージが聞こえます。

スマートIC ゲートは適時COMANDディスプレイに表示されます。

ナビゲーションシステムのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
走行を中断した後、COMANDシステムがルート案内を継続できない。	2時間以上走行を中断すると、ルート案内は中止されます。 "走行の中断" とは車両を停止することを指しています。 "ルート案内の継続" とは、COMANDシステムを再度オンにして走行することを指しています。 ▶ ルート案内を続ける (▷ 85 ページ)。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
COMANDシステムが車両の位置を特定できない。	車両が輸送された場合は、COMANDシステムは車両の位置を再度特定しなくてはなりません。 例： • フェリーで車両を輸送した後 • 車両列車で車両を輸送した後 • 車両がけん引された後 ▶ 車両のエンジンをかけて発進してください。 COMANDシステムが車両の位置を特定します。運転状況によって時間がかかる場合があります。 車両位置を特定している間は、ルート案内が制限される場合があります。 位置の特定が終了すると、ルート案内はナビ音声案内とルート案内表示を再開します。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ナビゲーション 使用できません というメッセージが表示される。	COMANDシステムは地図が登録されたハードドライブを内蔵しています。 内蔵ハードドライブを損傷から守るため、COMANDシステムは非常に高い、または低い温度になるとオフになります。ナビゲーションシステムは一時的に使用できなくなります。 ▶ 車両およびCOMANDシステムを冷ましてください。 ▶ **メッセージを非表示にする：** COMANDシステムをオフにしてから再びオンにしてください。
	ハードディスクの領域に不具合がある場合は、COMANDシステムはこの領域では地図データにアクセスすることができなくなります。例えばルート検索時に生じることがあります。 ▶ **メッセージを非表示にする：** COMANDシステムをオフにしてから再びオンにしてください。 ナビゲーションシステムはハードドライブのエラーのある箇所にもう一度アクセスするまで操作可能です。メッセージが再度表示されます。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場 にお問い合わせください。

VICSおよびナビゲーション地図のマーク

VICSマーク

交通情報

ℹ 赤色の矢印は大きな交通の乱れ（交通渋滞）を示しています。オレンジ色の矢印は小さな交通の乱れ（低速移動箇所）を示しています。妨げられずに流れている道路は緑色の矢印で示されています。交通規制のある道路区間は、黄色の矢印で示されています。

マーク	交通量（速度は道路の種類によります）
	赤色の矢印 • 一般道路：10 km/h 以下 • 都市高速道路：20 km/h 以下 • 高速道路：40 km/h 以下
	オレンジ色の矢印 • 一般道路：10 km/h ～ 20 km/h • 都市高速道路：20 km/h ～ 40 km/h • 高速道路：40 km/h ～ 60 km/h

	緑色の矢印 • 一般道路：20 km/h 以上 • 都市高速道路：40 km/h 以上 • 高速道路：60 km/h 以上
	黄色の矢印：交通規制のあるルート区間

交通の乱れに関する情報

マーク	意味
	事故
	故障車
	道路の障害物
	工事区域
	凍結道路
	道路作業

交通規制に関する情報

マーク	意味
	閉鎖・通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	入口閉鎖
	入口規制
	速度規制
	徐行
	その他
	土砂崩れ
	イベント
	災害
	右折のみ
	左折のみ
	片側規制
	火災
	悪天候
	注意（地震警戒宣言など）

駐車情報

駐車場（PA）およびサービスエリア（SA）の場所が表示されます。駐車場の利用状況が色で表示されます。

マーク	利用状況
P PA	赤色：満車（90%以上使用）
P PA	オレンジ色：混雑（70% ～ 90%使用）
P PA	青色：空車（70%以下使用）
P PA	赤色：閉鎖
P PA	黒色：利用できる駐車情報なし

ℹ 駐車情報は特定の地域でのみ利用できます。

ℹ 駐車情報は地図縮尺が500m以下でのみ表示されます。施設のマークの表示の設定で、"駐車場"のオプションが選択されていなければなりません。

ℹ 駐車情報は絶えず変化するので、表示されている情報は現在の状況と異なることがあります。駐車場で表示されている情報自体にも注意してください。

ℹ "ビル情報" の表示オプションを選択すると、駐車情報は表示されません。

地図マーク

地図マークの例

マーク	意味
	紫色：高速道路、都市高速道路、有料道路
	明るい赤色：国道
	緑色：主要な地方道路
	黄色：他の道路（地方道路）
	他の道路（5.5 m 以上の道幅）
	他の道路（3.0 m 以上の道幅）
	私鉄
	JR鉄道
	青色：水域（川、湖、海など）
	濃い緑色：緑地
	淡い緑色：駅/用地

	政府機関の地方事務所
	都道府県庁
	市役所
	東京23区役所
	町村役場、東京以外の区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
	学校
	幼稚園
	病院
	他の施設
	発電所
	NTT
	銀行、信託銀行、農協
	コンビニエンスストア
	デパート
	薬局
	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社

卍	寺
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ボーリング場
	ゴルフ場
	スキー場
	ヨットハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	洗車場
WASH	コインランドリー
	遊園地
	動物園
	灯台
	トンネル
	山
	墓地
	信号

IC	インターチェンジ
PA	駐車
SA	サービスエリア
JCT	ジャンクション（Junction）
¥	料金所
P	駐車
	道の駅
	フェリーターミナル
	空港
	MBサービス

サービスマーク

マーク	意味
	郵便局
	レストラン
	トイレ
	身障者用トイレ
	休憩所
	仮眠所
	売店
	ATM/自動支払機
	ファックスサービス
i	ハイウェイ情報ターミナル

COMANDシステムの特徴 148
全体的な注意事項 148
Bluetooth® インターフェース経由での電話機能 149
受話および発話音量 155
電話操作 155
国際電話 159
電話帳の使用 160
通話リストの使用 165
短縮ダイアルリストの使用 168
アドレス帳の使用 169

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

全体的な注意事項

重要な安全上の注意

安全のため、車両が動いているときに電話を使用する場合には、ハンズフリーモードを使用してください。

ハンズフリーモードを使用して通話するときは、注意して運転を続け、すべての窓を閉めて、悪影響を及ぼす騒音を避けてください。

概要

COMANDシステムはBluetooth® インターフェース経由での電話機能を提供します。

携帯電話がPBAP (**P**hone **B**ook **A**ccess **P**rofile) Bluetooth® プロファイルをサポートしているときは、連絡先をインポートすることができます(▷ 175 ページ)。

適合する携帯電話により、Bluetooth® インターフェース経由でハンズフリーシステムを使用したり、vCardを受信したりできます。

適合する携帯電話とBluetooth®対応携帯電話のCOMANDシステムへの接続に関するさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

車両が移動している間の通話の切断

以下のときに通話が切断されることがあります。

- 特定の地域において、ネットワーク範囲が不十分なとき
- 送信/受信エリア（基地）から他へ移動して、空いているチャンネルがない
- 使用できるネットワークに準拠していないSIMカードを使用している

操作オプション

以下のようにして電話を操作できます。

- COMANDコントローラーを使用して
  まわす 〔◎〕
  スライドする ←◎→ または ↑◎↓
  押す◎
- [電話] または [終話] スイッチを使用したり、COMANDシステムのテレフォンキーパッドを使用する
- マルチファンクションステアリングの [電話] または [終話] スイッチ
- 音声認識機能を使用する（別冊の音声認識機能の取扱説明書をご覧ください）

他の記載がない場合は、この項目の記述やイラストはCOMANDシステムを参照してください。

機能の制限

次のような状況のときは、電話を使用できなかったり、電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまでに待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMANDシステムの"Bluetooth®"機能がオフになっているとき

- Bluetooth® 接続の電話を使用していて、携帯電話の"Bluetooth®" 機能がオフになっているとき
- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき

ハンズフリーモードで通話中にCOMANDシステムをオフにすると、通話は終了します。以下のようにしてこれを防ぐことができます。

▶ COMANDシステムをオフにする前に携帯電話をプライベートモードに切り替えてください（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

Bluetooth® インターフェース経由での電話機能

条件

COMANDシステムのBluetooth® インターフェース経由での電話機能のためには、Bluetooth®対応携帯電話が必要です。

COMANDシステム側

▶ COMANDシステムでBluetooth® 機能を作動させます(▷ 40 ページ)。

携帯電話側

▶ 次に、携帯電話の電源を入れ、指示に従ってPINコードを入力します（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

▶ Bluetooth® 機能を、そして必要であれば携帯電話のBluetooth® 可視性を作動させます（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

誤作動を防ぐため、携帯電話の電池は常に十分に充電しておく必要があります。

Bluetooth® 接続による電話通信を行うために、お手持ちの携帯電話について以下の項目を確認してください（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

- ハンズフリープロファイル

  携帯電話は、ハンズフリープロファイル1.0 以上に対応している必要があります。
- Bluetooth® 可視モード

  特定の携帯電話では、Bluetooth® 機能を設定するとともに、機器本体を他の機器とペアリング可能な状態にする必要があります（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

  一部の携帯電話では、この可視モードに時間的制約があります。
- Bluetooth® 機器名

  Bluetooth® 機器にはそれぞれBluetooth® 機器名が付いています。この機器名は自由に定義できますが、同じメーカーの機器はすべて同じ機器名が付いている場合があります。したがって、お使いの携帯電話をすぐに認識できるようにするため、機器名を変更することをお勧めします（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

ℹ 市販の携帯電話がすべて適合するわけではありません。適合する携帯電話について、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

ℹ 一部の表示（電波の強度など）は、対応するハンズフリープロファイルのバージョンによって異なります。

携帯電話を接続する

全体的な注意事項

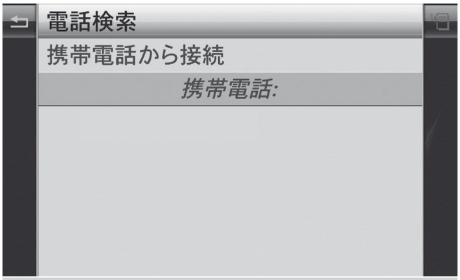
初めてCOMANDシステムで携帯電話を使用する前に、以下を行なう必要があります。

- 携帯電話を検索する。次に、 (▷ 150 ページ)
- 認証（登録）する。 (▷ 151 ページ)

新しい携帯電話を一度ペアリングすると、次回からは自動的に接続が確立されます。

最大15 台の携帯電話を登録できます。

携帯電話を検索する



P82.87-8356-31

空のBluetooth® 電話リスト

P82.87-8117-31

検索条件

P82.87-8359-31

検索が終了した後のBluetooth® 電話リスト

- ▶ COMANDシステムの TEL 機能スイッチを押します。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、デバイス接続 を選択し、押して ◎ 確定します。

- ▶ 電話検索 を選択し、スイッチを押して確定します。
  メッセージが表示されます。
- ▶ 検索開始 を選択し、スイッチを押して確定します。
  Bluetooth携帯電話検索中…(最大 15台) というメッセージが表示されます。COMAND システムは範囲内の Bluetooth® 電話を検索して、それらをBluetooth® 電話リストに追加します。
  新しい電話が見つかると、マークとともにリストに表示されます。
  検索にかかる時間は、通信可能距離内にあるBluetooth® 対応携帯電話の台数とその特性によって異なります。

Bluetooth® 電話リストのマーク

マーク	説明
	通信可能距離内にある未登録の新しい携帯電話
✓	登録済みの携帯電話
•	接続中の携帯電話
	通信可能距離内にある登録済みの携帯電話
(灰色)	通信可能距離内にないが、登録済みの携帯電話

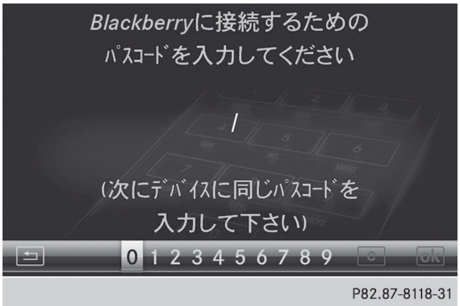
Bluetooth® 電話リストには、通信可能距離内にある携帯電話、および通信可能距離内にあるかに関わらず過去に登録された携帯電話がすべて表示されます。

ℹ COMANDシステムは、範囲内にあってもBluetooth® 検出性が作動していない携帯電話は認識できません。

ℹ Bluetooth® 電話リストがいっぱいになると、携帯電話の登録解除を促すメッセージが表示されます (▷ 154 ページ)。COMANDシステムが携帯電話を見つけられない場合は、外部認証が必要となる場合があります(▷ 153 ページ)。

ℹ 電話リストを再度呼び出したときは、登録を解除された機器はリストから外されます。その場合は、新たに検索を開始してBluetooth® 電話リストを更新してください。

携帯電話を登録する



パスキーの入力

電話基本メニュー

オプション1：パスキー（アクセス番号）を使用する

- ▶ COMANDコントローラーをまわして、Bluetooth® 電話リストからマークがある携帯電話を選択し、を押して確定します。
  パスコードの入力メニューが表示されます。

パスキーは16桁までの数字の組み合わせで任意に設定できます。COMANDシ

ステムとBluetooth® 対応携帯電話に同じ数字の組み合わせを入力してください（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

ℹ 携帯電話によっては4桁以上のパスキーを要求されることがあります。

ℹ 携帯電話の登録をいったん解除した後で再登録したいときは、別のパスキーを設定することができます。

ℹ COMANDシステムと携帯電話で認証を解除することを、メルセデス・ベンツはお勧めします (▷ 154 ページ)。 そうしないと、その後の登録が失敗することがあります。

▶ **COMANDシステムにパスキーを入力する：** 順番にテンキーを押します。

または

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、数字バーで数字を1桁ずつ選択し、◉ を押して確定します。

最初の数字が入力された後に、 ok が強調されます。

▶ いずれの場合も、 ok を選択し、◉ を押して確定します。

▶ **携帯電話にパスキーを入力する：** Bluetooth® 接続が成功した場合は、パスキー（アクセスコード、パスコード。携帯電話の取扱説明書をご覧ください）を入力するように要求されます。

▶ COMANDシステムにすでに入力されているものと同じパスキーを携帯電話に入力します。

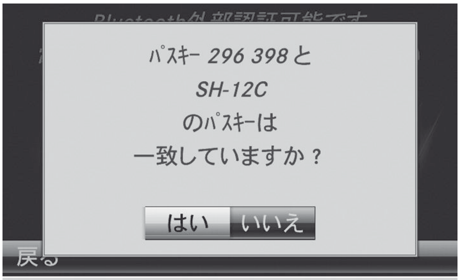
Bluetooth ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ接続中… というメッセージが表示されます。

認証が完了すると 認証を完了しました というメッセージが表示されます。

携帯電話は認証され、COMANDシステムに接続されます。COMANDシステムのハンズフリーシステムを使用して電話をかけることができます。

ℹ パスキーを入力した後、通話するために携帯電話に確認データの入力が必要になる場合があります。携帯電話の表示を確認してください。一部の携帯電話ではこの確認データを保存することができます。この場合、再度入力する必要はありません。

COMANDシステムのディスプレイに 認証できませんでした というメッセージが表示された場合は、規定された時間を超えています。上記の手順を繰り返してください。



P82.87-7169-31

オプション2：セキュアシンプルペアリングを使用する

セキュアシンプルペアリングで接続するには、携帯電話（またはBluetooth® オーディオ機器）がBluetooth® バージョン 2.1に対応している必要があります。COMANDシステムにより6桁のコードが生成され、接続される両方の機器に表示されます。

▶ 両機器のコードが一致している場合は、◉ を押して はい を確定します。

はい を選択すると、登録が完了し携帯電話が接続されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

▶ 携帯電話のメッセージを確認します。

外部認証

P82.87-8121-31

COMANDシステムが携帯電話を検知しない場合は、携帯電話の特別なセキュリティの設定によるものかもしれません。このような場合は、携帯電話がCOMANDシステムを検索できるかどうかテストすることができます。COMANDシステムの Bluetooth® 機器名は MB Bluetooth です。

以下のことに注意してください： 携帯電話によっては、パスコードを入力した後にCOMANDシステムとの接続を再度確立する必要があります（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。この操作を行わないと、携帯電話は認証されません。

- ▶ COMANDシステムの TEL 機能スイッチを押します。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、電話基本メニューで 接続ﾃﾞﾊﾞｲｽ を選択し、◎ を押して確定します。
  Bluetooth® 電話リストが表示されます。
- ▶ 携帯電話から接続 を選択し、押して ◎ 確定します。
  左側にメッセージが表示されます。
- ▶ 携帯電話でBluetooth® 検索を開始します（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。
- ▶ 携帯電話でCOMANDシステム（MB Bluetooth）を選択します。
- ▶ **オプション１：** そうするように要求されたときは、まず携帯電話に、次にCOMANDシステムにパスコードを入力します。
- ▶ **オプション２：** 携帯電話およびCOMANDシステムに表示されているコードを確定します（セキュアシンプルペアリング）。
  いずれの場合も、COMANDディスプレイに <device name> を認証しますか？ という確認メッセージが表示されます。
- ▶ はい を選択すると、携帯電話が認証されます。<name of B-tooth dev.> からの接続を待っています... および Bluetooth ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ接続中… というメッセージが表示されます。接続が成功すると、電話基本メニューが開き接続された携帯電話が表示されます。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

携帯電話の切り替え

複数の携帯電話が登録されているときは、使用する電話を切り替えることができます。

- ▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、Bluetooth® 電話リストから携帯電話を選択し、押して ◎ 確定します。
  選択した携帯電話がBluetooth® の通信可能距離内にあり、Bluetooth® が作動しているときは、選択した携帯電話を検索して接続します。
  一度に1台の携帯電話のみを接続できます。現在接続されている携帯電話はBluetooth® 携帯電話リストに ● で表示されます 。

ℹ 通話中でないときに限り別の登録済み携帯電話に切り替えることができます。

携帯電話の認証を解除する（登録を解除する）

メルセデス・ベンツではCOMANDシステムと携帯電話で認証を解除することをお勧めします 。そうしないと、その後の登録が失敗することがあります。

▶ COMANDシステムの TEL 機能スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、電話基本メニューで 接続デバイス を選択し、◎ を押して確定します。
Bluetooth® 電話リストが表示されます(▷ 150 ページ)。

▶ Bluetooth® 電話リストで、希望の携帯電話を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドし ◎→ 項目の右にあるリストマークを選択し、◎ を押して確定します。

▶ 認証取消し を選択し、押して ◎ 確定します。
この機器の登録を本当に解除するか確認するメッセージが表示されます。

▶ はいまたはいいえを選択します。
はい を選択すると、機器はBluetooth® 電話リストから削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

ℹ 携帯電話を再登録する前に、携帯電話から機器名 MB Bluetooth も削除します。

接続内容を表示する

▶ COMANDシステムの TEL 機能スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、電話基本メニューからデバイス接続 を選択し、押して ◎ 確定します。
Bluetooth® 電話リストが表示されます。

▶ Bluetooth® 電話リストで、希望の携帯電話を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、◎ を押して確定します。

▶ 詳細 を選択し、◎ を押して確定します。
選択した携帯電話に関する以下の情報が表示されます。

- Bluetooth® の名称
- Bluetooth® のアドレス
- 使用可能状況（新たに検索した後、表示されます）
- 登録状況

▶ **詳細表示を閉じる：**COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドします ←◎→。

電話基本メニュー（Bluetooth® 接続）

基本メニュー画面

電話基本メニュー（Bluetooth® 接続）

① 接続表示

② 携帯電話ネットワークの電波強度

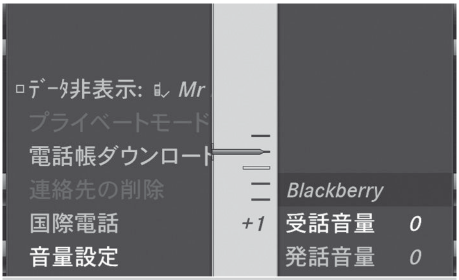
③ 二重の矢印のアイコン（インターネット接続オン）または受話器アイコン （通話終了）または （通話発信または通話中）
④ 通話リストを表示する
⑤ 文字バー
⑥ 現在接続されている携帯電話の Bluetooth® 名称
⑦ COMANDシステムの電話帳の表示

▶ TEL 機能スイッチを押します。
接続した携帯電話が使用可能になると、電話基本メニューが表示されます。

ℹ 表示 ② は接続されている携帯電話によって異なります。
バー ②には携帯電話ネットワークの現在の信号強度が表示されます。すべてのバーが満たされているときは、最適な受信です。
バーが表示されず、アンテナのアイコンのみが表示される場合は、受信が極めて悪いか、まったく受信できないかのどちらかです。

受話および発話音量

携帯電話が認証された場合、発話および受話音量の設定を最適化することができます。携帯電話に対する最適な設定については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。



P82.87-8125-31

▶ TEL 機能スイッチを押します。
▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、電話基本メニューで 接続ﾃﾞﾊﾞｲｽ を選択し、 を押して確定します。
▶ まわして ◎ リストから認証された携帯電話を選択します。
▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して 確定します。
▶ 受話音量 または 発話音量 を選択し、押して 確定します。
▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、音量の設定を選択します。
▶ **設定目盛りを閉じる：** 押す か、またはスライドします ←◎→ 。

ℹ 適切でない設定は通話音質を悪化させることがあります。

電話操作

着信

着信を受ける

P82.87-7256-31

例：受信

▶ **受ける：** 押して 、通話 を確定します。

または

▶ COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

通話を受けると、ハンズフリーモードを使用できます。

通話の音量を調整できます (▷ 26 ページ)。

通話中の他の機能 (▷ 158 ページ)

通話する相手の電話番号が移行されている場合は、ディスプレイに表示されます。

電話帳に通話する相手の項目がある場合は、氏名も表示されます。

電話番号が移行されない、または"データ非表示" 機能が作動している場合は、ディスプレイに 不明 と表示されます。

ⓘ 他の基本機能がCOMANDシステムでオンのときも、上記のように通話を受けることができます。一度通話を受けると、画面が電話モードに切り替わります。通話を終えると、以前の基本機能の画面が再び表示されます。

以下のときは、画面は電話画面に切り替わりません。

- COMANDコントローラーの隣にあるリターンスイッチ を押し、そして
- マルチファンクションステアリングの スイッチを使用して通話を受けたとき

通話の保留

通話を保留するときの表示（数秒間）

▶ **保留する：** COMANDコントローラーをまわして 、応答保留 を選択し、押して 確定します。

ⓘ この機能のサポートは使用されている携帯電話とその設定によります。

発信する

テンキーを使用する

▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷ 154 ページ)。

▶ テンキーを使用して数字を入力します。

▶ **通話を接続する：**COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

電話基本メニューを使用する

▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷ 154 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして から、スライドして 、1つずつ数字を選択し、押して 確定します。

- **通話する：** 文字バーで を選択し、押して 確定します。

または

- COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

リダイアル

- 電話基本メニューを呼び出します (▷ 154 ページ)。
- 文字バーで を選択し、押して 確定します。

または

- 電話基本メニューが表示された場合は、COMANDシステムの スイッチを押します。
  どちらの場合も、発信通話リストが表示されます。一番最近電話をした番号が一番上になります。
- **通話を選択する：** COMANDコントローラーをまわします 。
- **電話をかける：** COMANDコントローラーを押します 。

マルチファンクションステアリングを使用してリダイアルするためには、別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

通話リストまたはCOMANDシステムの電話帳を使用する

- 通話リストを開いて項目を選択します (▷ 165 ページ)。

または

- COMANDシステムの電話帳を呼び出して、項目を選択します (▷ 162 ページ)。
- **通話する：** COMANDコントローラー または スイッチを押します。

マルチファンクションステアリングを使用して選択し、通話を開始します。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

短縮ダイアルプリセットを使用して電話をかける

短縮ダイアルリストには電話帳から保存された項目が含まれます(▷ 168 ページ)。

オプション 1：

- テンキーの1つを2秒以上押します。
  電話基本メニューに選択した項目が表示されます。電話を発信します。

オプション 2：

- 電話基本メニューを呼び出します (▷ 154 ページ)。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、履歴 を選択し、押して 確定します。
  メニューが表示されます。
- COMANDコントローラーをまわして ◎、短縮ダイアルリスト を選択し、押して 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。
- プリセットを選択し、押して 確定します。
  電話基本メニューに選択した項目が表示されます。電話を発信します。

通話中に使用できる機能

概要

P82.87-7258-31

通話中の電話操作

① 通話をしている相手

② 電話接続作動のアイコン

③ 着信の保留

④ ハンズフリーのマイクのオフ/オンの切り替え(▷ 158 ページ)

⑤ 自局番号の表示

⑥ 通話の終了

機能がネットワークやBluetooth® 携帯電話によってサポートされている場合は、保留している通話を受けることができます。

ハンズフリーマイクのオン / オフの切り替え

本機能は通話中でも使用できます。

▶ 電話基本メニューを呼び出します(▷ 154 ページ)。

▶ **オフにする：** マイクOFF を選択し、押して 確定します。

マイクがオフの場合は、ディスプレイに アイコンが表示され、マイクがオフになっています というメッセージが短時間表示されます。

▶ **オンにする：** マイクON を選択し、押して 確定します。

マークが消えます。マイクがONです というメッセージが少しの間表示されます。

自局番号を表示する

ℹ この機能は接続されている携帯電話によって異なります。

▶ 電話基本メニューを呼び出します(▷ 154 ページ)。

▶ 自局番号 を選択し、押して 確定します。

Bluetooth® の名称のかわりに、携帯電話の電話番号が表示されます。

プライベートモード

プライベートモードが作動しているときは、車両内のマイクやスピーカーがオフになります。通話は携帯電話を通して行なわれます。

ℹ 車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

プライベート通話を作動させる

▶ 電話基本メニューを呼び出します(▷ 154 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、電話 を選択し、押して 確定します。

▶ プライベートモード を選択し、押して 確定します。

プライベートモード というメッセージが表示され、携帯電話を通しての通話となります。

ハンズフリーモードに戻す

▶ 電話基本メニューから ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰﾓｰﾄﾞ を選択し、押して ⊛ 確定します。

数秒後に携帯電話はCOMANDシステムに再接続され、ハンズフリーモードでの通話が続けられます。

ℹ 使用されている携帯電話によっては、待ち受け時に携帯電話で電話をかけると、この機能が自動的に作動することがあります。

ℹ 機能が作動しているときは、ハンズフリーのマイクのオン/オフを切り替えることはできません。

複数の人との通話

保留している通話を拒否する、または受ける

携帯電話のネットワークプロバイダーが通話保留機能をサポートしていなくてはなりません。使用している携帯電話によって、通話を受けるときのシステムの動作が異なります。

通話中に他の通話を受信したときは、画面に新しいウインドウが表示されます。信号音も聞こえます。通話を受けるか拒否することができます。

▶ **拒否する：**着信拒否 を選択し、押して ⊛ 確定します。

オプション1： 保留している通話を受けると、作動中の通話は終了します。

オプション2： 接続されている携帯電話とその設定によっては、保留している通話は拒否され、作動中の通話は終了します。

または

▶ COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの [通話終了] スイッチを押します。

▶ **受ける：**通話 を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの [通話開始] スイッチを押します。

携帯電話の設定によっては、作動している通話は通話を受けた後に保留になります。

どちらの場合も有効： 携帯電話を使用して保留している通話を受けると、作動している通話が保留になります。このときは通話が2つになります。受けたばかりの通話が作動します。

携帯電話を使用して保留している通話を受けると、作動している通話は保留になります。このときは通話が2つになります。受けたばかりの通話が作動します。

携帯電話で機能の操作を続けると、COMANDシステムの画面が携帯電話の画面と異なることがあります。

国際電話

概要

国際電話をかけるには、国際通話コード(プリフィックス)を指定しなければなりません。これは国際電話をかけるときは、国コード（例：アメリカ合衆国は1）の前にダイアルされます。

日本では、国際通話コードは携帯電話のネットワークにより異なります。

ℹ 項目が+81（日本の国コード）で登録されている場合は、コードは"0"に置き換わります。これは入力されたプリフィックスには関係ありません。

電話

携帯電話のネットワークプロバイダー	国際通話コード（プリフィックス）
NTT ドコモ ソフトバンク モバイル ディスニー モバイル イー・モバイル	010
au	005345

携帯電話のネットワークプロバイダーに関連する国際通話コードを設定すると、自動的に国際電話をかけることができます。電話番号をダイアルするときに、"+" が国際通話コードに置き換わります。

国際通話コードの設定

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで 電話 を選択し、押して ◎ 確定します(▷ 154 ページ)。

▶ 国際電話 を選択して、押して ◎ 確定します。
入力メニューが表示されます。

P82.87-7162-31

▶ テンキーまたはCOMANDコントローラーを使用して国コードを入力します。

ℹ 最大で12桁まで入力することができます。

▶ ok を選択し、押して ◎ 確定します。
保存されました というメッセージが表示されます。
国コードを入力した後に、戻る を選択すると、変更内容を保存しますか？ というメッセージが表示されます。

▶ **変更を保存する：** はい を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **変更を破棄する：** いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

国際通話コードの選択

自動ダイアル

電話帳またはアドレス帳で、電話番号は"+" で始まります。

▶ 電話帳またはアドレス帳で電話番号を選択します。
国際電話がかかります。

手動ダイアル

▶ 電話基本メニューを呼び出します。

▶ 素早く2回続けて * スイッチを押します。
国際通話コードが入力されます。

▶ テンキーを使用して、電話番号（国コード、地域コード、通話する相手の電話番号）の入力を完了します。
電話番号がすべて入力されると、国際電話がかかります。

電話帳の使用

概要

電話帳はCOMANDシステムのアドレス帳に登録されているすべてのアドレス帳項目の名称と電話番号を表示します。ア

ドレス帳項目に電話番号がないときは、それは電話帳には表示されません。

接続後に、携帯電話の電話帳をCOMANDシステム に自動的にダウンロードできます。

電話帳では、以下を行なうことができます。

- 電話番号の保存 (▷ 164 ページ)
- 項目の検索 (▷ 162 ページ)
- 項目の削除 (▷ 163 ページ)
- 連絡先のインポート (▷ 175 ページ)
- 連絡先の削除 (▷ 177 ページ)
- vCardの受信 (▷ 176 ページ)

ⓘ COMANDシステムに他の携帯電話を接続して使用する場合でも、登録された電話帳とvCardはCOMANDシステムに残ります。項目は携帯電話がなくても見ることができます。このため、車両を手放したり売る前に、すべての電話帳項目を削除してください。

電話帳を呼び出す

電話帳を開く

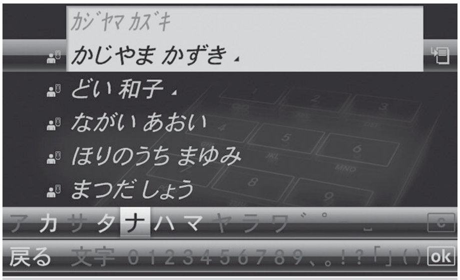
▶ TEL 機能スイッチを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで 電話帳 を選択し、押して ◎↓ 確定します。

電話帳に項目が含まれているときは、それらはアルファベット順に表示されます。画面の下の文字バーが作動します。

文字バーは項目を早く選択するために使用されます。

文字バーを使用して、文字を入力します (▷ 31 ページ)。



P82.87-7250-31

ⓘ マルチファンクションステアリングで電話帳を呼び出すこともできます。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

電話帳を閉じる

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↓◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで 戻る を選択し、押して ◎↓ 確定します。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

マルチファンクションステアリングを使用する

▶ ◀ または ▶ スイッチを使用して、電話 メニューを選択します。

▶ ▲ ▼ または OK を使用して、電話帳を呼び出します。

マークの概要

マーク	説明
(アイコン)	COMANDシステム経由で入力された、または変更されたアドレス帳項目 電話またはアドレス帳に登録されたインポートされた連絡先
(アイコン)	PBAPをサポートしている携帯電話からインポートされた連絡先
(アイコン)	SDメモリーカードまたはUSB機器からインポートされた項目
(BTアイコン)	Bluetooth® インターフェース経由でインポートされた項目

電話帳項目を検索する

文字バーで検索する

最初の文字を入力することにより、探している項目の最初の文字を決定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、文字を選択し、押して 確定します。
選択した文字で始まるリストの最初の項目が強調されます。似たような項目があるときは、次の異なる文字が表示されます。ナオミ や ナオコ のような項目では、名前の最初が同じでMとKから選択するように促されます（ローマ字設定が選択されているとき）。

▶ 探している項目の文字をひとつずつ選択して、押して 確定します。
選択肢が明確になると、COMANDシステムは自動的に選択リストに切り替わります。

▶ **検索を終了する：** COMANDコントローラーを繰り替えしスライドするか ◎↑、文字バーが消えるまで押して保持します 。
選択リストが表示されます。

文字入力に関する情報 (▷ 31 ページ)

テンキーで検索する

最初の文字を入力することにより、探している項目の最初の文字を決定します。

▶ 対応するテンキーを素早く続けて押します。

テンキーを使用しての文字入力（直接入力）に関するさらなる情報(▷ 31 ページ)。

リストから直接

文字を入力しているときはいつでも、リストに切り替えることができます。

▶ COMANDコントローラーを繰り返しスライドする ◎↑ か、文字バーが消えるまで押して 保持します。

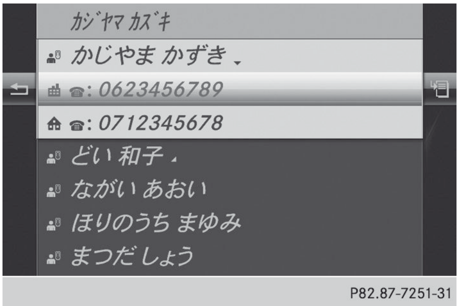
または

▶ ok を選択し、押して 確定します。

▶ **項目を選択する：** 好みの項目が強調されるまでCOMANDコントローラーをまわして ◎ 、押して 確定します。

電話番号を選択する： ◢ マークは、1つ以上の電話番号を含んでいる項目を示しています。

▶ ◢ マークのある電話帳項目を選択して、押して 確定します。
サブ項目が表示されます。◢ マークが ▼ に変わります。



複数の項目がある電話帳項目

▶ まわして ⟲◎⟳、サブ項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **文字バーを使用して電話帳に戻る：** リストで [⮌] を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ リターンスイッチ [⮌] を押します。

マルチファンクションステアリングを使用する

▶ 電話帳から番号を選択します。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

項目の詳細の表示

▶ 選択リストでCOMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、項目を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 詳細 を選択し、⊛ を押して確定します。
詳細表示が表示されます。

▶ **詳細表示を閉じる：**項目が再び強調されるまで繰り返しスライドします ←◎→。

または

▶ リターンスイッチ [⮌] を押します。

電話帳から項目を削除する

項目に電話番号のみが含まれているときは、電話帳とアドレス帳から削除されます。

案内可能な目的地のような追加データが含まれている場合は、項目は電話帳で削除されます。しかし、項目はアドレス帳には残ります。

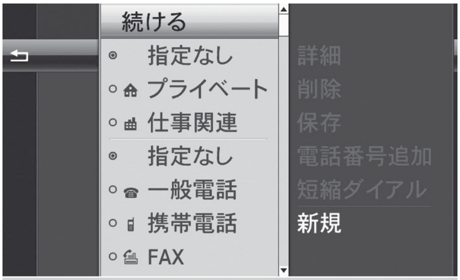
▶ 選択リストでCOMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、項目を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 削除 を選択し、⊛ を押して確定します。
登録データを削除すべきか確認するメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、項目は上記に記載されているルールに従って削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

電話帳に新しい項目を作成する



P82.87-7988-31

- 選択リストが表示されるまで、電話帳でCOMANDコントローラーを繰り返しスライドします ↑◎ 。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎→、選択リストの右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- 新規 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート)、押して ◎ 確定します。
- 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話)、押して ◎ 確定します。
- 続ける を選択し、押して ◎ 確定します。
  入力メニューがデータ欄とともに表示されます。

P82.87-7254-31

① カーソルがある、選択したデータ欄

② 文字バー

- 文字を入力し、項目を保存します。"文字を入力する"の項目に記載されているように進めてください。(▷ 31 ページ)
  電話帳とアドレス帳に項目が作成されます。

電話帳への項目の追加

既存の電話帳項目に電話番号を追加することができます。

- 選択リストでCOMANDコントローラーをまわして ◀◎▶、項目を選択します。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- 電話番号追加 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート)、押して ◎ 確定します。
- 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話)、押して ◎ 確定します。
- 続ける を選択し、押して ◎ 確定します。
  選択した番号カテゴリーの中で、検索している項目に登録された番号が5件より少ないときは、COMANDシステムはデータを保存します。
  5件の番号が選択した番号カテゴリーの項目に登録されると、確認が表示されます。そして、既存の番号の一つを上書きするかどうか選択できます。
- はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
  はい を選択すると、5つの既存の番号を含んだ選択リストが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、上書きされる番号を選択し、押して ◎ 確定します。

入力メニューが表示されます。新しい電話番号を入力するためのデータ欄が強調されます。

▶ 文字を入力します (▷ 31 ページ)

通話リストの使用

概要

電話を使用している間は、COMANDシステムは受信と発信（通話せずに切断した履歴を含む）の両方それぞれのリストを保存します。携帯電話がCOMANDシステムに接続されていない場合は、通話リストは使用できません。

COMAND システムは PBAP Bluetooth® プロファイルをサポートしています。COMANDシステムの通話リストの処理方法は、接続されている以下の携帯電話のモデルによります。

- PBAP Bluetooth® プロファイルを使用した Bluetooth® 電話：
  COMAND システムに携帯電話が接続されると、すぐにCOMANDシステムによって携帯電話から通話リストが自動的にダウンロードされます。
- PBAP Bluetooth® プロファイルを使用しない Bluetooth® 電話：
  COMAND システムに携帯電話が接続されると、すぐにCOMANDシステムが発話と受話（受話しなかった通話を含む）の両方から通話リストを作成します。

ⓘ PBAP Bluetooth® プロファイルのない Bluetooth® 電話では、COMAND システムの通話リストは携帯電話のものとは同期されません。これらの通話は、機種によって携帯電話にリストになったり、ならなかったりすることがあります。

ⓘ 接続されている携帯電話がない場合は、メニュー項目の 履歴 は灰色になり、選択できません。以前のもの以外の携帯電話を COMAND システムに接続した場合は、以前に使用可能であった通話リストとその項目が自動的に削除されます。これらはまだ携帯電話本体では使用できます。

ⓘ COMAND システムから通話を受信、またはダイアルすると、それぞれのメニュー項目を選択することができます。

受話しなかった通話をCOMANDディスプレイに表示することは、全ての携帯電話ではサポートされていません。

通話リストを表示し、履歴項目を選択する

▶ TEL 機能スイッチを押します。

▶ 電話基本メニューでCOMANDコントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ⟲◎⟳ 、履歴 を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、着信履歴 または 発信履歴 を選択し、押して ◎ 確定します。

該当するリストが表示されます。

ⓘ 電話基本メニューが表示されているときに ☎ スイッチを押すと、発信履歴のリストを呼び出すことができます。この場合、リストには電話番号のみが表示されます。

電話

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、項目を選択します。

▶ **電話番号をダイアルする：** 押します ◎ 。

▶ **リストを閉じる：** ⮌ マークを選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

リスト項目からの詳細の表示

COMANDシステムは簡略化されたリスト項目の全体を表示することもできます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 履歴項目を選択します。

▶ コントローラーをスライドして ◎→、項目の右のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 詳細 を選択し、◎ を押して確定します。
詳細表示が表示されます。

▶ **リストに戻る：**リストが強調されるまで、繰り返しスライドします ←◎→ 。

電話番号の保存

新しいアドレス帳項目

アドレス帳にない人からの着信では、COMAND システム は通話リストに電話番号を表示します。この項目を保存することができます。

▶ 通話リストを開いて項目を選択します (▷ 165 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 新規 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート)、押して ◎ 確定します。

▶ 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話)、押して ◎ 確定します。

番号カテゴリー	表示 (電話帳/アドレス帳)
一般	マークなし
自宅	
仕事関連	

電話カテゴリー	表示 (電話帳/アドレス帳)
一般	
一般電話	
携帯	
FAX	

▶ 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。
データ欄のある入力メニューが表示されます。電話番号のデータ欄に自動的に表示されます。

P82.87-7260-31

情報のアドレス帳項目への追加

アドレス帳にない人からの着信では、COMAND システム は通話リストに電話番号を表示します。この項目を保存することができます。

▶ 通話リストを開いて項目を選択します(▷ 165 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 選択した履歴項目が既に保存されている場合は、保存 が表示されます。

▶ 電話番号追加 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート)、押して ◎ 確定します。

▶ 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話)、押して ◎ 確定します。

▶ 保存 を選択します。
アドレス帳項目の検索メニューが表示されます。

▶ 希望の項目を検索します(▷ 162 ページ)。

▶ 検索が終了したら、押します ◎ 。
選択した番号カテゴリーの中で、検索している項目に登録された番号が5件より少ないときは、COMANDシステムはデータを保存します。
この結果に対するメッセージが表示されます。
検索中の項目に5件の番号が登録されている場合、既存の番号のいずれかに上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択した場合は、既存の5件の番号からなる選択リストが表示されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ リスト内で上書きする番号を選択し、押して ◎ 確定します。
COMANDシステムは、選択した番号を新しいデータで上書きします。

通話リストを削除する

PBAP Bluetooth® プロファイルをサポートしていない Bluetooth® 電話を使用している場合は、通話リストは COMAND システム により生成され管理されます。COMANDシステム のこれらの通話リストを削除できます。

▶ 電話基本メニューでCOMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、履歴 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 発着信履歴削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
全ての通話リストを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択した場合は、通話リストが削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

ℹ 携帯電話からこれらの通話リストを削除すると（別冊の携帯電話の取扱説明書をご覧ください)、COMANDシステム

は次回接続したときに通話リスト表示を更新します。

短縮ダイアルリストの使用

項目の登録

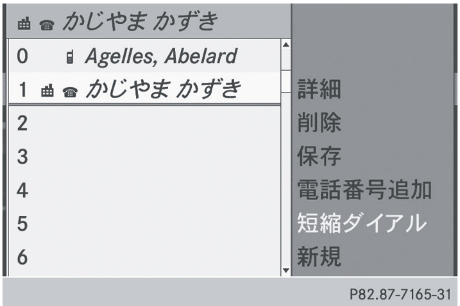
10件の短縮ダイアルプリセット（0 ～ 9）を短縮ダイアルリストに指定できます。この目的のため、使用可能な2つのオプションがあります。

オプション 1：

- ▶ 電話帳項目を電話帳で検索します（▷ 162 ページ）。
- ▶ 項目に複数の電話番号がある場合は、COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、希望の番号を選択します。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、短縮ダイアル を選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。

短縮ダイアルメニュー

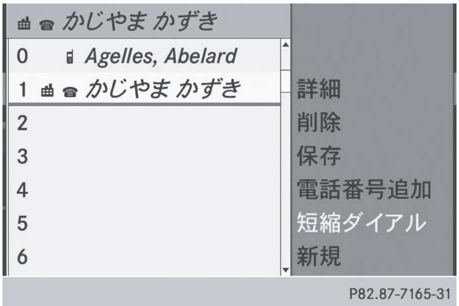
- ▶ 短縮ダイアル登録 を選択し、押して ◎ 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。選択された電話帳項目が一番上に表示されます。次の空欄の短縮ダイアルプリセットが強調されます。



- ▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、短縮ダイアルプリセットを選択し、押して ◎ 確定します。
  電話帳項目が短縮ダイアルプリセットに保存されます。

オプション 2

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します（▷ 154 ページ）。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、履歴 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 短縮ダイアルリスト を選択し、押して ◎ 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 短縮ダイアル登録 を選択し、押して ◎ 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。選択された電話帳項目が一番上に表示されます。次の空欄の短縮ダイアルプリセットが強調されます。



▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、短縮ダイアルプリセットを選択し、押して 確定します。
電話帳項目が短縮ダイアルプリセットに保存されます。

短縮ダイアルプリセットを使用して電話をかける

短縮ダイアルリストには登録した電話帳項目が含まれます (▷ 168 ページ)。

オプション 1：

▶ テンキーの1つを2秒以上押します。
電話基本メニューに選択した項目が表示されます。電話を発信します。

オプション 2：

▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷ 154 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、履歴 を選択し、押して 確定します。
短縮ダイアルリストが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、短縮ダイアルリスト を選択し、押して 確定します。
短縮ダイアルリストが表示されます。

▶ プリセットを選択し、押して 確定します。
電話基本メニューに選択した項目が表示されます。電話を発信します。

短縮ダイアルプリセットを削除する

▶ **短縮ダイアル番号を削除する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、短縮ダイアルリストで短縮ダイアル削除 を選択し、押して 確定します。
短縮ダイアルプリセットが削除されます。

▶ **すべての短縮ダイアル番号を削除する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、"短縮ダイアル" メニューで 短縮ダイアル全件削除 を選択し、押して 確定します。
続けたいかどうかをたずねられます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して 確定します。
はい を選択すると、すべての短縮ダイアルプリセットが短縮ダイアルリストから削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳の使用

概要

これらのアドレス帳項目を電話の発信やナビゲーションに使用することができます。

ℹ **アドレス帳の連絡先の数：** アドレス帳は4,000件の連絡先を登録できます。

1,500件の項目がそれぞれアドレス帳の以下に割り当てられています。

- 携帯電話からの連絡先
- COMANDシステム に作成した、または他のソースからインポートした連絡先

残りの1,000件の項目は、必要に応じて COMANDシステム によって指定されます。

ℹ **携帯電話の連絡先を表示する：** COMANDシステム から携帯電話の接続を切断しても、ダウンロードした連絡先は携帯電話のアドレス帳に残ります。携帯電話が再接続されると、以前使用可能であった連絡先をただちに表示することができます。

携帯電話に追加された新しい連絡先を表示できるようにするには、これらの連絡先を最初に手動でダウンロードする必要があります(▷ 175 ページ)。

新しい携帯電話をCOMANDシステムに接続するとただちに、以前の携帯電話からのすべての連絡先が新しい電話のアドレス帳からのものと置き換わります。

携帯電話の接続を切断しても、アドレス帳項目は保存されたままです。そのため、車両を売却する前などは、リセット機能 を使用して個人データを消去してください (▷ 44 ページ)。

アドレス帳を呼び出す

オプション 1：

▶ TEL 機能スイッチを押します。

電話基本メニュー、あるいは既に開かれていた場合はアドレス帳が表示されます。

▶ 電話基本メニューが表示されている場合は、 TEL 機能スイッチを再度押します。

オプション 2：

▶ 電話基本メニューが表示されているときに、COMANDコントローラーをスライドして ◎↑、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューから アドレス帳 を選択し、押して ◎ 確定します。

アドレス帳が開きます。

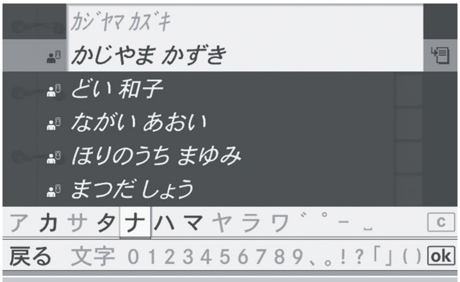
アドレス帳項目には以下の情報を含めることができます。

- 姓
- 名
- 会社
- 2つの住所
- 緯度・経度
- 5件までの電話番号

▶ **アドレス帳を閲覧する：**COMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。

▶ **アドレス帳を閉じる：** TEL スイッチを押します。

アドレス帳項目を検索する



P82.87-7263-31

▶ アドレス帳を呼び出します (▷ 170 ページ) 。

▶ アドレス帳でCOMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、検索 を選択し、押して ◎ 確定します。

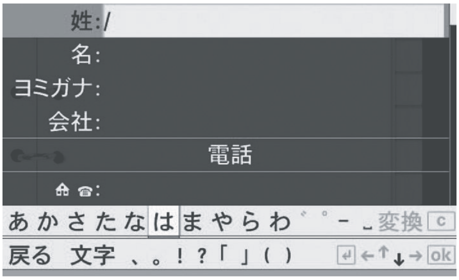
項目が 8 つ以上ある場合は、検索メニューと文字バーが表示されます。

▶ **文字種類を選択する：** COMANDコントローラーをスライドして ◎↓、文字 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ カタカナ、ABC または 数字 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 項目を探します (▷ 162 ページ)。

アドレス帳に新規項目を登録する



P82.87-5881-31

住所データをアドレス帳に直接入力できます。電話番号をCOMANDシステムの電話帳に保存すると、これらはアドレス帳にも保存されます。ナビの目的地を保存すると、COMANDシステム に完全にナビ可能な住所データを含むアドレス帳項目が作成されます。

▶ アドレス帳を呼び出します (▷ 170 ページ) 。

▶ アドレス帳でCOMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳ 、新規 を選択し、押して ◎ 確定します。
データ欄のある入力メニューが表示されます。

▶ 文字を入力し、項目を保存します。"文字を入力する"の項目 (▷ 31 ページ) に記載されているように進めてください。

アドレス帳項目を削除する

▶ **オプション1：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **オプション2：** アドレス帳項目を検索します (▷ 170 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 削除 を選択し、◎ を押して確定します。
選択されたオプションに関係なく、メッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択すると、項目が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳項目の詳細を表示する

項目を選択する

P82.87-7266-31

アドレス帳の詳細表示
① 前のメニューに戻る
② 🏢 会社の詳細
③ オプションを呼び出す

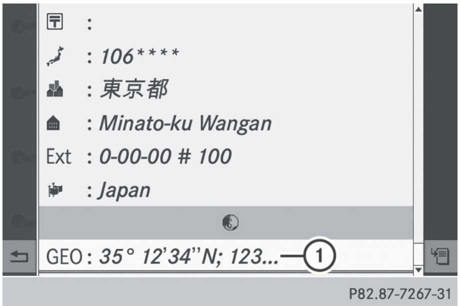
▶ アドレス帳項目を検索し、COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、選択リストで選択します (▷ 170 ページ)。

または

▶ 閲覧して (▷ 170 ページ)、アドレス帳項目を選択します。

電話

▶ どちらの場合も、押します 。
詳細表示が表示されます。



① 座標表示

住所までのルート案内を開始する

▶ COMANDコントローラーをまわして、住所データ欄を選択し、押して確定します。
目的地住所までのルートが検索され、ルート案内を開始します (▷ 76 ページ)。

電話番号に発信する

▶ COMANDコントローラーをまわして、電話番号データ欄を選択し、を押して確定します。
発信が行なわれ、通話をすることができます (▷ 158 ページ)。

アドレス帳項目の詳細を表示する

▶ COMANDコントローラーをスライドして、項目の右にあるリストマークを選択し、押して確定します。

▶ 詳細 を選択し、を押して確定します。
全画面で表示されます。

▶ **詳細表示を閉じる：** リターンスイッチを押します。

アドレス帳項目を変更する

項目を変更する

▶ **オプション1：** アドレス帳項目を検索し、COMANDコントローラーをまわして、選択リストで選択します (▷ 170 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして、項目の右にあるリストマークを選択し、押して確定します。
メニューが表示されます。

▶ 編集 を選択し、押して確定します。

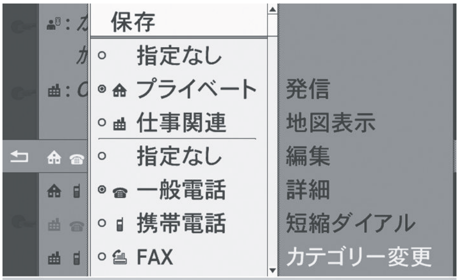
▶ **オプション2：** アドレス帳項目の詳細画面を呼び出します (▷ 171 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして、項目の右にあるリストマークを選択し、押して確定します。

▶ 編集 を選択し、押して確定します。
いずれの場合も、データ欄のある入力メニューが表示されます。

▶ "文字を入力する"の項目 (▷ 31 ページ) に記載されているように進めてください。

電話番号データ欄のカテゴリーを変更する



P82.87-7290-31

- アドレス帳項目の詳細画面を表示して (▷ 171 ページ)、電話番号データ欄を強調します。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- カテゴリー変更 を選択し、押して ◎ 確定します。
- プライベート のような番号カテゴリーを選択します。
- 携帯電話 のような電話カテゴリーを選択します。
- 希望であれば、通常使用番号 を選択し、押して ◎ 確定します。

  前回の状況によって、オプションのオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。この電話番号は電話帳の最初の番号として表示され、すぐにダイアルすることができます。
- 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。

  新しいカテゴリーが保存されます。

項目に保存された番号に発信する

条件

携帯電話が Bluetooth® インターフェースを介して接続されていること。

番号のダイアル

P82.87-7291-31

- アドレス帳項目の詳細を表示します (▷ 171 ページ)。
- COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、電話番号データ欄を選択します。
- COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、データ欄の右のリストマークを選択します。
- COMANDコントローラーを押して ◎、確定します。
- 発信 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

- アドレス帳項目の詳細を表示します (▷ 171 ページ)。
- COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、電話番号データ欄を選択します。
- COMANDコントローラーを押して ◎、確定します。

または

- 押して [発信ボタン] 確定します。

  電話が発信されます。表示が電話モードに切り替わります。

電話番号を短縮ダイアル番号として保存する

- ▶ アドレス帳項目の詳細を表示します(▷ 171 ページ)。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、電話番号データ欄を選択します。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、データ欄の右にあるリストマークを選択し、押して ⓢ 確定します。
- ▶ 短縮ダイアル を選択し、押して ⓢ 確定します。
  10件の短縮ダイアルプリセットの1つに番号を保存することができます。

項目までのルート案内を開始する

注意点

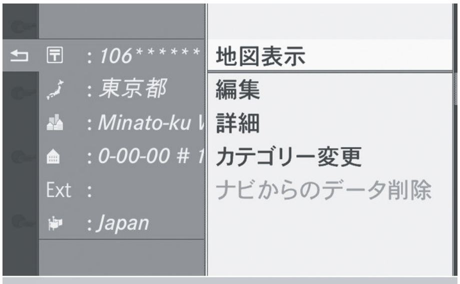
COMANDシステムはナビの目的地メモリーとルート案内の完全な住所データのあるアドレス帳の両方に目的地を保存します。

この機能はアドレス帳項目に以下のデータが含まれているときに使用することができます。

- 電話番号
- 郵便番号
- 以前のナビゲーションデータ、住所欄に ⓝ が付いています。
- 緯度・経度

ℹ 電話番号または郵便番号が使用される場合は、実際の目的地は使用されず、代わりに目的地周辺の地域が使用されます。

ナビ可能なデータのあるアドレス帳項目



P82.87-7264-31

- ▶ ⓝ マークのあるアドレス帳項目を検索し(▷ 170 ページ)、リストから選択します。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⓢ 確定します。
- ▶ 地図表示 を選択し、押して ⓢ 確定します。
  ルート案内を開始します。

または

- ▶ アドレス帳項目の詳細を表示します(▷ 171 ページ)。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、住所データ欄を選択し、押して ⓢ 確定します。
  ルート案内を開始します。

携帯電話の電話帳項目をアドレス帳に保存する

この機能では、インポートした電話帳項目をアドレス帳に保存できます。

可能なソースは以下の通りです。

- 携帯電話
- メモリーカード
- USB機器
- Bluetooth® インターフェース

インポートされた電話帳項目は電話帳に異なるマークで示されます(▷ 162 ページ)。

▶ 携帯電話 (▷ 162 ページ) の電話帳にある項目を検索します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して 確定します。

▶ 保存 を選択し、押して 確定します。
保存しました というメッセージが表示されます。ここで電話帳項目がアドレス帳項目として保存されます。
マークが マークと置き換わります。

連絡先をインポートする

情報と要件

メモリーカードやUSB機器からアドレス帳に連絡先（vCard）をインポートしたり、Bluetooth®接続でvCardを受信することができます。

ℹ 2,500 件までの項目をアドレス帳にインポートできます。最大数に達したときにメッセージが表示されます。そのときに新しい項目をインポートするには既存の項目 (▷ 171 ページ) を削除しなければなりません。

連絡先データのソースによって、異なる条件が適用されます。

ソース	条件
メモリーカード	SD メモリーカードは挿入され (▷ 225 ページ)、インポート可能な連絡先データが含まれている。
USB 機器	USB 機器がUSB ポートに挿入され、インポート可能な連絡先データが含まれている。
携帯電話	携帯電話がPBAP Bluetooth® プロファイル (**P**hone **B**ook **A**ccess **P**rofile) をサポートしている。

Bluetooth®経由によるvCardの受信要件

Bluetooth®接続によりvCardの送信をサポートしているPCなどの機器からvCardを受信することができます。

そのためにCOMANDシステムで機器を認証する必要はありません。

以下の点に注意してください。

- Bluetooth® がCOMANDシステム とBluetooth® 機器で作動していること（機器の取扱説明書をご覧ください)。
- Bluetooth® 機器がBluetooth®経由によりvCardを送信できること (機器の取扱説明書をご覧ください)。
- 車両のBluetooth® 機器がオンになっていること。

メモリーカードまたはUSB機器からインポートする

メモリーカードまたはUSB機器からインポートされた項目には マークがあります。

vCardをインポートするには、以下の条件を満たしていなければなりません。

- vCard (vcf ファイル) が主要なディレクトリまたはフォルダにあること。COMANDシステム では関連のあるフォルダを直接選択できます。
- vCardにファイル拡張子".vcf"が付いていること。

ℹ vCard には複数のvCardを含めることもできます。

COMANDシステムはバージョン 2.1 および 3.0 のvCardをサポートしています。

▶ SD メモリーカードを挿入するか(▷ 225 ページ)、USB 機器（USB スティックなど）を接続します。(▷ 225 ページ)

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 電話帳ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、メニューで メモリーカードから または USB デバイスから を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 追加 または 上書き を選択し、押して ◎ 確定します。

追加 はメモリーカードまたはUSB機器からアドレス帳に項目をインポートします。

上書き はメモリーカードまたはUSB機器から項目をインポートし、マークがあるアドレス帳の全項目が上書きされます。その後、以前の項目は使用できなくなります。

連絡先データが正常にインポートされると、その結果に関するメッセージが表示されます。アドレス帳または該当する電話基本メニューが表示されます。

ℹ アドレス帳に対応する項目が含まれている場合は、上書き を選択できます。

アドレス帳がいっぱいの場合は、メッセージが表示されます。

携帯電話からインポートする

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 電話帳ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ メニューから 携帯電話から を選択し、押して ◎ 確定します。

連絡先が携帯電話からダウンロードされます。

Bluetooth®経由でvCardを受信する

P82.87-7476-31

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、ま

わして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ 電話帳ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューで、COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、Bluetoothデバイスから を選択し、押して ◎ 確定します。
これによりCOMANDシステム と作動している携帯電話のBluetooth® 接続が中断されます。ただし、COMAND システム は他の Bluetooth® デバイス（PC、携帯電話）からｖCardを受信する準備はできています。

▶ 外部のBluetooth® 機器でデータ送信を開始します (機器の取扱説明書をご覧ください)。
受信したvCardの数が表示されます。

▶ **受信を終了する：** ◎ またはリターンスイッチ ⮌ を押します。
そしてCOMANDシステム は携帯電話に再接続します。

受信されたvCardはアドレス帳に BT マークで識別されます。

ℹ vCardを受信している間にナビのような他の基本機能に切り替えると、vCardの受信は終了します。

連絡先を削除する

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ 連絡先の削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 以下のオプションの1つを選択します。
 • COMAND上で作成した連絡先
 • メモリーデバイスの登録データ
 • Bluetooth接続機器から
 • 全て
選択に対応する確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択すると、選択に応じて連絡先が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳の非表示

P82.87-8379-31

携帯電話からダウンロードしたアドレス帳を非表示にすることができます。

携帯電話の接続 (▷ 150 ページ)。

▶ 電話基本メニューが表示されているときに、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、

電話 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ データ非表示 を選択し、押して ⊛ 確定します。
アドレス帳表示を非表示にしたり ☑、表示にしたり ☐ できます。

COMANDシステムの特徴 180
全体的な注意事項 180
アクセスデータの設定 182
接続の確立/終了 190
Google™ ローカル検索 191
目的地のダウンロード 194
天気 197
オプション 202
追加のサービス 207
インターネットラジオ 208
インターネット 209

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

全体的な注意事項

アクセスの条件

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMANDシステムを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

オンライン機能とインターネットアクセスは、Bluetooth® インターフェースを介して利用することができます。

機能を使用するには、以下の条件が必要です。

- 携帯電話がDUN Bluetooth® プロファイル（**D**ial-**U**p **N**etworking：ダイアルアップネットワーク）をサポートしていて、Bluetooth® インターフェース経由でCOMANDシステムに接続されている（▷ 150 ページ）。DUN Bluetooth® プロファイルは携帯電話のインターネットへのダイアルアップ接続を確立させることができます。
- 関連する接続費用を計算するために使用される、データオプション付きの有効な携帯電話サービス契約が必要です。
- 接続されている携帯電話のために、携帯電話ネットワークプロバイダーのアクセスデータが、COMANDシステムで設定されていなければなりません(▷ 182 ページ)。

ℹ 接続されている携帯電話がPAN Bluetooth プロファイル（パーソナルエリアネットワーク)をサポートしている場合は、自動設定機能を使用できます(▷ 183 ページ)。

ℹ 適合している携帯電話の詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

ℹ 携帯電話によっては、独立してDUN Bluetooth® プロファイルをオンにしなければならないものもあります (携帯電話の取扱説明書をご覧ください)。

ℹ 携帯電話の中には同時に2つのBluetooth® プロファイルのみをサポートするものがあります (例：Bluetooth® 電話機能のハンズフリープロファイルおよびオーディオストリーミングのBluetooth® オーディオプロファイル)。さらにインターネット接続を確立させたときは、Bluetooth® オーディオ経由での再生が停止することがあります。

ℹ 正しくないアクセスデータを使用すると、追加の費用が発生することがあります。これは、契約と違う項目や、他の契約/データパッケージの項目を使用したときに発生します。

ℹ 個々のCOMANDシステムのメルセデス・ベンツアプリが使用できるかは、国によって異なります。

ℹ 利用規約は、COMANDシステムが初めて使用されたとき、およびそれ以降年に1度表示されます。車両が停止しているときにのみ、利用規約を読んで同意してください。

ℹ 車両が動いている間は、インターネットのページは表示できません (▷ 209 ページ)。

データをインポート/エクスポートし、そのために インターネットデータ オプションを選択するときは、携帯電話のネットワークプロバイダーのパスワードは保存**されません**。

インターネットに再度接続するときは、以下のように進めます。

▶ **ステップ1：** 携帯電話のネットワークプロバイダーを削除します。

▶ **ステップ2：** 携帯電話のネットワークプロバイダーを再度選択する (オプション1)か、手動で設定します (オプション2)。

車両が走行している間の接続障害

以下の場合は、接続が切断されることがあります。

- 特定の地域において、携帯電話のネットワーク範囲が不十分なとき
- 携帯電話の送信/受信エリア（携帯電話の基地局）を他に移動して空いているチャンネルがないとき
- 使用可能なネットワークに適していないSIMカードを使用しているとき

機能の制限

以下の状況のときは、携帯電話を使用できなかったり、携帯電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまでに待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMANDシステムの"Bluetooth®"機能がオフになっているとき
- Bluetooth® 接続の電話を使用していて、携帯電話の"Bluetooth®" 機能がオフになっているとき
- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき
- 携帯電話ネットワークと携帯電話がともに、電話とインターネット接続の同時使用が認められていないとき

ℹ 使用している携帯電話と携帯電話ネットワークによっては、インターネットに接続しているときは着信できないことがあります。

ローミング

他の国でご自身の車両を運転していて、COMANDシステムのインターネットおよびオンライン機能を使用しているときは、追加の費用（ローミング料金）が発生することがあります。他の国にいるときは、SIMカードがデータローミングをできるようにしなければなりません。携帯電話のネットワークプロバイダーがローミングパートナーとデータローミングの契約を結んでいない場合は、インターネット接続を確立できないことがあります。他の国にいるときにデータローミングを避けたい場合は、携帯電話のこの機能を非作動にしてください。

アクセスデータの設定

概要

接続された携帯電話のインターネットアクセスデータは、携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。COMANDシステムでのインターネットアクセスデータに必要な設定は、以下に記載されています。

選択された/手動で設定された携帯電話のネットワークプロバイダーは、選択/設定されたときに接続されている携帯電話のみで有効です。再接続されたときは携帯電話のネットワークプロバイダーは自動的に設定されます。

ℹ 他の国で車両を運転していて、COMAND Onlineとインターネット機能を使用すると、追加料金（ローミング料金）が発生することがあります。

ℹ 車両が停止しているときにアクセスデータの設定を調整してください。交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

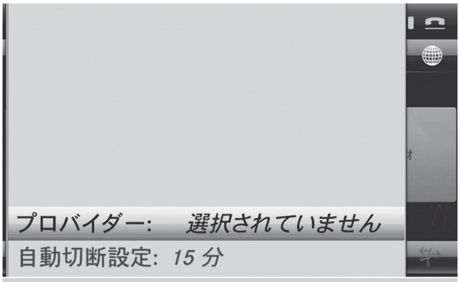
インターネットアクセスデータの選択/設定

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストを呼び出す

▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、基本機能バーで🌐アイコンを選択し、押して確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

P82.87-8415-31



P82.87-7273-31

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから↓◎、まわして〔◎〕、設定を選択し、押して確定します。

携帯電話を初めてCOMANDシステムに接続するときは、プリセットされている携帯電話のネットワークプロバイダーはありません（▷ 150 ページ）。プロバイダー：に選択されていませんという言葉が続きます。

携帯電話が接続されていて、携帯電話のネットワークプロバイダーが選択されている場合は、携帯電話のネットワークの名称がプロバイダー：の後に表示されます。

▶ COMANDコントローラーを押します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

P82.87-9128-31

携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト（空欄）

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを設定するために、以下のことができます。

- 携帯電話のネットワークプロバイダーのあらかじめ設定されたアクセスデータを選択する (▷ 183 ページ)
- 自動設定を選択する。 – このオプションは、接続されている携帯電話が Bluetooth® PAN（パーソナルエリアネットワーク）プロファイルをサポートしている場合にのみ、プロバイダーのリストに表示されます (▷ 183 ページ)。
- 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを手動で設定する (▷ 186 ページ)

アクセスデータの自動設定

P82.87-9192-31

要件：Bluetooth® 経由で電話が COMANDシステムに接続されていて、Bluetooth® PAN プロファイルをサポートしていなければなりません。

オプション 1 電話がまだインターネットアクセスに設定されていない場合

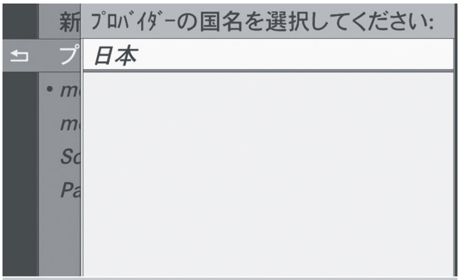
▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ↻◎↺、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して ◎ 確定します。
自動設定が可能であることを知らせるメッセージが表示されます。

▶ はい を選択し、押して ◎ 確定します。

オプション 2：

▶ 携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで、COMANDコントローラーをまわして ↻◎↺、自動設定 <Device_name> を選択し、押して ◎ 確定します(▷ 182 ページ)。
携帯電話から設定データが転送されます。設定が成功した場合は、ドット • が 自動設定 <Device_name> の前に表示されます。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択



P82.87-7275-31

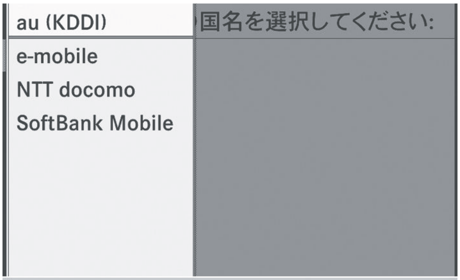
プロバイダーの検索

▶ COMANDコントローラーをまわして ↻◎↺、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで プロバイダー検索 を

選択し、押して ⊚ 確定します (▷ 182 ページ)。
国のリストが表示されます。

▶ 押して ⊚、日本 を確定します。
使用可能な携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

ℹ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータが接続している携帯電話で一度選択されると、携帯電話が接続されるたびに再び読み込まれます (▷ 182 ページ)。



P82.87-7276-31

ℹ 接続している携帯電話のSIMカードおよび関連するデータパッケージ（アクセス設定）を提供している携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを設定してください。他に国にいる場合は、アクセスデータは同じままです（ローミング）。他のネットワークのアクセスデータは選択**されません**。

複数のアクセスデータを提供している携帯電話のネットワークプロバイダーがあります。これは、例えば使用しているデータパッケージによって異なります。

P82.87-7277-31

携帯電話のネットワークプロバイダーは1つのアクセス設定のみを持っています。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲⊚⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーを選択し、押して ⊚ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ **プリセットアクセスデータを確認する：**編集 を選択し、⊚ で確定します。
アクセスデータのリストが表示されます。
アクセスデータを確認します (▷ 186 ページ)。

▶ **アクセスデータが正しい場合：** リセットスイッチ ⮌ を押すか、または ⮌ マークを選択し、押して ⊚ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを受け取ることができます。

▶ 保存 を選択し、押して ⊚ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受け取ります。

▶ **アクセスデータを編集する：**"携帯電話のネットワークプロバイダーの"アクセスデータの手動設定" (▷ 186 ペー

ジ) に記載されているように進めてください。
編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。

携帯電話のネットワークプロバイダーには複数のアクセス設定があります。

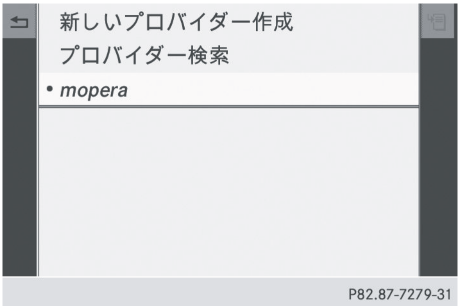
▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、適切なアクセス設定を選択し、押して ◉ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ **アクセス設定を確認する：** 編集 を選択し、押して ◉ 確定します。
アクセスデータのリストが表示されます。
アクセスデータを確認します (▷ 186 ページ)。

▶ **アクセスデータが正しい場合：** リターンスイッチ [↩] または [↩]マーク を押して、押して ◉ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを受け取ることができます。

▶ 保存 を選択し、押して ◉ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受け取ります。

▶ **アクセスデータを編集する：** "携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 186 ページ) に記載されているように進めてください。
編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。



選択したプロバイダーがある携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト

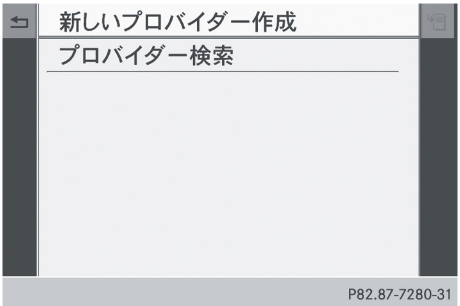
現在選択されているアクセス設定（項目の前の ● で示されています）は接続されている携帯電話に使用されています。

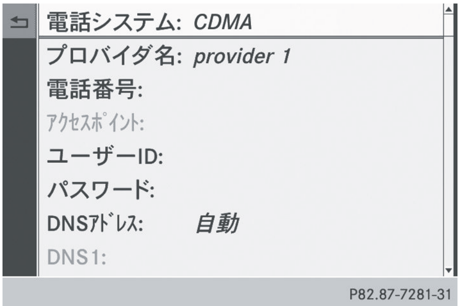
▶ **カルーセルビュー（マルチウインドウ）に戻る：** リターンスイッチ [↩] を2回押します。

または

▶ COMANDコントローラーを押して ◉、リターンスイッチ [↩] を押します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定





アクセスデータのリスト（新しいプロバイダー）

アクセスデータのリストを呼び出す

▶ COMANDコントローラーを押して⊙、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで 新しいプロバイダー作成 を確定します。
アクセスデータのリストが表示されます。標準的な名前 プロバイダー <x> がプロバイダー： 欄に自動的に入力されます。ここで項目を作成することができます。

ℹ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは接続されている携帯電話に一度設定されます。

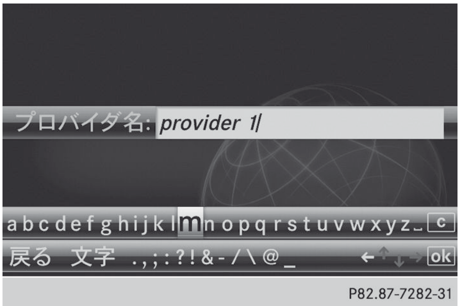
アクセスデータの説明

入力欄	意味
プロバイダー名：	携帯電話のネットワークプロバイダーのリストに表示されるプロバイダーの名前。名前を自由に選択できます。 標準的な項目は プロバイダー <x> です。
電話番号	接続を確立するためのアクセス番号 ℹ アクセス番号はプロバイダーによって異なります。
アクセスポイント：	APN ネットワークアクセスポイント (**A**ccess **P**oint **N**ame：アクセスポイント名) ℹ ネットワークのアクセスポイントは入力されている必要はありません。
ユーザーID：	ユーザーIDは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ すべての携帯電話のネットワークプロバイダーで入力は必要ではありません。

入力欄	意味
パスワード：	パスワードは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ すべての携帯電話のネットワークプロバイダーで入力は必要ではありません。 ℹ パスワードはデータをインポート/エクスポートすると失われます。
DNS アドレス：	DNS アドレス (Domain Name Service：ドメインネームサービス) は自動的に決めるか、手動で入力することができます。必要な情報は携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ ほとんどの携帯電話のネットワークプロバイダーは自動 機能をサポートしています。マニュアル オプションを選択すると、通常はDNSアドレスを入力する必要があります。
DNS 1： DNS 2：	DNSサーバーのアドレスを手動で入力するための欄。アドレスは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。

アクセスデータの入力

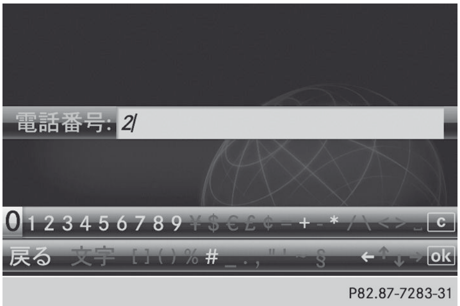
▶ アクセスデータのリストで、押して ◎ プロバイダー名 の入力欄を確定します。
入力メニューが表示されます。



P82.87-7282-31

▶ プロバイダーを入力します (▷ 31 ページ)。

▶ **電話番号を入力する：** アクセスデータのリストで、COMANDコントローラーをスライドするか ↓◎、まわして ⟲◎⟳、電話番号 の入力欄を選択し、押して ◎ 確定します。
電話番号の入力メニューが表示されます。



P82.87-7283-31

▶ 電話番号を入力します。

▶ **アクセスデータを入力する：** アクセスデータのリストで、入力欄の アクセスポイント を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ アクセスデータを入力します。

▶ **ユーザーIDを入力する：** アクセスデータのリストで、入力欄の ユーザーID： を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ユーザーIDを入力します。

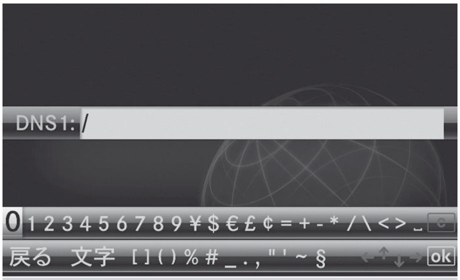
▶ **パスワードを入力する：** アクセスデータのリストで、入力欄の パスワード： を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ パスワードを入力します。

P82.87-7284-31

▶ **DNS アドレスを設定する：** アクセスデータのリストで、入力欄の DNS アドレス： を選択し、押して ⊛ 確定します。
項目の前にあるドット ● は現在の設定を示しています。

▶ COMANDコントローラーで 自動 または マニュアル を選択し、押して ⊛ 確定します。
自動 ：DNS アドレスが自動的に設定されます。
マニュアル： DNSアドレスは、DNS 1 および DNS 2の項目を使用します。



P82.87-7285-31

DNS1を入力する

DNSの例を入力する

▶ マニュアル を選択した後、COMAND コントローラーで入力欄の DNS1 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 例えば 172.28.4.81 を入力します。

他の携帯電話のインターネットのアクセスデータ

アクセスデータが携帯電話のネットワークプロバイダーのリストですでに使用可能であれば、追加する携帯電話に使用できます。

これには以下の前提条件が必要です。

- 追加する携帯電話が接続されていること。
- アクセスデータが現在接続されている携帯電話の契約に適用されていること。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストからプロバイダーを選択し、押して ⊛ 確定します (▷ 183 ページ)。
プロバイダーを選択した後、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが閉じます。選択したプロバイダーが入力されます。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを管理する

概要

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは以下のことができます。

- 編集
- 新しいプロバイダー名のコピー、編集および取り込み
- 削除

ⓘ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの変更は、このアクセスデータを使用するすべての携帯電話に適用されます。

ⓘ インターネットが接続されているときは、現在設定されている携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを編集、または削除することはできません。

アクセスデータを編集する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストからプロバイダーを選択します(▷ 183 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、編集 を確定します。
アクセスデータが表示されます。

▶ アクセスデータを編集します。項目の記載は、"携帯電話ネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 186 ページ) にあります。

アクセスデータを新しいプロバイダー名に保存する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストからプロバイダーを選択します(▷ 183 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、コピーを作成 を確定します。
アクセスデータが表示されます。

▶ アクセスデータを編集します。項目の記載は、"携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 186 ページ) の"項目の作成" にあります。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを削除する

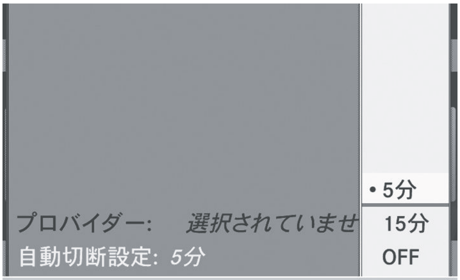
▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストからプロバイダーを選択します(▷ 183 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、削除 を確定します。
アクセスデータを削除してもよいかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。

インターネットから自動的に切断する時間の長さを選択する



P82.87-7287-31

オンライン機能、またはインターネット機能のどちらも使用されていない間にあらかじめ設定した時間が経過した場合は、COMANDシステムはインターネットから自動的に切断します。

- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↓◎、まわして ⟲◎⟳、カルーセルビュー（マルチウインドウ）で設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 自動切断設定： を選択し、押して ◎ 確定します。
  ドット ● は現在の設定を示します。
- ▶ 5 分、15 分 または OFF を選択し、押して ◎ 確定します。
  OFF は機能をオフにします。

インターネット接続の作動は、ディスプレイ右上の2本の矢印で識別されます。

接続の確立/終了

接続を確立する

P82.87-9383-31

P82.87-9375-31

接続の確立の条件は、"全体的な注意事項" (▷ 180 ページ) に記載されています。

- ▶ **オプション 1：** COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ◎ 確定します。
  カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- ▶ Mercedes-Benz Apps または Internet Favorites（インターネットお気に入り）パネルが前面になるまでCOMANDコントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドします ←◎→。
- ▶ **オプション 2：** ウェブアドレス (▷ 209 ページ) を入力します。

P82.87-9361-31

P82.87-9362-31

▶ どちらのオプションも、COMANDコントローラーを押します ⊛。

インターネットの接続が確立されます。作動しているインターネット接続はマーク ① で識別されます。例は、メルセデス・ベンツアプリメニューを示しています。

▶ **接続を中止する：** 接続を確立している間に、押して ⊛中止 を確定します。

または

▶ COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの ☎ スイッチを押します。

ℹ インターネット接続の作動と同時に電話の通話が行われる場合は、☎ マークが ① に表示されます。使用されている携帯電話および携帯電話のネットワークによっては、インターネット接続は作動したままになります。

接続を終了する

▶ COMANDシステムまたはマルチファンクションステアリングの ☎ スイッチを押します。

または

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）の右下にあるハサミマークを選択して、押して ⊛ 確定します。

ℹ 携帯電話のインターネット接続が中止されると、COMANDシステムは再接続しようとします。そのため、COMANDシステムでまたはマルチファンクションステアリング経由で接続を常に閉じるようにしてください。

Google™ ローカル検索

ローカル検索メニューを呼び出す

P82.87-9397-31

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、基本機能バーで🌐 アイコンを選択し、押して ⊛ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMANDコントローラーを回して ⟲◎⟳、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して ⊛ 確定します。

Mercedes-Benz Appsメニューが表示されます。

▶ ◎ を押して 、Google ローカル検索 の項目を確定します。
Googleローカル検索メニューが表示されます。

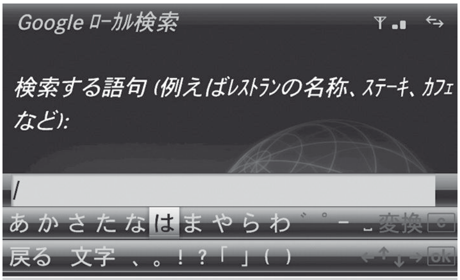
▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをスライドして ←◎、⮌ マークを選択し、押して ◎ 確定します。

キーワード検索

入力の制限

車両が停止しているときにのみ、入力メニューの検索条件を入力することができます。

検索条件の入力



P82.87-9364-31

入力メニュー

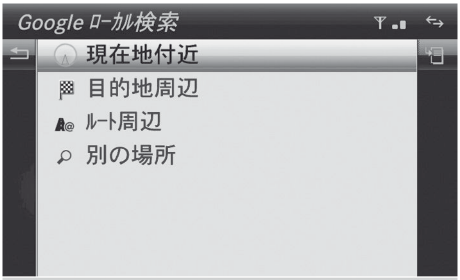
▶ 押して、 ◎、Googleローカル検索で Enter Search Term:（検索条件の入力） を確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーを使用して入力する：** 検索条件を入力します。

▶ **テンキーを使用して文字を入力する：** 素早く連続してテンキーを押します。
キーを押すと文字が表示されます。最初に使用できる文字が強調されます。

▶ 検索条件を入力した後に、COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、 ok を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。ここで目的地検索を始める場所を選択できます。

検索位置の選択



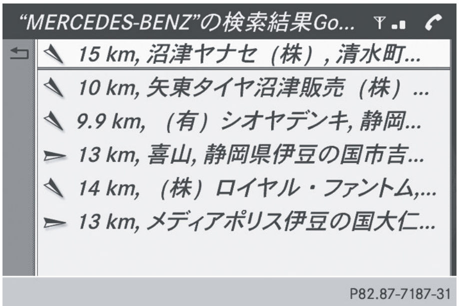
P82.87-9363-31

▶ 検索条件が入力されて確定した後に、メニューが表示されます。
COMANDシステムは入力された検索条件で利用可能な施設を検索します。

- 現在の車両位置付近
- 検索したルート沿い
  目的地が以前に入力されている場合は、機能を利用できます。
- 目的地周辺
  目的以前に入力されている場合は、機能を利用できます。
- 住所周辺

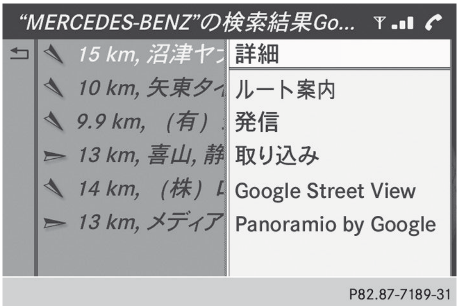
▶ 目的地周辺 を選択した後に、住所を入力して確定します。
検索結果が表示されます。

▶ 別の町 を選択した後に、住所を入力し確定します。
検索結果が表示されます。



例：Google™ 検索結果

検索結果を使用する



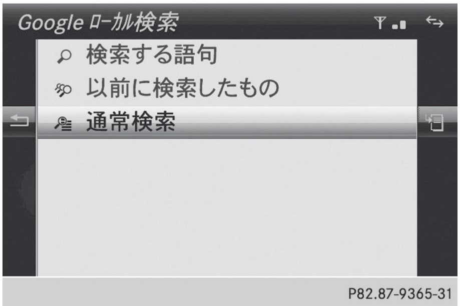
- COMANDコントローラーをまわして 、検索結果リストで項目を選択し、押して 確定します。
  メニューが表示されます。
- **詳細画面を表示する：** COMANDコントローラーを押して 、詳細 を確定します。
  選択した項目の住所が表示されます。

- **目的地を呼び出す：** COMANDコントローラーで 発信 を選択し、押して 確定します。
  次に電話機能に切り替え、発信します (▷ 156 ページ)。
  次に電話機能に切り替え、発信します
  。

ⓘ 使用できる電話番号がない場合は、メニュー項目は選択できません。

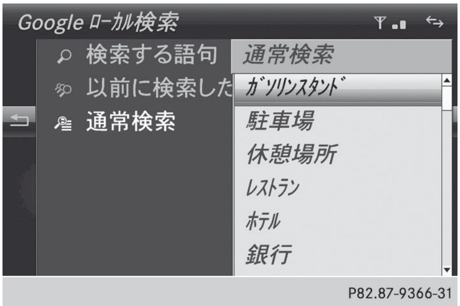
- **目的地をインポートする：** COMANDコントローラーで 取り込み を選択し、押して 確定します。
  項目がアドレス帳に保存されます。<目的地 x> をアドレス帳にインポートしました というメッセージが表示されます。
- 押して 、OK を確定します。

通常検索



この機能ではあらかじめ設定した検索条件を使用して検索することができます。

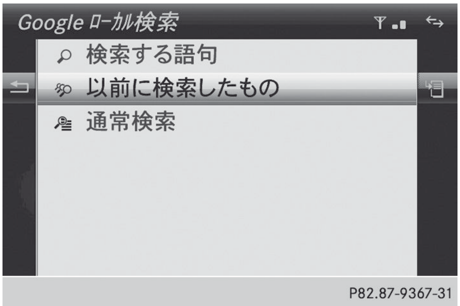
- COMANDコントローラーをまわして 、ローカル検索メニューで 通常検索 を前面にし、押して 確定します。
  メニューに使用可能な検索条件が表示されます。



例：通常の Google™ 検索

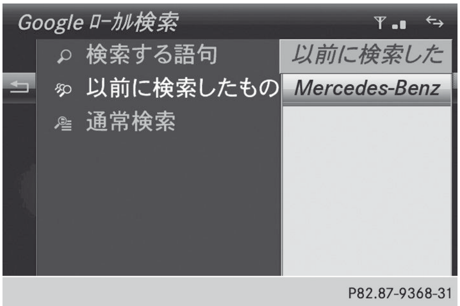
- 検索条件を選択し、押して ⊚ 確定します。
- "検索位置の選択" (▷ 192 ページ) に記載されているように進めてください。車両が停止している場合は、"サクラホテル" のように手動で検索結果を追加することができます。

検索履歴



この機能は前回の検索照会を提供します。

- COMANDコントローラーをまわして (◎)、ローカル検索メニューで 検索履歴 を前面にして、押して ⊚ 確定します。
  以前の検索照会が、一番最近のものから最上部に表示されます。



- 検索条件を選択し、押して ⊚ 確定します。
- "検索位置の選択" (▷ 192 ページ) に記載されているように進めてください。車両が停止している場合は、"サクラホテル" のように手動で検索結果を追加することができます。

目的地のダウンロード

概要

Google™ マップから目的地をダウンロードし、サーバーに送信することができます。ルート案内に目的地を使用したり、その他で使用するために保存することができます。

ステップ1：目的地をサーバーに送信する

- インターネットでGoogle™ マップのウェブサイトを呼び出します。
- 目的地を選択します。
- 会社項目で "Mercedes-Benz" を選択します。
- ダウンロード用のIDを選択します (車台番号またはEメールアドレス)。

ℹ 車台番号 (VIN) は工場であらかじめ設定されています。Eメールアドレスへの変更手順は "目的地のダウンロードの設定オプション" (▷ 205 ページ) に記載されています。

ℹ Google™ マップ機能の使用可能状況は国によって異なります。

▶ Google™ マップのウェブサイトで"送信" を確定します。
目的地がサーバーに送信されます。

ステップ2：サーバーから目的地をダウンロードする

P82.87-9369-31

サーバーに送信した目的地/ルートを使用するには以下のように進めてください。

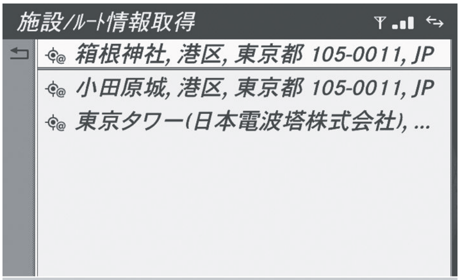
▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、基本機能バーで🌐 アイコンを選択し、押して ◎ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にして、押して ◎ 確定します。
Mercedes-Benz Appsメニューが表示さfれます。

▶ 施設/ルート情報取得 を選択し、押して ◎ 確定します。

⮌ マークで、目的地のダウンロードをそのままにできます。

リストマークで、目的地のダウンロードのオプションを設定します (▷ 205 ページ)。



P82.87-7179-31

例：3つの目的地項目があるリスト

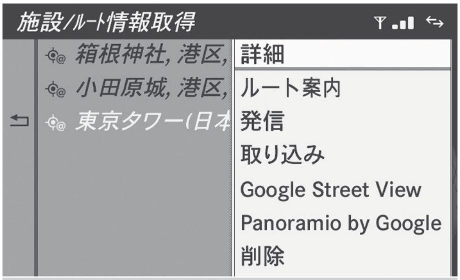
▶ 押して ◎、施設/ルート情報取得 パネルを確定します。
使用可能な目的地 がリストに表示されます。

サーバーには車両の目的地を50件まで保存し、リストに表示することができます。サーバーにさらに目的地を送信する場合は、一番古い項目がリストから削除されます。

ℹ Google™ マップからサーバーに送信された目的地は7日後に自動的にサーバから削除されます。

ステップ3：目的地を使用する

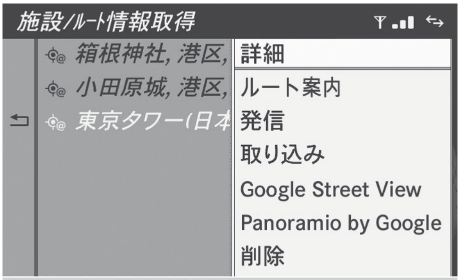
メニューの呼び出し



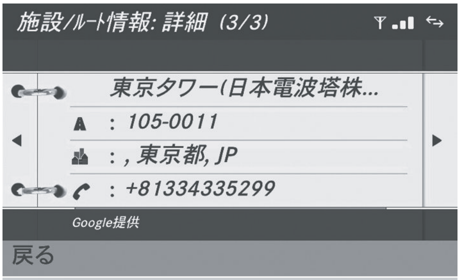
P82.87-7180-31

▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、リストで項目を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

詳細を表示する



P82.87-7180-31



P82.87-7181-31

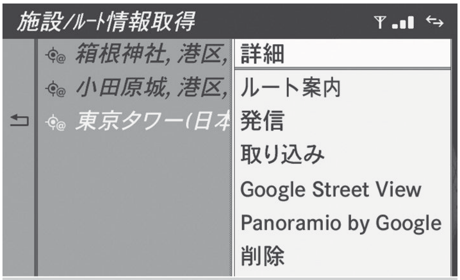
目的地の住所の例

- COMANDコントローラーを押して、メニューで 詳細 を確定します。
  ルートまたは目的地が表示されます。
- **施設を呼び出す：** 押して、項目を確定します。

ℹ 以下のときにこの機能を使用できます。

- 携帯電話が接続されている (▷ 150 ページ)
- 目的地住所が電話番号を含んでいる

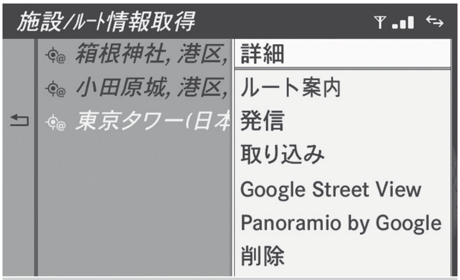
目的地として使用



P82.87-7180-31

- COMANDコントローラーをまわして メニューでルート案内 を選択し、押して 確定します。
  そしてナビゲーションモードに切り替え、ルート案内を開始できます (▷ 76 ページ)。

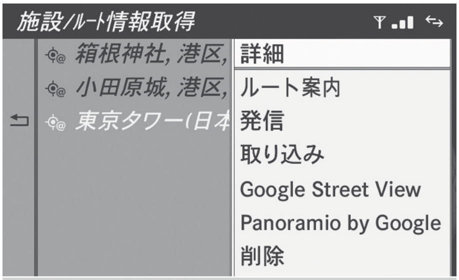
目的地で電話をする



P82.87-7180-31

- COMANDコントローラーをまわして、メニューで 発信 を選択し、押して 確定します。
  次に電話機能に切り替え、発信します (▷ 156 ページ)。

目的地をインポートする

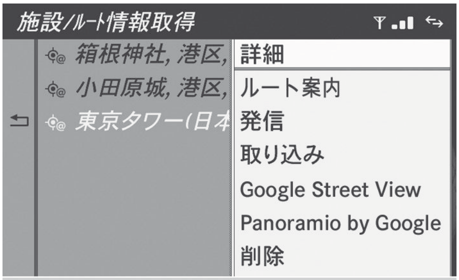


P82.87-7180-31

インポートするときは、アドレス帳に施設として目的地を保存します。

▶ COMANDコントローラーでメニューで 取り込み を選択し、押して ◉ 確定します。
項目がアドレス帳に保存されます。

サーバーから目的地を削除する



P82.87-7180-31

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、リストで項目を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 削除 を選択し、◉ を押して確定します。
目的地を削除してもよいかを確認するメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◉ 確定します。

天気

概要

COMANDシステムはオンライン接続によって世界中のどこでも天気予報を受信し、それらを情報チャート（現在の日付、5日間の予報）または天気図に表示することができます。

天気図に以下の天気データをマークと一緒に表示することができます。

- 気圧の状態
- 気温
- 雲の量
- 風の向きと速度

天気表示のオン/オフを切り替える

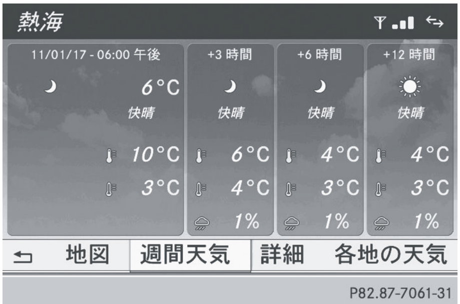
▶ **オンにする：** 基本機能バーでCOMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、アイコン 🌐 を選択し、押して ◉ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ Mercedes-Benz Apps が前面になるまでCOMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、押して ◉ 確定します。
Mercedes-Benz Appsメニューが表示さfれます。

P82.87-9370-31

▶ 天気 が選択されるまで、COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、押して ⊛ 確定します。

情報チャートは現在の車両位置の現在の天気を表示します（工場出荷時の設定)。オプションメニューで初期設定の画面と初期設定の場所を変えることができます (▷ 202 ページ)。



P82.87-7061-31

以下の情報が表示されます。

- 現在の天気予報の時刻
- 現在の気温
- 天気の情報（例：曇り、雨）
- 日中の最高気温
- 日中の最低気温
- 降水確率
- 今日の予報 (3つの時間別を含む)

▶ **現在の天気情報に戻る：** 押して ⊛、天気状況 を確定します。

▶ **解除する：** リターンスイッチ ⮌ を押します。

または

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、⮌ マークを選択し、押して ⊛ 確定します。

選択したオプションに関わらず、カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

追加情報を表示する

P82.87-7063-31

現在の気温に加えて、湿度や大気状態のような情報も表示できます（情報が利用可能な場合）。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、情報チャートの詳細 を選択し、押して ⊛ 確定します。

情報チャートは選択した場所の情報を表示します。

場所を選択する

概要

天気予報で以下のオプションを選択することができます。

- 現在の車両位置
- ウインタースポーツのエリア
- 世界中のあらゆる場所

情報チャート（オプション1） (▷ 198 ページ) または天気図（オプション2） (▷ 200 ページ)で場所を選択することができます。天気情報は最寄りの測候所から提供されます。

オプション1：情報チャートで場所を選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、情報チャートの 各地の天気 を選択し、押して ⊛ 確定します。

メニューが表示されます。

P82.87-7064-31

▶ **現在の車両位置を選択する：** 押して、現在地 を確定します。

▶ **目的地を選択する：** COMANDコントローラーをまわして、目的地周辺 を選択し、押して 確定します。

ⓘ ルートが検索された場合は、目的地周辺 を選択することができます。そうでない場合は、メニュー項目はグレーになります。

P82.87-7065-31

▶ **ウインタースポーツのエリアを選択する：** メニューで スキー場 を選択し、押して 確定します。

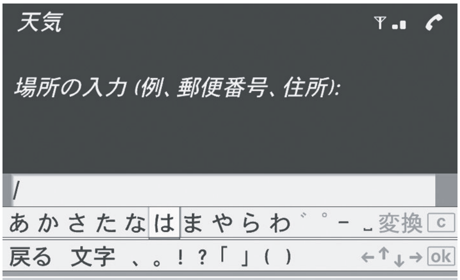
利用可能なウインタースポーツのエリアが表示されます。

P82.87-7066-31

▶ メニューからウインタースポーツのエリアを選択し、押して 確定します。

情報チャートが以下の情報を表示します。

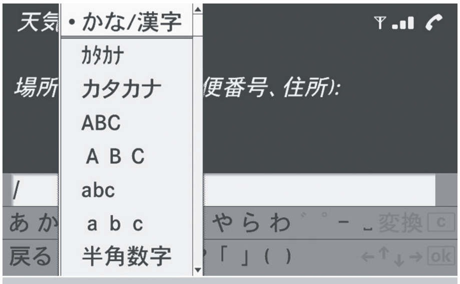
- スキーの種類
- 雪の状態
- 気温



P82.87-7067-31

▶ **場所を選択する：** COMANDコントローラーをまわして、メニューで 住所周辺 を選択し、押して 確定します。

入力メニューが表示されます。



P82.87-7068-31

▶ **文字バーで使用する文字設定を変更する：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、文字 を強調し、押して ◎ 確定します。
使用可能な文字設定のリストが表示されます。

▶ 希望の文字設定を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 検索エリアを入力します。文字入力の説明は、"ナビゲーションモードで文字を入力する" (▷ 31 ページ) にあります。
検索エリアが入力されると情報チャートは天気予報と一緒に表示されます。

項目	例
郵便番号	100-8798
都市	東京都
住所	千代田区霞ヶ関 1-x-x
空港コード	NRT（東京成田空港）

オプション2：天気図で場所を選択する

▶ 天気図を呼び出し、希望の場所に動かします (▷ 200 ページ)。

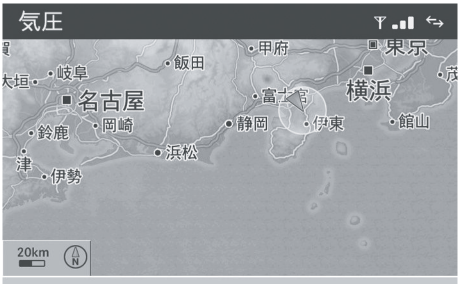
▶ COMANDコントローラーを押します ◎。
メニューバーが表示されます。

▶ COMANDコントローラーを再度押して ◎、 天気情報 を確定します。
情報チャートは選択した場所の現在の天気を表示します。

天気図

天気図を呼び出す

▶ COMANDコントローラーをまわして ↺◎↻、情報チャートで 地図 を選択し、押して ◎ 確定します。
20 kmの縮尺で地図が表示されます。



P82.87-7069-31

▶ **クロスカーソルを表示する：** COMANDコントローラーをスライドします ↑◎。

▶ **天気図をスクロールする：** COMANDコントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、↗◎↙。
天気図をクロスカーソルの向きに合わせて動かします。

▶ **地図の縮尺を変更する：** COMANDコントローラーをまわすと ↺◎↻ すみやかに、縮尺バーが表示されます。

▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします ↺◎↻。

ℹ これらの機能では、データはサーバーから再びダウンロードされるため、地図の表示に時間がかかることがあります。

天気図のメニューの表示/非表示

P82.87-7070-31

▶ **表示する：** 天気図でCOMANDコントロールを押します ⑤。
天気図にメニューが表示されます。

▶ **非表示にする：** COMANDコントローラーを上にスライドします ↑◎。
メニューが消えます。

地図の天気情報の表示に切り替える

P82.87-7071-31

▶ 天気図にメニューを表示します (▷ 201 ページ)。

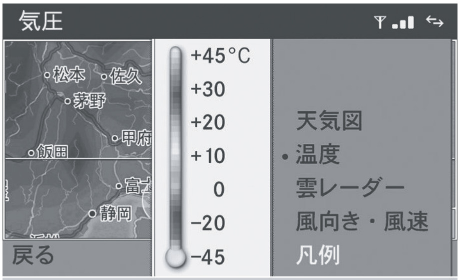
▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、画面 を選択し、押して ⑤ 確定します。

気象特性	地図の表示
気圧	等圧線とともに色分けされた地域で地図に気圧を表示します
気温	気温を表示します
雲レーダー	雲の広がりを表示します
風向き・風速	矢印で風向きを、および色で風速を表示します

ℹ 工場出荷時には気圧表示にプリセットされています。この設定はオプションメニューで変更することができます (▷ 203 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、気象特性を選択し、押して ⑤ 確定します。
● は地図に現在表示されている気象特性を示しています。一度に1つの気象特性を選択することができます。

凡例



P82.87-7072-31

気温の凡例

▶ 天気図にメニューを表示します (▷ 201 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、画面 を選択し、押して ⑤ 確定します。

▶ 凡例 を選択し、押して ⑤ 確定します。
現在選択されている気象特性によって凡例が表示されます。

▶ **情報チャートに戻る：** 天気図にメニューを表示させせます。(▷ 201 ページ)

▶ 天気情報 を選択し、押して 確定します。

メモリー機能

メモリーに場所を保存する

頻繁に呼び出される場所を10件のプリセット位置 (0、1 – 9) に保存できます。

▶ 場所を選択します (▷ 198 ページ)。

▶ テンキーを押して保持します。
場所が保存されると、選択されたプリセットの番号がキャプションにある場所の名前の前にきます。

メモリーから場所を選択する

▶ **クイック選択：** 天気表示 (COMAND Online) がオンで、項目が使用可能なとき、例えば**2** のようなテンキーを押します。
情報チャートが表示され、天気情報を表示します。

▶ **天気のメモリーから：** COMANDコントローラーをまわして 、情報チャートで 各地の天気 を選択し、押して 確定します。

▶ プリセット を選択し、押して 確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 、項目のあるプリセット位置を選択し、押して 確定します。
情報チャートが表示され、天気情報を表示します。

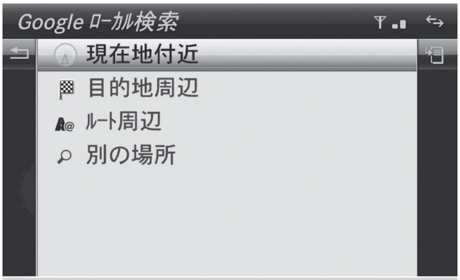
オプション

概要

COMANDシステムの以下のメルセデス・ベンツのアプリのオプションを選択できます。

- ローカル検索 (▷ 203 ページ)
- 天気 (▷ 203 ページ)
- 目的地のダウンロード (▷ 205 ページ)
  選択したオプションを初期設定にリセットすることができます。(▷ 206 ページ)

オプションメニューを呼び出す



P82.87-9363-31

▶ COMANDコントローラーをまわして 、基本機能バーで マークを選択し、押して 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMANDコントローラーを回して 、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して 確定します。
Mercedes-Benz Appsメニューが表示さfれます。

▶ 押して ◎ Google ローカル検索 を確定します。
Googleローカル検索メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、項目を強調してリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

ローカル検索のオプションを選択する

検索範囲を設定する

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、オプションメニューで ローカル検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ 押して ◎、検索範囲: の後の項目を確定します。
ドット ● は現在選択されている検索範囲を示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、項目を選択し、押して ◎ 確定します。
選択されている設定が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、戻る を選択し、押して ◎ 確定します。

サービスプロバイダーを選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、プロバイダー： の後の項目を選択し、押して ◎ 確定します。
ドット ● は現在選択されているサービスプロバイダーを示しています。

▶ 項目を選択し、押して ◎ 確定します。
選択されたサービスプロバイダーが承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして ◎、戻る を選択し、押して ◎ 確定します。

ⓘ 項目が灰色の場合は、サービスプロバイダーを選択できません。

検索照会の削除/保存

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、項目の 検索履歴削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
検索照会を本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

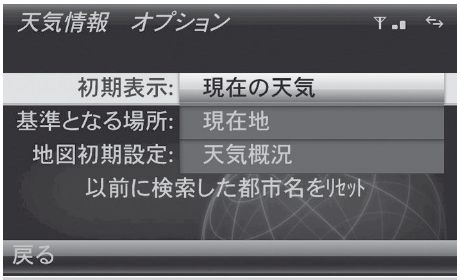
天気表示のオプションを選択する

初期設定の画面を設定する

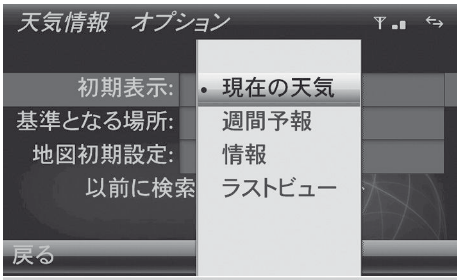
天気表示をオンにした後に、呼び出す画面を指定できます (▷ 197 ページ)。

以下の設定をすることができます。

- 現在の天気
- 週間天気
- 情報
- ラストビュー



P82.87-9386-31



P82.87-9387-31

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで 天気 を選択し、押して ⊛ 確定します (▷ 202 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ 押して ⊛、初期表示: の後の項目を確定します。
ドット ● は現在選択されている初期設定の画面を示しています。

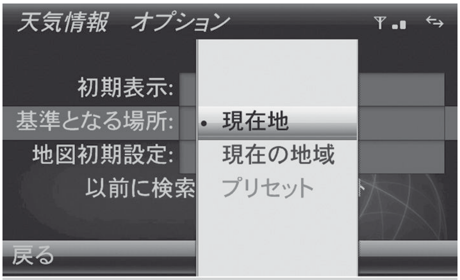
▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択されている画面が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

初期設定の場所を設定する

以下の設定をすることができます。

- 現在地
- 現在の目的地 (目的地が入力されている場合のみ使用可能)
- メモリー（項目が作成されている場合のみ使用可能）



P82.87-9388-31

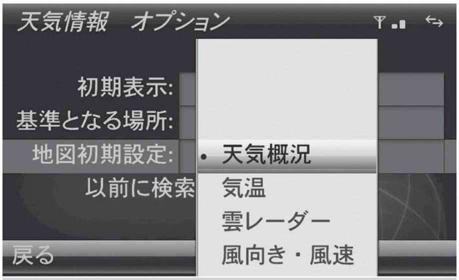
▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで 天気 を選択し、押して ⊛ 確定します (▷ 202 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、基準となる場所： の後の項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
ドット ● は現在選択されている初期設定の場所を示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択されている場所が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

地図表示の天気データを選択する



P82.87-9389-31

天気図に以下の天気データを表示することができます。

- 天気の概要
- 気温
- 雲の量
- 風の向きと速度

地図表示それぞれに1つの特性を選択することができます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで 天気 を選択し、押して ◉ 確定します (▷ 202 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、 地図初期設定： の後の項目を選択し、押して ◉ 確定します。
ドット ● は現在選択されている特性を示しています。

▶ 項目を選択し、押して ◉ 確定します。
選択されている特性が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ◉ 確定します。

ⓘ 天気情報の使用可能状況は国によって異なります。

目的地のダウンロードの設定オプション

ダウンロード用IDを指定する

P82.87-9390-31

P82.87-9391-31

車台番号はIDの初期設定の項目です。車台番号をEメールアドレスに置き替えることができます。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、オプションメニューで 施設/ルート情報取得 を選択し、押して ◉ 確定します(▷ 202 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ 押して ◉、ID： の隣の項目を確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ Eメールアドレスを入力します。文字入力は (▷ 31 ページ) に記載されています。

▶ 入力後に、 ok を選択し、押して ⊛ 確定します。
Eメールアドレスがメニューに入力されます。その後すぐに、EメールがEメールアドレスに送信されます。48 時間 以内にこれを確認しなければなりません。そうでなければ、前のIDが使用され続けます。

▶ 設定を完了するには、メールボックスを確認して、Eメールのリンクに従います。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして 《◎》、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

サーバーにインポートした後に、施設を削除/保存する

P82.87-9390-31

▶ COMANDコントローラーをまわして 《◎》、ｻｰﾊﾞｰから取得後に削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
設定をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。
設定 ☑ はサーバーにインポートした後に施設を削除します。
設定 □ は、サーバーの施設を削除しません。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをまわして 《◎》、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

ⓘ 目的地は7日後にサーバーから自動的に削除されます。

調整をリセットする

リセット機能は、すべてのメルセデス・ベンツアプリを工場出荷時の設定にリセットします。リセット後、Eメールアドレスを再び作動させるまで、Google™は目的地を車台番号 (ID) のみに送信できます (▷ 205 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして 《◎》、基本機能バーで🌐 アイコンを選択し、押して ⊛ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 《◎》、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して ⊛ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 《◎》、オプション を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ リセット を選択し、押して ⊛ 確定します。
本当にリセットしたいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、設定がリセットされます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

追加のサービス

メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト

P82.87-9371-31

P82.87-9255-31

COMAND Onlineの機能には、あらかじめ設定したお気に入りとしてメルセデス・ベンツモバイルウェブサイトが含まれています。

- COMANDコントローラーをまわして《◎》、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ⊛ 確定します。
  カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- COMANDコントローラーをまわして《◎》、メルセデス･ベンツ モバイル ウェブ サイト パネルを前面にして、押して ⊛ 確定します。
  メルセデス・ベンツのホームページが表示されます。

ℹ メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト のパネルを削除することはできません。

メルセデス・ベンツの追加アプリケーション

FacebookまたはGoogle™ のサービスや、ストリートビューまたはパノラミオのように追加のメルセデス・ベンツのアプリケーションをここに呼び出すことができます。

以下の例は、メルセデス・ベンツのアプリケーション、例えばFacebookをどのように呼び出すか、そしてGoogle™ のサービスを一般的にどのように呼び出すかを示しています。

フェイスブックを呼び出す

- COMANDコントローラーをまわして《◎》、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ⊛ 確定します。
  カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- COMANDコントローラーを回して《◎》、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して ⊛ 確定します。
  Mercedes-Benz Appsメニューが表示されます。
- COMANDコントローラーをまわして《◎》、Facebook を選択し、押して ⊛ 確定します。
  Facebookのホームページが表示されます。
- **Google™ のサービスを呼び出す：**
  Google™ ローカル検索を通して行なわれます(▷ 193 ページ)。

ℹ Facebookはソーシャルネットワークのウェブサイトです。このアプリケーションは車両からログインし、Facebookの多くの機能を使用することができます。

Google™ ストリートビューは、360度パノラマで通りを表示します。

Google™ パノラミオは、選択した位置での写真を含む、Googleローカル検索を発展させたものです。

インターネットラジオ

全体的な注意事項

良いインターネット接続のためには、オーディオデータを効果的に送信することが要求されます。最良の受信を可能にするためには、携帯電話が電話ブラケット（オプション）経由で車両の外部アンテナに接続されていなければなりません。

インターネットラジオを使用しているときは、比較的大きな量のデータが送信できることを念頭においてください。1秒当たり平均128 kbitのデータ転送速度は、1時間当たり56 MBのデータを転送できます。

データを受信している間は、放送局のデータ転送速度が表示されます。

インターネットラジオの呼び出し

P82.87-9127-31

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して ◎ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾗｼﾞｵ のパネルを前面にし、押して ◎ 確定します。
インターネットラジオのメニューが表示されます。

放送局検索

▶ インターネットラジオのメニューで 検索 を選択します。
検索条件のあるリストが表示されます。

▶ 条件を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 検索条件としての例として、ナビゲーションの目的地の近くにあるインターネットラジオの放送局を設定することができます。

放送局への接続

▶ 放送局を検索します(▷ 208 ページ)。

▶ メニューでインターネットラジオ ▶（再生）を選択し、押して ◎ 確定します。
呼び出しが行なわれます。

データストリームが中断された場合は、接続を再確立するための試みが自動的に行なわれます。

接続の手動再確立

▶ メニューでインターネットラジオ ▶（再生）を選択し、押して ◎ 確定します。

データー転送の終了

▶ メニューでインターネットラジオ ■ (停止) を選択し、押して 確定します。

または

▶ 例えば ディスク のような、他のオーディオソースに切り替えます。

ナビゲーションなどのオーディオソースでない基本機能に切り替えた場合は、データ接続はオンのままになります。設定した放送局を聴き続けることができます。

インターネット

表示制限

インターネットのページは走行中は表示できません。

ウェブサイトを呼び出す

カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出す

P82.87-9383-31

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 【◎】、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

ウェブアドレスを入力する（オプション1 (▷ 209 ページ)）またはカルーセルビュー（マルチウインドウ）で選択する（オプション2 (▷ 210 ページ)）ことができます。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）で選択するには、まずお気に入りを作成してください (▷ 215 ページ)。

オプション1：ウェブアドレスを入力する

P82.87-7204-31

文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレスを入力できます (▷ 31 ページ)。

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 209 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 【◎】、www を選択し、押して 確定します。

入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーを使用して入力する：** 入力行にウェブアドレスを入力します。
最初の文字を入力行に入力するとすみやかに、リストがその下に表示されます。入力した文字で始まるウェブアドレスと、すでに呼び出されたウェブアドレスがリストに表示されます。

初めて呼び出したときはリストは空欄です。

P82.87-7205-31

▶ **テンキーを使用して文字を入力する：** 素早く連続してテンキーを押します。キーを押すと文字が表示されます。最初に使用可能な文字が強調されます。

▶ ウェブアドレスを入力した後に、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、ok マークを選択し、押して ◎ 確定します。
ウェブサイトが呼び出されます。

P82.87-7208-31

▶ **リストでウェブアドレスを選択する：** 文字バーのある入力メニューでCOMANDコントローラーをスライドします ↑◎。
リストが選択可能になります。

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、ウェブアドレスを選択し、押して ◎ 確定します。
ウェブアドレスが入力行に入力されます。

▶ COMANDコントローラーを押します ◎。
ウェブサイトが呼び出されます。データ通信 <provider name>に接続します というメッセージが表示されます。

オプション2：お気に入りを選択する

P82.87-9375-31

この機能のために、カルーセルビュー（マルチウインドウ）に少なくとも1つのお気に入りを作成してください(▷ 215 ページ)。

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 209 ページ)。

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）で、COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ←◎→、Internet Favourites（インターネットお気に入り） を前面にして、押して ◎ 確定します。
お気に入りのあるカルーセルビュー（マルチウインドウ）が呼び出されます。

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ←◎→、お気に入りを前面にして、押して ◎ 確定します。

ウェブサイトを操作する

概要

手順	動作
▶ コントローラーをまわす ⟲◎⟳ 。	リンク、文字欄または選択リストなどの選択できる1つの項目から次に操作し、ウェブサイトのそれぞれの項目を強調します。
コントローラーをスライドする ▶ 左右 ←◎→ ▶ 上下 ↑◎↓ ▶ 斜め ↘◎↖	ページのポインターを動かします。
▶ コントローラーを押します ⊚。	メニューを呼び出す、または選択した項目を開きます。
▶ 押す [↩]	前のページを呼び出します。
▶ 押す [c]	インターネットのブラウザーを、または複数が開いているときは現在のウインドウを閉じます。

例：選択できる項目の強調

P82.87-9255-31

▶ COMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。
例ではスイッチが強調されています。

例：文字の入力

P82.87-9379-31

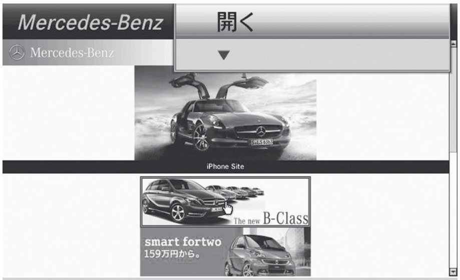
▶ COMANDコントローラーをまわして入力行を選択し ⟲◎⟳、押して ⊚ 確定します。
文字バーが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーを使用して文字を入力します (▷ 31 ページ)。

▶ 文字が入力されている場合は、COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、 [ok] マークを選択し、押して ⊚ 確定します。
文字が入力されます。

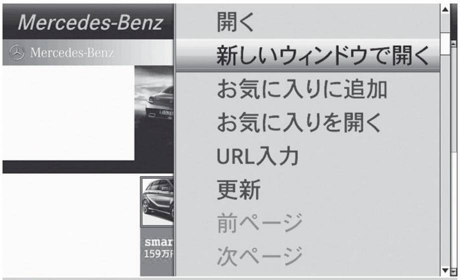
メニューの機能

メニューの呼び出し



P82.87-9374-31

▶ **ショートカットを呼び出す：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、ページで選択可能な項目を強調して、押して ◎ 確定します。



P82.87-9372-31

メニューの開始

▶ **メニュー全体を呼び出す：** ショートカットが表示されているときに、COMANDコントローラーを下へスライドします ◎↓。

または

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、←◎→、↘◎↖、ウェブサイトで何もないエリアを選択し、押して ◎ 確定します。

開く

ウェブサイトを選択可能な項目で開きます。

▶ COMANDコントローラーを押して ◎、開く を確定します。

新しいウインドウで開く

新しいウインドウでウェブサイトを開きます。同時に5つまでウインドウを開くことができます。

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、新しいウインドウで開く を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **ウインドウを選択する：** ウインドウ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ページ選択 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ←◎→、カルーセルビュー（マルチウインドウ）でウェブサイトを選択し、押して ◎ 確定します。

お気に入りへの追加

現在のウェブサイトをお気に入りに追加します。カルーセルビュー（マルチウインドウ）を使用してウェブサイトを呼び出すことができます。カルーセルビュー（マルチウインドウ）に20件までお気に入りを保存できます。

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、お気に入りに追加 を選択し、押して ◎ 確定します。
以下のメッセージが表示されます。お気に入りに登録しました

お気に入りの表示

お気に入りを呼び出します。

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、お気に入りを開く を選択し、押して ◎ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）にお気に入りが表示されます。

さらに詳しい情報は "お気に入り" (▷ 214 ページ) にあります。

URLの入力

ウェブアドレス (URL) を入力できる入力メニューを開きます。

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、URL入力 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ウェブアドレス (URL)を入力します (▷ 209 ページ)。

更新

ウェブサイトを再読み込みし、コンテンツを更新します。

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、更新 を選択し、押して ◎ 確定します。

前

前のウェブサイトを呼び出します。

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、前ページ を選択し、押して ◎ 確定します。

次

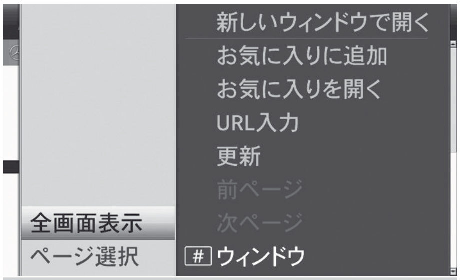
次のウェブサイトを呼び出します。

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、次ページ を選択し、押して ◎ 確定します。

ウインドウ

この機能を使用して以下のことができます。

- ディスプレイより大きいウェブサイトの選択ウインドウの位置を決める
- すでに開いているウインドウを選択する



P82.87-9373-31

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、ウインドウ を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ テンキーの # キーを押します。

ℹ 通話をしている場合には、# キーは使用できません。

P82.87-9380-31

▶ **選択ウインドウの位置を決める：** COMANDコントローラーを押して ◎、全画面表示 を確定します。
選択ウインドウがウェブサイトに表示されます。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ←◎→、↑◎↓、↗◎↙、ウェブサイトの選択ウインドウの位置を決めます。

▶ COMANDコントローラーを押します ☝。
選択した項目が拡大されます。

P82.87-9381-31

▶ **開いているウインドウを表示し選択する：** COMANDコントローラーをまわすか ◖◎◗、スライドして ↑◎↓、ページ選択 を選択し、押して ☝ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMANDコントローラーを押します ☝。
ウェブサイトが表示されます。

リンクの詳細

選択したリンク (URL) の完全なウェブアドレスを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわすか ◖◎◗、スライドして ↑◎↓、リンクの詳細 を選択し、押して ☝ 確定します。
ウェブアドレス (URL) が表示されます。

▶ COMANDコントローラーを押して ☝、ディスプレイを閉じます。

設定

設定は別の項 (▷ 217 ページ) に記載されています。

作動しているウインドウを閉じる

▶ COMANDコントローラーをまわすか ◖◎◗、スライドして ↑◎↓、ウインドウを閉じる を選択し、押して ☝ 確定します。

または

▶ COMANDコントローラー右側の [c] スイッチを押します。

ℹ 通話をしている場合は、[c] スイッチは使用できません。

終了

▶ COMANDコントローラーをまわすか ◖◎◗、スライドして ↑◎↓、中止 を選択し、押して ☝ 確定します。
インターネットのブラウザーが閉じます。裏で他のウインドウが開いている場合は、他の確認が表示されます。

お気に入り

概要

お気に入りはよく訪れるウェブサイトです。

お気に入りを作成するには以下のオプションがあります。

- カルーセルビュー（マルチウインドウ）で (▷ 215 ページ)
- メニュー項目 お気に入りに追加 経由で(▷ 212 ページ)

カルーセルビュー（マルチウインドウ）にお気に入りを作成する前に、まず作動させている接続を閉じてください(▷ 191 ページ)。

作成したお気に入りを選択して編集することができます。

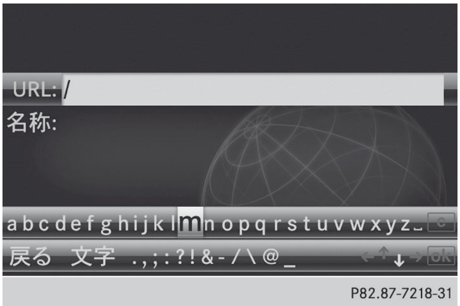
お気に入りを作成する

オプション1：カルーセルビュー（マルチウインドウ）に作成する

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 209 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、Internet Favourites（インターネット お気に入り）パネルを前面にして、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎↓、お気に入り作成 を選択し、押して ◎ 確定します。



▶ COMANDコントローラーを押します ◎。
入力メニューが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレス (URL) と名前を入力します(▷ 31 ページ)。

▶ ok マークを選択し、押して ◎ 確定します。
お気に入りが作成されます。

オプション2：お気に入りに追加する

▶ ウェブサイトが表示されているときに、メニューを呼び出します 。

▶ メニューで お気に入りに追加 を選択し、押して ◎ 確定します (▷ 212 ページ)。

お気に入りを選択する

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 209 ページ)。

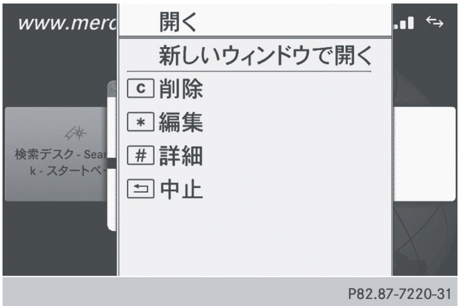
▶ COMANDコントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ←◎→、カルーセルビュー（マルチウインドウ）でお気に入りを選択し、押して ◎ 確定します。
お気に入りが開きます。

お気に入りを編集する

カルーセルビュー（マルチウインドウ）

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）（▷ 209 ページ）で COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、 編集 を選択し、押して ◎ 確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレス（URL）と名前を入力します(▷ 31 ページ)。



お気に入りメニュー

お気に入りメニュー

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メニュー(▷ 212 ページ) でお気に入りを開く を選択し、押して ◎ 確定します。
お気に入りが表示されます。

▶ COMANDコントローラーを押します ◎。
お気に入りメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、 編集 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ テンキーの [*] キーを押します。
入力メニューが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレス（URL）と名前を入力します。文字入力（▷ 31 ページ）

お気に入りメニューの他の機能

現在のお気に入りを開く

▶ COMANDコントローラーを押して ◎、お気に入りメニューで 開く を確定します（▷ 216 ページ）。

新しいウインドウで現在のお気に入りを開く

▶ COMANDコントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニュー（▷ 216 ページ）で 新しいウインドウで開く を選択し、押して ◎ 確定します。

詳細を呼び出す

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニュー (▷ 216 ページ) で 詳細 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ テンキーの [#] キーを押します。
詳細表示が表示されます。

終了

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニュー (▷ 216 ページ) で 中止 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ COMANDコントローラーの左側のリターンスイッチ [↩] を押します。
お気に入りメニューが閉じます。

お気に入りを削除する

カルーセルビュー（マルチウインドウ）でお気に入りを削除する

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして〔◎〕、カルーセルビュー（マルチウインドウ）(▷ 209 ページ) で 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
確認が表示されます。

▶ はい を選択し、押して ◎ 確定します。
お気に入りが削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

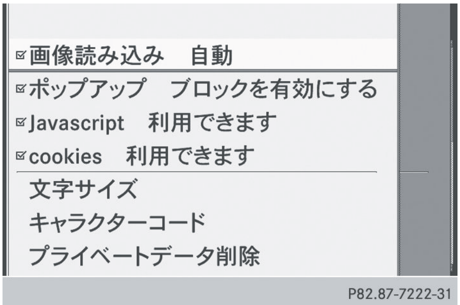
お気に入りメニューでお気に入りを削除する

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニューで 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ COMANDコントローラー右側の [C] スイッチを押します。
お気に入りが削除されます。

設定



▶ メニューを呼び出します (▷ 212 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして ↑◎↓、設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

以下の設定を設定/解除することができます。

- 画像読み込み
  たくさんの画像を含むウェブサイトのコンテンツをダウンロードするには時間がかかることがあります。そのため、このオプションを解除すると便利です。
- ポップアップ ブロックを有効にする
  ポップアップはウェブサイトを呼び出すときに自動的に表示されるウインドウ（通常は広告が含まれます）です。これらの表示をブロックすることができます。
- Javascript 利用できます

Javascriptはウェブサイトの動画コンテンツを表示し、相互作用させることができます。

- Cookies　利用できます

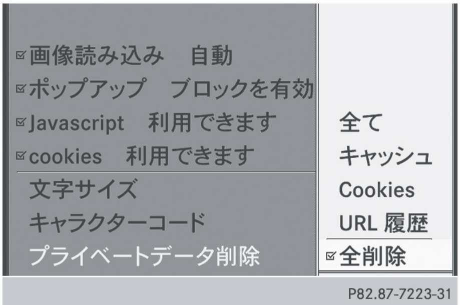
ウェブサイトの中には、COMANDシステムに小さな文字ファイル（cookies）で情報を保存するものがあります。cookiesを保存するかどうか決めることができます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、設定を選択し、押して ◎ 確定します。
設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

ℹ 設定を変更すると、ウェブサイトが正しく表示されないことがあります。

▶ COMANDコントローラーをまわすか ◎、スライドして ↑◎↓、文字サイズ または キャラクターコード を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーを使用して設定を選択し、押して ◎ 確定します。



▶ プライベートデータ削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわすか ◎、スライドして ↑◎↓、設定を選択し、押して ◎ 確定します。
項目の前にあるドット ● は設定がオンであることを示します。

または

▶ 全削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

オプション	機能
全て	すべてのプライベートデータを削除する。
キャッシュ	一時記憶領域にあるデータを削除する。
Cookies	呼び出したウェブサイトによって作成されたcookiesを削除する。
URL 履歴	訪れたすべてのウェブサイト（パス）を削除する。
☑全削除	この機能がオン ☑ の場合、インターネットブラウザーを終了するときにすべてのプライベートデータが削除されます。

ℹ これらの設定はCOMANDシステムをリセットすると削除されます (▷ 44 ページ)。

COMANDシステムの特徴 220
ラジオモード 220
音楽CD/DVDオーディオおよびMP3モード 223
ミュージックサーチ 236
ミュージックレジスター 239
Bluetooth® オーディオの操作 . . 245
メディアインターフェースモード 252
オーディオAUXモード 259

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

ラジオモード

全体的な注意事項

車内に置かれた携帯型電子機器はラジオの受信品質を著しく損なうおそれがあります。

移動している間のラジオの受信条件は、停止しているときのラジオの受信条件とは大いに異なります。車両が移動し、その結果としてアンテナの位置が絶えず変化することが原因です。

ラジオモードへの切り替え

機能スイッチでオンにする

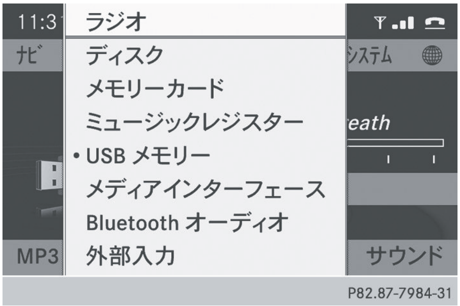
▶ AUDIO 機能スイッチを押します。
FMラジオモードが前回オンだった場合は、ラジオの画面が表示されます。そうでなければ、オーディオメニューを使用してラジオモードをオンにしてください。

オーディオメニューをオンにする

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、 オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
前回選択していたモードがラジオモードであれば、ラジオモードが起動します。

別のオーディオモードをオンにしていたときは、オーディオメニューでラジオモードに切り替えます。

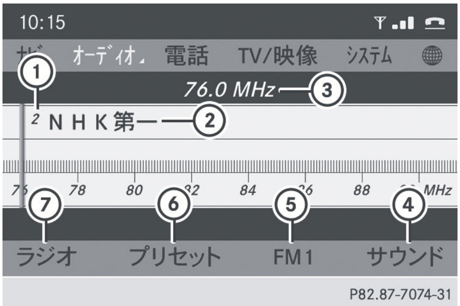
▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎ 、オーディオを選択し、押して ◎ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。



P82.87-7984-31

ドット ● は現在選択されているオーディオモードを示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、ラジオを選択し、押して ◎ 確定します。



P82.87-7074-31

例：FMラジオ画面

① 選択された放送局のプリセット位置
② 選択された放送局の名称
③ 選択された放送局の周波数
④ サウンドの設定
⑤ 周波帯を切り替える

⑥ プリセット機能

⑦ 周波数の手動入力

周波数バンドの切り替え

FM (FM1、FM2) とAM (AM1、AM2) の周波数の間でラジオを切り替えられます。

例：FMラジオ画面

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、FM1 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューから希望の周波数バンドを選択し、押して ◎ 確定します。

項目の左側のドット • は現在選択している周波数バンドを示しています。

放送局の設定

全体的な注意事項

受信状態が悪い場合は、COMANDシステム はラジオ番組をステレオで再生できないことがあります。

放送局サーチ機能を使用して放送局を設定する

▶ **オプション 1：** ラジオ表示のディスプレイ/選択ウインドウが作動している間に、COMANDコントローラーをまわすか ⟲◎⟳、またはスライドします ←◎→。

上または下に放送局サーチを行ない、次の放送局で停止します。

▶ **オプション2：** ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

どちらの場合も、上または下に放送局サーチを行ない、次に受信可能な放送局で停止します。

ⓘ 2つ目のオプションは、ナビ作動時、電話機能作動時、またはシステム機能になっているときから放送局を設定するときにも使用できます。

放送局プリセット経由での放送局の設定

▶ **プリセットされた放送局の直接選局：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、プリセットを選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ 表示/選択ウインドウが作動しているときに、COMANDコントローラーを押します ◎。

放送局プリセットメモリーが表示されます。現在選択しているプリセット放送局に、ドット • が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、放送局を選択し、押して ◎ 確定するか、または **2** のようなテンキーを押します。

周波数を手動で入力して放送局を設定する

▶ **オプション 1：** ⁎ スイッチを押します。

▶ **オプション 2：** ラジオ画面でCOMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟨◎⟩ 、ラジオを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 周波数入力を選択して、押して ◎ 確定します。
選択したオプションに関わらず、入力メニューが表示されます。

P82.87-7108-31

▶ テンキーを使用して周波数を入力します。
周波数の3つの数字を入力してください。7、8 または 9の数字で入力を始めます。
COMANDシステムは入力した周波数を設定します。

ℹ 受信可能な周波数以外の数字は入力できません。

ℹ FMまたはAMの周波数バンドで周波数域から外れた周波数を入力すると、COMANDシステム は次に低い周波数を設定します。

放送局の保存

手動で放送局を記憶させる

FMおよびAMにはそれぞれ10局まで放送局をプリセットできます。

▶ **クイック記憶：** 確認音が聞こえるまで2のようなテンキーを押して保持します。
放送局が記憶されます。

▶ **表示/選択ウインドウが作動しているときの放送局プリセットで直接選局：** COMANDコントローラーを押します ◎。

または

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟨◎⟩ 、プリセットを選択し、押して ◎確定します。
どちらの場合にも、放送局プリセットが表示されます。現在選択しているプリセット放送局に、ドット • が表示されます。

P82.87-7109-31

例：放送局メモリー

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟨◎⟩ 、プリセットを選択し、確認音が鳴るまで押して ◎ 保持します。
放送局がこのプリセットに記憶されます。

自動的に放送局を記憶する

この機能は十分な受信状態の放送局を自動でプリセットに記憶します。探索は最も低い周波数から開始します。COMANDシステム は見つけた放送局をプリセット1から記憶します。最も高い周波数に到達したとき、または10個の

放送局が見つかったときに記憶は終了します。プリセットにある手動で記憶させた放送局はすべて消去されます。記憶するときに COMANDシステム はすべてのメモリースロットを占有しないことがあります。

▶ **オプション1：表示/選択ウインドウがオンになっているとき：** COMANDコントローラーを押します ⊛。

チャンネルプリセットメモリーが表示されます。

▶ **オプション 2：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、プリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。

チャンネルプリセットメモリーが表示されます。

▶ どちらのオプションでも、オートプリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。

どちらの場合も、COMANDシステムは受信可能な放送局を検索します。この結果に対するメッセージが表示されます。受信可能な放送局は自動的にプリセット位置に記憶されます。

▶ **記憶を中止する：**中止を選択し、押して ⊛ 確定します。

交通情報（AMラジオ）

交通情報の放送局を選択する

P82.87-7110-31

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、交通情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。

1620 kHz または 1629 kHz の2つの交通情報の放送局の間で選択できます。COMANDシステム はより良い受信の放送局を自動的に選択します。

それぞれの地域の交通情報は、道路管理者や所轄の警察署が放送しています。交通情報は、受信地域以外で受信することはできません。

放送地域については、道路上の標識などで知ることができます。

AMラジオ画面に戻る

P82.87-7111-31

▶ 押して ⊛、AMに戻る を確定します。

サウンドの設定

FMラジオやAMラジオでは、サウンドを調整できます (▷ 26 ページ)。

音楽CD/DVDオーディオおよびMP3モード

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

CD/DVDドライブはクラス1のレーザー製品です。CD/DVDドライブのケースを開いた場合は、目に見えないレーザー放射に晒される危険性があります。レー

ザー放射は目の網膜を損傷するおそれがあります。けがの危険性があります。
ケースを開かないでください。メンテナンス作業および修理は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ **警告**

走行中にディスクを取り扱う場合は、交通状況から注意がそれます。車のコントロールを失うおそれもあります。事故の危険性があります。
車両が停止しているときにのみディスクを取り扱ってください。

わずか50 km/h の速度でも、車両は1秒間に14 m の距離を走行しているということを念頭に置いてください。

CD/DVDの挿入と取り出し

注意

CD/DVDに印刷されている面があるときは、この面を上に向けてください。どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けて挿入してください。コピープロテクトされているCD/DVDは、システムで再生できない場合があります。

ℹ ディスクに音楽ファイル以外のファイルが含まれている場合は、最初のトラックの再生を開始するまでに少し時間がかかります。

挿入

▶ 排出スイッチ [⏏] を押します。
すでに挿入されているディスクがあれば、排出されます。
▶ スロットからディスクを取り出します。
▶ ディスクをスロットに挿入します。
適合しているデータキャリアを正しく挿入すると、ドライブがそれを引き込み、再生します。

取り外し

▶ 排出スイッチ [⏏] を押します。
▶ スロットからディスクを取り出します。
スロットからディスクを取り出さない場合は、しばらくすると自動的に引き込まれ、再び読み込まれます。

SDメモリーカードの挿入と取り出し

全体的な注意事項

COMANDシステムはSDメモリーカード (**S**ecure **D**igital) とSDHC メモリーカード (**S**ecure **D**igital **H**igh **C**apacity)をサポートしています。

ℹ 市販されているすべてのメモリーカードが、車内で到達する可能性のある温度に合わせて設計されているとは限りません。
SDメモリーカードを使用しなくなった場合は、COMANDシステム から取り出してください。高温によりカードが損傷するおそれがあります。
様々なSDメモリーカードが市販されているため、すべての種類のSDメモリーカードで再生を保証することはできません。
読み取り可能な記憶容量は、使用するメモリーカードによります。詳しい情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

SDメモリーカードの挿入

▶ 所定の位置に固定されるまでメモリーカードをスロットに挿入します。接触面が下を向き、スロットの方向を向くようにしてください。
最初の100個のMP3トラックが読み込まれます。そして最初のMP3トラックが再生されます。砂時計のマークは他のトラックがバックグラウンドで読み込まれていることを示しています。
MP3ファイルが見つからない場合は、その結果がメッセージに表示されます。

SDメモリーカードの排出

▶ メモリーカードを押します。
メモリーカードが排出されます。
▶ スロットからメモリーカードを取り出します。

USB機器を接続する

USBポートはセンターコンソールの小物入れにあります。

この接続における電力消費は直流で500 mA を越えないようにしてください。電力消費がこれより大きい場合は、他の電源（12 V 電源など ）を使用して、USB機器に給電してください。

▶ USB機器（USBスティックなど）をUSBポートに接続します。
最初の100個のMP3トラックが読み込まれます。そして最初のMP3トラックが再生されます。砂時計のマークは他のトラックがバックグラウンドで読み込まれていることを示しています。
MP3ファイルが見つからない場合は、その結果がメッセージに表示されます。

ℹ 様々なUSB 機器が市販されているため、すべての種類のUSB機器での再生を保証することはできません。

適合するUSB 機器についての情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

MP3 プレーヤーは、Media Transfer Protocol (MTP)をサポートしていなければなりません。MTPモードは作動していなければなりません。

音楽CD/DVDオーディオまたはMP3モードへの切り替え

オプション 1

▶ CD/DVDを挿入します。(▷ 224 ページ)

または

▶ SD メモリーカードを挿入します (▷ 225 ページ)

または

▶ USB 機器を接続します (▷ 225 ページ)。
COMANDシステムが挿入されたメディアを読み取って、再生を開始します。

オプション 2

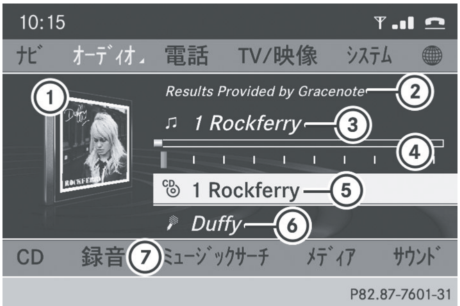
▶ AUDIO 機能スイッチを押します。
前回CD/DVD オーディオ/MP3 モードが選択されていた場合は、このモードが再び作動します。

オプション 3

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎、オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
最後に作動していたオーディオソースがオンになります。
オーディオメニューを使用して、他のオーディオソースをオンにできます。

- COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
  オーディオメニューが表示されます。
- ディスク、メモリーカード、ミュージックレジスター、USBメモリー または メディアインターフェース を選択し、押して ◎ 確定します。
  希望のオーディオソースに切り替わります。
- メディアリスト(▷ 228 ページ)からオーディオメディアを選択します。

表示例：音楽CDモード



① CDジャケット (使用可能な場合)

② Gracenote ® データの読み込みと経過したトラック時間

③ トラック番号とトラック名 (CDテキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® データが利用できる場合のみ)

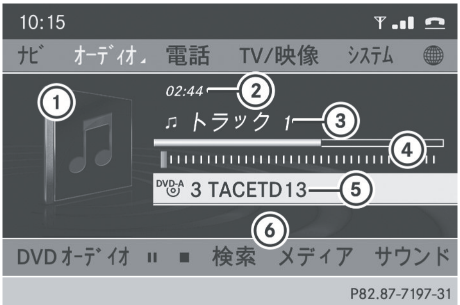
④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ ディスクタイプ、メディアリストでのディスク位置、およびディスク名 (CDテキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® データが利用できる場合のみ)

⑥ アーティスト（CDテキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote®のデータが利用できる場合のみ）

⑦ 録音機能（REC）があるCDモードメニュー

表示例：DVDオーディオモード



① ジャケット (使用可能な場合)

② 経過時間

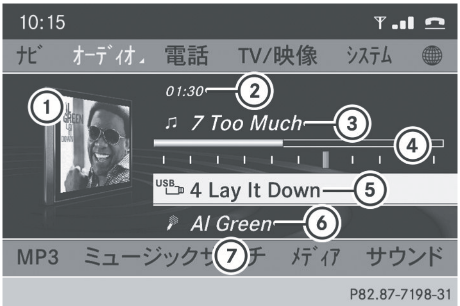
③ トラック番号

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ ディスクタイプ、メディアリストでのディスク位置、ディスク名 (ディスクに記録されている場合のみ)

⑥ DVDオーディオモードメニュー

表示例：MP3モード



① ジャケット (使用可能な場合)

② 経過時間

③ トラック番号と名前

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ メディアタイプ、メディアリストでのメディア位置、現在のフォルダまたは現在のアルバム

⑥ アーティスト（使用可能な場合）

⑦ MP3 モードメニュー

ジャケットが使用できない場合の表示例

CD/DVDオーディオ/MP3 CD (左)、SDメモリーカード (中央)、USBスティック (右) などのデータキャリア

一時停止機能

CD/オーディオ DVD および MP3 モードのとき

▶ **再生を一時停止する：** [🔇] スイッチを短く押します。
🔇 マークがステータスバーの左上に表示されます。

▶ **再生を再開する：** 再度 [🔇] スイッチを短く押します。
🔇 マークが消えます。

DVDオーディオモードのとき

▶ **再生を一時停止する：** DVDオーディオモード(▷ 225 ページ) に切り替えます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺ 、[II] を選択し、押して ◎ 確定します。
[II] マークが [▶] に変わります。

▶ **再生を再開する：** [▶] を選択し、押して ◎ 確定します。
中断された場所から再生が再開されます。[▶] マークが [II] に変わります。

停止機能

この操作はDVDオーディオモードのときのみ有効です。

▶ DVDオーディオモード(▷ 225 ページ) に切り替えます。

▶ **再生を中断する：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺ 、[■] を選択し、押して ◎ 確定します。
[II] マークが [▶] に変わります。[■] マークが強調されたままになります。

▶ **再生を再開する：** [▶] を選択し、押して ◎ 確定します。
中断された場所から再生が再開されます。

- **再生を停止する：** 再生が中断しているときに再度 [■] を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

- [■] を選択し、素早く2回続けて押して ⊛ 確定します。
  [▶] が強調されます。
- **再生を再開する：** [▶] を選択し、押して ⊛ 確定します。
  DVDの最初から再生が開始されます。

CD/DVDオーディオ/MP3ディスクを選択する

メディアリストから選択する

- **CD/DVDオーディオおよびMP3モードのとき：** COMANDコントローラーをスライドする ◎↓ か、まわして ◖◎◗ 、メディアを選択し、押して ⊛ 確定します。
  メディアリストが表示されます。ドット ● は現在の再生メディアを示しています。

メディアリスト

メディアリストは現在利用可能なディスクを表示します。

- COMANDコントローラーをまわして ◖◎◗ 、データメディアを選択し、押して ⊛ 確定します。

メディアリストでの位置
シングルDVDドライブ、1の位置：読み込み可能なデータキャリアは、音楽CD、MP3 CD または MP3 DVD、DVDオーディオおよびDVDビデオ
メモリーカード、ポジション2
ミュージックレジスター、ポジション3
USB機器、ポジション4
メディアインターフェース、ポジション5
Bluetooth®オーディオ、ポジション6

ℹ ディスクが読み取れない場合は、対応するマガジントレイの隣に項目が表示されます。

ℹ DVDビデオを選択すれば、システムはDVDビデオモード(▷ 278 ページ)に切り替わります。

テンキーを使用してトラックを選択する

- テンキーの [*/+] スイッチを押します。
  数字の入力欄が表示されます。与えられた位置の番号は、CD/DVDのトラック番号に対応します。CD/DVDのトラック番号に対応する番号のみが入力できます。
- テンキーを使用して希望のトラック番号を入力します。
  最後の可能な番号が入力された後に、トラックが再生されます。

ℹ テンキーを2秒以上押して保持すると入力が完了し、対応するトラックが再生されます。

トラックの選択

トラックをスキップして選択する

▶ **トラックを次または前にスキップする：** 表示/選択ウインドウがオンのときにCOMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。

または

▶ ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

前へスキップ機能を使用すると、トラックが8 秒 以上再生されていた場合、現在のトラックの最初にスキップします。トラックが8秒未満再生されていた場合、前のトラックの最初にスキップします。

再生オプションの ランダム または ランダム（フォルダ） が選択されている場合は、トラック順は順不同になります。

▶ **マルチファンクションステアリング：** COMANDシステムを音楽CD、DVDオーディオまたはMP3モードに切り替えます (▷ 225 ページ)。

▶ ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオ メニューを選択します。

例：シングルDVDドライブの表示

① トラックの表示

▶ ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ 希望のトラックが選択されるまで、▲ または ▼ スイッチを押して保持します。

▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、しばらくすると高速スクロールの速度が上がります。すべてのオーディオ機器またはメディアがこの機能をサポートしているわけではありません。

トラック情報がオーディオ機器またはメディアに記録されている場合は、マルチファンクションディスプレイにトラックの番号と名前が表示されます。

テンキーを使用してトラックを選択する

▶ テンキーの ＊ キーを押します。

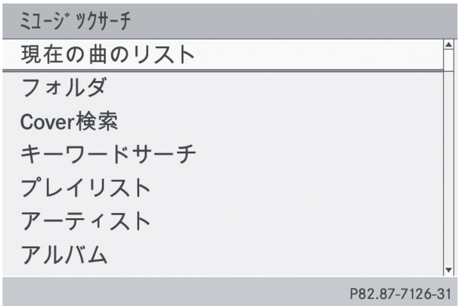
数字の入力欄が表示されます。与えられた位置の番号は、CD/DVDのトラック番号に対応します。CD/DVDのトラック番号に対応する番号のみが入力できます。

▶ テンキーを使用して希望のトラック番号を入力します。

最後の可能な番号が入力された後に、トラックが再生されます。

ℹ テンキーを 2秒 以上押して保持すると、対応するトラックが再生されます。

ミュージックサーチを使用してトラックを選択する



▶ 現在の曲のリスト、フォルダ またはカテゴリーを選択し、押して ⊛ 確定します。

ミュージックサーチ機能により、カテゴリー（アルバム、アーティストなど）によって音楽を選択します。

カテゴリーを選択すると、以下の条件が満たされている場合にCOMANDシステム がトラック情報の検索を開始します。

- データキャリアが挿入または接続されている場合。
- それらのデータキャリアからのトラック情報がCOMANDシステムのミュージックデータベースに含まれていない場合

COMANDシステムは以下のデータキャリアからトラック情報をインポートします。

- ディスク（音楽CD/DVD/MP3)
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USB機器

検索が完了すると、全ての曲情報の取得が完了しました というメッセージが表示されます。 COMANDシステム は音楽データを内蔵データベースに保存します。ここで希望のカテゴリー内で利用可能な音楽データを選択できます。

音楽の検索に関する詳しい情報は "ミュージックサーチ" (▷ 236 ページ) にあります。

▶ 音楽CD/DVDオーディオモード/MP3モードでは、COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、ミュージックサーチ を選択し、押して ⊛ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

P82.87-6292-31

例： 現在のトラックリスト

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、トラックを選択し、押して ⊛ 確定します。
基本画面が表示され、トラックが再生されます。

早送り/早戻し

▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、希望の位置になるまで、COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 保持します。

または

▶ 希望の位置になるまで、⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。

Gracenote Media Database

概要

この機能は音楽CDモードのときのみ使用できます。

P82.86-9903-31

COMANDシステムのハードドライブには Gracenote® 音楽認識テクノロジーのバージョンがあります。特定のオー

ディオ画面の右下隅のロゴによってこれを認識します。

多くの音楽CDにはCDテキストが含まれています。COMANDシステム はそこに含まれている情報を使用して、アーティスト、アルバム、およびトラック名を表示します。

音楽CDにCDテキスト情報が含まれていない場合、COMANDシステム はGracenote® メディアデータベースを使用して、音楽CDモード時に不明のオーディオトラックを識別することができます。これは、関連する情報がGracenote Media Datebaseに記録されていて、かつGracenote Media Datebase機能が作動している場合にのみ可能です。

この場合には、COMANDシステム はアーティスト、アルバム、およびトラック名のように対応するデータを関連する画面およびリストに表示します。

表示するGracenote® データを選択する

- ▶ 音楽CDモード(▷ 225 ページ) に切り替えます。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、CDを選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、Gracenote メディア データベースを選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。

特定のアーティストのCDに複数の項目が存在する場合は、どの項目を表示するかを選択できます。

挿入したCDにGracenote® データ がない場合は、メニュー項目の Gracenote メディアデータベース が灰色で表示され、選択できません。

- ▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ◎ 確定します。

Gracenote®データの表示のオン/オフを切り替える

- ▶ 音楽CDモード(▷ 225 ページ) に切り替えます。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、CDを選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、Gracenote メディア データベースを選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ **表示をオフにする：** なしを選択し、押して ◎ 確定します。
  基本画面では (▷ 226 ページ)、Gracenote® データの代わりに、トラック 1、トラック 2 などが表示されます。
- ▶ **表示をオンにする：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メニューにある項目を選択し、押して ◎ 確定します。

Gracenote®音楽認識テクノロジーおよびGracenote Media Datebaseを更新する

新しいCDが発売されると、Gracenote Media Datebaseのデジタルデータが古くなってしまいます。Gracenote®音楽認識テクノロジーを更新することによって最適な機能性が発揮されます。新しいバージョンの情報については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

DVDを使用して音楽認識ソフトウェアを更新することができます。

ℹ Gracenote Media Datebaseはナビゲーションシステムの地図と一緒に更新されます。

トラックとアルバムを表示する

▶ # スイッチを押します。

現在のトラックとアルバムがウインドウに表示されます。

曲情報を表示する（MP3モード）

COMANDシステムは、プレイリスト再生中にアルバムおよびアーティスト名（メタデータ）を表示することもできます。これは、このデータが以前にシステムに入力された場合にのみ可能です。

MP3データが含まれているすべてのメディア（MP3 CD、SDメモリーカード、ミュージクレジスターなど)について、以下のことを行なうことができます。

- エンコードされた音楽データのタグに含まれる曲情報を表示する
- 再生中にファイルおよびディレクトリ名を表示する

▶ **アルバムおよびアーティスト名を表示する：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、基本画面で MP3 または USB を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 曲情報表示 を選択し、押して ◎ 確定します。

グループの選択（DVDオーディオ）

DVDオーディオのコンテンツは9つのグループまで分けることができます。グループの使用可能状況と種類は、それぞれのDVDによります。

グループにはさまざまな音質（例えば、ステレオおよびマルチチャンネルフォーマット）の音楽、またはボーナストラックを含めることができます。

各グループには99個までのトラックを含めることができます。

DVDオーディオに含まれるオーディオフォーマットが1つだけの場合、メニュー項目の グループ は選択できません。

▶ DVDオーディオモード(▷ 225 ページ)に切り替えます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、DVD-Aを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ まわして ⟲◎⟳、グループ を選択し、押して ◎ 確定します。

ドット ● は現在選択されているグループを示しています。

▶ まわして ⟲◎⟳、希望のグループを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** COMANDコントローラーをスライドするか ←◎→、リターンスイッチ ⮌ を押します。

アクティブパーティションを選択する（USB機器のみ）

機器がパーティション化されている場合は、USB機器用にこの機能を選択できます。最大5つのパーティション（プライマリーまたはロジカル、FAT、FAT32およびNTFS）がサポートされています。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、基本画面で MP3 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ パーティション選択 を選択し、押して ◎ 確定します。

再生オプション

▶ **再生オプションを選択する：** 音楽CD/DVDオーディオまたはMP3モード（▷ 225 ページ）に切り替えます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳ 、CD、DVD-A、またはMP3を選択し、押して ◎ 確定します。

オプションリストが表示されます。ドット ● は、選択されたオプションを示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、オプションを選択し、押して ◎ 確定します。
オプションがオンになります。ノーマル以外のすべてのオプションでは、対応する表示が表示/選択ウインドウに表示されます（▷ 226 ページ）。

以下の再生オプションが利用できます。

- ノーマル

  トラックが通常の順番（例：トラック1、2、3）で再生されます。

  MP3モードではデータメディアに書き込まれたトラックの順番で、トラックが再生されます。通常はアルファベット順です。フォルダ内の全トラックが再生されると、次のフォルダのトラックが再生されます。

- ランダム（音楽メディア）

  メディアの全トラックが順不同に再生されます（例えば、トラック 3、8、5、…）。

- ランダム（曲）（MP3モードのみ）

  現在のプレイリストまたは現在作動しているフォルダ（すべてのサブフォルダを含む）のトラックが順不同で再生されます。

ℹ ノーマル 再生オプションは、現在聞いているディスクを変更したとき、または他のメディアを選択したときに、自動的に選択されます。オプションを選択すると、COMANDシステム をオンまたはオフにした後も選択されたままになります。

MP3モードに関する注意

全体的な注意事項

MP3データの容量とフォーマットによって、データの読み込みに必要な時間の長さが増えることがあります。

認められているデータキャリア

- CD-RおよびCD-RW
- DVD-RおよびDVD-RW
- DVD+RおよびDVD+RW
- SDメモリーカード
- USB機器

再生可能なファイルシステム

- ISO 9660/Joliet（CD）
- UDF（DVDオーディオ/DVDビデオ）
- FAT16 または FAT32 （SDメモリーカードとUSB機器）

マルチセッションCD

マルチセッションCDでは、最初のセッションの内容によって、COMANDシステム がどのようにCDを処理するかが決まります。COMANDシステム が再生するのは1つのセッションのみで、音楽CDセッションに優先権を与えます。

可能であれば、COMANDシステム では1つのセッションに書き込まれたCDのみを再生してください。

ディスクのファイル構造

圧縮された音楽ファイルでディスクを作成するとき、トラックはフォルダ内に体系化することができます。フォルダにはサブフォルダが含まれることもあります。ディスクに作成できるディレクトリの階層は8階層までです。8階層より深いディレクトリにあるファイルはシステムから認識されません。

ℹ COMANDシステムは、SDメモリーカードまたはUSB記憶メディアから15,000トラックまでを読み込みます。

トラックおよびファイル名

圧縮された音楽ファイルでディスクを作成するとき、トラックおよびフォルダに名前を割り当てることができます。

COMANDシステムは、これらの名前をそれに応じて表示のために使用します。MP3 またはWMA トラック以外のデータを含むフォルダは、COMANDシステムでは表示されません。

MP3またはWMAファイルがルートディレクトリ自体に保存されている場合、ルートディレクトリもフォルダとして扱われます。COMANDシステム は、ルートディレクトリ名をフォルダ名として表示します。

トラック名を指定するときは、以下を遵守してください。

- トラック名は少なくとも1つの文字を持っていなければなりません。
- トラック名は“mp3”または“wma”という拡張子を持っていなければなりません。
- トラック名と拡張子の間にはピリオドがなければなりません。

  正しいトラック名の例： "トラック1.mp3"。

再生可能なフォーマット

COMANDシステムは以下のフォーマットをサポートしています。

- MPEG1 Audio Layer 3（MP3）
- コピープロテクトのないMicrosoft Windows Media Audio V8 およびV9 (WMA)

  Microsoft Windows Media Audio V2、V7、V8およびV9 (WMA)
- ファイル拡張子が.aac、.mp4、.m4aおよび.m4bのAACフォーマットのその他の音楽ファイル、ただし拡張子が.m4pのコピープロテクトされていないiTuneミュージックファイル

ℹ MP3ファイルに加えて、ディスクにこれらの音楽フォーマットで記録されている音楽ファイルがある場合は、最初のトラックが再生されるまでの読み込みが長くなります。

ℹ MP3オーディオのエンコード方式はFraunhofer IIS (Institut Integrierte Schaltungen – Institute for Integrated Circuits)とThomsonのライセンスで保護されています。

再生可能なビットレートおよびサンプリングレート

COMANDシステムは以下のタイプの**MP3**ファイルをサポートしています。

- 固定および可変ビットレート（32 kbit/s ～ 320 kbit/s）
- サンプリングレート（8 kHz ～ 48 kHz）

COMANDシステムは以下のタイプの**WMA**ファイルをサポートしています。

- 固定ビットレート（5 kbps ～ 384 kbps）
- サンプリングレート（8 kHz ～ 48 kHz）

COMANDシステムは以下のタイプの**WMA**ファイルはサポートしていません。

- DRM（デジタル著作権管理）暗号化ファイル
- 可変ビットレート
- WMA Pro
- 5.1 サラウンド

ℹ 必ず128 kbps以上のビットレートおよび44.1 kHz以上のサンプリングレートのトラックを使用してください。低いレートにより、品質が著しく低下します。サラウンド機能を使用しているときは特に顕著になります。

著作権に関する注意

作成または再生するMP3 またはWMAトラックは、一般的に著作権が保護されています。これは適用される国際および国内法に従っています。

多くの国では、個人で楽しむ場合でも著作権者に無断で複製することは禁じられています。

適用される著作権法について理解を深め、それらを遵守するようにしてください。

お客様が自分で作曲し録音するなど、著作権をお客様が所有している場合、または著作権者から許可が与えられた場合には、上記の制約事項は適用されません。

CD/DVDに関する注意

! ディスクにシールやラベルを貼らないでください。それが剥がれて、ドライブが損傷するおそれがあります。

ドライブはEN 60908規格に準拠するディスクを収容できるように設計されており、厚さが最大で1.3mmまでのディスクのみ使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク(片面にDVD、もう片面にオーディオデータなど)を挿入すると、取り出すことができなくなり、ドライブを損傷するおそれがあります。

アダプタを装着しても、8cm径のディスクは使用しないでください。12cm径の円形ディスクのみを使用してください。

コピープロテクト付きのディスクは音楽CD規格に準拠していないため、COMANDシステム で再生できない場合があります。

コピーされたディスクを再生する場合は、再生に問題が生じることがあります。広範なデータキャリアやディスクライティングソフトを使用することができます。この多様性のため、お客様自身でコピーしたディスクをシステムで再生することについては保証できません。

ご自身でコピーした 700 MB 以上の記憶容量のCDを再生する場合、再生に問題が生じることがあります。このタイプのCDは、現在適用されている規格には適合していません。

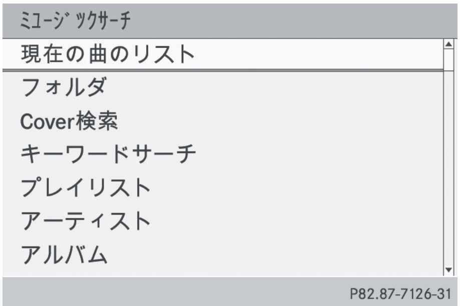
ℹ 多くのDVDオーディオディスクでは、最後のトラックに音楽が含まれていません。そのため、COMANDシステム が次のディスクに切り替わる場合は、これは

正常なシステム動作であり、故障があることを示すものではありません。

ℹ COMANDシステムは、マルチチャンネルオーディオフォーマットの音楽CDを再生できます。

ミュージックサーチ

カテゴリーリストを呼び出す



カテゴリーリスト

▶ オーディオソースをオンにして、MP3モードなど基本画面を呼び出します (▷ 225 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

利用可能なデータに応じてカテゴリーが表示されます。現在の曲のリスト、フォルダ（使用可能な場合）、および 写真 (使用可能な場合) カテゴリーは、すでに割り当てられています。他の使用可能なカテゴリーはミュージックサーチにより占有されます。

カテゴリーを選択する

ミュージックサーチを開始する

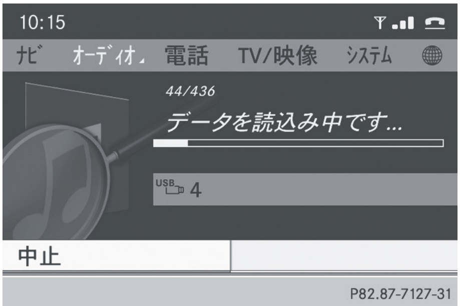
ミュージックサーチ機能により、カテゴリー（アルバム、アーティストなど）によって音楽を選択します。

カテゴリーを選択した場合は、COMAND システム は以下の条件下でミュージックサーチを開始します。

- データキャリアが挿入または接続されている場合。
- これらのデータキャリアの音楽トラックがCOMANDシステムのミュージックデータベースにまだ入っていない場合。

COMANDシステムは以下のデータキャリアから音楽トラックを読み取ります。

- ディスク（音楽CD/DVD/MP3)
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USB機器



▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリストでカテゴリーを選択し、押して ◎ 確定します。
データを読み込み中です... というメッセージが表示されます。使用可能なトラックの数によっては、サーチに時間がかかることがあります。

検索が完了すると、全ての曲情報の取得が完了しました というメッセージが表示

されます。前回作動していたオーディオソースで再生が開始されます。

▶ **ミュージックサーチを中止する：** 押して ◉、中止 を確定します。

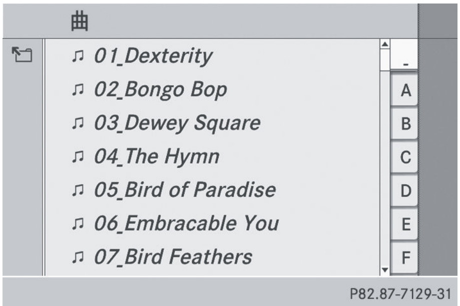
アーティストを選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリストで アーティスト を選択し、押して ◉ 確定します。
使用可能なアーティストがアルファベット順に表示されます。

アルバムを選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリストで アルバム を選択し、押して ◉ 確定します。
使用可能なアルバムがアルファベット順に表示されます。アルバムに利用可能なジャケットがある場合は、アルバム名の前に表示されます。

トラックの選択



▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリスト (▷ 236 ページ) で 曲 を選択し、押して ◉ 確定します。
使用可能なトラックが表示されます。

リリース年を選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリスト (▷ 236 ページ) でリリースされた年 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 項目を選択し、押して ◉ 確定します。
ジャンルのリストが表示されます。

▶ ポップスなどのジャンルを選択し、押して ◉ 確定します。
トラックリストが表示されます。

▶ トラックを選択し、押して ◉ 確定します。
再生が開始されます。

作曲者を選択する

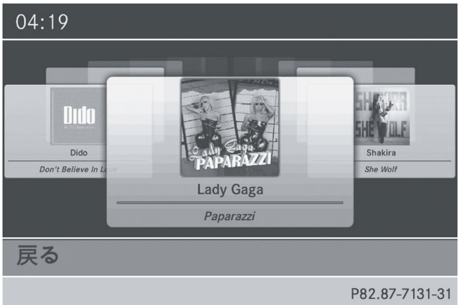
▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリストで 作曲者 を選択し、押して ◉ 確定します。
使用可能な作曲家がアルファベット順に表示されます。

音楽ジャンルを選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリストで ジャンル を選択し、押して ◉ 確定します。
使用可能な音楽ジャンルがアルファベット順に表示されます。

ジャケットを選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリスト (▷ 236 ページ) でCover 検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
使用可能なジャケットがアーティストのアルファベット順に表示されます。

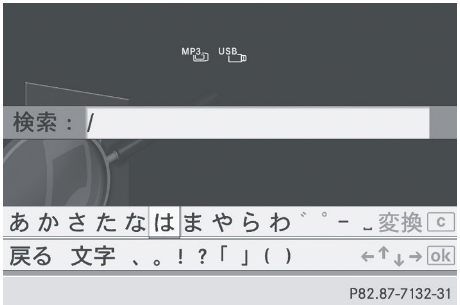


P82.87-7131-31

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、希望のジャケットを選択し、押して ◉ 確定します。
対応するアルバムが再生されます。

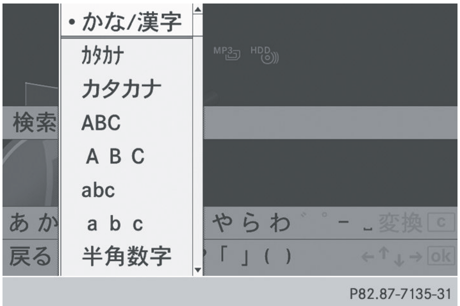
キーワードサーチによる選択

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリストで キーワードサーチ を選択し、押して ◉ 確定します。
入力メニューが表示されます。



P82.87-7132-31

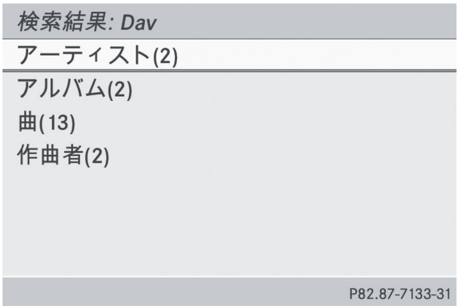
▶ **文字バーで使用する文字設定を変更する：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、文字 を強調し、押して ◉ 確定します。
使用可能な文字設定のリストが表示されます。



P82.87-7135-31

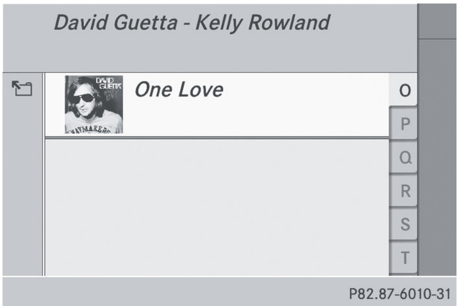
▶ 希望の文字設定を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 文字を入力し、入力を確定します。文字入力(▷ 31 ページ)
入力に応じて、検索結果がリストに表示されます。



▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ アーティスト のような項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
アルバムとジャケット（使用可能な場合）が表示されます。



▶ アルバムを確定します ⊛。
アルバムのトラックが表示されます。

▶ トラックを選択し、押して ⊛ 確定します。
再生が開始され、基本画面が表示されます。

ミュージックレジスター

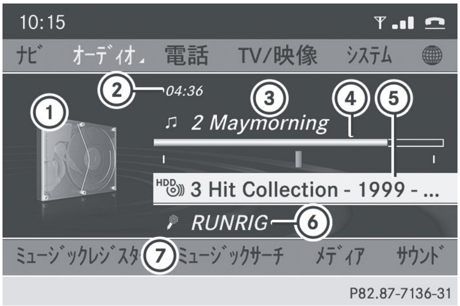
全体的な注意事項

! 元の音楽CDは安全な場所に保管してください。例えば、誤ってリセット機能によりCOMANDシステムを工場出荷時の設定にリセットした場合、ミュージックレジスターの音楽ファイルはすべて削除されます。失われたデータについては一切責任を負いかねます。

音楽ファイルを圧縮フォーマットでミュージックレジスターに保存できます。メモリーの容量は10 GBです。

ミュージックレジスターへの切り替え

機能スイッチでオンにする



例：ミュージックレジスター

① ジャケット (使用可能な場合)

② 経過時間

③ トラック番号と名前

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ 現在の再生オプション（ノーマルの場合は非表示）に続く、メディアリストのメディアの位置とメディアの名称

⑥ アーティスト

⑦ ミュージックレジスターのメニューバー

▶ AUDIO 機能スイッチを押します。

前回終了時にミュージックレジスターが選択されていたときは、ミュージックレジスターがオンになります。

別のオーディオソースがオンの場合は、オーディオメニューでミュージックレジスターをオンにできます（オプション2)。

ミュージックレジスターがオンで音楽ファイルが使用できる場合は、前回聞いたところから再生が開始されます。

音楽ファイルがない場合には、その結果を示すメッセージが表示されます。

オーディオメニューをオンにする

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ↻◎↺、オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

前回選択していたモードがミュージックレジスターのときは、オンになります。

別のオーディオソースがオンの場合、オーディオメニューでミュージックレジスターをオンにできます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ↻◎↺、オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

▶ ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。

テンキーを使用してオンにする

要件：ラジオモードまたは音楽CD/DVD/MP3モードのいずれも作動していない。

▶ テンキー 3 DEF を押します。

ミュージックレジスターがオンになります。

音楽ファイルのインポート

概要

音楽ファイルをCDからコピーし、ミュージックレジスターに保存できます。

ℹ 多くの音楽CDにはCDテキストが含まれています。COMANDシステム はそこに含まれている情報を使用して、アーティスト、アルバム、およびトラック名を表示します。

CDテキスト情報が使用できない場合は、COMANDシステム はGracenoteメ

ディアデータベースを使用して、不明なオーディオトラックを識別できます (▷ 230 ページ)。

ℹ 保存中は、いくつかの機能が使用できません。その場合は、この結果に対するメッセージが表示されます。

ステップ1：音楽CDモードへ切り替える

P82.87-7137-31

▶ 押して ⊛、録音 を確定します。
ミュージックレジスターが表示されます。

P82.87-7209-31

ステップ2：インポートするトラックを選択する

音楽CDのすべてのトラックを選択してコピーしたい場合は、このステップは省略できます。

P82.87-7159-31

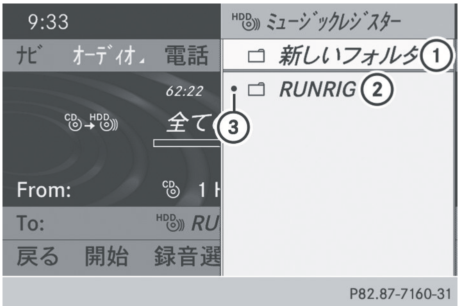
① 選択の確定
② すべての音楽ファイルのコピー (標準)
③ 各々のトラックのコピー

▶ COMANDコントローラーをまわして ⦅◎⦆、コピーする希望のトラックまたは 全てのトラック を選択し、押して ⊛ 確定します。
トラック/全てのトラックを選択 ☑ するか、またはトラックの選択を解除 ☐ します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⦅◎⦆、続ける を選択し、押して ⊛ 確定します。

3. 保存先フォルダの選択

新規フォルダを作成したい場合はこのステップを選択します。COMANDシステム は、初期状態ではCDテキストまたはGracenote® データ（使用可能な場合）からの情報を使用して、フォルダ名を指定します。



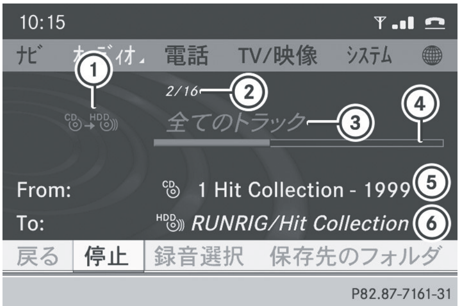
① 新しい保存先のフォルダ

② 保存先のフォルダ（COMANDシステムにより作成）

③ 保存用に現在選択されている保存先のフォルダ

▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、保存先のフォルダを選択し、押して ◎ 確定します。

4. インポートの開始



① CDからミュージックレジスターへのコピー

② 現在コピー中 (トラック1/16)

③ コピーのオプション (全トラック)

④ コピーの進捗

⑤ コピー元、ディスク位置と名称

⑥ ミュージックレジスターの保存先のフォルダ

▶ COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、開始を選択し、押して ◎ 確定します。
インポートが完了すると、音楽CDの基本画面が自動的に表示されます。

▶ **インポートを中止する：** インポート中にCOMANDコントローラーで 停止を押して ◎ 確定します。

音楽CDの基本画面が表示されます。コピー処理が中止されたところまでのすべての音楽データがミュージックレジスターに保存されます。

すべての音楽ファイルの削除

! 故障を防ぐため、この間はCOMANDシステムを使用しないでください。

この機能は、ミュージックレジスターからすべての音楽ファイルを削除します。

▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 240 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして〔◎〕、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 全音楽ファイル削除を選択し、押して ◎ 確定します。

確認が表示されます。いいえ が強調されています。

はい を選択すると、すべての音楽ファイルが削除されます。しばらくお待ちください... のメッセージが表示されます。その後に、削除しました というメッセージが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

メモリー容量情報の呼び出し

- ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 240 ページ)。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
- 容量 を選択し、押して ◎ 確定します。
  以下の情報が表示されます。
  - 全容量
  - 空き容量
  - 使用している容量
  - 記録内容（フォルダ、トラック）

ミュージックサーチ

全体的な注意事項

ミュージックサーチは使用可能なすべてのメディアからトラックを検索します。検索は現在作動しているオーディオソースから始まります。

ミュージックサーチは以下のメディアに対応しています。

- ディスク（音楽CD/DVD/MP3）
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USBメモリー

- ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 240 ページ)。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
  カテゴリーリストが表示されます。
- カテゴリーでトラックを選択します (▷ 236 ページ)。

例：フォルダを開く

P82.87-6286-31

- COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、カテゴリーリストで フォルダ を選択し、押して ◎ 確定します。
  現在のフォルダの内容が表示されます。
  現在のフォルダ名が最上部になり、現在再生しているトラックがドット ● によって示されます。
- **次の上位のフォルダに切り替える：** リターンスイッチ [↩] を押すか、またはCOMANDコントローラーをスライドします ⬅◎。

フォルダ/トラック名を変更する

- ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 240 ページ)。
- COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
- ファイルの名前変更/削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
- まわして ⟲◎⟳ 、フォルダ/トラックを選択します。
- スライドして ◎➡ 、オプション を選択し、押して ◎ 確定します。
- 編集を選択し、押して ◎ 確定します。

- ▶ フォルダ/トラックの名前を入力します。文字入力に関する情報(▷ 31 ページ)
- ▶ **変更を保存する：** ok を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 曲情報表示 機能がオフのときには、変更されたフォルダ名/トラック名がミュージックレジスターに表示されます。この機能がオンの場合は、CDテキストまたはGracenote® データからのトラック情報になります。

フォルダ/トラックを削除する

- ▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 240 ページ)。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ ファイルの名前変更/削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ まわして ◎、フォルダ/トラックを選択します。
- ▶ スライドして ◎→、オプション を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 削除 を選択し、◎ を押して確定します。
  確認が表示されます。いいえ が強調されています。
  はい を選択すると、フォルダ/トラックが削除されます。しばらくお待ちください... のメッセージが表示されます。その後に、削除しました というメッセージが表示されます。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

再生オプション

以下のオプションを使用できます。

- ノーマル
  トラックが通常の順番（例：トラック1、2、3）で再生されます。
- ランダム（音楽メディア）
  メディアの全トラックが順不同に再生されます。
- ランダム（曲） (MP3モードのみ)
  現在作動しているフォルダまたはトラックリストにあるトラックが順不同で再生されます。

- ▶ **オプションを選択する：** ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 240 ページ)。
- ▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
  オプションリストが表示されます。ドット ● は、選択されたオプションを示します。
- ▶ オプションを選択し、押して ◎ 確定します。
  オプションがオンになります。ノーマル以外のすべてのオプションでは、対応する表示が表示/選択ウインドウに表示されます。

ℹ ノーマル 再生オプションは、現在聞いているディスクを変更したとき、または他のメディアを選択したときに、自動的に選択されます。オプションを選択すると、COMANDシステム をオンまたはオフにした後も選択されたままになります。

Bluetooth® オーディオの操作

Bluetooth® オーディオデバイスの接続

条件

Bluetooth® オーディオモードには、Bluetooth® の利用が可能なオーディオ機器が必要です。

ℹ 市場にあるすべてのBluetooth® オーディオ機器が一律に適合しているわけではありません。適合するBluetooth® オーディオ機器やCOMANDシステムへのBluetooth® オーディオ機器の接続についての詳しい情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書にある情報に注意してください。

Bluetooth® オーディオモードを使用する前に、Bluetooth® オーディオ機器の以下の点を確認してください。

- Bluetooth® オーディオプロファイル

  Bluetooth® オーディオ機器がA2DPおよび AVRCP Bluetooth® オーディオプロファイルをサポートしていること
- Bluetooth® 可視モード

  Bluetooth® オーディオ機器によっては、Bluetooth® 機能を作動させるのに加え、機器自身を他の機器に "見える" ようにもしなければなりません。
- Bluetooth® 機器名

  機器名はあらかじめ決められていますが、通常は変更することができます。Bluetooth® 機器を明確に選択できるようにするために、機器名をカスタマイズすることをお勧めします。

ℹ A2DP (**A**dvanced **A**udio **D**istribution **P**rofile)： オーディオデータ伝送用Bluetooth® オーディオプロファイル

AVRCP (**A**udio **V**ideo **R**emote **C**ontrol **P**rofile)： オーディオデータ再生用Bluetooth® オーディオプロファイル

Bluetooth® オーディオ機器

▶ Bluetooth® をオンにし、Bluetooth® オーディオ機器上でBluetooth® を検索できるようにします。

COMANDシステム側

▶ COMANDシステムで、Bluetooth® 機能を作動させます(▷ 40 ページ)。

全体的な注意事項

COMAND システムで初めてBluetooth® オーディオ機器をご使用になる前に、それを認証する必要があります。

新しいBluetooth® オーディオ機器を認証する場合、自動的に接続されます。接続ではまずBluetooth® オーディオ機器の検索が、そして認証が行なわれます。

15個までのBluetooth® 機器を認証することができます。

ℹ Bluetooth® オーディオをサポートしている携帯電話を認証すると、A2DPおよび AVRCP Bluetooth® オーディオプロファイルが自動的に接続されます。

そして携帯電話は以下に入力されます。

- Bluetooth® の電話リスト (▷ 151 ページ)
- Bluetooth® デバイスリスト (▷ 246 ページ)

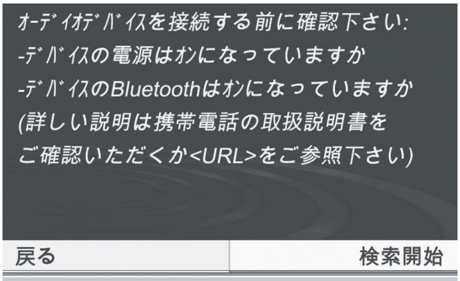
メルセデス・ベンツは、Bluetooth® 電話通信で携帯電話を認証することをお勧めします (▷ 150 ページ)。

ℹ 接続されている携帯電話が同時に2つのBluetooth® プロファイルのみサポートしている場合は、COMANDシステムは以下のように機能します。

- インターネットに接続すると (▷ 190 ページ)、Bluetooth® オーディオ機器の再生は停止します。
- Bluetooth® オーディオ機器で再生を開始すると、インターネット接続が終了します。

Bluetooth® オーディオ機器を検索・認証する

P82.87-7818-31



P82.87-7819-31

例：Bluetooth® デバイスリスト

① 所定の範囲内で新たに検出されたBluetooth® オーディオ機能付き携帯電話

② 範囲内にないが以前認証したBluetooth® オーディオプレーヤー（マークが灰色で表示されます）

範囲内にあってもなくても、Bluetooth® デバイスリストは認証されたすべての機器を表示します。機器検索の後、範囲内にはあるが認証されていない機器も表示されます。

▶ Bluetooth® オーディオモードをオンにします (▷ 249 ページ)。
Bluetooth オーディオ認証されていません というメッセージが表示された場合は、まずBluetooth® オーディオ機器を認証する必要があります。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ☝ 確定します。

▶ COMANDコントローラーを押して ☝、Bluetooth オーディオデバイスリスト を確定します。

▶ **検索する：** COMANDコントローラーを押して ｵｰﾃﾞｨｵﾃﾞﾊﾞｲｽ検索 を確定します☝。
COMANDシステムは範囲内のBluetooth® オーディオ機器を検索して、それらをBluetooth® デバイスリストに追加します。Bluetooth® オーディオ機器がBluetooth® オーディオプロファイル (A2DP、 AVRCP)をサポートしている場合は、機器が検知されます。
検索に要する時間は、所定の範囲内のBluetooth® オーディオ機器の数とその特性によって異なります。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMANDシステム が音楽ファイルを再生できるように、まず機器本体で再生を開始しなければならないものがあります。

▶ **認証する：** COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、認証されていない

Bluetooth® オーディオ機器をリスト（例では ①）から選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、Bluetooth® オーディオ機器の右側にあるマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 認証 を選択し、押して ◎ 確定します。

使用されているBluetooth® オーディオ機器によって、認証を続ける2つのオプションがあります。

▶ **オプション 1：** パスキーを入力します (▷ 151 ページ)。

認証が成功すると、Bluetooth® オーディオ機器が接続され、再生が開始されます。

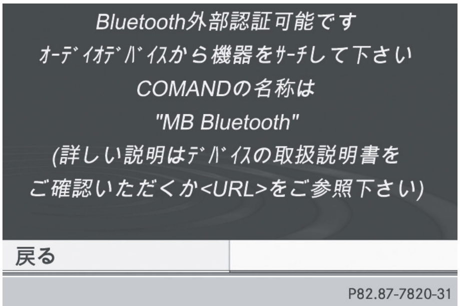
▶ **オプション 2（セキュアシンプルペアリング）：** COMANDシステム とBluetooth® オーディオ機器に表示される数字コードが同じである場合は、押して◎、はい を確定します。

はい を選択すると、認証が続けられ、Bluetooth® オーディオ機器が接続されます。再生が開始されます。

いいえ を選択すると、認証が中止されます。

ℹ シンプルペアリング経由で接続するためには、Bluetooth® オーディオ機器はBluetooth® version 2.1をサポートしていなければなりません。COMANDシステム は、接続される両方の機器に同時に表示される6桁のコードを作成します。

外部認証



P82.87-7820-31

COMANDシステムがBluetooth® オーディオ機器を見つけられない場合は、Bluetooth® オーディオ機器の特別なセキュリティ設定が原因であることがあります。この場合は、Bluetooth® オーディオ機器がCOMAND システムを見つけることができるかどうかを確認してください。COMAND システムのBluetooth® 機器名は MB Bluetooth です。

▶ Bluetooth® オーディオモードをオンにします (▷ 249 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎⬇ から、まわして ⟲◎⟳、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMANDコントローラーを押して ◎、Bluetooth オーディオデバイスリスト を確定します。

▶ **検索する：** COMANDコントローラーを押して、Bluetoothｵｰﾃﾞｨｵﾃﾞﾊﾞｲｽから接続 を確定します ◎。

検索に要する時間は、所定の範囲内のBluetooth® オーディオ機器の数とその特性によって異なります。

▶ **認証する：** Bluetooth® オーディオ機器で認証を開始します。Bluetooth®

オーディオ

オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
認証が成功すると、Bluetooth® オーディオ機器が接続され、再生が開始されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMANDシステム が音楽ファイルを再生できるように、まず機器本体で再生を開始しなければならないものがあります。

Bluetooth® オーディオ機器を再接続する

Bluetooth® オーディオプロファイルは、以下の環境下では自動的に接続されます。

- 接続された最後の2つの携帯電話の1つがBluetooth® オーディオプレーヤーとしても使用されるとき(この機能が携帯電話でサポートされている場合)。
- 携帯電話が自動接続自体を引き継いでいるとき

電話機能のないBluetooth® オーディオプレーヤーは、たとえ最後に接続された機器でも自動的に再接続されることはありません。

Bluetooth オーディオ 認証されていません。 というメッセージが表示された場合、Bluetooth® オーディオ機器を接続するための2つのオプションがあります。

オプション 1

▶ 基本画面でCOMANDコントローラーを押して ⊛、前のデバイスに再接続 を確定します。
COMAND システム が Bluetooth® オーディオ機器を見つけた場合は、接続され再生を開始します。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMANDシステムが音楽ファイルを再生できるように、まず機器本体で再生を開始しなければならないものがあります。

オプション 2

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMANDコントローラーを押して ⊛、Bluetooth オーディオデバイスリスト を確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、Bluetooth® オーディオ機器を選択し、押して ⊛ 確定します。
COMAND システム が Bluetooth® オーディオ機器を見つけた場合は、接続され再生を開始します。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMANDシステム が音楽ファイルを再生できるように、まず機器本体で再生を開始しなければならないものがあります。

Bluetooth® オーディオ機器と携帯電話の同時検索

携帯電話を検索している間は、Bluetooth® オーディオ機器との接続は終了します (▷ 150 ページ)。
Bluetooth® オーディオ基本画面に、Bluetooth オーディオ 接続されていません。 というメッセージが表示され、メニュー項目の 前のデバイスに再接続 は選択することができません。

詳細を表示する

▶ Bluetooth® デバイスリスト内で Bluetooth® オーディオ機器を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎➡、Bluetooth® オーディオ機器の右側にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 詳細 を選択し、⊛ を押して確定します。
選択した携帯電話に関する以下の情報が表示されます。
- Bluetooth® の名称
- Bluetooth® のアドレス
- 使用可能状況 (更新の後、表示されます)
- 登録状況

▶ **詳細表示を閉じる**：COMANDコントローラーをまわす ⟲◎⟳ か、スライドします ←◎→。

Bluetooth® オーディオ機器の認証 (登録) を解除する

▶ Bluetooth® デバイスリスト内で Bluetooth® オーディオ機器を選択します。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ◎→、Bluetooth® オーディオ機器の右側にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 認証取消し を選択し、押して ⊛ 確定します。
この機器の登録を本当に解除するか確認するメッセージが表示されます。

▶ はいまたはいいえを選択します。
はい を選択すると、機器が Bluetooth® デバイスリストから削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器を再認証する前に、Bluetooth® オーディオ機器の Bluetooth® リストから機器名称 MB Bluetooth を削除しなければならないこともあります（Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください)。

Bluetooth® オーディオモードに切り替える

注意点

携帯電話の中には同時に２つの Bluetooth® プロファイルのみをサポートするものがあります (例：Bluetooth® 電話機能のハンズフリープロファイルおよびオーディオストリーミングの Bluetooth® オーディオプロファイル)。Bluetooth® オーディオモードをオンにして、インターネット接続がすでに作動している場合は、これは接続を終了させる原因になります。

基本画面の使用

例：Bluetooth® オーディオ基本画面

① トラック名表示
② 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）
③ アルバム名
④ サウンドの設定
⑤ メディアリスト
⑥ 停止 ■ または再生 ▶ スイッチ
⑦ アーティスト
⑧ Bluetooth® オーディオ機器の接続、COMANDシステム の音量を上げる
⑨ Bluetooth® オーディオデータキャリアの種類
⑩ メディアリスト内のデータ媒体の位置

▶ Bluetooth® オーディオ機器を接続します。(▷ 245 ページ)

または

▶ Bluetooth® オーディオ機器を再接続します (▷ 248 ページ)。

COMAND システムが Bluetooth® オーディオ機器をオンにします。基本画面が表示され、機器が再生を開始します。

メディアリストの使用

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メディアリストで Bluetooth オーディオ(▷ 228 ページ) を選択し、押して ◉ 確定します。

COMANDシステムが、接続されている機器をオンにします。この結果に対するメッセージが表示されます。次に、基本画面が表示されます。

ℹ 接続されているBluetooth® オーディオ機器がメタデータをサポートしていて、対応するデータが利用可能な場合、その後にアーティスト、トラック、アルバム名が表示されます。

音楽再生を開始/停止する

▶ **再生を開始する：** COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、▶ を選択し、押して ◉ 確定します。

再生が開始されます。■ が選択されます。

▶ **音楽再生を停止する：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、■ を選択し、押して ◉ 確定します。

メッセージが表示されます。▶ が選択されます。

▶ **再生を再開する：** COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、▶ を選択し、押して ◉ 確定します。

メッセージが表示されます。■ が選択されます。

中止した後の再生の再開

最後の機器を接続する

再生を手動で開始する

携帯電話を検索している間は、Bluetooth® オーディオ機器との接続は終了します (▷ 150 ページ)。Bluetooth® オーディオ基本画面に、Bluetooth オーディオ 接続されていません。 というメッセージが表示され、メニュー項目の 前のデバイスに再接続 は選択することができません。

検索が終了したとき、Bluetooth® オーディオ機器を再接続することができます。

▶ 押して ⊛ 前のデバイスに再接続 を確定します。
使用されているBluetooth® オーディオ機器によっては、再生がただちに開始するか、または手動で再生を開始する必要があります。
この場合、Bluetooth オーディオ 一時停止中 というメッセージが表示されます。

▶ **音楽再生を開始する：** COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、▶ を選択し、押して ⊛ 確定します。
再生が先頭から再開されます。

ℹ インターネットが接続されていて、接続されている携帯電話が同時に2つのBluetooth® プロファイルのみをサポートしている場合は、インターネット接続は中断されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器との接続は以下のときにも中断することがあります。

- 接続された携帯電話が同時に2つのBluetooth® プロファイルのみをサポートしているとき
- COMANDシステムを使用してインターネットに接続するとき(▷ 190 ページ)

トラックの選択

この機能は全てのBluetooth® オーディオ機器でサポートしているわけではありません。

携帯電話によっては、以下の内容に関しての機能が損なわれます。

- 選択できるトラックの数
- 次または前のトラックが再生されるまでの時間

▶ **トラックを前または後にスキップする：** COMANDシステムの ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

または

▶ マルチファンクションステアリングの ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **高速スクロール：** 希望のトラックになるまでマルチファンクションステアリングの ▲ または ▼ スイッチを押して保持します。
▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、しばらくすると高速スクロールの速度が上がります。

音楽再生オプションを選択する

Bluetooth® オーディオ機器が該当する機能をサポートしている場合、以下のオプションを使用できます。

- ノーマル
  トラックが通常の順番（例：トラック1、2、3）で再生されます。
  オーディオデータ再生は、データ記憶媒体に書き込まれた順番により決定されます。通常はアルファベット順です。フォルダ内の全トラックが再生されると、次のフォルダのトラックが再生されます。
- ランダム
  メディアの全トラックが順不同に再生されます（例えば、トラック 3、8、5、…）。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、

Bluetooth オーディオ を選択し、押して ⊛ 確定します。

ドット ● は、選択されたオプションを示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、オプションを選択し、押して ⊛ 確定します。

ランダム を選択すると、該当するマークが表示/選択ウィンドウに表示されます。

サウンド設定を調整する

サウンド設定に関する情報(▷ 26 ページ)

COMANDシステムの音量を上げる

P82.87-7174-31

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして 〔◎〕、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 音量 を選択し、押して ⊛ 確定します。

メニューが表示されます。ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 標準 または ブースト を選択し、押して ⊛ 確定します。

"オーディオAUXモード" の項目にさらなる情報があります。(▷ 259 ページ)

メディアインターフェースモード

接続オプション

概要

接続ソケットはセンターコンソールの小物入れにあります。

外部機器をメディアインターフェースに接続するためには機器別アダプターケーブルが必要です。メディアインターフェースは国別の仕様によって装備されています(▷ 253 ページ)。

以下のデータキャリアをメディアインターフェース経由でCOMANDシステムに接続することができます。

- iPod®
- iPhone®
- 特定のMP3 プレーヤー

ℹ 各部品は安全な場所に収納してください。

必ずメルセデス・ベンツ純正接続ケーブルを使用してください。

ℹ iPod® とiPhone® はApple Inc.(Cupertino, California, USA)の登録商標です。

ℹ MTP (**M**edia **T**ransfer **P**rotocol)をサポートしているMP3 プレーヤーを使用することができます。

これにより、MP3 プレーヤーを容易にメディアインターフェースに接続し、使用後に取り外すことができます。オーディオデータは問題なく再生されます。

MP3 プレーヤーには、関連する機能を作動させなければならないものがあります。MP3 プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

サポートしている機器

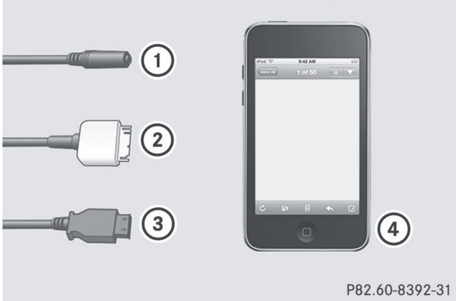
サポートしている機器の詳細と包括リストについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

外部機器を接続する

車内に外部機器を放置しないでください。極端な温度では、正しく機能することを保証できないことがあります（疑問があるときは機器の取扱説明書をご覧ください）。極度の温度の例は、直射日光またはとても低い外気温度です。メルセデス・ベンツは、外部機器の損傷に関しては責任を負いかねます。

ⓘ 1度に1つ以上の機器を接続しないでください。外部機器からの再生ができなくなる場合があります。

USB ハブ（いくつかのUSB接続のある機器）はサポートされていません。



② iPod® プラグ、iPod® 接続用

③ USB ソケット、MP3 プレーヤー接続用

④ 機器の例（iPod®）

▶ 適切なソケット ①、② または ③ を使用して、外部機器を接続します。
COMANDシステムが機器を作動させ、ディスプレイが表示されます。（iPod® プラグまたはUSB ソケット接続時）

機器を取り外すと、デバイスが接続されていません というメッセージが表示されます。

ⓘ 接続されているiPod® またはMP3プレーヤーをメディアインターフェースおよびリモコン（例：Bluetooth® リモコン）から、または直接機器自体から、同時に操作しないでください。そうすると予期せぬ技術トラブルの原因となることがあります。

接続した機器で作動しているアプリケーション（apps）は故障につながることがあります。

ⓘ 完全に放電したiPod® またはMP3プレーヤーを接続すると、初期化に時間がかかる場合があります。

以下の場合、機器の作動中にエラーメッセージが表示されます。

- 接続された機器がサポートされていない（デバイスエラー メッセージ）。
- 接続された機器の電力消費が過大である。
- メディアインターフェースの接続が間違っている場合。
- 大容量記憶装置（例：USBメモリースティックまたはUSB ハードドライブ）がメディアインターフェースに接続されている。
  この場合、 別のUSBポートにデバイスを接続してください というメッセージが表示されます。

ⓘ 独立したUSB接続により、迅速なアクセスと拡大されたメディアコンテンツのオプションを可能にします。

ⓘ 情報はすべてのメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

メディアインターフェースモードに切り替える

全体的な注意事項

極端な場合、個別の機能の起動に数分かかる場合があります。これは外部機器とそのコンテンツによるものです（例：ビデオポットキャスト）。

iPods® またはMP3 プレーヤーにファイルを保存するためにはオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。さもないと、一部または全ての機能が使用できなくなる場合があります。

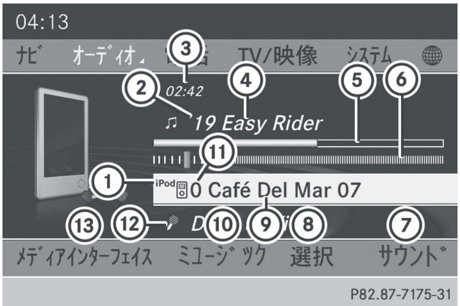
自動的にオンにする

▶ 外部機器を接続します (▷ 253 ページ)。
COMANDシステムが機器を作動させます（iPod® コネクターまたはUSB端子経由で接続されている場合）。 次に、基本画面が表示されます。

テンキーを使用してオンにする

▶ テンキー 5 JKL （シングルDVDドライブ)を押します。
接続した外部オーディオ機器が直接選択されます。

メディアリスト経由でオンにする



メディアインターフェースモード（iPod® モード)

① データメディアの種類
② トラック番号
③ 経過したトラック時間（オーディオブックでは00:00:00のフォーマット）
④ トラック名表示
⑤ 時間のグラフ表示
⑥ トラックのグラフ表示
⑦ サウンドの設定
⑧ メディアリスト
⑨ アルバム名（使用可能な場合)
⑩ ミュージックサーチ
⑪ メディアリスト内での位置
⑫ アーティスト（使用可能な場合)
⑬ 再生オプション

▶ メディアリストで、COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、5の位置（シングルDVDドライブ）にある項目を選択し、押して ◎ 確定します (▷ 228 ページ)。
COMANDシステムが、接続されている機器をオンにします。この結果に対するメッセージが表示されます。次に、基本画面が表示されます。
接続されている機器がない場合は、機器名のかわりに メディアインターフェース の項目が表示されます。

接続されている機器 の種類はiPod® またはMP3プレーヤーに対応するマークによって示されています。

現在の再生オプションは、アルバム名の後にマークと一緒に表示されます（ノーマルでは表示なし）(▷ 258 ページ)。

ℹ 接続されている機器に再生可能なトラックが含まれていない場合は、この結果に対するメッセージが表示されます。

音楽ファイルを選択する

注意点

COMANDシステムはそれぞれのメディアで使用されているファイル構造にしたがって、iPod®、iPhone® またはMP3 プレーヤーに保存されているデータを表示します。

トラックをスキップして選択する

▶ **トラックを次または前にスキップする：** 表示/選択ウインドウがオンのときにCOMANDコントローラーをまわします ⟲◎⟳。

または

▶ ⏮ または ⏭ ボタンを押します。
次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。前へスキップ機能を使用すると、現在のトラックが 8 秒以上再生されていた場合、トラックの最初にスキップします。トラックが8 秒未満再生されていた場合、前のトラックの最初にスキップします。ノーマル 以外の再生オプションを選択していた場合は、トラックの順序はランダムになります。

テンキーを使用して選択する

▶ **入力する：** * スイッチを押します。
入力メニューが表示されます。入力に使用できる文字の数は、保存されているトラックの数によって異なります。

▶ **トラック番号を入力する：** テンキー、たとえば 7 PQRS を押します。
入力行の最初の位置に数字が入力されます。

ℹ COMANDシステムは無効な数字を無視し、表示しません。

▶ 希望であれば、さらに数字を入力します。
最後の可能な番号が入力された後に、トラックが再生されます。

ℹ テンキーを 2秒 以上押して保持すると、対応するトラックが再生されます。

早送り/早戻し

▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、希望の位置になるまで、COMANDコントローラーをスライドして ←◎→ 保持します。

または

▶ 希望の位置になるまで、⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。

ℹ iPod® またはiPhone®では、速い巻戻しは現在のトラックの中でのみ機能します。

カテゴリー/プレイリスト/フォルダを選択する

概要

iPod®、iPhone® またはいくつかのMP3 プレーヤーでは、カテゴリーまたはフォルダを使用してトラックを選択することができます。

接続された機器に応じて、たとえば、以下のカテゴリーが使用可能です。

- 現在の曲のリスト
- Cover検索
- キーワード検索
- プレイリスト（全てなど）
- アーティスト
- アルバム
- トラック
- Podcast
- ジャンル
- 作曲者
- オーディオブック
- ビデオ

ℹ 再生カテゴリーの中には、全て の登録データを含むものがあります。この登録データを選択した場合、選択したカテゴリーの全てのコンテンツが再生されます。

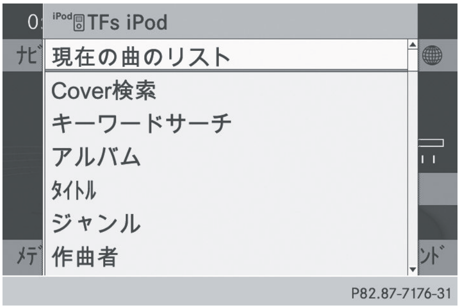
カテゴリーの ビデオ はiPod® とiPhone®で使用できます。

ℹ 機能はすべてのメディアの内容が読み込まれ解析された後に使用できます。キーワード検索やカバーによる選択のようないくつかの機能では、メディアの範囲や接続されている機器によってこれに数分かかることがあります。

メディアの内容が変更されていない外部機器に再接続されると、これらの機能はより早く使用することができます。

しかし、メディアの内容を変更すると、再び読み込み、解析しなければなりません。

カテゴリーリストを呼び出す



例： カテゴリーリスト

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓ まわして ⟲◎⟳、基本画面で ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。

カテゴリーリストが表示されます。

ℹ 機器がオンになるまで ミュージックサーチ は使用できません。

ℹ **読み込む：** 接続されている機器のメディアのコンテンツが読み込まれているときは、マークによって右上に示されます。読み込みが終了しているときは、カテゴリーの Cover検索 および キーワードサーチ が利用できます。

接続している機器とメディアのコンテンツのサイズによって、読み込みに数分かかることがあります。次に機器が起動するまたは再接続されると、最新の機能がすぐに利用可能になります。

しかし、iPod®/iPhone®でメディアのコンテンツを変更すると、再度読み込み、解析しなければなりません。

例： 現在のトラックリスト

① 機器マークと機器名

② 次のフォルダに上がるマーク

③ 現在のトラック

④ トラックマーク

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、現在の曲のリスト を選択し、押して ◎ 確定します。

現在のトラックリストの内容が表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、トラックを選択し、押して ◎ 確定します。
トラックが再生されます。

▶ **次の上位のフォルダに切り替える：** COMANDコントローラーをスライドします ←◎。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

カテゴリーまたはフォルダの内容を再生する

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、カテゴリーまたはフォルダを選択します。

▶ COMANDコントローラーを2 秒以上押します ◉。

選択されている再生オプションに応じて、選択されたカテゴリーまたはフォルダの内容が再生されます(▷ 258 ページ)。

アルファベット順のトラック選択

iPod®、iPhone® およびMP3 プレーヤー

この機能は、カテゴリーおよびフォルダがアルファベット順に並べられている場合に使用できます。この機能は、たとえばアルバムまたはプレイリストに対しては使用できません。

▶ COMANDコントローラーをまわして《◎》、カテゴリー、たとえば アーティスト を選択し、押して ◉ 確定します。

使用可能なアーティストが表示されます。

▶ 対応するテンキーを一度または繰り返し押して、希望のアーティストの最初の文字を選択します。例えば、名前がCで始まるアーティストを選択するためには、テンキー [2 ABC] を3回押します。

使用可能な文字はディスプレイの下端に表示されます。

メッセージの後、入力された文字と一致するリスト内の最初の項目が強調されます。

ⓘ 該当する項目がない場合、代わりに、前の文字と一致する最後の項目が強調されます。

ⓘ iPodおよびMP3 プレーヤー：検索結果の品質は、装着している機器で使用しているソフトウェアのバージョンおよび言語の種類によって大いに異なります。そのようなソフトウェアでよく知られた例はiTunes®です。

異なる並び替えの規則が決められている場合は（例：iTunes®)、検索は結果を出すことなく中止されます。

追加選択機能

• Cover検索

アルバムはメニュー項目を使用してジャケットによって選択されます。

初めて Cover検索 機能が使用されるときは、iPod®/iPhone® から追加データが読み込まれなければなりません。現在の音楽の再生が中断され、このデータにアクセスします。処理に数分かかることがあり、中止してはいけません。さもないと、次回 Cover検索 が選択されたときに、再度最初から始まります。ジャケットは最初に Gracenote メディアデータベースで検索され、それから接続している機器から再生中に追加されます(▷ 230 ページ)。使用できるかは、使用方法とすでに選択されているトラックによって異なります。

• キーワード検索

キーワードサーチ選択すると、接続している機器のすべてのカテゴリーでキーワードで検索することができます。

ⓘ Cover検索 および キーワード検索 に関するさらなる情報は、"ミュージックサーチ、カテゴリー選択" にあります (▷ 255 ページ)。

ⓘ iPod®/iPhone® では、すべてのメディアのコンテンツが現在のプレイリストにある場合は、利用可能なジャケットが最も効率的に追加されます。これは、

再生オプションの タイトル または ランダム（音楽ファイル） を選択している場合です(▷ 258 ページ)。

iPod®/iPhone® モードの特別な機能

ℹ 接続されているiPod®/iPhone® が作動していない、または一時停止している場合は、トラックをサーチすることはできますが、選択することはできません。新しいトラックを確定した後に、この機能は利用できません というメッセージが表示されます。

再生オプション

▶ **再生オプションを選択する：** 基本画面でCOMANDコントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ⟲◎⟳、メディアインターフェース を選択し、押して ◎ 確定します。

オプションリストが表示されます。ドット ● は、選択されたオプションを示します。

▶ オプションを選択し、押して ◎ 確定します。

以下のオプションを使用できます。

- ノーマル

  通常のトラック順：通常の順序（例：番号またはアルファベット）でトラックを聞きます。
- ランダム（音楽メディア）

  メディアの全トラックが順不同に再生されます。
- ランダム

  サブフォルダを含め、現在アクティブなカテゴリーまたはフォルダのトラックが順不同に再生されます。

ℹ 接続されているiPod®/iPhone® が作動していない、または一時停止している場合は、再生オプションは作動しません。オプションの表示は灰色になります。

MP3プレーヤーの説明

全般的な情報

メディア毎に30,000までのトラックがサポートされています。

以下によっていくつかの機能の速度が早くなり、検索結果の精度が向上します。

- 例えば、トラック、アルバムやアーティストの名前が同じ方法で書かれていることを確認する
- 様々なアーティストを特色付けたアルバムを"コンピレーション"として分類する

ℹ プレイリストにあるトラックの複数の項目は、いくつかのプレーヤーでは取り除かれます。

データフォーマット

MP3とWMA は固定および可変ビットレート（320 kbit/sまで）のデータ形式がサポートされています。

MP3プレーヤー使用時の特別な考慮点

最大8つのディレクトリレベルと、ディレクトリ毎に最大1,000個のトラックをサポートしています。

USB 延長リードまたはアダプターは使用しないでください。機能を損ねるおそれがあります。

ℹ DRM（Digital Rights Management）保護ファイルはメディアインターフェースではサポートされません。

オーディオAUXモード

オーディオAUXモードに関する注意

外部オーディオソースの音量は一定でないため、システムメッセージ（交通情報およびナビゲーション音声案内など）の音量が大きくなることがあります。必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

外部オーディオソース（AUX）をCOMANDシステム に接続できます。ソケットはセンターコンソールの小物入れにあります。

COMANDシステムにメディアインターフェースが装備されている場合は、外部オーディオソースは提供されたケーブルを使用して接続できます。そしてケーブルセットをオーディオAUXソケットの代わりにします。メディアインターフェースの接続は、センターコンソールの小物入れにあります。

ℹ さらなる情報は"メディアインターフェースでの操作" (▷ 252 ページ) をご覧になるか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

オーディオAUXモードに切り替える

機能スイッチでオンにする

オーディオAUXソースに外部機器が接続されています。

▶ 機能スイッチ DISC を1回以上押します。

機能スイッチを繰り返し押すことにより、以下の順番に操作モードを変更することができます。

- 音楽CD/DVD/MP3 （ディスク）
- メモリーカードモード
- ミュージックレジスター
- USBメモリー
- メディアインターフェースまたはオーディオAUXモード
- Bluetooth® オーディオの操作

オーディオメニューをオンにする

外部オーディオソースを接続しても、オーディオAUXモードは自動的には起動しません。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、 オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
前回選択されていたモードがAUXモードであれば、AUXモードが起動します。
別のオーディオソースが起動した場合は、オーディオメニューでオーディオAUXモードに切り換えます。

▶ オーディオを選択し ↑◎ 、押して ◎ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。

▶ 外部入力を選択し ⟲◎⟳ 、押して ◎ 確定します。
オーディオAUXメニューが表示されます。ソースを接続して再生を選択すれば、外部オーディオソースにあるメディアが再生されます。

外部オーディオソースの操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

情報：

- 音量の設定 (▷ 26 ページ)
- サウンドの設定 (▷ 26 ページ)

COMANDシステムの音量を上げる

▶ COMANDコントローラーをまわして 🔄◎🔄 、外部入力画面の音量を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 標準 または ブースト を選択し、押して ⊛ 確定します。
標準：外部オーディオソースの音量を初期値に調整します。
ブースト：外部オーディオソースの音量を約10 dB増加します。

外部オーディオソースとして接続されている機器は、車内では静かにまたはうるさくなったり、または通常の最大音量が得られないことがあります。機器によっては、音量を個別に調整できる場合もあります。この場合には、適度な音量から少しずつ音量を上げていきます。これによって、システムが歪みのない大きな音量で音楽再生が可能かどうかを確認することができます。

COMANDシステムの特徴 262
全体的な注意事項 262
基本設定 262
テレビモード 263
DVDビデオモード 278
ビデオAUX操作 284
画像ビューワー 286

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

全体的な注意事項

映像の自動非表示

車両が約 5 km/h 以上で走行しているときは、映像が次のモードで自動的に表示されなくなります。

- テレビモード (文字多重放送)
- DVDビデオモード

次のメッセージがディスプレイに表示されます。安全のため走行中は表示できません

車両の速度が約 5 km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

バックグラウンドビデオモード

ナビのような他のメインメニューが作動しているときは、テレビモードとDVDビデオモードで次の操作を行なうことができます。選択した機能についての情報が画面に表示されます。

⏮ スイッチまたは ⏭ スイッチを使用して、以下のことができます。

- テレビのチャンネルを選択する
- シーンまたはチャプターを選択する (DVDビデオモード)
- 早送りまたは早戻しする (DVDビデオモード)

メインメニューでテンキーを使用して操作手順が行なわれているときは、次の機能は使用できません。

- チャンネルプリセットからテレビのチャンネルを選択する
- チャンネルプリセットにテレビのチャンネルを登録する

基本設定

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

以下は、テレビ、DVDビデオおよびビデオAUXモードについての記載です。

▶ テレビまたはDVDビデオモードで、COMANDコントローラーを押します ⊛。

メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、 ﾃﾚﾋﾞ、DVDビデオ または AUX を選択し、押して ⊛ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、明るさ、コントラスト または カラー を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ -５～＋5の間で数値を設定し、押して ⊛ 確定します。

画面形式を変更する

以下は、テレビ、DVDビデオおよびビデオAUXモードについての記載です。

▶ テレビまたはDVDビデオモードで、COMANDコントローラーを押します ⓢ。
メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⦅◎⦆、テレビ、DVDビデオ または AUX を選択し、押して ⓢ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ オート、16：9表示、4：3表示、またはワイドスクリーンを選択し、押して ⓢ 確定します。
項目の前のドットは現在選択されている形式を示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⦅◎⦆、設定を選択し、押して ⓢ 確定します。

テレビモード

概要

テレビ機能

COMANDシステムで、地上デジタルテレビを受信できます。これにより、CD並みの高音質の音源、高解像度の画質で、走行中も鮮明で乱れのない映像を提供できます。

テレビチューナーは以下のテレビ機能をサポートしています。

- SDTV画質のマルチチャンネルテレビ
  SDTV（標準精細度テレビ） - 標準解像度テレビ
- フルセグメントテレビとしてのHDTVテレビ
  HDTV（高精細度テレビ）
- ワンセグメントテレビとしての携帯テレビ
- フルセグメントとワンセグメントテレビとの間の自動切換えは、現在の受信状況によって異なります。
- フルセグメントテレビ用のBMLデータ受信
- チャンネルのスキップ
  テレビチャンネルが同一内容の複数の番組を放送している場合は、"手動でチャンネルを選択する" 機能により、これらは自動的にスキップされます (▷ 268 ページ)。
- 以下のサービス
  受信品質に応じて、テレビチューナーは同じ番組内容で、より受信状態の良い代替チャンネルに自動的に切り替えます。
- 電子番組ガイド（EPG）
- 挿入したB-CAS カードに関する情報の表示
- 放送番組メール
- 言語選択のサブタイトル
- 現在の番組の追加情報の表示（テロップ）
- 音声言語の選択
  オーディオ設定および"追加オプション" メニューで音声言語を選択することができます。
- 緊急警告システム

ℹ COMANDシステムのテレビチューナーは、HDTV（高解像度テレビ）の信号を受信したりデコードしたりできます。ただし、COMANDディスプレイではテレビの映像は標準画質で表示されます。
COMANDシステムは双方向テレビの機能はサポートしていません。

ℹ 地上デジタルテレビは、UHF/VHFの周波数範囲で受信できます。

受信品質

車両が移動する間に受信状態が絶えず変化することで、信号が遮断されることがあります。受信状態が悪い場合は、

COMAND システム は音声を停止したり、映像を非表示にしたりすることがあります。このことを示すために、斜め線の入った電波塔がディスプレイに表示されます。

ⓘ 車内に置かれた携帯型電子機器はテレビの受信を著しく損ねるおそれがあります。

B-CASカードの情報

デジタル放送の知的所有権の保護のために、受信機器にはB-CASカードを挿入しなければなりません。

このカードはすでに、テレビチューナーに挿入されています。

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズが所有しています。カードは、「B-CASカード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」に基づいて運用されています。

詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

B-CASカード使用上の注意

- デジタルテレビチューナーからB-CASカードを抜き取らないでください。

  デジタルテレビチューナーからB-CASカードを抜き取りたい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。
- デジタルテレビチューナーに挿入されているB-CAS カード は地上デジタル受信のみをサポートしています。

  B-CAS カードは、BS（Broadcast Satellite：放送衛星）または110° CS（Communication Satellite：通信衛星）を介したデジタル受信用に適合したデジタル受信機器には対応していません。

B-CASカードが以下のような場合にはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

- B-CASカードが盗難された場合
- B-CASカードが損傷した場合
- B-CASカードを紛失した場合

ⓘ COMANDシステムでテレビ放送を受信する前には必ず、「B-CASカード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」をお読みの上、署名が必要となります。

ⓘ B-CASカードを交換した場合は、ID番号は変更されます。

以下に、B-CASカードの20桁のID番号があります。

- センターコンソールカバーの内側
- チューナーのメッセージラベルの1つ
- "その他の機能"メニューから呼び出すことができる"B-CAS カード情報" 表示 (▷ 275 ページ)

ⓘ B-CASカードに関する問い合わせの際は、ID番号が必要になります。

テレビモードへの切り替え

▶ 押す VIDEO

または

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーの TV/映像を選択し、押して ◎ 確定します。

  前回選択されていたモードがテレビモードであれば、テレビモードが起動します。

  他のモードに切り替わった場合は、ビデオメニューでテレビモードに切り替えることができます。

▶ TV/映像を選択して、押して ◎ 確定します。

  ビデオメニューが表示されます。

P82.87-7985-31

例：ビデオメニュー

▶ テレビを選択して、押して ⊛ 確定します。
まだ受信可能な場合は以前に選択したテレビチャンネルが表示されます。

コントロールメニュー

全体的な注意事項

ナビゲーションメニューには以下が表示されます。

- 論理チャンネル番号
- チャンネル名
- 放送番組の名前
- 放送用の情報マーク
- 保存されたチャンネルが設定されている場合は、プリセット位置の番号

コントロールメニューを表示する

P82.87-9171-31

コントロールメニュー

① 選択されたテレビチャンネルのプリセット位置
② 論理チャンネル番号（LCN）および選択したテレビチャンネル
③ 番組タイトル（現在の放送）
④ 番組情報マーク（使用可能な場合）

全画面モード：テレビメニューが非表示になり、テレビ映像が表示されます。

▶ 全画面モードで、COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓。

または

▶ テレビモードに切り替えた場合、またはテレビ映像が全画面画像で表示された場合は、VIDEO スイッチを押します。
コントロールメニューが約8秒間表示されます。

ℹ COMANDコントローラーを全画面モードでまわしたときは ⟲◎⟳、コントロールメニューも表示されます。同時に他のテレビチャンネルが設定されます(▷ 268 ページ)。

ℹ 車両が 5 km/hより速く走行している場合は、運転席のテレビ映像が非表示になり、コントロールメニューが一時的に表示されます。テレビ映像はスプリットビュー経由で助手席乗員に表示され続け、コントロールメニューが約8秒間表示されます。

論理チャンネル番号（LCN）は3または4桁で構成されています。

- 1桁目：テレビの種類（例：フルセグメントテレビ）
- 2桁目：プリセット位置の番号
- 3桁目：メインまたはサブ番組

ⓘ 同じプリセット位置を要求している2つのチャンネルを受信した場合は、例えば011-0 と 011-1のようにそれらを区別する4桁目が追加されます。

コントロールメニューを非表示にする

▶ コントロールメニューが表示されているときに、COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓。

ⓘ 約8秒後に、メニューは自動的に非表示になります。

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下の表は、利用可能な番組情報マーク（例）のリストです。

手	手話付き放送
デ	番組連動データ付き放送
S	ステレオ放送
二	二か国語放送
多	音声多重放送
解	解説あり放送
N	ニュース放送
再	再放送
新	新番組
字	字幕

ⓘ このリストに挙げられているもの以外のマークがディスプレイに表示されることがあります。しかし、対応する機能が常にCOMANDシステムでサポートされているわけではありません。

テレビメニューの表示/非表示

テレビメニュー

テレビの映像は全画面モードで表示されます。

▶ **テレビメニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します ◉。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間に メニュー を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ **テレビメニューを非表示にする：** COMANDコントローラーをスライドし ↑◎、押して ◉、全画面表示 を確定します。

チャンネルの自動記憶（チャンネル検索）

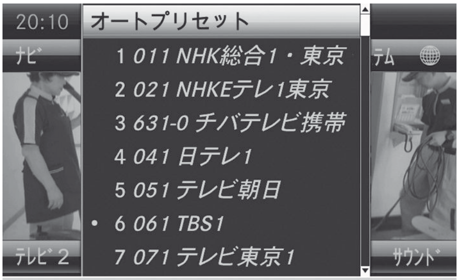
COMANDシステムは、日本のARIB (**A**ssociation of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses：社団法人 電波産業会）規格に従って、十分な受信状態にあるチャンネルを12個までそれぞれチャンネルメモリー（テレビ1、テレビ2）に自動的に記憶します。これは受信可能なチャンネルが受信品質の順に記憶されないことを意味します。プリセットに空きがある可能性もあります。例は東京でのプリセット 10 です（2012年時点）。メモリーに以前記憶されたいかなるチャンネル（自動または手動でも）も消去されます。

テレビチャンネルは論理チャンネル番号（LCN）を使用して登録されます。

受信状態によって、チャンネルメモリーには以下のものが含まれます。

- フルセグメントテレビのあるチャンネル
- フルセグメントとワンセグメントテレビのあるチャンネル
- ワンセグメントテレビのあるチャンネル

ⓘ 定期的な間隔でチャンネルメモリーを更新してください。これにより現在のチャンネルリストの映像が表示されます。



P82.87-9170-31

▶ **テレビメニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します。

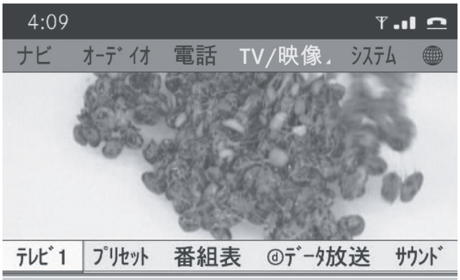
▶ COMANDコントローラーをまわして、プリセットを選択し、押して確定します。

▶ オートプリセットを選択して、押して確定します。

オートプリセット実行中... というメッセージが表示されます。COMANDシステム が十分な受信状態のチャンネルを探します。受信可能な放送局は自動的にプリセット位置に記憶されます。

▶ **自動記憶を終了する：** 記憶処理中にCOMANDコントローラーを押します。

テレビ1とテレビ2の切り換え

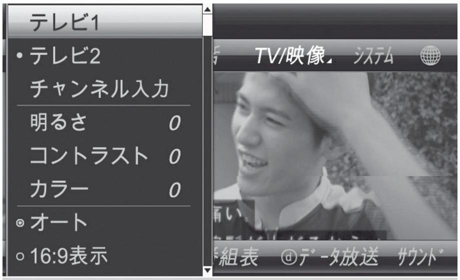


P82.87-7380-31

▶ **テレビメニューを表示する：** COMANDコントローラーを押します。

▶ COMANDコントローラーをまわして、テレビ1またはテレビ2を選択し、押して確定します。

設定メニューが表示されます。



P82.87-9178-31

ドット ● は現在の選択を示しています。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、テレビ 1またはテレビ 2を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 例えば、テレビ 1 には自宅周辺のよく視聴するチャンネルを記憶させます。テレビ 2には他の地域を走行するときに地元のチャンネルを記憶させるといった使い方ができます。

テレビチャンネルの選択

手動でチャンネルを選択する

ℹ チャンネルを手動で設定する前に、まずチャンネル検索を使用してチャンネルを自動的に登録しなければなりません(▷ 267 ページ)。

機能はチャンネルスキップを使用します：テレビチャンネルが同一内容の複数の番組を放送している場合は、自動的にスキップされます。

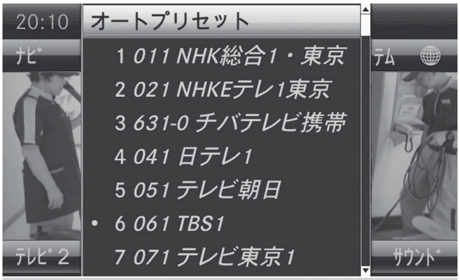
▶ COMANDコントローラーをまわすか ◎ 、スライドします ←◎→ 。

または

▶ ⏮ または ⏭ ボタンを押します。
テレビチューナーは、前または次のチャンネルを選択します。

ℹ ナビや電話、システム機能では、⏮ または ⏭ スイッチを使用してのチャンネル設定を行なうこともできます。

チャンネルプリセット経由でのチャンネルの設定



P82.87-9170-31

チャンネルプリセット

まず、チャンネル検索を使用して自動的に、または手動で(▷ 269 ページ)チャンネル(▷ 267 ページ)を登録します。

COMANDシステムでのチャンネルの選択

▶ **オプション1：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して◎、メニューを表示します。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、プリセットを選択し、押して ◎ 確定します。
チャンネルプリセットメモリーが表示されます。プリセット位置の前にあるドット ● はそこに登録されているチャンネルが現在設定されていることを示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、チャンネルを選択し、押して ◎ 確定します。

- **オプション2：2** のようにテンキーを軽く押します。
  ナビゲーションメニューが約8秒間表示されます。

ℹ 記憶されているチャンネルの番号のみを選択できます。

ℹ ナビや電話、システム機能のときは、テンキーを使用してチャンネルを設定することもできます。しかし、これは文字入力メニューでは機能しません。

例：マルチファンクションディスプレイ

① チャンネル帯 テレビ1またはテレビ2

② プリセット位置および論理チャンネル番号付きの現在設定されているチャンネル

マルチファンクションステアリングを使用してのチャンネルの設定

- COMANDシステムをテレビモードに切り替えます(▷ 264 ページ)。
- ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオ メニューを選択します。
- ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。
  次または前のプリセット位置のチャンネルが選択されます。
- ▲ または ▼ スイッチを押して保持します。
  マニュアル検索が開始され、受信可能な次のチャンネルで停止します。

チャンネルを入力してのチャンネルの選択

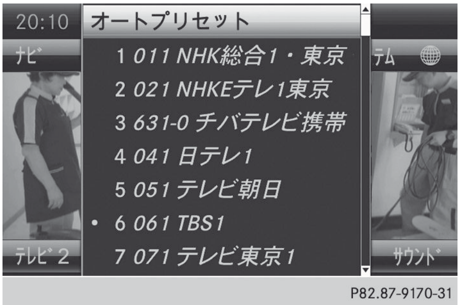
- **オプション1：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して ⊛、メニューを表示します。
  テレビメニューが表示されます。
- COMANDコントローラーをまわして〔◎〕、ﾃﾚﾋﾞ 1またはﾃﾚﾋﾞ 2を選択し、押して ⊛ 確定します。
- チャンネル入力 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  設定メニューが表示されます。
- **オプション2：** テレビ再生中に ＊ スイッチを押します。
  どちらのオプションでも、スクリーン上部に入力バーが表示されます。
- **チャンネル番号を入力する：** 対応するテンキーを押します。
  4桁を入力すると、COMANDシステムは自動的に適切なチャンネルを選択します。

ℹ 例えば ２ ７ などの最初の2桁を入力して ⊛ で確定した場合は、次の2桁が自動的に ０ １ と入力されます。

13から52の範囲にない数字で始まるチャンネルを入力した場合は、チャンネルをお確かめください というメッセージが表示されます。

- **メッセージを確認する：** COMANDコントローラーを押します ⊛ 。

テレビチャンネルの記憶



チャンネル検索(▷ 267 ページ)を使用して、チャンネルプリセット TV1 および TV2 に自動的にチャンネルを登録することが最も簡単です。12個までの受信可能なチャンネルが日本のARIB（Association of Radio Industries and Businesses：社団法人電波産業会）規格に従って登録されます。

手動でもテレビ 1 および テレビ 2 それぞれに12のチャンネルを登録することができます。

▶ **オプション1：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して ⊛、メニューを表示させます。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、プリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。
チャンネルプリセットメモリーが表示されます。プリセット位置の前にあるドット ● は、そこに登録されたチャンネルが現在設定されていることを示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、好みのプリセット位置を選択します。

▶ 確認音が聞こえるまでCOMANDコントローラーを押して ⊛ 保持します。
選択したプリセット位置にチャンネルが記憶されます。そしてテレビ画面が再び表示されます。

▶ **オプション2：** テレビ映像を表示して、音が聞こえるまで **2** のようにテンキーを押して保持します。
対応するプリセット位置にチャンネルが記憶されます。

以下のサービス

機能が作動している： 受信品質によって、以下のようにテレビチューナーが切り替わります。

- フルセグメントとワンセグメントとの間で自動的に
- 同じ番組内容でより良い受信状態の代替チャンネルに

この機能を使用して、受信品質にかかわらず、最良の可能なテレビ映像を見つけることができます。

機能が解除している： チャンネルは変更されません。これは例えば、 重なっている受信地域で車両を運転している場合など有効です。チャンネル間で後や前に頻繁に切り替わることを避けます。

チャンネルを手動で登録する場合は、チャンネルプリセットにはインジケーター FIX(▷ 269 ページ) が含まれます。

以下の場合、FIX インジケーターがテレビ映像に表示されます。

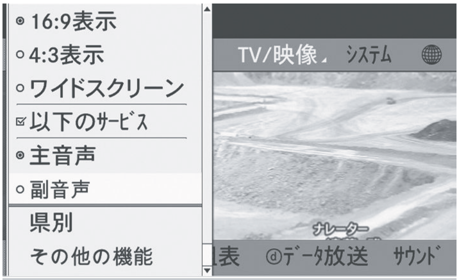
- 機能が解除されている
- 過去に手動で登録され、インジケーターを含むチャンネルプリセットからチャンネルを選択した

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して⊛、メニューを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、テレビ 1またはテレビ 2を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 以下のサービス を選択し、押して ⊛ 確定します。
以前の設定によって、機能のオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。

オーディオ設定



P82.87-8428-31

複数のオーディオトラックがある番組を受信できる場合は、聴きたいオーディオチャンネルを選択することができます。主音声 を使用してメインチャンネルを選択でき、副音声 を使用してさらにオーディオトラックを選択できます。

"その他の機能" メニューを使用して、オーディオ設定への変更を行なうこともできます。そこに行なわれた変更は、主音声 および 副音声 にも影響します。ここに記載された設定は、同様に"その他の機能" メニューのオーディオ設定に影響します。

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して、メニューを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、ﾃﾚﾋﾞ 1またはﾃﾚﾋﾞ 2を選択し、押して 確定します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎、主音声 または 副音声 スイッチを選択し、押して 確定します。
項目の前にあるドット ● は選択した設定を示しています。

現在の番組および番組予告の表示

P82.87-9179-31

フルセグメントテレビ： 選択しているチャンネルでの現在の番組および以降の12番組の詳細を表示することができます。

ワンセグメントテレビ： 現在の番組、および現在設定しているチャンネルによっては以降の10番組までの詳細を表示することができます。

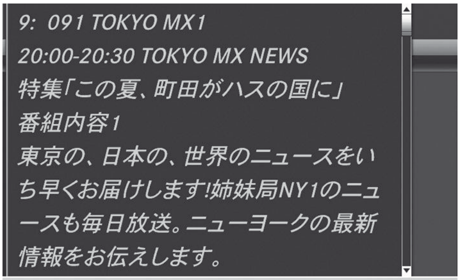
▶ **テレビメニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して、メニューを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、番組表を選択し、押して 確定します。
電子番組予告は以下の情報を表示します。

- チャンネルプリセット、論理チャンネル番号および放送局名
- 放送時間
- 番組名
- 番組情報に関するマーク（使用可能な場合）

P82.87-9169-31

▶ **番組情報を表示する：** COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、回して ◎、番組を選択し、押して ◎ 確定します。



P82.87-9177-31

▶ **マルチページ番組情報が使用可能な場合：** COMANDコントローラーをまわして ◎、それを表示します。

▶ **一つ前の画面に戻る：** COMANDコントローラーの左側のリターンスイッチ ⮌ を押します。

または

▶ COMANDコントローラーを押します ◎。

データの受信

全体的な注意事項

番組やテレビ受信状況によっては、常にデータを受信できるわけではありません。

COMANDシステムのテレビ機能は以下のものには対応していません。

- ワンセグデータの受信
- 双方向データ受信

BMLデータサービスの都道府県の設定

お客様の都道府県でテレビチャンネルおよび参照付きBMLデータを受信するために、以下の設定を行なうことができます。

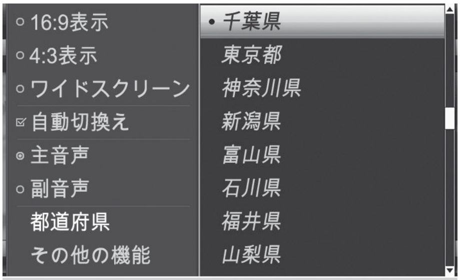
これにより、例えば、東京のNHK総合チャンネルが選択されているときも、都道府県リストで選択することにより、石川県の天候データを表示できます。

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して ◎、メニューを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、テレビ1またはテレビ2を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 県別を選択し、押して ◎ 確定します。

データ受信の都道府県リストが表示されます。項目の前のドット ● は現在選択されている都道府県を示しています。



P82.87-9176-31

データ受信の都道府県リスト

▶ COMANDコントローラーをまわして ◎ 、データを受信する都道府県を選択し、押して ◎ 確定します。

データの内容を表示する

P82.87-7387-31

テレビメニューを表示する

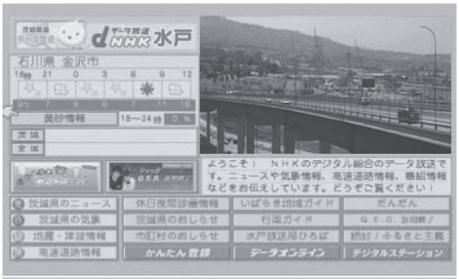
▶ テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して ⊙、メニューを表示します。

データ内容のメニュー項目を選択する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、d データ放送を選択し、押して ⊙ 確定します。

データの内容が表示されます。

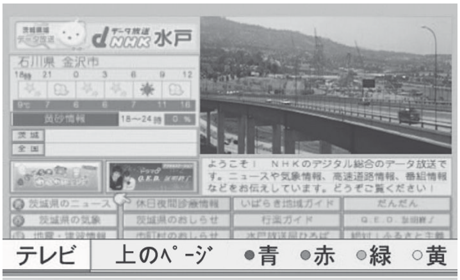
ℹ 受信状態が悪いときは、d データ放送は灰色で表示され選択できません。



P82.87-5767-31

ℹ データの内容を受信して適切なページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

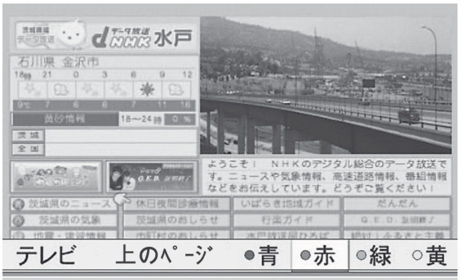
▶ COMANDコントローラーをスライドする ↑◎↓ か、←◎→ して、メニュー項目を選択し、押して ⊙ 確定します。



P82.87-5768-31

▶ データの内容が表示されているときに、COMANDコントローラーをまわします 〔◎〕。

画面の下部に、メニューバーが表示されます。



P82.87-5769-31

カラーメニュー項目を選択する

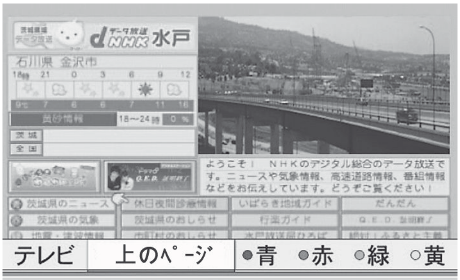
▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、青、赤、緑、または黄を選択します。

▶ 押して ⊙ 確定します。

受信するデータの内容によっては、内容が、青・赤・緑・黄の異なる色で表示されることがあります。内容は、それぞれのチャンネルによって異なります。

メニューバーを非表示にする

▶ メニューバーが表示されているときに、COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓。



P82.87-5770-31

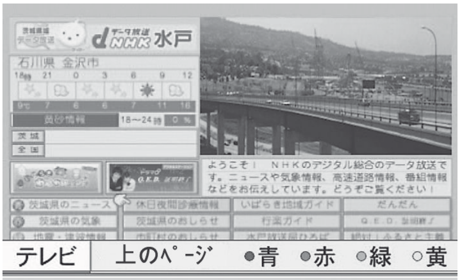
前のコンテンツのページに戻る

▶ コンテンツのページを表示させて、COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メニューバーで ページアップ を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ COMANDコントローラーの左隣にあるリターンスイッチ ⊡ を軽く押します。

データ受信を終了してテレビ放送に戻る



P82.87-5771-31

▶ メニューバーを表示させて、COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、テレビを選択します。

または

▶ COMANDコントローラーの左隣にあるリターンスイッチ ⊡ を押して保持します。

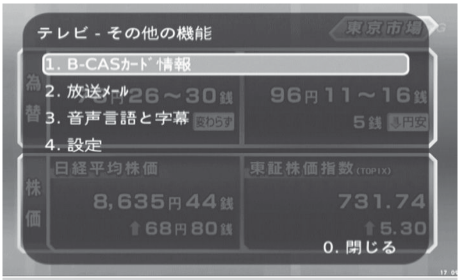
その他の機能

概要

この機能を使用して以下のことができます。

- B-CASカードに関する情報の表示
- 放送番組メール経由での追加情報の受信
- オーディオチャンネルおよび言語の選択、同様に言語選択を使用しての字幕の作動/解除
- 言語選択を使用しての解説/追加情報の作動および解除（テロップ）
- 緊急警告システム（EWS）の作動

"TV - その他の機能" メニュー



P82.87-9172-31

▶ **メニューを呼び出す：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して ⊛、メニューを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、ﾃﾚﾋﾞ 1またはﾃﾚﾋﾞ 2を選択し、押して ⊛ 確定します。

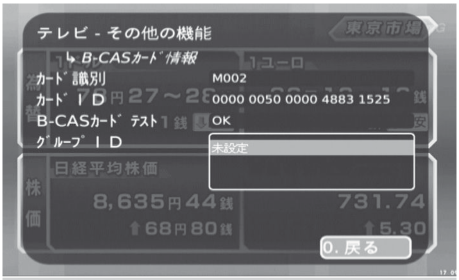
▶ その他の機能 を選択し、押して ⊛ 確定します。
"TV - その他の機能" メニューが表示されます。

▶ **メニューを終了する：**0. 中止 を選択し、押して 確定します。

または

▶ リターンスイッチ を軽く押すか（メニューの最上位階層）、または押して保持します（メニューの下位階層で）。

B-CAS カードに関する情報の表示



P82.87-9173-31

以下の情報を表示することができます。

- メーカーのIDおよびカードのバージョンのあるカード識別
- ID番号
- テスト情報（OKまたはOKではない）
- グループID（可能なとき）

ℹ グループIDが使用可能でない場合は、項目 未設定 が表示されます。

▶ **メニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して 、メニューを表示します。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 、ﾃﾚﾋﾞ 1またはﾃﾚﾋﾞ 2を選択し、押して 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して 確定します。
"その他の機能" メニューが表示されます。

▶ B-CAS ｶｰﾄﾞ 情報 を選択し、押して 確定します。
ID番号とさらなる情報が表示されます。

▶ **表示を終了する：**0. 中止 を選択し、押して 確定します。

放送番組メール

放送番組メールを使用して、テレビ/ラジオチャンネルから、一方向のさらなる情報を受信することができます。

▶ **メニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して 、メニューを表示します。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 、ﾃﾚﾋﾞ 1またはﾃﾚﾋﾞ 2を選択し、押して 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して 確定します。
"その他の機能" メニューが表示されます。

▶ 放送メール を選択し、押して 確定します。
日時と一緒に使用可能なメッセージがリストに表示されます。

▶ **メッセージを読む：** COMANDコントローラーをまわして 、メッセージを選択し、押して 確定します。
メッセージの内容が表示されます。

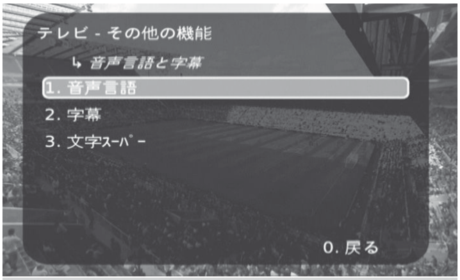
▶ **メッセージを消去する：**1. 削除 を選択し、押して 確定します。

▶ はいまたはいいえを選択します。
はい を選択すると、メッセージが削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

▶ **機能を終了する：** 0. 中止 を選択し、押して ⊛ 確定します。

言語、字幕およびテロップの選択



P82.87-9174-31

▶ **メニューを表示する：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押します ⊛。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、ﾃﾚﾋﾞ 1またはﾃﾚﾋﾞ 2を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して ⊛ 確定します。
"その他の機能" メニューが表示されます。

▶ 言語と字幕を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

音声言語の選択

▶ メニューから 音声言語 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMANDと同期 または使用可能な音声言語の1つを選択します。
COMANDと同期 は、COMANDシステムに現在設定されているシステム言語を選択します。設定をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。

英語のような使用可能な音声言語の1つを選択した場合は、この設定は現在の番組で使用されます。同様に COMANDと同期 が作動している場合は、この設定は以下の番組で使用されます。

▶ **メニューを終了する：** 0. 戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

字幕の選択

▶ メニューから 字幕言語 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 字幕言語 を選択し、押して ⊛ 確定します。
字幕を作動 ☑ または解除 □ します。

▶ COMANDと同期 または使用可能なサブタイトルの1つを選択します。
COMANDと同期 は、COMANDシステムに現在設定されているシステム言語を選択します。設定をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。

英語のような使用可能な言語の1つでサブタイトルを選択した場合は、この設定は現在の番組に使用されます。同様に、COMANDと同期 が作動している場合は、この設定は以下の番組で使用されます。

▶ **メニューを終了する：** 0. 戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

テロップの選択

▶ メニューから 文字ｽｰﾊﾟｰ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ テロップ を選択し、押して ⊛ 確定します。
テロップを作動 ☑ または解除 □ します。

▶ COMANDと同期 またはテロップに使用可能な言語の1つを選択します。
COMANDと同期 は、COMANDシステムに現在設定されているシステム言語を選択します。設定をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。

テロップは、選択した言語で追加情報またはコメントを表示します。

英語のような使用可能な言語の1つでテロップを選択した場合は、この設定は現在の番組に使用されます。同様に、 COMANDと同期 が作動している場合は、この設定は以下の番組で使用されます。

▶ **メニューを終了する：** 0. 戻る を選択し、押して 確定します。

ℹ 字幕およびテロップは初期状態では解除されています。

字幕機能または テロップ が作動している場合は、番組が変更されると表示されます（使用可能な場合）。

緊急警告システム（EWS）

P82.87-8312-31

メッセージ例

▶ **EWSの解除/作動させる：** テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して 、メニューを表示します。

▶ COMANDコントローラーをまわして 、テレビ 1またはテレビ 2を選択し、押して 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 緊急放送自動選局を選択し、押して 確定します。
以前の設定によって、機能を作動 ☑ または解除 □ します。

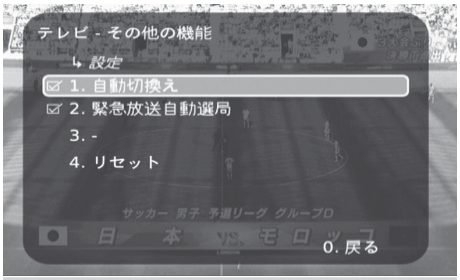
機能が作動している： テレビモードが作動している間に、受信したチャンネルの1つからテレビチューナーがEWS 信号を受信した場合は、このチャンネルに切り替わります。

自然災害警告中は、入ってくるメッセージはまず音声メッセージとして知らされ、次に現在の番組中に文字および図形情報として表示されます。チャンネルは、その後特別放送に切り替わることがあります。さらなる自然災害警告を受信した場合は、取るべき緊急措置と同様に出来事に関する使用可能な情報も聞こえます。

新しい自然災害警告を受信した場合は、自然災害警告に切り替えたいかどうかをたずねる確認がCOMANDディスプレイに表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して 確定します。
はい は、EWSに切り替えます。
いいえ は、確認を閉じます。

設定



P82.87-9175-31

- テレビ映像が表示されているときに、COMANDコントローラーを押して ⓧ、メニューを表示します。
- COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、テレビ 1またはテレビ 2を選択し、押して ⓧ 確定します。
- その他の機能 を選択し、押して ⓧ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ⓧ 確定します。
- **自動切換えを作動・解除する：**自動切換え を選択し、押して ⓧ 確定します。
  以前の設定によって、機能を作動 ☑ または解除 ☐ します。

  自動切換えに関するさらなる情報 (▷ 270 ページ)。
- **放送局リストの設定を実行する：**COMANDコントローラーを使用して 放送局リスト設定 を選択し、押して ⓧ 確定します。
- Display data-service-only stations（データサービスのみの放送局の表示） を選択します。
  設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

  データサービスのみの放送局とは、例えば音声または映像コンテンツのないBML データサービスです。
- **設定をリセットする：**リセット を選択します。
  リセットしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ⓧ 確定します。

  はい を選択した後に、設定は工場出荷時の設定にリセットされます。いいえ は、手順を中止します。
- **メニューを終了する：**戻る を選択し、押して ⓧ 確定します。

DVDビデオモード

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

CD/DVDドライブはクラス1のレーザー製品です。CD/DVDドライブのケースを開いた場合は、目に見えないレーザー放射に晒される危険性があります。レーザー放射は目の網膜を損傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

ケースを開かないでください。メンテナンス作業および修理は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ **警告**

走行中にディスクを取り扱う場合は、交通状況から注意がそれます。車のコントロールを失うおそれもあります。事故の危険性があります。

車両が停止しているときにのみディスクを取り扱ってください。

わずか50 km/h の速度でも、車両は1秒間に14 m の距離を走行しているということを念頭に置いてください。

ディスクに関する注意事項

! ディスクにシールやラベルを貼らないでください。剥がれて、COMANDシ

ステムを損傷するおそれがあります。シールはディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーやディスク認識不良につながるおそれがあります。

! COMANDシステムは、EN 60908規格に準拠するディスクを再生するように設計されています。そのため、厚さが最大で1.3mmまでのディスクのみ使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク(片面にDVD、もう片面にオーディオデータなど)を挿入すると、取り出すことができなくなり、機器を損傷するおそれがあります。

12cm径の円形ディスクのみを使用してください。8cm径のディスクはアダプタを装着しても使用しないでください。

コピーされたディスクを再生する場合は、再生に問題が生じることがあります。多くの種類のディスク、DVDオーサリングソフト、ライティングソフト、ライターが利用できます。この多様性のため、お客様自身でコピーしたディスクをシステムで再生することについては保証できません。

DVD再生要件

COMANDシステムは、以下の規格に応じて作成されたDVDビデオを再生できます。

- リージョンコード2またはリージョンコード0（リージョンコードなし）
- PALまたはNTSC規格

DVD ビデオがPALまたはNTSC 規格に準じていない場合は、映像、音または再生に問題を生じることがあります。

関連のある詳細は、通常DVDのディスク本体またはDVDケースにあります。

i 別のリージョンコードのDVDビデオを挿入すると、それに対応するメッセージが表示されます。

i COMANDシステムは工場出荷時にリージョンコード2に設定されています。この設定はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で変更することができます。これにより、PALまたはNTSC規格で作成されたものであれば、他のリージョンコードのDVDビデオを再生できます。リージョンコードは最高5回まで変更することができます。

機能の制限

DVDによっては、一部の機能または操作が、一時的に利用できなかったり、またはまったく機能しない場合があります。これらの機能や操作を実行しようとすると、画面に ⊘ マークが表示されます。

DVDの挿入と取り出し

▶ "CD/DVDの挿入と取り出し" (▷ 224 ページ) に記載されているように進めます。

DVDビデオモードへの切り替え

オプション 1

▶ DVDドライブにDVDビデオを挿入します。
COMANDシステムが挿入されたメディアを読み取って、再生を開始します。

オプション 2

▶ COMANDコントロールパネルの VIDEO スイッチを押します。

または

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、基本機能バーで ビデオ を選択し、押して ◎ 確定します。

最後に選択されていたモードがDVDビデオモードの場合は、ここではそれが起動します。

別のビデオソースに切り替わった場合は、TV/映像メニューでDVDビデオモードに切り換えます。

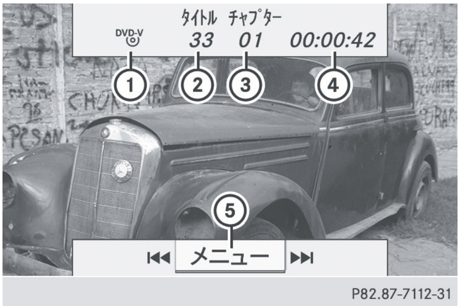
▶ **ビデオメニュー経由でオンにする：** 基本機能バーでCOMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、ビデオ を選択し、押して ◎ 確定します。

ビデオメニューが表示されます。

▶ DVDビデオ を選択し、押して ◎ 確定します。

ナビゲーションメニューの表示/非表示

DVDメニューが表示されている場合は、この機能は使用できません(▷ 282 ページ)。



表示されるナビゲーションメニュー

① データメディアの種類

② 現在のトラック

③ 現在のシーン

④ 経過時間

⑤ メニューの表示

▶ **表示する：** DVDビデオモードで、COMANDコントローラーをスライドします ↑◎↓。

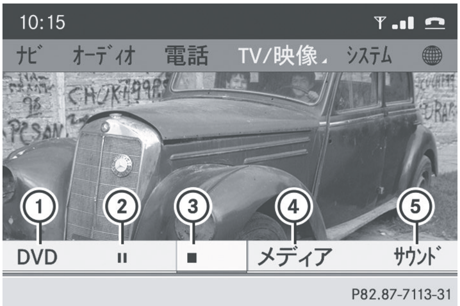
▶ **非表示にする：** COMANDコントローラーをスライドするか ↑◎↓、リターンスイッチ ⮌ を押します。

または

▶ 約8秒待ちます。

メニューの表示/非表示

DVDメニューが表示されている場合は、この機能は使用できません(▷ 282 ページ)。



表示されたメニュー

① DVDビデオオプション

② 一時停止機能

③ 停止機能

④ メディアの選択

⑤ サウンドの設定

- **表示する：** 全画面DVDビデオモードで、COMANDコントローラーを押します ⊙。

または

- コントロールメニューが表示されている間に メニュー を選択し、押して ⊙ 確定します。
- **非表示にする：** COMANDコントローラーをスライドして ↑◎ 、押して ⊙、全画面表示 を確定します。

早送り/早戻し

- 全画面DVDビデオモードで、希望の位置に達するまでCOMANDコントローラーをスライドして保持します ←◎→。

または

- 希望の位置になるまで、 ⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。
  情報メニューが表示されます。

停止機能

- メニューを表示します（▷ 280 ページ）。
- **再生を中断する：** COMANDコントローラーをまわして ◎ 、 ■ を選択し、押して ⊙ 確定します。
  ⏸ の表示が ▶ に変わります。ビデオ映像が消えます。
- **再生を再開する：** ▶ を選択し、押して ⊙ 確定します。
  中断された場所から再生が再開されます。
- **再生を停止する：** 再生が中断しているときに再度 ■ を選択し、押して ⊙ 確定します。

または

- 再生中に、素早く2回続けて押して ⊙、 ■ を確定します。
  ▶ が選択されます。
- **再生を再び開始する：** 押して ⊙、 ▶ を確定します。
  再生が先頭から開始されます。

一時停止機能

- メニューを表示します（▷ 280 ページ）。
- **再生を一時停止する：** COMANDコントローラーをまわして ◎ 、 ⏸ を選択し、押して ⊙ 確定します。
  ⏸ の表示が ▶ に変わります。
- **再生を再開する：** ▶ を選択し、押して ⊙ 確定します。
  メニューが消えます。

シーン/チャプターの選択

映像が複数のシーンまたはチャプターに分割されている場合は、再生中に直接それらを選択したり、1つずつ次にスキップさせることができます。一部のDVDには、特定の箇所でこのことを行なうことができません（オープニングクレジット中など）。

また、DVD内に記録されているメニュー内からシーン/チャプターを選択することもできます。

ℹ DVDによっては、この機能はまったく利用できない、またはDVDメニューで利用できない箇所があります。そのことを示すために、画面に ⊘ マークが表示されます。

▶ **前または後にスキップする：** 全画面モードで、COMANDコントローラーをまわすか ⟲◎⟳、またはスライドします ←◎→。

または

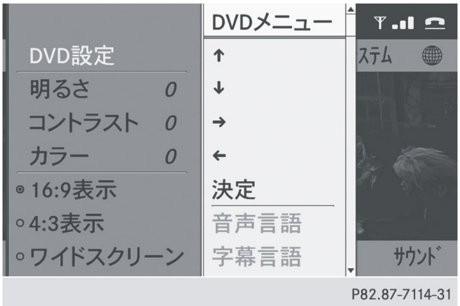
▶ コントロールパネルにある ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
ナビゲーションメニュー(▷ 265 ページ)が約8秒間表示されます。

▶ **マルチファンクションステアリングで：** COMANDシステムでDVDビデオモードをオンにします (▷ 279 ページ)。

▶ ◀ または ▶ スイッチを使用して、オーディオ メニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、シーン/チャプターを選択します。
▲ または ▼ スイッチを押して一定時間保持すると、高速スクロールが始まります。

映像/タイトルの選択



DVD 機能メニュー

この機能は、DVDが複数の映像/タイトルに分割されている場合にのみ利用できます。DVDに複数の映像が含まれている場合には、これらを直接選択することができます。映像は、DVDが再生中でも、停止していても選択できます。

映像はDVDのディスク本体にあるメニューからも選択できます。

▶ メニューを表示します (▷ 280 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、DVD を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ DVD設定を選択し、押して ◎ 確定します。
DVD機能メニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、タイトルサーチを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 映像/タイトルを選択し、押して ◎ 確定します。

DVDメニュー

DVDメニューを呼び出す

DVDメニューはDVD本体に記録されているメニューです。このメニューは、個々のDVDによってさまざまな方法で構成されていて、特定の動作や設定を行なうことができます。

例えば、マルチランゲージDVDの場合、DVDメニューでDVDの言語を変更することができます。

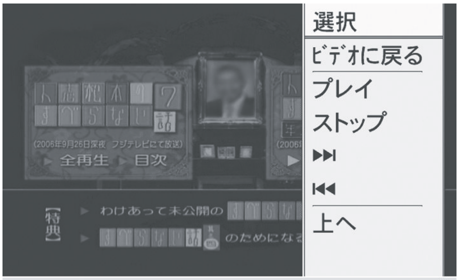
▶ メニューを表示します (▷ 280 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、メニューにあるDVDを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ DVD設定を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ DVDメニューを選択し、押して ◎ 確定します。
DVDメニューが表示されます。

DVDメニューでメニュー項目を選択する



P82.87-7115-31

- DVDメニューを表示します (▷ 282 ページ)。
- COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、←◎→、メニュー項目を選択し、押して 確定します。

  メニューが表示されます。
- **選択した内容を再確認する：** 押して 、選択 を確定します。

  必要に応じて、詳細オプションから選択を行ないます。
  その後、COMANDシステムはDVDメニューに戻ります。

ⓘ 選択できないメニュー項目は灰色で表示されます。

ⓘ DVDによっては、メニュー項目のビデオに戻る、プレイ、ストップ、 ▶▶ 、 ◀◀ または 上へ が作動しない、またはDVDの特定の箇所でしか作動しないことがあります。そのことを示すために、画面に ⊘ マークが表示されます。

DVDメニューの1つ上の階層に移動する

- DVDメニューを表示します (▷ 282 ページ)。
- DVDメニューの中の対応するメニュー項目を選択し、COMANDコントローラーを押して 確定します。

または

- DVDメニューの中の任意のメニュー項目を選択し、COMANDコントローラーを押して 確定します。
- 上へを選択し、押して 確定します。

映像に戻る

- 映像が再開されるまで、リターンスイッチ ⮌ を繰り返し押します。

または

- DVDメニューから対応するメニュー項目を選択します。
- メニューで ビデオに戻る のメニュー項目を選択し、押して 確定します。

言語とオーディオフォーマットの設定

この機能は、すべてのDVDで利用できないことがあります。利用可能であれば、音声言語やオーディオフォーマットを設定できます。設定数は、DVDのコンテンツによります。DVDメニューから設定にアクセスすることが可能なこともあります(▷ 282 ページ)。

- DVDメニューを表示します (▷ 282 ページ)。
- COMANDコントローラーをまわして ◎ 、メニューにあるDVDを選択し、押して 確定します。
- DVD設定を選択し、押して 確定します。

▶ 音声言語 を選択し、押して ⊛ 確定します。
しばらくするとメニューが表示されます。項目の前にあるドット ● は、現在選択されている言語を示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

字幕とカメラアングル

この機能は、すべてのDVDで利用できないことがあります。利用可能な字幕言語およびカメラアングルの数は、DVDのコンテンツによります。DVDメニューから設定にアクセスすることが可能なこともあります(▷ 282 ページ)。

▶ DVDメニューを表示します (▷ 282 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、メニューにあるDVDを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ DVD設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 字幕言語またはアングルを選択し、押して ⊛ 確定します。
どちらの場合も、メニューが表示されます。項目の前にあるドット ● は現在の設定を示しています。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

インタラクティブコンテンツ

DVDによっては、インタラクティブコンテンツ（例：ビデオゲーム）が収録されていることがあります。ビデオゲームでは、例えばアクションを選択または開始することによってイベントに影響を与えることができます。アクションの種類と数はDVDによって異なります。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎↓、←◎→、アクションを選択し、押して ⊛ 実行します。
メニューが表示され、最初の項目選択が強調されます。

▶ COMANDコントローラーを押します ⊛。

ビデオAUX操作

外部ビデオソースを接続する

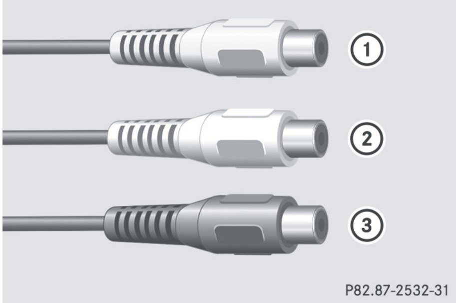
外部ビデオソースはさまざまな音量になっているため、交通案内やナビゲーション音声案内などのシステムメッセージが非常に大きくなることがあります。必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

車両にメディアインターフェースが装備されている場合は、外部ビデオソースを接続することができます。

外部ビデオソースをメディアインターフェースに接続するには、追加のオーディオ/ビデオケーブルが必要です。

詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

接続ソケットはセンターコンソールの小物入れにあります。



オーディオ/ビデオソケット

① ビデオポート (V) (黄)

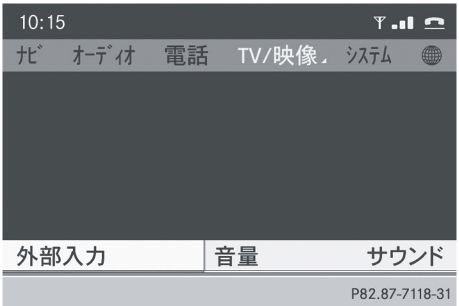
② オーディオポート (L) (白)

③ オーディオポート (R) (赤)

ℹ 正しく再生するには、適合するビデオ規格が外部ビデオソースに設定されていなければなりません。

▶ 外部機器を対応するポートに接続します。

ビデオAUXモードに切り替える



ビデオAUXモード

▶ メディアインターフェースモードが選択されるまで AUDIO 機能スイッチを繰り替えし押します。

または

▶ COMANDコントローラーをまわして ⟲◎⟳、基本機能バーで ﾋﾞﾃﾞｵ を選択し、押して ◎ 確定します。

前回選択されていたモードがビデオAUXモードであれば、ビデオAUXモードが起動します。

別のビデオソースに切り替わった場合は、ビデオメニューでビデオAUXモードに切り換えます。

▶ TV/映像を選択して、押して ◎ 確定します。

▶ 外部入力を選択して、押して ◎ 確定します。
ビデオAUXメニューが表示されます。
外部ビデオソースが接続され、再生されていれば、外部ビデオソースのコンテンツを視聴できます。

メニューの表示/非表示

▶ **表示する：** ビデオAUXモードで、COMANDコントローラーを押します ◎。

▶ **非表示にする：** COMANDコントローラーをスライドして ↑◎ 、押して ◎、全画面表示 を確定します。

音量とサウンドの設定

情報：

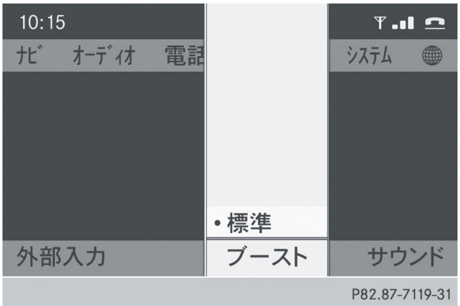
• 音量の設定 (▷ 26 ページ)

• サウンドの設定 (▷ 26 ページ)

ℹ 外部ビデオソースとして接続されている機器は、車内では静かにまたはうるさくなったり、または通常の最大音量が

得られないことがあります。機器によっては、音量を個別に調整できる場合もあります。この場合には、適度な音量から少しずつ音量を上げていきます。これによって、システムが歪みのない大きな音量で音楽再生が可能かどうかを確認することができます。

COMANDシステムの音量を上げる



▶ ビデオ AUX メニューを表示します (▷ 285 ページ)。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、音量 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 標準 または ブースト を選択し、押して ◎ 確定します。
標準：外部ビデオソースの音量を標準値に調整します。
ブースト：外部ビデオソースの音量を約 10 dB 増加させます。

画像ビューワー

概要

作動しているデータメディアに画像がある場合は、それらを表示できます。2000万画素までの解析度の画像を表示できます。

データメディア	サポートされている画像フォーマット
画像ファイルのあるCD/DVD	bmp、jpeg、jpg、png
USB機器 (スティック、ハードドライブ) SDメモリーカード	bmp、jpeg、jpg、png

カテゴリーリストを呼び出す

▶ 以下のように画像のあるデータメディア（例：メモリーカード）を選択します。
- オーディオメニューで (▷ 220 ページ)
- メディアリストで (▷ 228 ページ)

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎↓ まわして 〔◎〕、基本画面で ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます (▷ 236 ページ)。

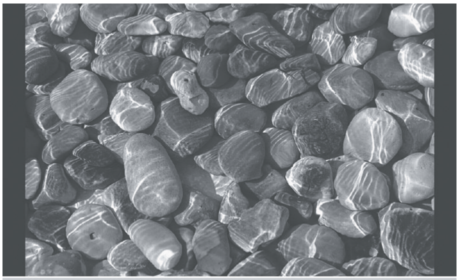
画像を表示する

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーリスト(▷ 236 ページ) から 写真 を選択し、押して ◎ 確定します。
フォルダのディレクトリが表示されます。

▶ 写真のあるフォルダを選択し、押して ◎ 確定します。
フォルダは既存の画像ファイル (例) を表示します。

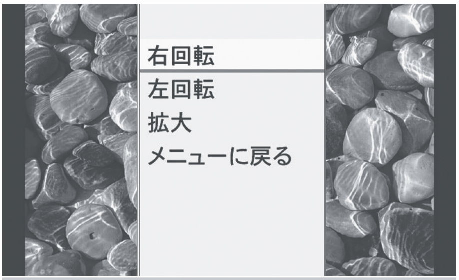
P82.87-7120-31

- 写真を選択し、押して 確定します。
  写真が表示され、音楽が停止します。



P82.87-7121-31

画像表示を変更する



P82.87-7122-31

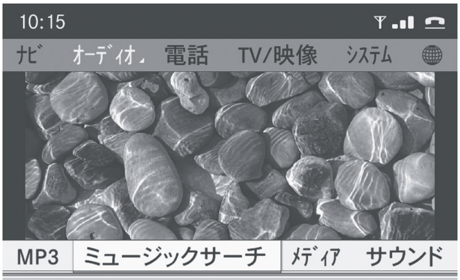
- 画像を表示している間に(▷ 286 ページ)、COMANDコントローラーを押します 。
  メニューが表示されます。
- **画像を時計回りにまわす：** COMANDコントローラーを押して 、右回転を確定します。
- **反時計回りに画像をまわす：** COMANDコントローラーをまわして 、反時計回り を選択し、押して 確定します。
- **画像を拡大する：** COMANDコントローラーをまわして 、ズーム を選択し、押して 確定します。
  画像を拡大した後に、画像部分を動かすことができます。
- COMANDコントローラーをスライドします または 。
- **元のサイズに戻す：** COMANDコントローラーを押します 。

または

- リターンスイッチ を押します。

画像ビューワーを終了する

- COMANDコントローラーをまわして 、メニューで メニューに戻る を選択し、押して 確定します。



P82.87-7123-31

COMANDシステムの特徴 290
概要 290
基本機能 296
システムの設定 298
音楽CD/DVDオーディオおよびMP3モード 299
テレビモード 305
DVDビデオモード 310
COMANDシステムのソースモードの作動 315
外部入力モード 318

COMANDシステムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMANDシステムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。記載されているすべての機能が、COMANDシステムに装備されていないことがあることに注意してください。

概要

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

CD/DVDドライブはクラス1のレーザー製品です。CD/DVDドライブのケースを開いた場合は、目に見えないレーザー放射に晒される危険性があります。レーザー放射は目の網膜を損傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

ケースを開かないでください。メンテナンス作業および修理は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ **警告**

ヘッドホン/ヘッドセットまたは外部オーディオ/ビデオソースのような物が車室内に固定されていない場合は、投げ出されたり、車両乗員にぶつかることがあります。急ブレーキまたは突然の進路変更のときなどに、けがの危険があります。

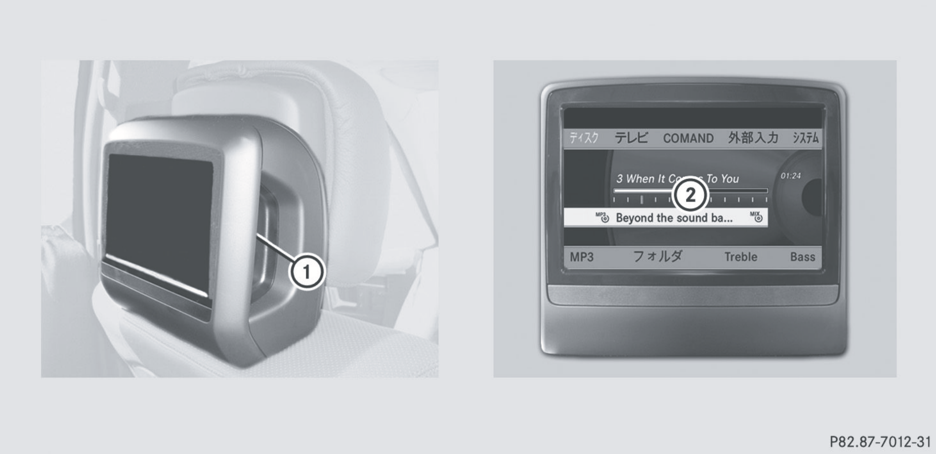
これらの物、または類似の物は常に、飛び出したりしないように、ロックできる車両の小物入れに注意して収納してください。

構成部品

リアエンターテインメントシステムには以下が含まれます。

- フロントシートのヘッドレストの後背面の2つの画面
- リモコン
- CD/DVDドライブ
- 両方のディスプレイの外部入力端子（ディスプレイ外部入力端子）およびCD/DVDドライブの外部入力端子（ドライブ外部入力端子）
- 2組のコードレスヘッドホン

後席用ディスプレイ



① AUXジャック、"CD/DVD ドライブとAUX ジャック" に詳細表示があります。(▷ 292 ページ)

② ディスプレイ

リモコン

概要

① ディスプレイのオン/オフを切り替える

② スイッチ照明のオン/オフを切り替える

③ リモコン操作を行なうディスプレイを選択する

④ メニューまたはメニュー項目を選択する

⑤ 選択または設定を確定する

⑥ ミュート

⑦ 音量を調整する

⑧ スキップしたり、早送り・早戻しする

⑨ トラックを選択する、トラックを直接入力する

⑩ メニューを終了する (戻る)

リモコンで画面を選択する

リモコンを使用して、2つの後席画面のうちの1つ、または助手席のスプリットビューを操作することができます。そうするためには、リモコンを希望の画面に切り替えなければなりません(▷ 291 ページ)。

▶ 左側画面を選択する： "L REAR" がウインドウで強調されるまで、ダイアル ③ をまわします。

▶ 右側画面を選択する： "R REAR" がウインドウで強調されるまで、ダイアル ③ をまわします。

▶ スプリットビューを選択する： "SPLITVIEW" がウインドウで強調されるまで、ダイアル ③ をまわします。

ディスプレイのオン/オフを切り替える

エンジンスイッチのキーが 0 または 1 の位置にあるとき (車両の取扱説明書をご覧ください)、またはキーが差し込まれていないときは、30分後にリアのディスプレイが消えます。ディスプレイが消える前に、この結果に関するメッセージが表示されます。

ディスプレイをオンに戻すことができます。ただし、これにより始動用バッテリーが上がることがあります。

▶ リモコン操作で選択した後席用ディスプレイにリモコンを向けます。

▶ リモコンのスイッチ ① を押します (▷ 291 ページ)。
それぞれの後席用ディスプレイのオン/オフが切り替わります。

ℹ イグニッションがオンのときにのみ、リモコンを使用してディスプレイをオンにできます。

スイッチ照明のオン/オフを切り替える

▶ リモコンのスイッチ ② を押します (▷ 291 ページ)。
以前の状態に応じて、スイッチ照明のオン/オフが切り替わります。

ℹ リモコンを約15 秒間操作しないでいると、スイッチ照明は自動的に消えます。

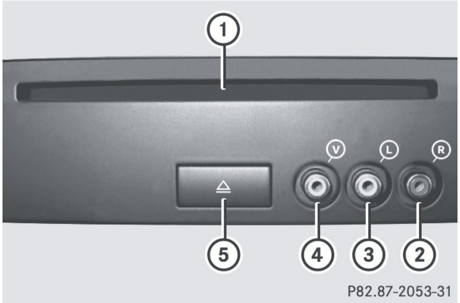
ミュート

▶ リモコンのスイッチ ⑥ を押します (▷ 291 ページ)。
サウンドのオン/オフが切り替わります。

メニュー/メニュー項目を選択したり、選択を確定する

▶ リモコンの ◀ ▶ ▲ ▼ スイッチを使用してメニュー/メニュー項目を選択し、OK スイッチを押して確定します。

CD/DVDドライブおよび外部入力端子



① CD/DVDスロット

② 外部入力端子：右側（R）音声用（赤）

③ 外部入力端子：左側（L）音声用（白）

④ 外部入力端子：映像（V）用（黄色）

⑤ CD/DVDディスク排出スイッチ

表示されている外部入力端子はドライブ外部入力端子です。同じ端子が後席画面（外部入力画面）の右側にあります (▷ 291 ページ)。

コードレスヘッドホン

概要

① 音量の調整
② ヘッドホンの画面の選択
③ 電池収納部カバー
④ コードレスヘッドホンのオン/オフの切り替え
⑤ 表示灯 (▷ 294 ページ)

▶ ヘッドホンの両側を開き、ヘッドホンバンドを矢印の方向に引いてヘッドホンの装着感を調整します。

コードレスヘッドホンのオン/オフを切り替える

▶ スイッチ ① を押します。

前回の状態に応じて、ヘッドホンはオンまたはオフになります。電池を保護するため、オーディオ信号を約3分間受信しないと、ヘッドホンは自動的にオフになります。

ヘッドホンの音量を調整する

▶ 希望の音量に設定されるまで、音量ダイアル ① をまわします。

ℹ コードレスヘッドホンを後席画面に接続した場合は、リモコンを使用して音量を調整することができます(▷ 291 ページ)。

ヘッドホンに対応するディスプレイを選択する

▶ スライドスイッチ ① を**L**（左側ディスプレイ）または**R**（右側ディスプレイ）に動かします。

表示灯の表示

表示灯の色は、ヘッドホンの電源のオン/オフを表し、電池の充電レベルを表示します。

LEDディスプレイ	状態
緑	電池は良好な状態にある。
赤色	電池の残量がほとんどない。
連続点灯	ヘッドホンの電源がオンになっていて、ディスプレイに接続されている。

LEDディスプレイ	状態
点滅	ヘッドホンが接続するディスプレイを検索している。
オフ（暗い）	ヘッドホンの電源がオフになっているか、または電池の残量がない。

追加のヘッドホンを接続する

追加の1組のコード付ヘッドホンを、2つの後席画面のそれぞれに接続することができます(▷ 291 ページ)。 端子は、3.5 mmステレオジャックおよびインピーダンス32オームのヘッドホン用に設計されています。

電池の交換

注意

⚠ **警告**

電池には毒性および腐食性を持つ物質が含まれています。 電池を飲み込んでしまうと、深刻な健康上の問題を引き起こすことがあります。 致命的なけがをするおそれがあります。

電池は子供の手の届かないところに置いてください。 電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

環境保護に関する注意

使用済みの電池は環境保護の観点から責任を持って適切に廃棄してください。

リモコンおよび2組のコードレスヘッドホンには電池が必要です。電池は交換することができます(▷ 295 ページ)。

リモコン

① 電池収納部
② ノブ
③ 電池収納部カバー
④ ツメ
⑤ 電池

リモコンには2個の単4、1.5 V 電池が収納されています。

- **電池収納部を開く：** リモコン背面の電池収納部カバー ③ を取り外します。
- そうするためには、ツメ ② を押し下げ、電池収納部カバー ③ を取り外します。
- トレーから放電した電池 ⑤ を取り外します。
- 新しい電池を差し込みます。このとき、電池と電池収納部に記載されている極性に注意してください。
  左側の電池：プラス（+）極が上方を向かなければなりません。

右側の電池：プラス（+）極が下方を向かなければなりません。

▶ **電池収納部を閉じる：** 電池収納部カバー ③ をツメ ④ から電池収納部に差し込み、ノブ ② をはめ込みます。

コードレスヘッドホン

① 電池収納部カバー

コードレスヘッドホンには2個の単4、1.5 V の電池が含まれています。

▶ **電池収納部を開く：** 電池収納部カバー ① を上方に開きます。電池が落ちないように、図のようにヘッドホンの左側を持ちます。

▶ 使用済みの電池を収納部から取り出します。

▶ 新しい電池を差し込みます。このとき、電池と電池収納部に記載されている極性に注意してください。
左側の電池：プラス（+）極が上方を向かなければなりません。
右側の電池：プラス（+）極が下方を向かなければなりません。

▶ **電池収納部を閉じる：** 所定の位置に固定されるまで、電池収納部カバーを押し下げます。
電池が正しく取り付けられると、ヘッドホンの電源をオンにしたときに表示灯が緑色に点灯します。

ℹ 電池を取り付けたヘッドホンの操作時間は最大40 時間です。

基本機能

ヘッドホンの使用

車載されているコードレスヘッドホンや後席用ディスプレイの対応する端子に接続しているコード付きヘッドホンを2セットまで使用することができます(▷ 291 ページ)。

情報：

- コードレスヘッドホンのオン/オフを切り替える
- ヘッドホンの音量を調整する
- ヘッドホンに対応するディスプレイを選択する

"コードレスヘッドホン" (▷ 293 ページ) にあります。

メインスピーカーの使用

この機能は、COMANDシステムとの組み合わせにより使用できます。

リアシートのディスクドライブに挿入したディスクを車両のスピーカーで聴くことができます。このためには、少なくとも1つの後席用ディスプレイをディスクモードに設定する必要があります。

▶ **COMANDシステムで設定する：** RADIO 機能スイッチを押して、オーディオモードをオンにします。

▶ COMANDコントローラーをスライドして ↑◎ 、オーディオを選択し、押して ◎ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。

▶ COMANDコントローラーをまわして 〔◎〕、後席を選択し、押して ◎ 確定します。

ⓘ ヘッドホンの音量設定はメインスピーカーには影響を及ぼしません。

サウンドの設定の選択

音楽CD/DVD/MP3、テレビ、DVDビデオ、および外部入力モードでサウンド設定を選択できます。

▶ 任意のモード（例えば、音楽CDモード）(▷ 299 ページ)にします。

▶ リモコンの ▼◀▶ スイッチを使用してTrebleまたはBassを選択し、OK スイッチを押して確定します。

調整スケールが表示されます。

▶ ▲▼ スイッチを使用して設定を選択し、OK スイッチを押して確定します。

マルチユーザー

後席ディスクドライブの同時使用

2つの後席用ディスプレイは、片方からほぼ完全に独立して操作することができます。しかし、2つのディスプレイを同時に使用した場合には一部のメニューで不一致が起こることがあります。

後席のディスクドライブを両方のディスプレイで同時に使用する場合には、特定のメニューを選択したり、片方のディスプレイを設定することによっても、他方のディスプレイに影響を及ぼします。

以下の操作は両方のディスプレイに影響を与えます。

- 再生オプションの変更
- トラックの選択（トラックリストまたはフォルダから）
- 再生、一時停止、および停止操作
- 早送り/早戻し、またはスクロール
- DVDメニューの表示、およびメニュー操作
- 言語、サブタイトル、およびカメラアングルの設定
- インタラクティブDVDコンテンツの呼び出し

以下の操作は1つのディスプレイにのみ影響を与えます。

- オーディオおよびビデオ操作、画質の調整
- 全画面表示とメニュー表示の切り替え

モード間の切り替え

任意のモード（例えば音楽CDモード）を終了するときに、現在の設定は保存されます。後にこのモードを再び呼び出す場合には、2つの可能性があります。

- モードが他のディスプレイによって変更されている。
- モードは変更されていない。

最初のケースでは、他のディスプレイで設定されたモードが表示されます。

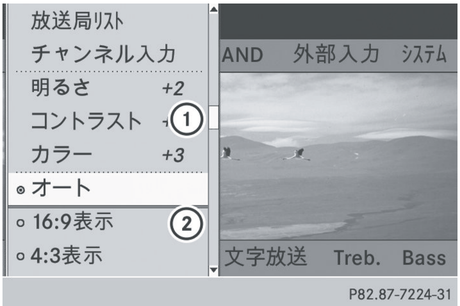
2番目のケースでは、前回終了したモードがディスプレイに表示されます。

画質の設定

概要

テレビ、DVDビデオおよび外部入力モードで画像の設定を選択することができます(▷ 318 ページ)。

明るさ、コントラスト、色合いを調整する



例：テレビモード

① 明るさ、コントラスト、および色合い

② 画面比率

- テレビモード(▷ 305 ページ)またはDVDビデオモード(▷ 310 ページ)にします。
- **メニューを表示する：** リモコンの ㊋ スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニュー (▷ 265 ページ) が表示されている間に、 メニュー を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
- どちらの場合も、 ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、テレビ または DVDビデオ を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
- ▲ ▼ スイッチを使用して明るさ、コントラスト、または色合いを選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
  調整スケールが表示されます。
- ▲ ▼ スイッチを使用して設定を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。

画面形式を変更する

- **メニューを表示する：** リモコンの ㊋ スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニュー (▷ 265 ページ) が表示されている間に、 メニュー を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
- ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、テレビ または DVDビデオ を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
  メニュー項目 16:9 表示、4:3表示 または ワイドスクリーン の1つの前にあるドットは、現在選択されているフォーマットを示しています。
- ▲ ▼ スイッチを使用して画面比率を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。

システムの設定

注意点

他方のディスプレイに影響を与えることなく、ほぼすべてのシステム設定をそれぞれのディスプレイで個別に調整できます。リモコンを使用してこれらの設定を行ないます(▷ 291 ページ)。

表示言語を選択する

- リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用して、システム を選択し、押して ㊋ 確定します。
  選択した後席用ディスプレイにシステムメニューが表示されます。

▶ ▼ スイッチを使用して、設定 を選択し、押して ⓞⓚ 確定します。

▶ ▲▼ スイッチを使用して言語/Languageを選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
言語の一覧が表示されます。現在の設定に ● が表示されます。

▶ ▲▼ スイッチを使用して言語を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
リアエンターテインメントシステムが選択した言語で作動します。

ディスプレイデザインの変更

▶ ▼ スイッチを使用して、設定 を選択し、押して ⓞⓚ 確定します。

▶ ▲▼ スイッチを使用して昼画面設定、夜画面設定、またはオートを選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
ドット は現在の設定を示します。

デザイン	説明
昼画面設定	ディスプレイは常に昼デザインに設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜デザインに設定されます。
オート	ディスプレイがメーターパネルの照明に応じて変わります。

照度設定アイコン

▶ ▼ スイッチを使用して、設定 を選択し、押して ⓞⓚ 確定します。

▶ ▲▼ スイッチを使用して 明るさ を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
スケールが表示されます。

▶ ▲▼ スイッチを使用して明るさを調整し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
明るさを示すバーが上下に動きます。画面はスケールに従って明るく、または暗くなります。

画面を非表示/表示する

▶ **画面を非表示にする：** リモコンの ▼▶ スイッチを使用してシステムメニューから画面OFFを選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
画面が表示されなくなります。

▶ **画面を表示する：** ⓞⓚ スイッチを押します。

音楽CD/DVDオーディオおよびMP3モード

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

CD/DVDドライブはクラス1のレーザー製品です。CD/DVDドライブのケースを開いた場合は、目に見えないレーザー放射に晒される危険性があります。レーザー放射は目の網膜を損傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

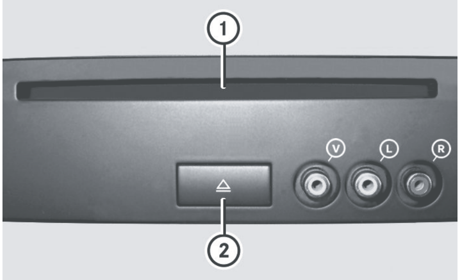
ケースを開かないでください。メンテナンス作業および修理は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

全体的な注意事項

オーディオの章に、以下の項目に関する情報が記載されています。

- CD/DVDに関する注意 (▷ 235 ページ)
- MP3モードに関する注意 (▷ 233 ページ)
- 著作権に関する注意 (▷ 235 ページ)

CD/DVDを挿入する



P82.87-2057-31

① ディスクスロット

② ディスク排出スイッチ

車両モデルおよび装備のレベルによって、CD/DVDドライブは以下にあります。

- 折りたたみ式小物入れのセンターコンソールの裏、または
- リアベンチシートの下、または
- 後席間の収納ボックスの中

P82.87-7225-31

CD/DVDドライブは、シングルディスクドライブです。すでにディスクが挿入されている場合は、別のディスクを挿入する前に取り出してください。

▶ ディスクをディスクスロットに挿入します。

ディスクの印刷されている面を上に向けてください。どちらの面にも印刷されていない場合は、再生しようとする面を下に向けて挿入してください。
ディスクがCD/DVDドライブに引き込まれます。

以下のときは、CD/DVDドライブがディスクを再生します。

- ディスクが正しく挿入され、かつ再生可能なディスクであるとき
- ディスクモード（音楽CD/DVDオーディオ/MP3モード）(▷ 301 ページ) に切り替えた後

MP3 CDのデータは最初にドライブによる読み込みが必要になります。フォルダおよびトラックの数によって、読み込みに時間がかかることがあります。

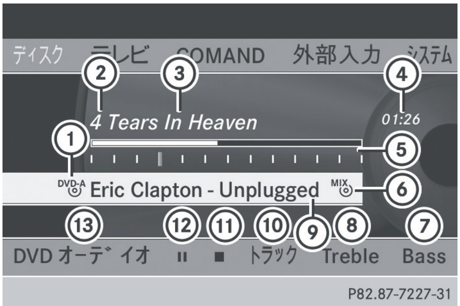
音楽CD、DVDオーディオ、またはMP3モードに切り替える

例：音楽CDモード

① データメディアの種類CD
② トラック番号
③ トラック名表示（CDテキストとしてディスクに記録されている場合のみ）
④ 経過時間
⑤ 経過時間とトラックのグラフ表示
⑥ 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）
⑦ 低音の調整
⑧ 高音の調整
⑨ ディスク名（CDテキストとしてディスクに記録されている場合）
⑩ トラックリストの呼び出し
⑪ 再生オプション

▶ CD/DVDを挿入します(▷ 300 ページ)。
挿入されたディスクをリアエンターテインメントシステムが読み込みます。

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用して、メニューで ディスク を選択し、OK スイッチを押して確定します。
再生したいモードになります。リアエンターテインメントシステムがディスクを再生します。



例：DVDオーディオモード

① データメディアの種類DVD-A
② トラック番号
③ トラック名（ディスクに記録されている場合）
④ 経過時間
⑤ 経過時間とトラックのグラフ表示
⑥ 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）
⑦ 低音の調整
⑧ 高音の調整
⑨ ディスク名（ディスクに記録されている場合）
⑩ トラックリストの呼び出し
⑪ 停止機能
⑫ 一時停止機能
⑬ 再生オプション

例：MP3モード

① データメディアの種類MP3
② トラック番号

③ トラック名表示

④ 経過時間

⑤ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑥ 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）

⑦ 低音の調整

⑧ 高音の調整

⑨ ディスク名または現在のフォルダ

⑩ フォルダリストの呼び出し

⑪ 再生オプション、トラック情報オン/オフの切り替え

ℹ 可変ビットレートのMP3ファイルでは、経過時間表示が実際の経過時間と異なることがあります。

トラックの選択

トラックをスキップして選択する

▶ **トラックを前方または後方にスキップする**：リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

経過したトラック時間が8秒を過ぎると、機能はトラックの始めにスキップします。経過した時間が短い場合は、前のトラックの始めにスキップします。

再生オプションの ランダム または ランダム（フォルダ） が選択されている場合は、トラック順は順不同になります。

トラックリストにより選択する

音楽CDモードでは、現在再生しているディスク内のすべてのトラックがトラックリストに含まれます。

DVDオーディオモードでは、現在選択しているグループ内のすべてのトラックがトラックリストに含まれます。“オーディオフォーマットを設定する”（▷ 232 ページ）をご覧ください。

MP3モードでは、現在選択しているフォルダ内のすべてのトラック、およびMP3 CD内のすべてのトラックが選択できるようにフォルダ階層が表示されます。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、曲（音楽CD/DVDオーディオモード）またはフォルダ（MP3モード）を選択し、OK スイッチを押して確定します。

または

▶ 表示/選択ウインドウが作動しているときに、OK スイッチを押します。

トラックリストが表示されます。ドット ● は現在のトラックを示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してトラックを選択し、OK スイッチを押して確定します。

トラック番号を直接入力して選択を行なう

▶ リモコンの ＊ スイッチを押します。

トラック入力画面が表示されます。

例：トラック2

▶ 番号スイッチ **2** を押します。

例：トラック12

▶ 対応するテンキーを素早く続けて押します。

▶ 入力後、約3秒間待ってください。
入力したトラックが再生されます。その後に対応する基本メニューが表示されます。

ℹ CDに収録されているトラックの数、または現在選択されているフォルダにあるトラックの数を上回る番号の入力はできません。

早送り / 早戻し

▶ 表示/選択ウインドウが選択されているときに、リモコンの ◀ または ▶ スイッチを、再生したい位置になるまで繰り返し押します。

または

▶ 希望の位置になるまで、⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。

フォルダを選択する

この操作はMP3モードのときのみ有効です。

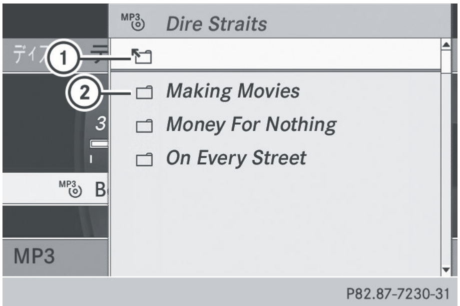
▶ リモコンの ▼◀▶ スイッチを使用してMP3モードからフォルダを選択し、OK スイッチを押して確定します。

または

▶ 表示/選択ウインドウが作動しているときに、OK スイッチを押します。
フォルダの内容が表示されます。

① フォルダ選択マーク
② 現在のフォルダ名
③ トラックマーク

▶ **上の階層のフォルダに切り替える：** リモコンの ▲▼ スイッチを使用して、マーク ① を選択し、OK スイッチを押して確定します。
画面に上位の階層のフォルダが表示されます。



① フォルダ選択マーク
② フォルダマーク

▶ ▲▼ スイッチを使用してフォルダを選択し、OK スイッチを押して確定します。
フォルダ内のトラックが表示されます。

▶ ▲▼ スイッチを使用してトラックを選択し、OK スイッチを押して確定します。
トラックが再生されて、該当するフォルダが現在のフォルダになります。

一時停止機能

この操作はDVDオーディオモードのときのみ有効です。

- **再生を一時停止する**：リモコンの ▼◀▶ スイッチを使用して ❚❚ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  ❚❚ の表示が ▶ に変わります。
- **再生を続ける**：▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  ▶ の表示が ❚❚ に変わります。

停止機能

この操作はDVDオーディオモードのときのみ有効です。

- **再生を中断する**：リモコンの ▼◀▶ スイッチを使用して ■ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  ❚❚ の表示が ▶ に変わります。
- **再生を続ける**：▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  中断された場所から再生が再開されます。
- **再生を停止する**：再生が中断されている間に、■ を再び選択し、OK スイッチを押して確定します。
  再生が中止され、DVDの最初に戻ります。▶ が強調されます。
- **再生を再開する**：▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  DVDの最初から再生が開始されます。

オーディオフォーマットを設定する

オーディオフォーマットに関するさらに詳しい情報は“オーディオ”(▷ 232 ページ)に記載されています。

- リモコンの ▼◀▶ スイッチを使用して、DVDオーディオ を選択し、押して OK 確定します。
- ▲▼ スイッチを使用してグループを選択し、OK スイッチを押して確定します。
  利用可能なオーディオフォーマットのリストが表示されます。ドット ● は現在選択されているフォーマットを示しています。
- ▲▼ スイッチを使用してオーディオフォーマットを選択し、OK スイッチを押して確定します。
- **メニューを終了する**：◀ または ▶ スイッチを押します。

再生オプション

再生オプションに関するさらに詳しい情報は“オーディオ”(▷ 233 ページ)に記載されています。

- リモコンの ▼◀▶ スイッチを使用してCD、DVDオーディオ、またはMP3を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  オプションリストが表示されます。ドット ● は現在選択されているオプションを示しています。
- ▲▼ スイッチを使用してノーマル、ランダム、またはランダム（フォルダ）を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  オプションがオンになります。ノーマルを除くすべてのオプションでは、表

示/選択ウインドウに対応するディスプレイが表示されます。

ℹ 現在聞いているデータキャリアを切り替えると、ノーマル オプションが自動的に作動します。オプションが選択されていると、リアエンターテインメントシステムをオン/オフした後でも、選択されたままになります。

トラック情報のオン/オフを切り替える（MP3モードのみ）

この機能を有効にすると、フォルダおよびトラック名が表示されます。

この機能を無効にすると、ディスクおよびファイル名が表示されます。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用してMP3を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して トラック情報表示 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
前回の状態に応じて、この機能はオン ☑ またはオフ ☐ になります。

テレビモード

全体的な注意事項

チャンネルの品質受信に関するさらなる情報は、COMANDシステムのテレビモードにあります (▷ 263 ページ)。

テレビモードへの切り替え

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用して TVを選択し、OK スイッチを押して確定します。
受信可能な状態であれば、前回選択されたテレビチャンネルが表示されます。

コントロールメニューの表示/非表示

P82.87-7231-31

① 選択されたテレビチャンネルのプリセット位置
② 番組情報マーク
③ 選択されたテレビチャンネル
④ メニューの表示

▶ **表示する：** リモコンの ▲ または ▼ スイッチを押します。

▶ **非表示にする：** ▲ または ▼ スイッチを押します。

または

▶ 約8秒後に、メニューは自動的に非表示になります。

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下の表は、利用可能な番組情報マーク（例）のリストです。

手	手話付き放送
デ	番組連動データ付き放送
S	ステレオ放送
二	二か国語放送
多	音声多重放送

解	解説あり放送
B	圧縮Bモードステレオ放送
N	ニュース放送
再	再放送
新	新番組

上記以外のマークが表示されることがありますが、リアエンターテインメントシステムでは対応していません。

メニューの表示/非表示

① テレビメニュー項目の呼び出し
② チャンネルプリセットの呼び出し
③ 番組表
④ 文字放送
⑤ 高音の調整
⑥ 低音の調整

▶ **表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ **非表示にする：** ▲ スイッチを押して全画面表示を選択し、OK スイッチを押して確定します。

テレビ1とテレビ2の切り替え

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ ◀ ▶ スイッチを使用して テレビ1 または テレビ2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
テレビメニューが表示されます。

▶ ▼ ▲ スイッチを使用して テレビ1 または テレビ2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
テレビ1 または テレビ2 になります。

ℹ 例えば、テレビ 1 には自宅周辺の好みのチャンネルを記憶させます。他の地域を走行するときは、その地域のチャンネルを記憶させるためにテレビ2を使用します。

テレビチャンネルの選択

コントロールメニューを使用してチャンネルを選択する

▶ 表示/選択ウインドウがオンになっている間に、リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
アルファベット順のチャンネルリストから、前または次のチャンネルが選択されます。

チャンネルプリセット経由でのチャンネルの設定

▶ **メニューを表示する：** リモコンの ㊋ スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、㊋ スイッチを押して確定します。

例：チャンネルのメモリー

▶ ▲▼ スイッチを使用してチャンネルを選択し、㊋ スイッチを押して確定します。

または

▶ テンキーを押します。

チャンネル番号を入力してチャンネルを選択する

オプション 1：

▶ ✱ スイッチを押す。
チャンネル番号の入力画面が表示されます。

▶ テンキーを使用してチャンネル番号を入力します。
4桁のチャンネル番号を入力すると、チャンネルが選択されます。

▶ **入力した数字を消去する：** ⮌ スイッチを押します。

オプション 2：

▶ ◀▶ スイッチを使用して テレビ1 または テレビ2 を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。

▶ ▲▼ スイッチを使用して チャンネル を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
チャンネル番号の入力画面が表示されます。

▶ テンキーを使用してチャンネル番号を入力します。
4桁のチャンネル番号を入力すると、チャンネルが選択されます。

▶ **入力した数字を消去する：** ⮌ スイッチを押します。

ⓘ 13から62の範囲外の数字から始まるチャンネル番号を入力すると、チャンネルをお確かめください と表示されます。

テレビチャンネルの記憶

手動でチャンネルを記憶させる

放送局を10局までプリセットできます。

▶ **メニューを表示する：** リモコンの ㊋ スイッチを押すか、コントロールメニューが表示されている間に ㊋ スイッチを押して、メニュー を確定します。

▶ ◀▶ スイッチを使用して プリセット を選択し、㊋ スイッチを押して確定します。
チャンネルプリセットメモリーが表示されます。現在選択しているプリセット済みのチャンネルに、ドット • が表示されます。

▶ **チャンネルを記憶する：** ▲▼ スイッチを使用してプリセットを選択し、

Ⓞスイッチを確認音が鳴るまで押して保持します。

または

- 音が聞こえるまでテンキーを押して保持します。
  そしてテレビ画面が再び表示されます。

チャンネルを自動で記憶させる

COMAND システムは日本の ARIB (Association of Radio Industries and Businesses：社団法人電波産業会）規格に従って、十分な受信状態にあるすべてのチャンネルをチャンネルメモリー（テレビ1、テレビ2）に自動的に保存します。これは受信可能なチャンネルが受信品質の順に記憶されないことを意味します。たとえば東京では、プリセット10のような空いているプリセットがあることがあります。以前メモリーに記憶された（自動または手動でも）いかなるチャンネルも失われます。

- **メニューを表示する：** リモコンのⓄスイッチを押すか、コントロールメニューが表示されている間にⓄスイッチを押して、メニュー を確定します。
- ◀▶ スイッチを使用して プリセット を選択し、Ⓞスイッチを押して確定します。
- オートプリセット を選択し、Ⓞスイッチを押して確定します。
  リアエンターテインメントシステムが受信可能なチャンネルを探します。受信可能な放送局は自動的にプリセット位置に記憶されます。

番組表を表示する

P82.87-7358-31

- **メニューを表示する：** リモコンのⓄスイッチを押すか、コントロールメニューが表示されている間にⓄスイッチを押して、メニュー を確定します。
- ◀▶ スイッチを使用して 番組表 を選択し、Ⓞスイッチを押して確定します。
  放送時間と番組名、番組情報マークが表示されます。
- ▲▼ スイッチを使用して視聴したい番組を選択し、Ⓞスイッチを押して確定します。
  選択した番組の内容が表示されます。

文字放送

文字放送のオンとオフを切り替える

- **メニューを表示する：** リモコンのⓄスイッチを押します。

または

- コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、Ⓞスイッチを押して確定します。
- **オンにする：** ◀▶ スイッチを使用して 文字放送 を選択し、Ⓞスイッチを押して確定します。
  最初の文字放送のページが表示されます。

- **オフにする：** リターンスイッチ [↩] を押します。

文字放送のページを選択する

- **ページを直接選択する：** ページに対応するリモコンのテンキーを押します。
- **前/次のページを呼び出す：** [▲] または [▼] スイッチを押します。

ℹ 100から899の間の文字放送で可能なページのみを入力できます。

テロップ放送ページ

テロップ放送ページは複数のサブページから構成されています。一定の時間が経過すると表示が自動的に切り替わります。

データの受信を設定する

全体的な注意事項

ℹ 番組や電波状況によっては、データ放送を受信できない場合があります。

ℹ リアエンターテインメントシステムのテレビチューナーは日本語のワンセグ規格の受信をサポートしていません。

リアエンターテインメントシステムのテレビ機能は、双方向データサービスをサポートしていません。

データ放送受信地域の設定

それぞれの地域に合わせたデータ放送を受信するための設定を行ないます。

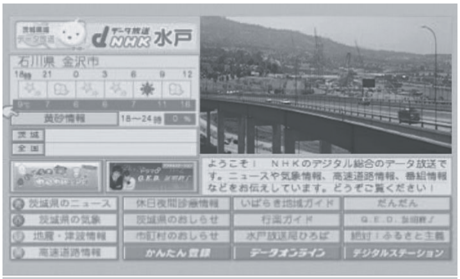
- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- [◀] [▶] スイッチを使用して テレビ1 または テレビ2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  テレビメニューが表示されます。
- スイッチ [▼] [▲] を使用して、県別 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- [▼] [▲] スイッチを使用してデータ放送を受信する都道府県を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  ドット ● は現在選択されている都道府県を示しています。

ℹ 他地域のテレビチャンネルの番組を視聴しているときでも、データ放送で表示される天気予報はあらかじめ設定した放送地域の天気予報が表示されます。

データ放送の受信に切り替える



P82.87-7359-31

- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- [◀] [▶] スイッチを使用して d アイコンを選択し、OK スイッチを押して確定します。
  データが表示されます。

視聴しているチャンネルでデータ放送が受信できないときは、d アイコンは灰色で表示され選択できません。

ℹ 受信データを表示するには時間がかかることがあります。

ℹ データ放送の内容およびメニューはチャンネルにより異なります。

データ放送のメニュー項目を選択する

▶ ▼▲◀▶ スイッチを押して希望の項目を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **色を選択する：** ◀▶ スイッチを使用して、赤、緑、黄 または 青 を選択し、押して OK 確定します。

選択した色の項目が表示されます。

▶ **前の画面に戻る：** ⮌ スイッチを押します。

データ受信を終了してテレビモードに戻る

▶ ⮌ スイッチを押して保持します。

音声チャンネル設定を表示する

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ ◀▶ スイッチを使用して テレビ1 または テレビ2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ▼▲ スイッチを使用して、主音声 または 副音声 を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ 現在選択している言語に、ドット • が表示されます。

DVDビデオモード

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

CD/DVD ドライブはクラス1のレーザー製品です。CD/DVD ドライブのケースを開いた場合は、目に見えないレーザー放射に晒される危険性があります。レーザー放射は目の網膜を損傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

ケースを開かないでください。メンテナンス作業および修理は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

全体的な注意事項

DVD再生要件

コピーされたディスクを再生する場合は、再生に問題が生じることがあります。多くの種類のディスク、DVDオーサリングソフト、ライティングソフト、ライターが利用できます。お客様ご自身でコピーしたDVDビデオをリアエンターテインメントシステムで再生できることを保証するという意味ではありません。

他の情報はビデオ (▷ 279 ページ) にあります。COMANDシステムに関する情報は、リアエンターテインメントシステムにも適用されます。

機能の制限

DVDによっては、この項の一部の機能や動作が一時的に制限されたり、まったく作動しない場合があります。これらの機能や操作を実行しようとすると、画面に ⊘ マークが表示されます。

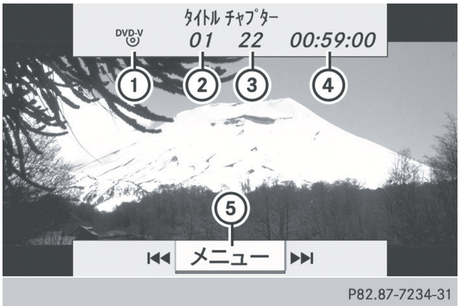
DVDビデオモードへの切り替え

▶ DVDビデオを挿入します(▷ 300 ページ)。
リアエンターテインメントシステムがディスクを読み込みます。
前回選択されていたモードがディスクモードであれば、ディスクモードが起動します。
そうでなければ、以下の説明に記載されているようにDVDビデオモードをオンにしてください。

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用して、メニューで ディスク を選択し、OK スイッチを押して確定します。
DVDビデオが再生基準を満たす場合、映画が自動的に始まったり、DVDに保存されているメニューが表示されます。DVDメニューが表示された場合は、手動で映画を再生させます。

▶ DVDメニューの中の対応するメニュー項目を選択します。

コントロールメニューの表示/非表示



コントロールメニュー
① データメディアの種類
② 現在のトラック
③ 現在のシーン
④ 経過時間
⑤ メニューの表示

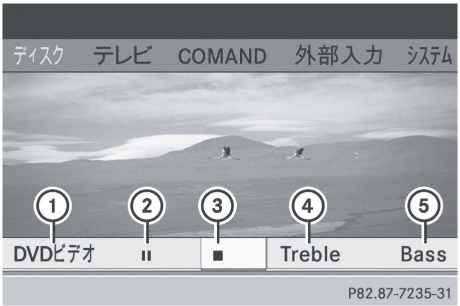
▶ **表示する：** リモコンの ▲ または ▼ スイッチを押します。

▶ **非表示にする：** ▲ または ▼ スイッチを押します。

または

▶ 約8秒待ちます。

メニューの表示/非表示



メニューシステム
① DVDビデオオプション
② 一時停止機能

③ 停止機能
④ 高音の調整
⑤ 低音の調整

▶ **表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ **非表示にする：** [▲] スイッチを押して全画面表示を選択し、OK スイッチを押して確定します。

早送り/早戻し

▶ 好みの位置になるまでリモコンの [⏮] または [⏭] スイッチを押して保持します。
コントロールメニューが表示されます。

一時停止機能

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ **再生を一時停止する：** [⏸] を選択し、OK スイッチを押して確定します。
[⏸] の表示が [▶] に変わります。

▶ **再生を続ける：** [▶] を選択し、OK スイッチを押して確定します。
メニューが消えます。

停止機能

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **再生を中断する：** [■] を選択し、OK スイッチを押して確定します。
[⏸] の表示が [▶] に変わります。ビデオ映像が消えます。

▶ **再生を続ける：** [▶] を選択し、OK スイッチを押して確定します。
中断された場所から再生が再開されます。メニューが消えます。

▶ **再生を停止する：** 再生が中断されている間に、[■] を再び選択し、OK スイッチを押して確定します。
再生が中止され、DVDの最初に戻ります。[▶] が強調されます。

▶ **再生を再開する：** [▶] を選択し、OK スイッチを押して確定します。
DVDの最初から再生が開始されます。

シーン/チャプターの選択

全体的な注意事項

DVDビデオモードの情報も遵守してください (▷ 281 ページ)。

前または後ろにスキップする

▶ リモコンの [◀] または [▶] スイッチを押します。

または

▶ [⏮] または [⏭] スイッチを押します。
ナビゲーションメニュー(▷ 280 ページ)が約8秒間表示されます。

シーン/チャプターを直接選択する

例としてシーン/チャプター 5の選択方法を示します。

- **オプション 1：** 映画を再生している間に、リモコンの [✱] スイッチを押します。
- 5 のように対応するテンキーを押します。

- **オプション 2：** 映画を再生している間に、リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
- DVDビデオ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- DVD設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- シーンサーチ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- [▲] または [▼] スイッチを使用して 5 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  どちらの場合も、しばらく停止した後に5番目のシーン/チャプターから再生が開始します。

映像/タイトルの選択

オプション 1：

- リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
- DVDビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。

P82.87-7236-31

- DVD設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- タイトルサーチ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- **選択リストを呼び出す：** OK スイッチを押します。
- 映像/トラックを選択します。

オプション 2：

例：映像2を選択する

- スイッチ 2 を押します。
  しばらく停止した後に、2番目の映像が再生されます。

DVDメニュー

DVDメニューを呼び出す

DVDメニューはDVD本体に記録されているメニューです。このメニューは、個々のDVDによってさまざまな方法で構成されていて、特定の動作や設定を行なうことができます。

例えば、マルチランゲージDVDの場合、DVDメニューでDVDの言語を変更することができます。

- リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
- DVDビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。

▶ DVD設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ メニュー を選択し、OK スイッチを押して確定します。
DVDメニューが表示されます。

DVDメニューでメニュー項目を選択する

P82.87-7237-31

▶ リモコンの ▲ ▼ ◀ ▶ スイッチを使用してメニュー項目を選択し、OK スイッチを押して確定します。
メニューが表示されます。

▶ OK スイッチを押して選択を確定します。
リアエンターテインメントシステムが動作を実行するか、またはサブメニューを表示します。

▶ 利用可能であれば、さらにオプションが選択できます。
リアエンターテインメントシステムがDVDメニューに戻ります。

ℹ 選択できないメニュー項目は灰色で表示されます。

ℹ DVDによっては、ビデオに戻る、プレイ、ストップ、⏮、⏭ または 上へ のメニュー項目がまったく機能しなかったり、DVDメニューの特定の箇所で機能しないことがあります。そのことを示すために、画面に ⦸ マークが表示されます。

映像を停止する、またはシーンの最初または最後にスキップする

▶ DVDメニューから任意のメニュー項目を選択します。
メニューが表示されます。

▶ **映像を停止する：** メニュー項目のストップ を選択し、リモコンの OK スイッチを押して確定します。

▶ **シーンの終わりにスキップする：** メニュー項目の ⏭ を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **シーンの始めにスキップする：** メニュー項目の ⏮ を選択し、OK スイッチを押して確定します。

DVDメニューの1つ上の階層に移動する

▶ DVDメニューを表示します 。

▶ リモコンのリターンスイッチ ↩ を押すか、DVDメニューで対応するメニュー項目を選択します。

または

▶ DVDメニューの中の任意のメニュー項目を選択し、COMANDコントローラーを押して 確定します。

▶ 上へを選択し、押して 確定します。

映像に戻る

▶ 映像が再開されるまで、リターンスイッチ ↩ を繰り返し押します。

または

▶ DVDメニューでいずれかのメニュー項目を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ メニュー項目のビデオに戻る を選択して、OK スイッチを押して確定します。

オーディオフォーマットを設定する

この機能は、すべてのDVDで利用できないことがあります。利用可能であれば、音声言語やオーディオフォーマットを設定できます。設定数は、DVDのコンテンツによります。DVDメニューから設定にアクセスすることも可能です。

▶ リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。

▶ DVDビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。

▶ DVD設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ 音声言語 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
しばらくするとメニューが表示されます。項目の前にあるドット • は、現在選択されている言語を示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して言語を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **メニューを終了する：** ◀ または ▶ スイッチを押します。

字幕とカメラアングル

この機能は、すべてのDVDで利用できないことがあります。利用可能な字幕言語およびカメラアングルの数は、DVDのコンテンツによります。DVDメニューから設定にアクセスすることも可能です。

▶ リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。

▶ DVDビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。

▶ DVD設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。

▶ サブタイトル または カメラアングル を選択して、OK スイッチを押して確定します。
どちらの場合にも、数秒後にメニューが表示されます。項目の前にあるドット • は現在の設定を示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して設定を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **メニューを終了する：** ◀ または ▶ スイッチを押します。

インタラクティブコンテンツ

DVDには、インタラクティブコンテンツ（ビデオゲームなど）が含まれることもあります。ビデオゲームでは、アクションを選択して開始することなどにより、イベントに影響を与えることもできます。アクションの種類と数はDVDによって異なります。

▶ リモコンの ▲ ▶ ▼ ◀ スイッチを使用してアクションを選択し、OK スイッチを押して実行します。
メニューが表示され、最初の項目選択が強調されます。

▶ OK スイッチを押します。

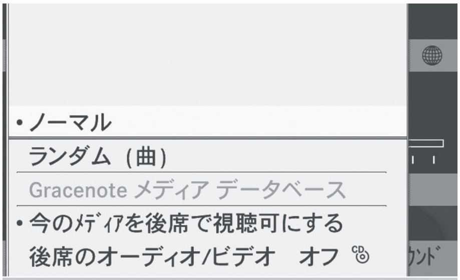
COMANDシステムのソースモードの作動

COMANDシステムで機能のオン/オフを切り替える

COMANDシステムで選択したオーディオまたはビデオソースを、リアエンターテインメントシステムに転送することができます。その後にCOMANDシステムでモードを切り替える場合は、新しいソースはリアエンターテインメントシステムに送信されません。

▶ **COMANDシステムで機能をオンにする：** CDモード (▷ 225 ページ) などCOMANDシステムで希望のオーディオモードに切り替えるか、またはDVDビデオモード (▷ 280 ページ) でメニューを表示させます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳ 、例えば音楽CDモードであればCDなどの、左下にあるメニュー項目を選択して、押して ◎ 確定します。



P82.87-7238-31

▶ 現在のメディアを後席で視聴可にする を選択して、押して ◎ 確定します。

P82.87-7239-31

上部のステータスバーに、ヘッドホンマークおよびオンにしたソースの CD マークが表示されます。

▶ **COMANDシステムで機能をオフにする：** COMANDシステムで希望のオーディオモードをオンにするか、またはDVDビデオモードでメニューを表示させます。

▶ COMANDコントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳ 、例えば音楽CDモードであればCDなどの、左下にあるメニュー項目を選択して、押して ◎ 確定します。

▶ 後席のオーディオ/ビデオ オフ CD を選択して、COMANDコントローラーを押して ◎ 確定します。

後席用ディスプレイでCOMANDシステムのメディアを選択する

COMANDシステムのメディアを読み込む

P82.87-7240-31

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用して、COMANDシステム を選択し、押して OK 確定します。

COMANDシステムで選択したオーディオまたはビデオソースが、リアエンターテインメントシステムに読み込まれます。

読み込み処理が完了すると、オーディオまたはビデオソースがリアエンターテインメントシステムに設定されます。

後席のオーディオ/ビデオ　オフ がCOMANDシステムで作動しているときは、COMAND システム オフ またはCOMAND システムで再生されている

ソースがありません。 というメッセージが表示されます。

音楽CDモード

例：CDモード

▶ **トラックをスキップして選択する：** ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。
後方にスキップ操作をすると、現在のトラックの先頭から再生を始めます(再生を開始してから8秒以上経過している場合)。現在のトラックを再生してから8秒以内の場合は、前のトラックにスキップします。

追加設定オプション：

• サウンド設定を調整する (▷ 297 ページ)

DVDオーディオモード

例：DVDオーディオモード

▶ **次/前のグループにスキップする：** リモコンの ▼ スイッチを押します。

▶ ≪≫ を選択する： ◀ または ▶ スイッチを使用して強調し、押します ⓞⓚ。

追加設定オプション：

• サウンド設定を調整する (▷ 297 ページ)

ℹ グループの情報は"オーディオフォーマットを設定する" (▷ 232 ページ) にあります。

MP3 モード

例：MP3モード

- ▶ **トラックをスキップしてトラックを選択する：** リモコンの [◀] または [▶] スイッチを押します。

または

- ▶ [⏮] または [⏭] スイッチを押します。
  次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。
  後方にスキップ操作をすると、現在のトラックの先頭から再生を始めます（再生を開始してから8秒以上経過している場合）。現在のトラックを再生してから8秒以内の場合は、前のトラックにスキップします。
- ▶ **フォルダーを選択する：** リモコンの [▼] スイッチを押します。
- ▶ [◀] または [▶] スイッチで2つのフォルダーマークの1つを強調し、押して ⓞⓚ 確定します。
  選択によって、前または次のフォルダーが選択され、はじめのトラックが再生されます。

追加設定オプション：

- サウンド設定を調整する (▷ 297 ページ)

DVDビデオモード

例：DVDビデオモード

- ▶ **メニューを非表示にする：** ⓞⓚ スイッチで メニュー を確定します。
  ビデオ映像が全画面モードで再生されます。

追加設定オプション：

- 明るさ、コントラスト、色合いを調整する (▷ 298 ページ)
- 画面形式を変更する (▷ 298 ページ)
- サウンド設定を調整する (▷ 297 ページ)

外部入力モード

概要

1つの外部ビデオソースをリアエンターテインメントシステム（外部画面）のそれぞれの画面に、また1つの外部ビデオソースを後席のドライブ（外部ドライブ）に、サウンドとビデオ信号で接続できます。

外部映像機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

外部映像機器の詳細については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

外部入力機器を接続する

ドライブ外部入力端子

ドライブ外部入力端子はCD/DVD 排出スイッチの右横のCD/DVDドライブにあります(▷ 292 ページ)。

外部画面

ディスプレイ外部入力端子は画面の横にあります(▷ 291 ページ)。

オーディオおよびビデオの接続

- ▶ 左右の音声プラグを、それぞれに対応するLとRの端子に差し込みます。
- ▶ 映像プラグをV端子に差し込みます。

外部入力モードに切り替える

ドライブ外部入力端子

- ▶ リモコンのスイッチ ▲ ◀ ▶ を使用して、メニューで外部入力を選択し、OK スイッチを押して確定します。
外部入力メニューが表示されます。

外部入力メニュー

- ▶ 外部入力メニューからメディアを選択して、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ 外部ディスクドライブ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
外部映像機器をCD/DVDドライブに接続して再生すると、外部映像機器の映像を視聴できます。接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

外部画面

- ▶ "L REAR"（左側画面）または "R REAR"（右側画面）がウインドウで強調されるまで、リモコン (▷ 291 ページ) のダイアルを使用して画面を選択します。
- ▶ リモコンのスイッチ ▲ ◀ ▶ を使用して、メニューで外部入力を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ 外部入力メニューからメディアを選択して、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ ディスプレイ接続機器を選択して、OK スイッチを押して確定します。
再生操作をすると、映像機器の映像を視聴できます。接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

高温と低音の設定

- ▶ 外部入力メニューで Treble または Bass を選択し、リモコンの OK スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。
- ▶ ▲ または ▼ スイッチを使用して選択し、OK スイッチを押して確定します。

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

- ▶ 外部入力メニューで ディスプレイ接続機器 または プレーヤー接続機器 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ 明るさ、コントラスト、または色合いを選択して、OK スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。
- ▶ ▲ または ▼ スイッチを使用して選択し、OK スイッチを押して確定します。

画面形式を変更する

- 外部入力メニューで ディスプレイ接続機器 または プレーヤー接続機器 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- ▲ ▼ スイッチを使用して16：9表示、4：3表示、またはワイドスクリーンを選択し、OK スイッチを押して確定します。
  メニュー項目の前のドットは現在の設定を示します。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車やDaimler AGについての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

http://www.mercedes-benz.co.jp

編集オフィス

©Daimler AG：Daimler AGの書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複写、翻訳または複製することはできません。

編集終了 16.08.2012

1725845781

Order no. 6515 6983 20 Part no. 172 584 57 81 Edition ÄJ 2013-1a